

北本市
高齢者福祉計画・介護保険事業計画の
策定に向けたアンケート調査
集計結果報告書

平成 29 年 3 月

北本市

<目 次>

| | |
|------------------------------------|-----|
| I 調査の概要 | 1 |
| (1) 調査の目的..... | 2 |
| (2) 調査方法..... | 2 |
| (3) 実施時期..... | 2 |
| (4) 回収状況..... | 2 |
| (5) 報告書を見る際の注意事項..... | 3 |
| II 調査結果 | 5 |
| 【1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】 | 7 |
| 【問1 あなたのご家族や生活状況について】..... | 10 |
| 【問2 からだを動かすことについて】..... | 20 |
| 【問3 食べることについて】..... | 32 |
| 【問4 毎日の生活について】..... | 43 |
| 【問5 地域での活動について】..... | 62 |
| 【問6 たすけあいについて】..... | 73 |
| 【問7 健康について】..... | 87 |
| 【問8 介護保険以外のサービスについて】..... | 97 |
| 【問9 在宅医療について】..... | 105 |
| 【2 在宅介護実態調査】 | 113 |
| 【A票 あて名のご本人についておうかがいします】..... | 115 |
| 【B票 主な介護者について】..... | 124 |
| 【3 介護サービス提供事業者調査】 | 129 |
| 【最初に、貴事業所の概要について】..... | 130 |
| 【収支状況について】..... | 133 |
| 【苦情内容について】..... | 136 |
| 【介護保険サービスについて】..... | 136 |
| 【貴事業所の今後の運営方針について】..... | 137 |
| 【認知症ケアについて】..... | 140 |
| 【貴事業所と保険者（北本市）との連携・協力について】..... | 142 |
| 【高齢者福祉について】..... | 142 |
| 【連携について】..... | 143 |
| 【自由記述】..... | 144 |
| III 在宅介護実態調査の分析 | 153 |
| 1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討..... | 154 |

| | | |
|-----|----------------------------------|-----|
| 1.2 | 集計結果と着目すべきポイント | 155 |
| 2 | 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 | 181 |
| 2.2 | 集計結果と着目すべきポイント | 182 |
| 3 | 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 | 201 |
| 3.2 | 集計結果と着目すべきポイント | 202 |
| 4 | 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 | 215 |
| 4.2 | 集計結果と着目すべきポイント | 216 |
| 5 | 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 | 225 |
| 5.2 | 集計結果と着目すべきポイント | 226 |
| 6 | サービス未利用の理由など | 233 |
| 6.2 | 集計結果（参考） | 234 |

I 調査の概要

(1)調査の目的

本調査は「北本市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」策定のため、市内に居住する高齢者及び介護サービス提供事業者の現状を把握し、計画の基礎資料とするために実施したものです。

(2)調査方法

| | |
|-----------------|---|
| 介護予防日常生活圏域ニーズ調査 | 市内在住の満65歳以上（要介護1～5の方を除く）の方を対象に1,500名を無作為。 |
| 在宅介護実態調査 | 市内在住の要支援1、2、要介護1～5の方を対象に700名を無作為抽出、更新申請訪問時に聞き取り調査を200件。 |
| 介護サービス提供事業者調査 | 北本市民にサービスを提供している事業所48事業所。 |

(3)実施時期

- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：平成29年2月3日（金）～平成29年2月17日（金）
- ・在宅介護：聞き取り調査：依頼日から回収日までの間に実施
郵送調査：平成29年2月3日（木）～平成29年2月17日（金）
- ・介護サービス提供事業者調査：平成29年2月3日（木）～平成29年2月17日（金）

(4)回収状況

| 対象 | 配布数 | 回収数 | 回収率 | 有効回答数 | 有効回収率 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 介護予防日常生活圏域ニーズ調査 | 1,500 | 1,053 | 70.2% | 1,053 | 70.2% |
| 在宅介護実態調査 | 900 | 640 | 71.1% | 640 | 71.1% |
| 介護サービス提供事業者調査 | 48 | 28 | 58.3% | 28 | 58.3% |

(5) 報告書を見る際の注意事項

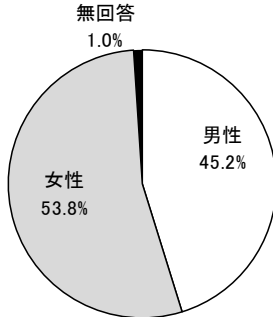
- 図表中の「n」は、設問への回答数を示しています。
- 調査結果の比率は、その設問の回答数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率が100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- クロス分析において、回答数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。

Ⅱ 調査結果

【1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

性別

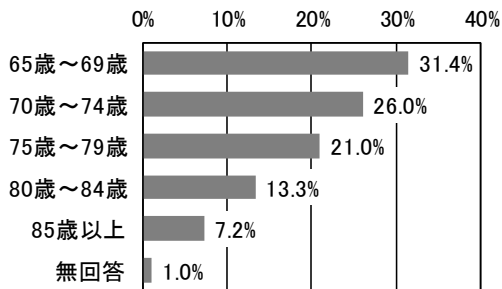
性別については、「男性」が45.2%、「女性」が53.8%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|-------|--------|
| 男性 | 476 | 45.2% |
| 女性 | 566 | 53.8% |
| 無回答 | 11 | 1.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

年齢区分

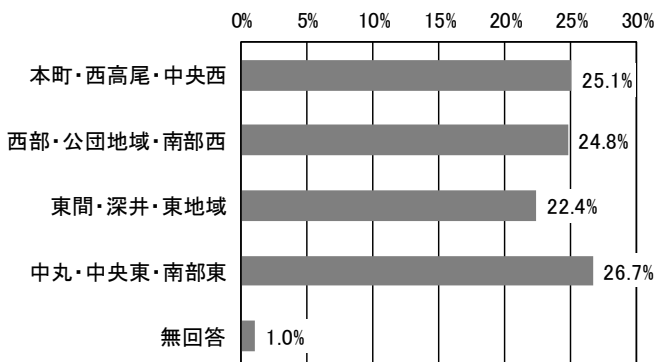
年齢区分については、「65歳～69歳」が31.4%、「70歳～74歳」が26.0%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-------|--------|
| 65歳～69歳 | 331 | 31.4% |
| 70歳～74歳 | 274 | 26.0% |
| 75歳～79歳 | 221 | 21.0% |
| 80歳～84歳 | 140 | 13.3% |
| 85歳以上 | 76 | 7.2% |
| 無回答 | 11 | 1.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

圏域

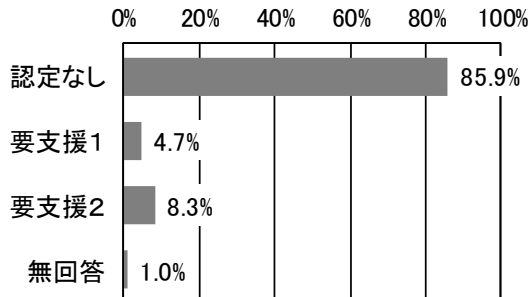
圏域については、「中丸・中央東・南部東」が26.7%、「本町・西高尾・中央西」が25.1%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-------|--------|
| 本町・西高尾・中央西 | 264 | 25.1% |
| 西部・公団地域・南部西 | 261 | 24.8% |
| 東間・深井・東地域 | 236 | 22.4% |
| 中丸・中央東・南部東 | 281 | 26.7% |
| 無回答 | 11 | 1.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

介護度

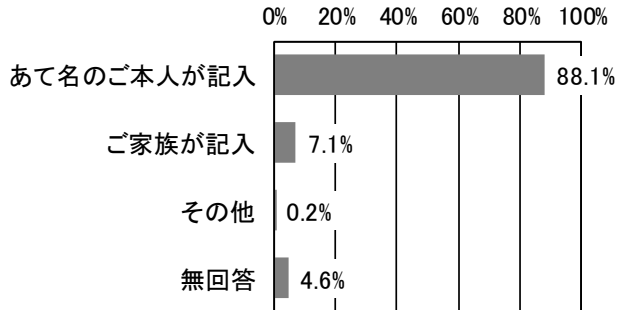
介護度については、「認定なし」が85.9%、「要支援2」が8.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------|-------|--------|
| 認定なし | 905 | 85.9% |
| 要支援1 | 50 | 4.7% |
| 要支援2 | 87 | 8.3% |
| 無回答 | 11 | 1.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

調査票の記入者

調査票の記入者については、「あて名のご本人が記入」が88.1%、「ご家族が記入」が7.1%となっています。

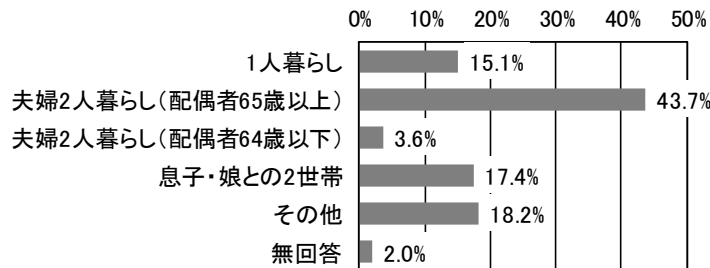


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------|-------|--------|
| あて名のご本人が記入 | 928 | 88.1% |
| ご家族が記入 | 75 | 7.1% |
| その他 | 2 | 0.2% |
| 無回答 | 48 | 4.6% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【問1 あなたのご家族や生活状況について】

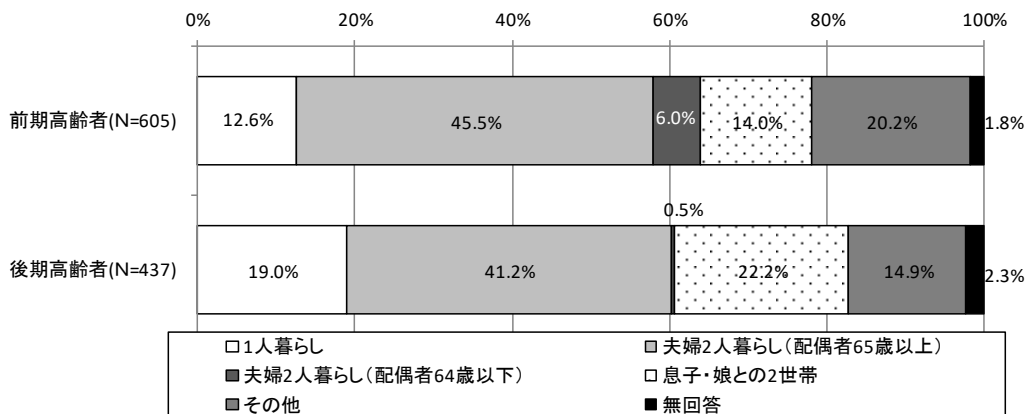
(1) 家族構成をお教えてください

家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 43.7%、「息子・娘との2世帯」が 17.4%となっています。

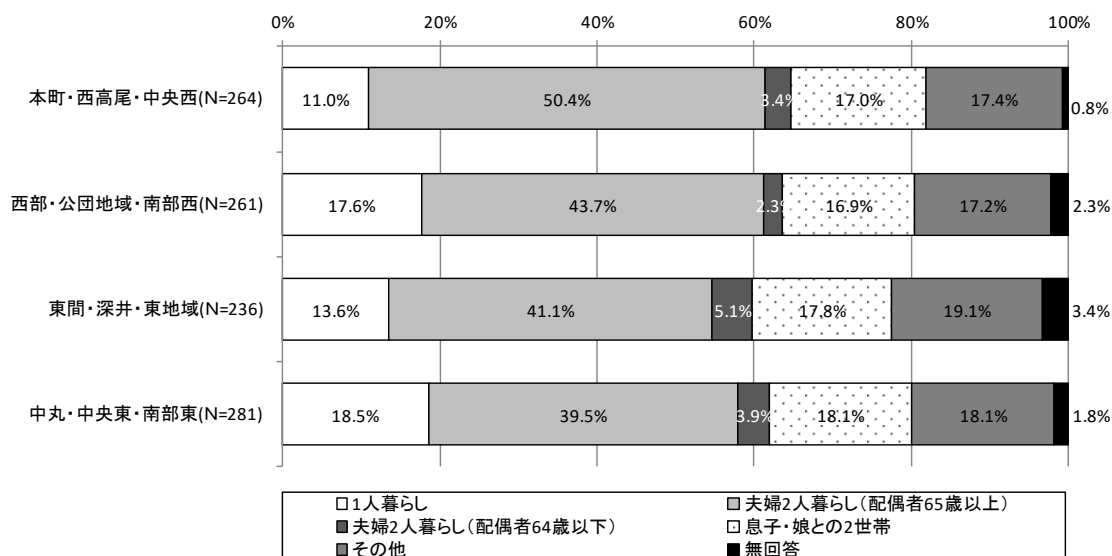


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|-------|--------|
| 1人暮らし | 159 | 15.1% |
| 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 460 | 43.7% |
| 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 38 | 3.6% |
| 息子・娘との2世帯 | 183 | 17.4% |
| その他 | 192 | 18.2% |
| 無回答 | 21 | 2.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

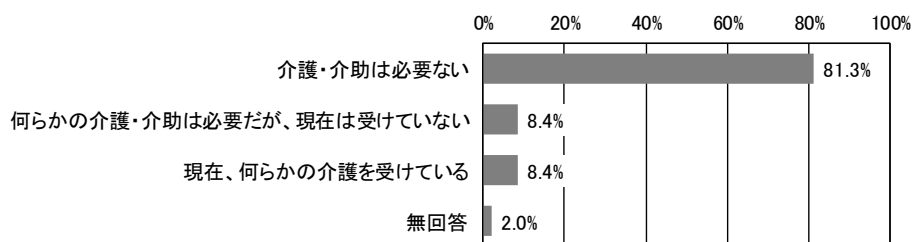


【圏域別クロス】



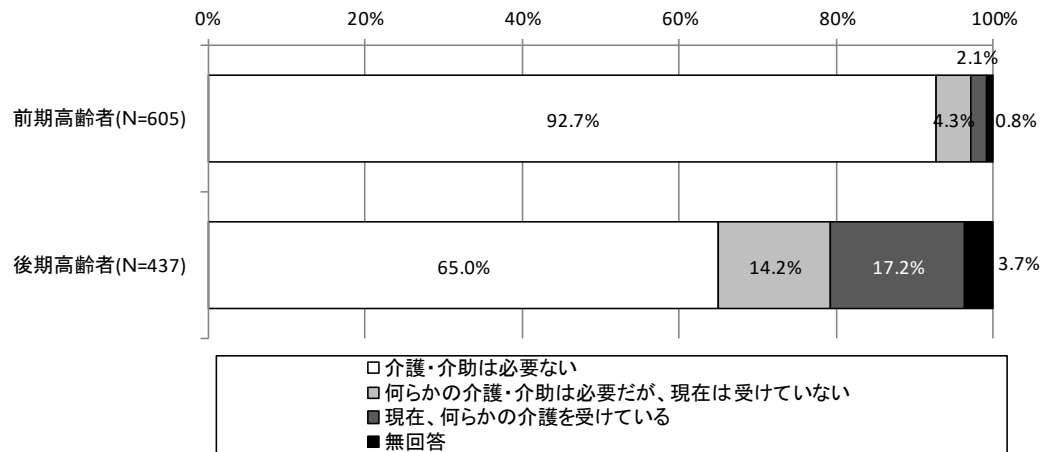
(2)あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

介護・介助の必要については、「介護・介助は必要ない」が81.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が8.4%となっています。

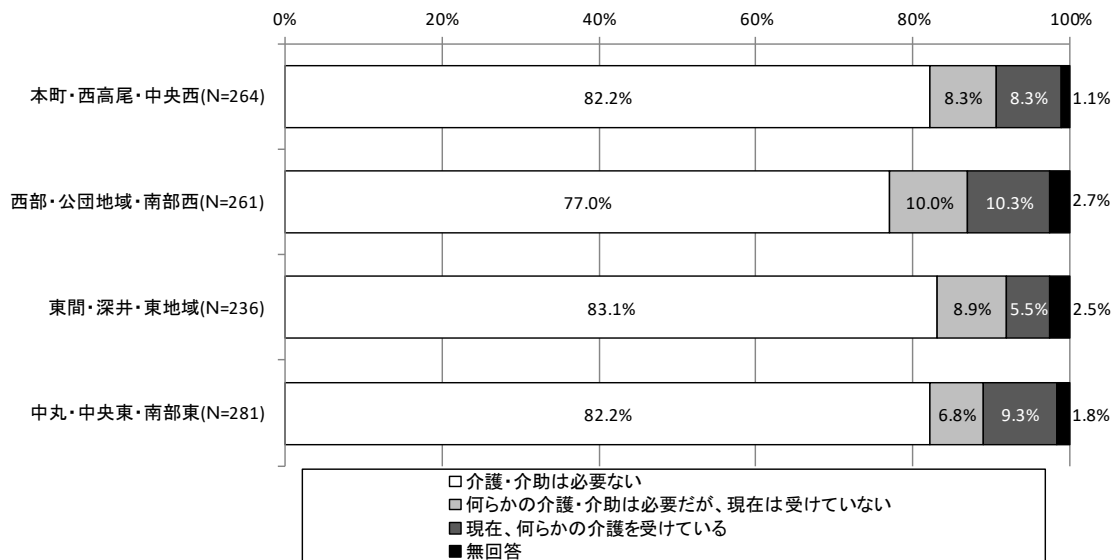


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--|-------|--------|
| 介護・介助は必要ない | 856 | 81.3% |
| 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない | 88 | 8.4% |
| 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | 88 | 8.4% |
| 無回答 | 21 | 2.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



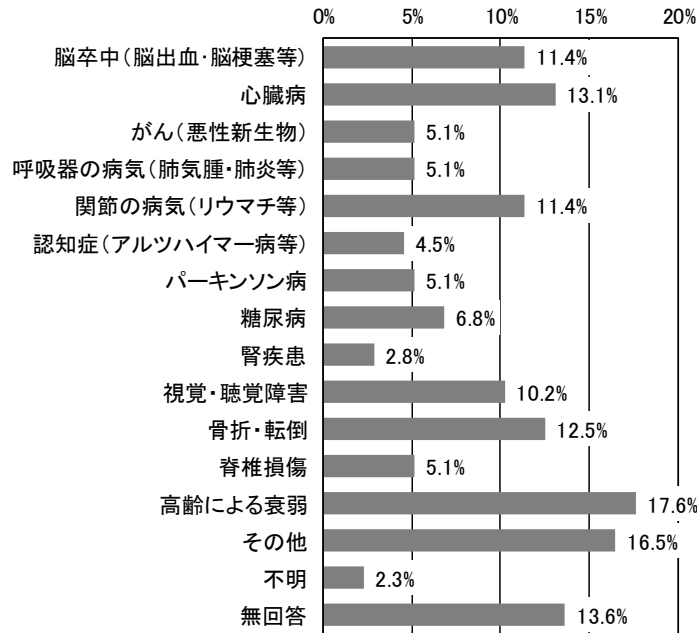
【圏域別クロス】



《(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ》

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

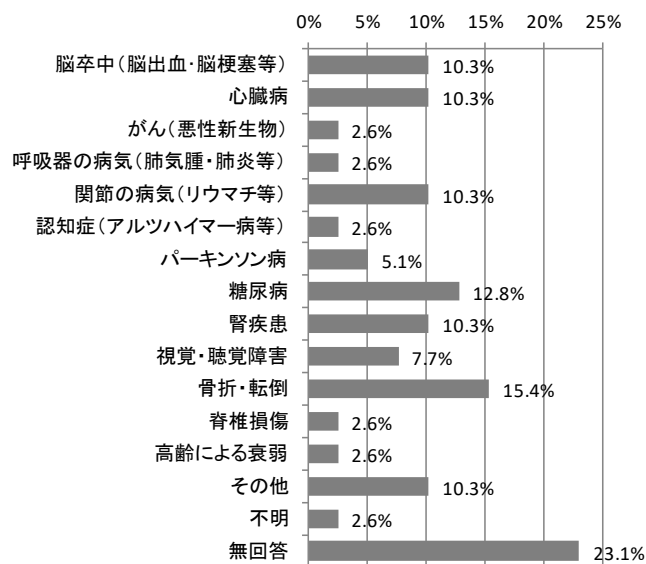
介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が 17.6%、「心臓病」が 13.1%となっています。



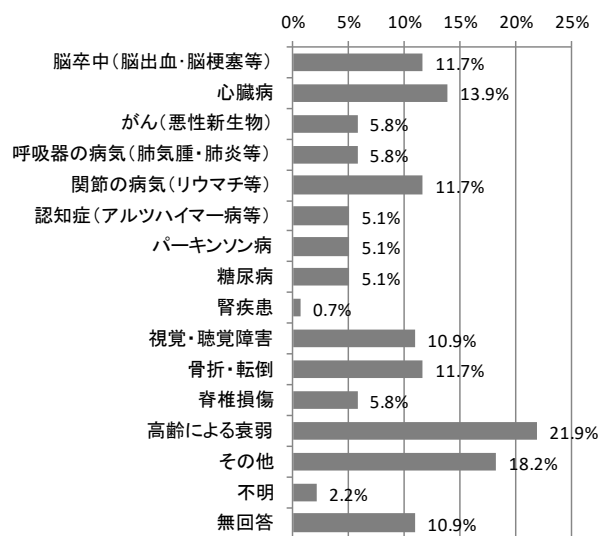
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------|-------|-------|
| 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 20 | 11.4% |
| 心臓病 | 23 | 13.1% |
| がん(悪性新生物) | 9 | 5.1% |
| 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) | 9 | 5.1% |
| 関節の病気(リウマチ等) | 20 | 11.4% |
| 認知症(アルツハイマー病等) | 8 | 4.5% |
| パーキンソン病 | 9 | 5.1% |
| 糖尿病 | 12 | 6.8% |
| 腎疾患 | 5 | 2.8% |
| 視覚・聴覚障害 | 18 | 10.2% |
| 骨折・転倒 | 22 | 12.5% |
| 脊椎損傷 | 9 | 5.1% |
| 高齢による衰弱 | 31 | 17.6% |
| その他 | 29 | 16.5% |
| 不明 | 4 | 2.3% |
| 無回答 | 24 | 13.6% |
| 回答者数 | 176 | |
| 非該当 | 877 | |
| 合計 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=39)

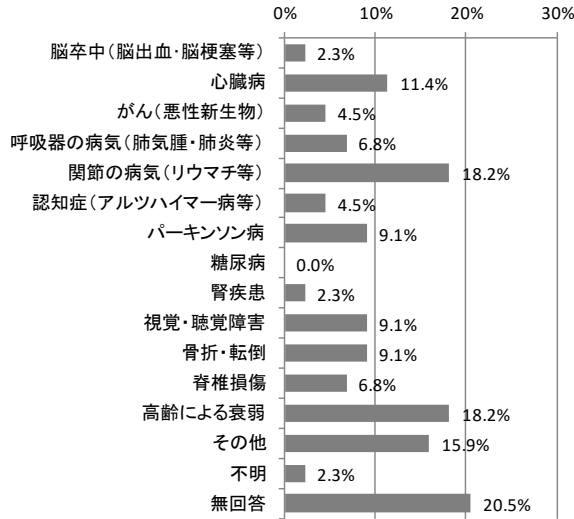


後期高齢者(N=137)

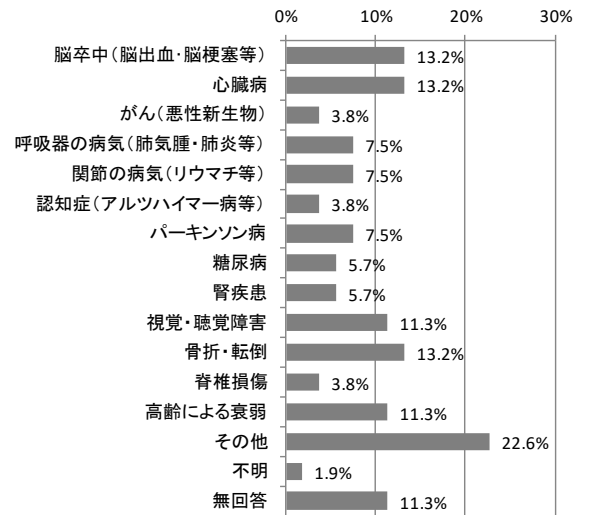


【圏域別クロス】

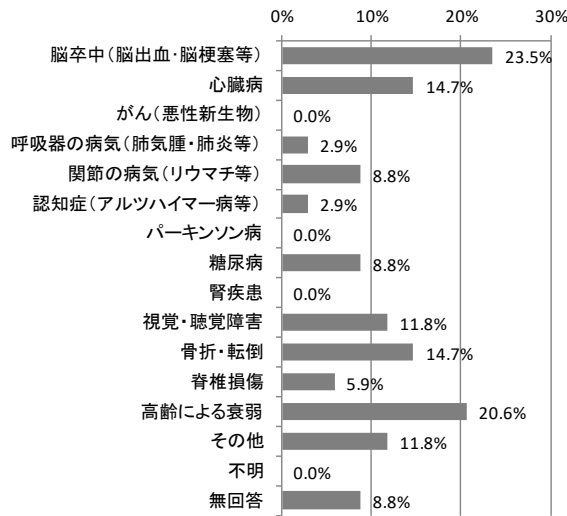
本町・西高尾・中央西(N=44)



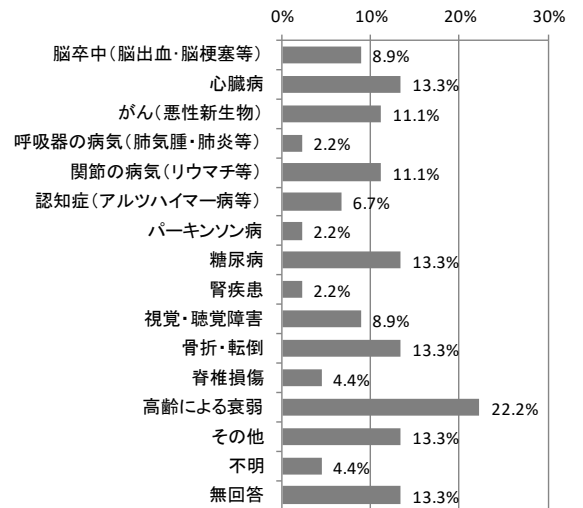
西部・公団地域・南部西(N=53)



東間・深井・東地域(N=34)



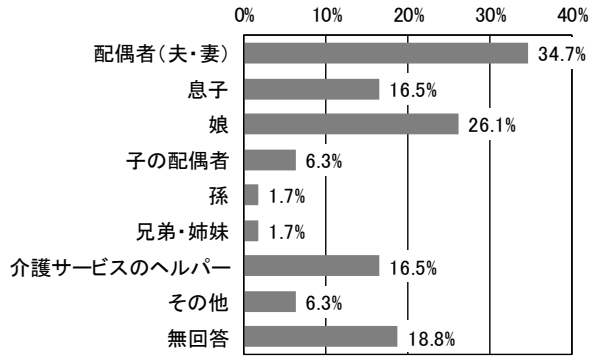
中丸・中央東・南部東(N=45)



《(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ》

②主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

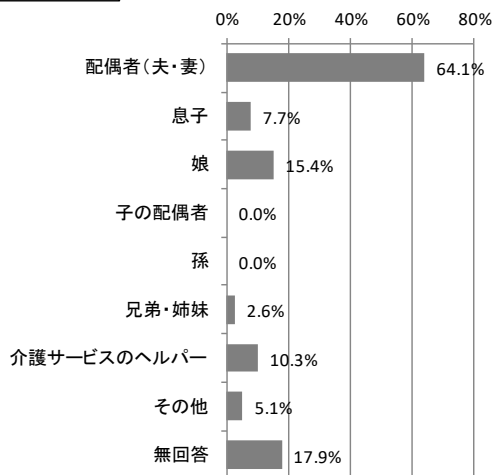
主にどなたの介護、介助を受けているかについては、「配偶者(夫・妻)」が34.7%、「娘」が26.1%となっています。



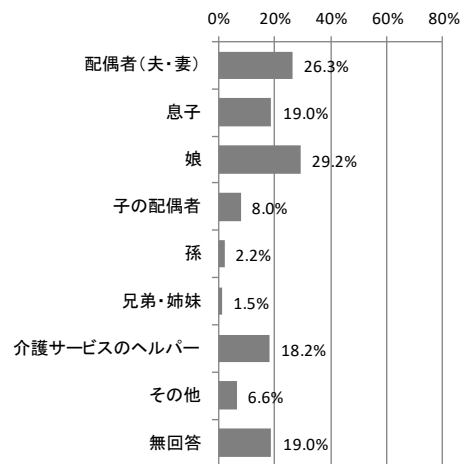
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-------|-------|
| 配偶者(夫・妻) | 61 | 34.7% |
| 息子 | 29 | 16.5% |
| 娘 | 46 | 26.1% |
| 子の配偶者 | 11 | 6.3% |
| 孫 | 3 | 1.7% |
| 兄弟・姉妹 | 3 | 1.7% |
| 介護サービスのヘルパー | 29 | 16.5% |
| その他 | 11 | 6.3% |
| 無回答 | 33 | 18.8% |
| 回答者数 | 176 | |
| 非該当 | 877 | |
| 合計 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=39)

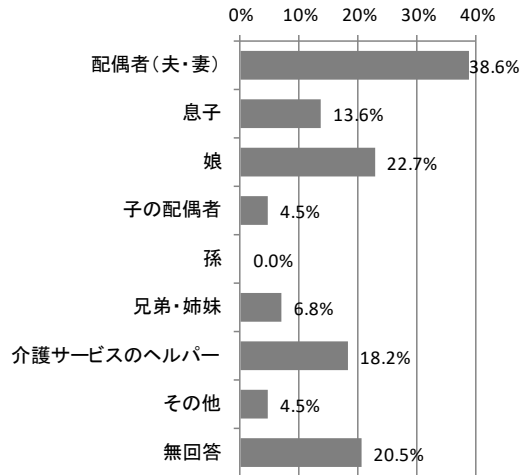


後期高齢者(N=137)

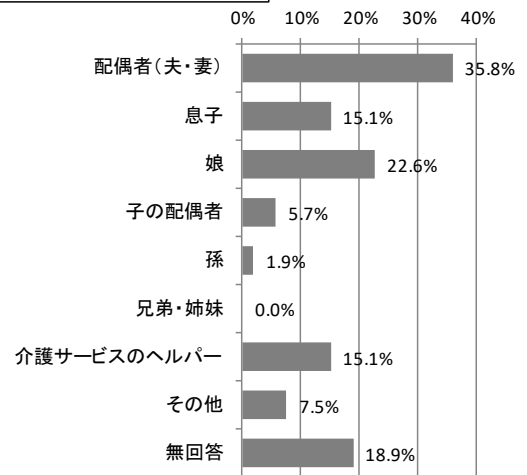


【圏域別クロス】

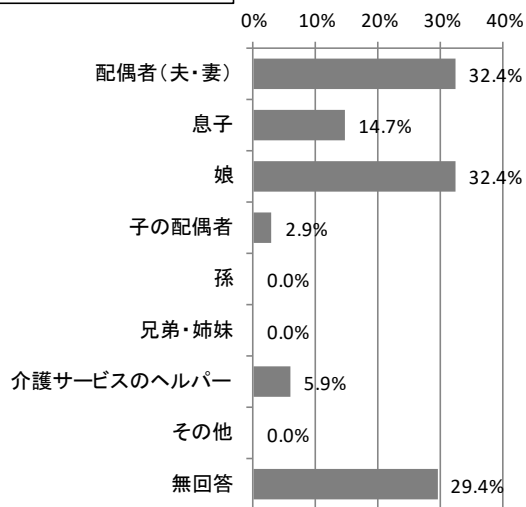
本町・西高尾・中央西(N=44)



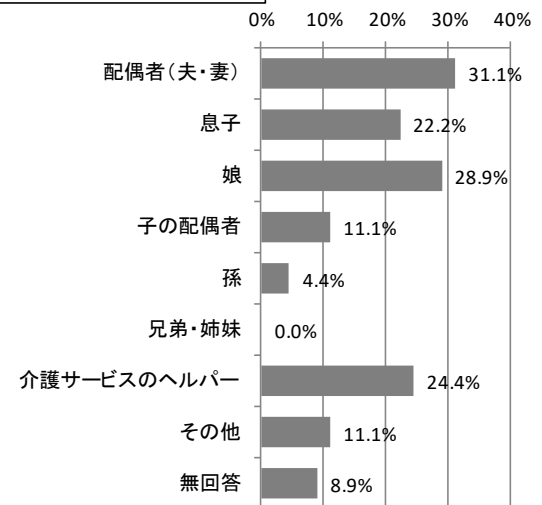
西部・公団地域・南部西(N=53)



東間・深井・東地域(N=34)

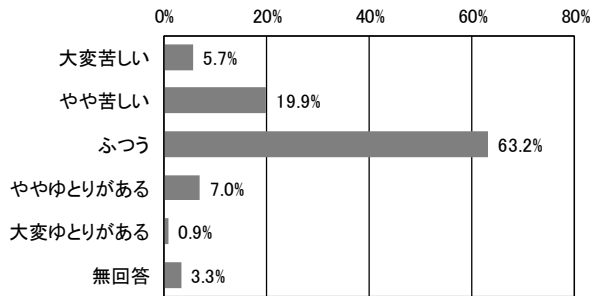


中丸・中央東・南部東(N=45)



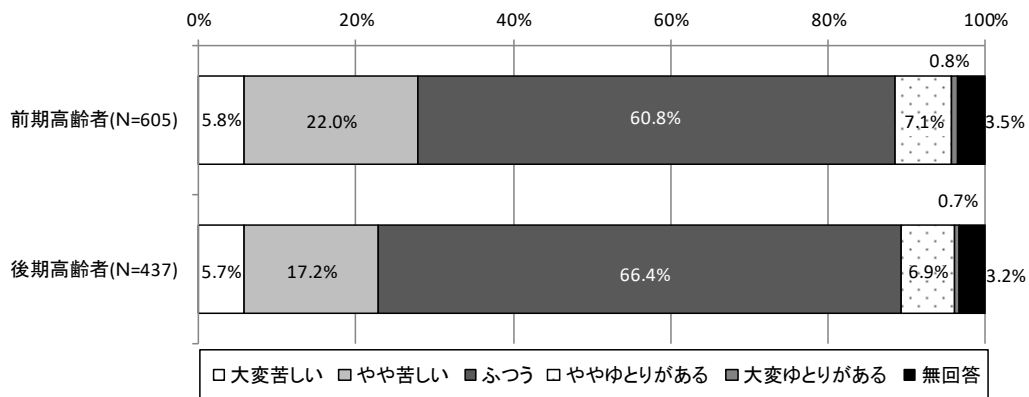
(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の暮らしの状況については、「ふつう」が63.2%、「やや苦しい」が19.9%となっています。

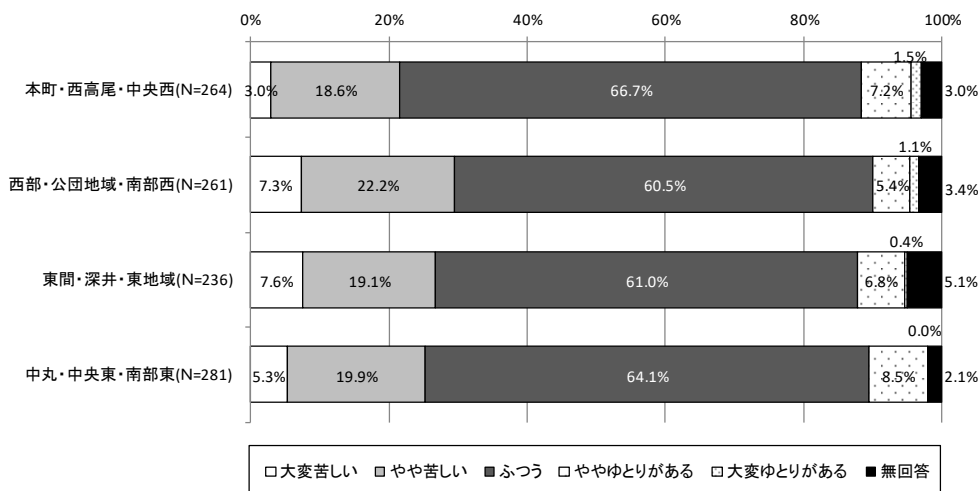


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------|-------|--------|
| 大変苦しい | 60 | 5.7% |
| やや苦しい | 210 | 19.9% |
| ふつう | 665 | 63.2% |
| ややゆとりがある | 74 | 7.0% |
| 大変ゆとりがある | 9 | 0.9% |
| 無回答 | 35 | 3.3% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

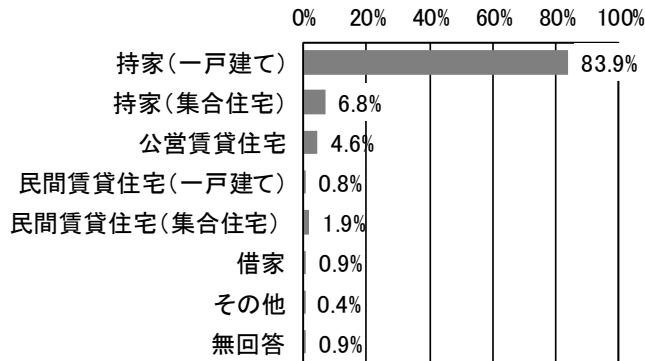


【圏域別クロス】



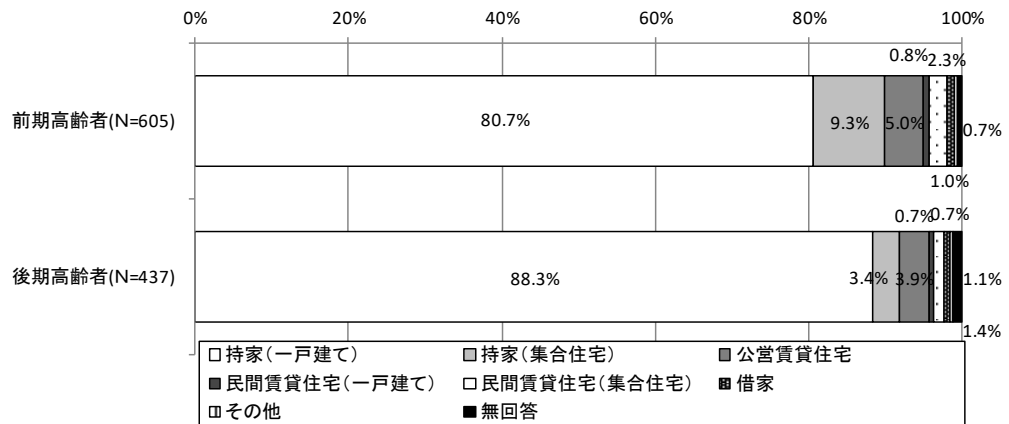
(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住まいについては、「持家（一戸建て）」が83.9%となっています。

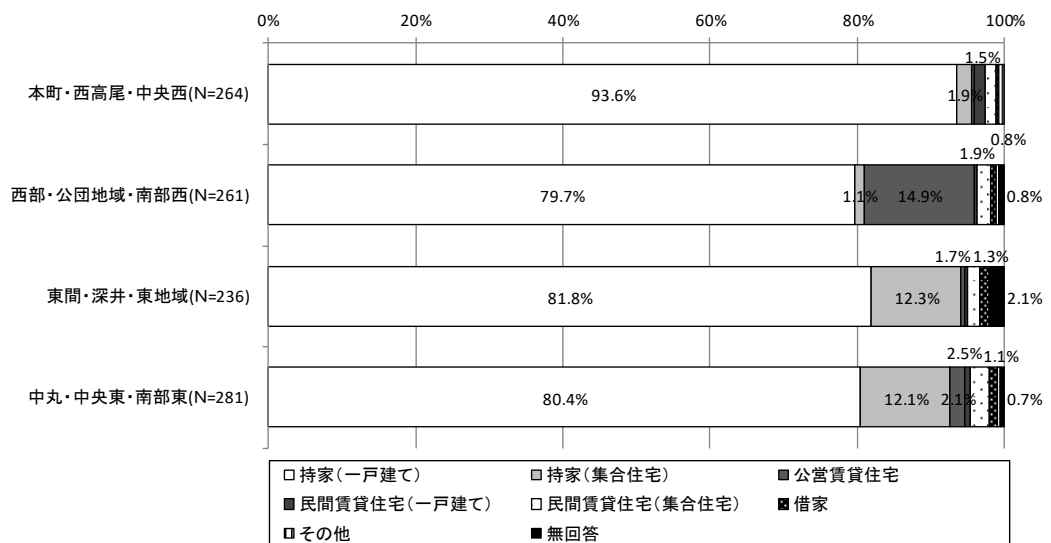


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------|-------|--------|
| 持家(一戸建て) | 883 | 83.9% |
| 持家(集合住宅) | 72 | 6.8% |
| 公営賃貸住宅 | 48 | 4.6% |
| 民間賃貸住宅(一戸建て) | 8 | 0.8% |
| 民間賃貸住宅(集合住宅) | 20 | 1.9% |
| 借家 | 9 | 0.9% |
| その他 | 4 | 0.4% |
| 無回答 | 9 | 0.9% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



【圏域別クロス】



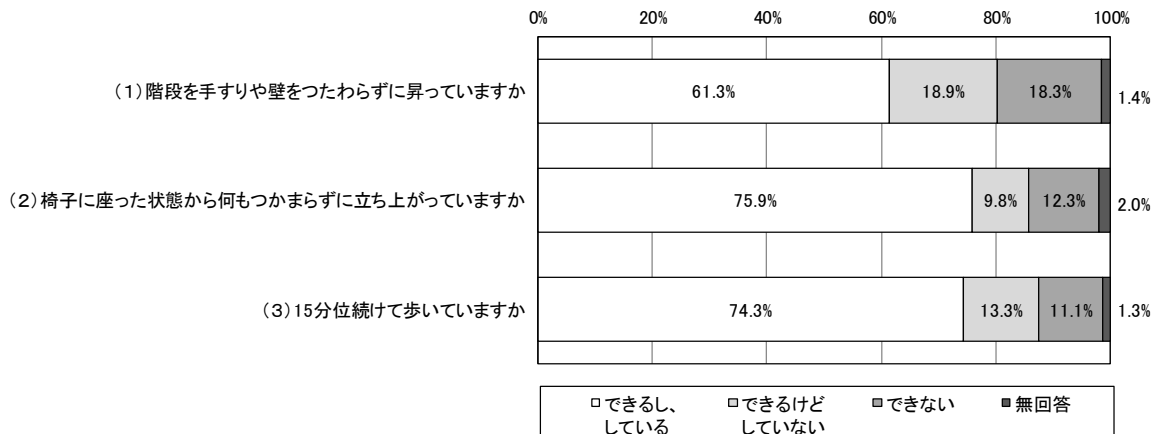
【問2 からだを動かすことについて】

- (1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか
 (2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
 (3)15分位続けて歩いていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについては、「できるし、している」が61.3%、「できるけどしていない」が18.9%となっています。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が75.9%、「できない」が12.3%となっています。

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が74.3%、「できるけどしていない」が13.3%となっています。

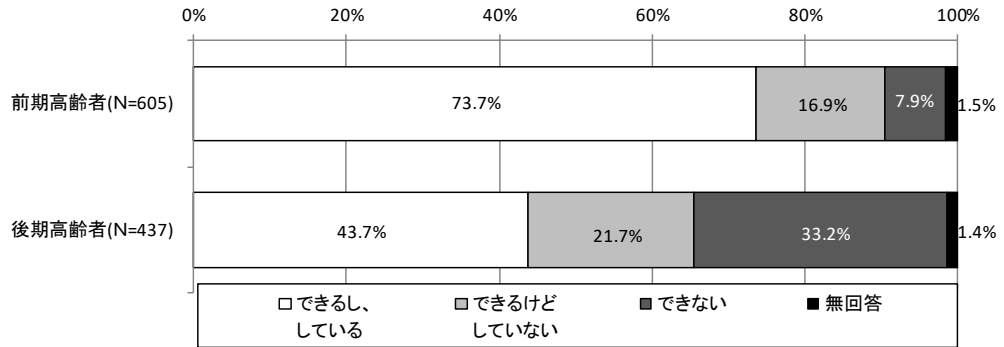


| 項目(度数) | できるし、している | できるけどしていない | できない | 無回答 | 合計 |
|---------------------------------|-----------|------------|------|-----|-------|
| (1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか | 646 | 199 | 193 | 15 | 1,053 |
| (2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか | 799 | 103 | 130 | 21 | 1,053 |
| (3)15分位続けて歩いていますか | 782 | 140 | 117 | 14 | 1,053 |

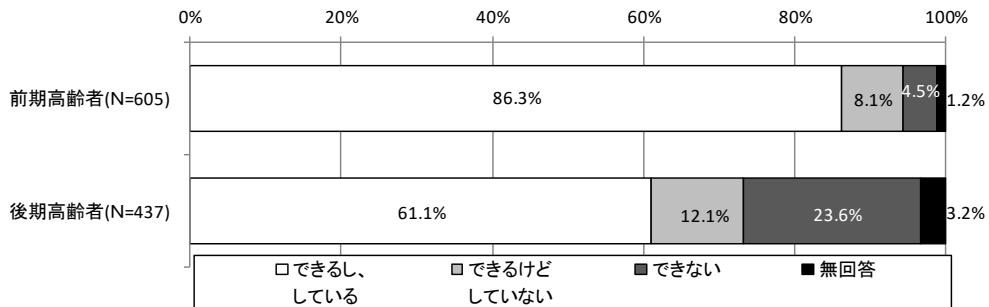
| 項目(構成比) | できるし、している | できるけどしていない | できない | 無回答 | 合計 |
|---------------------------------|-----------|------------|-------|------|--------|
| (1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか | 61.3% | 18.9% | 18.3% | 1.4% | 100.0% |
| (2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか | 75.9% | 9.8% | 12.3% | 2.0% | 100.0% |
| (3)15分位続けて歩いていますか | 74.3% | 13.3% | 11.1% | 1.3% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

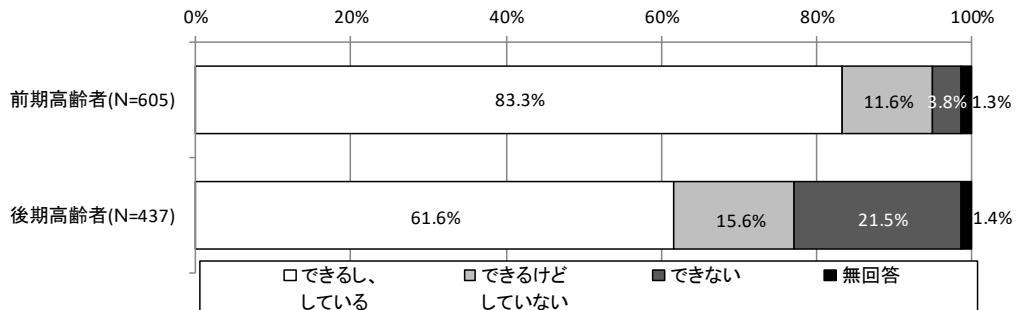
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

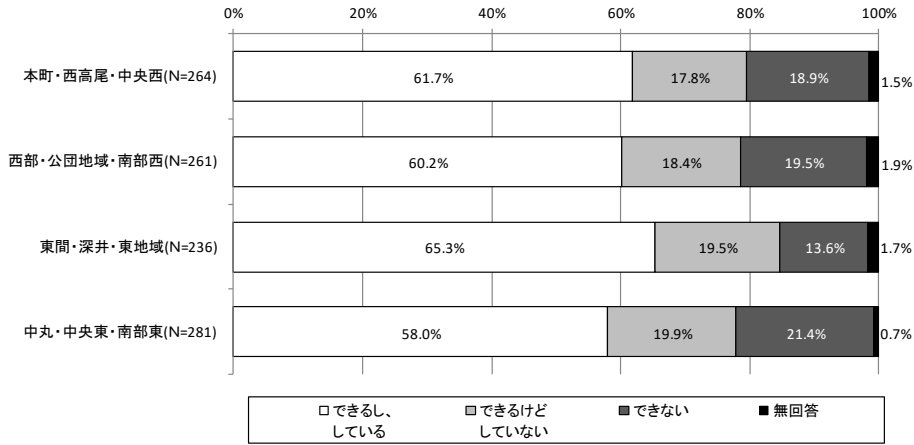


(3) 15分位続けて歩いていますか

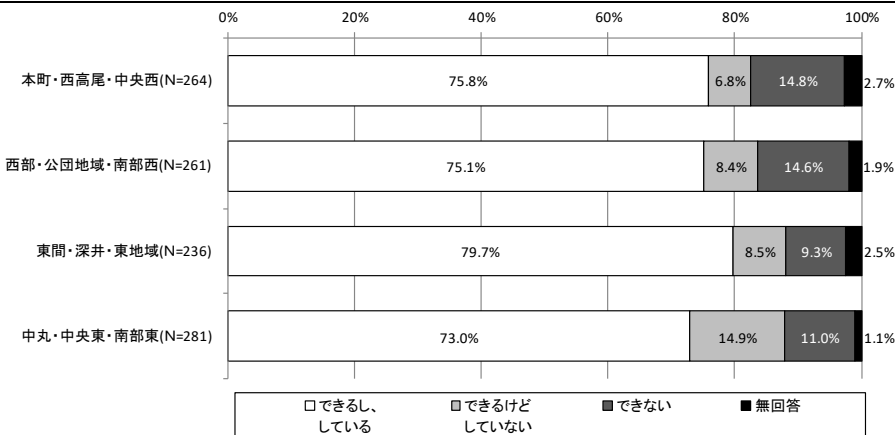


【圏域別クロス】

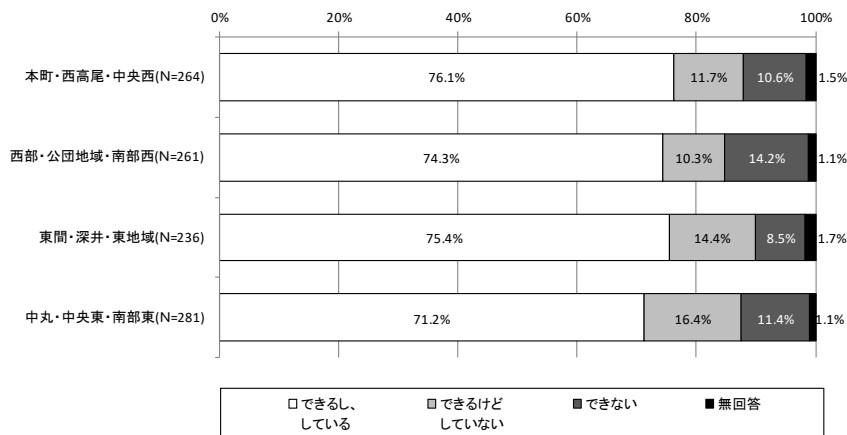
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

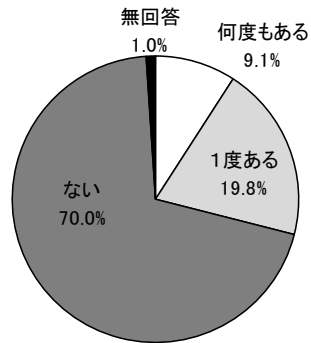


(3) 15分位続けて歩いていますか



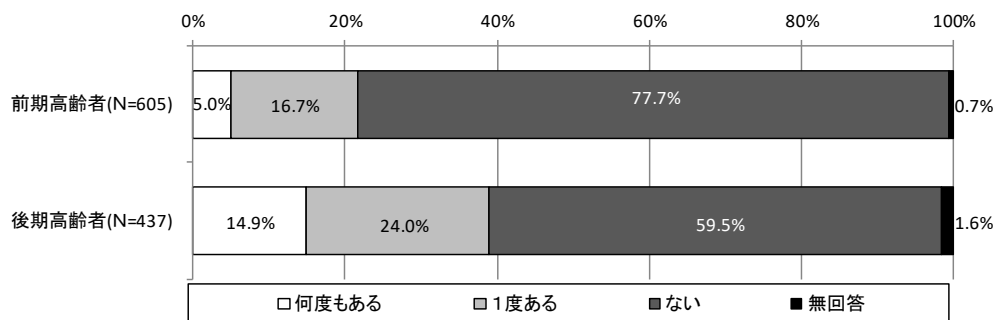
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間に転んだ経験については、「ない」が70.0%、「1度ある」が19.8%となっています。

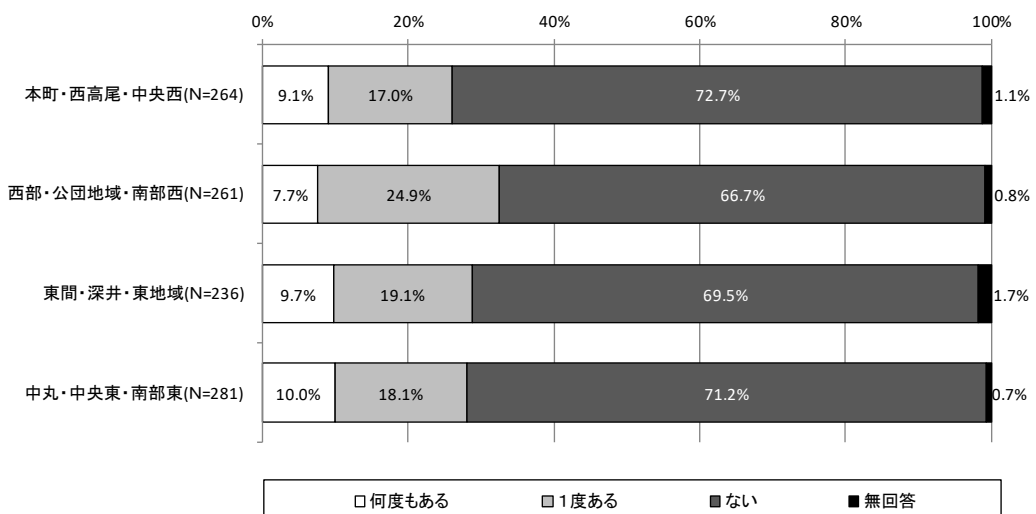


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 何度もある | 96 | 9.1% |
| 1度ある | 209 | 19.8% |
| ない | 737 | 70.0% |
| 無回答 | 11 | 1.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

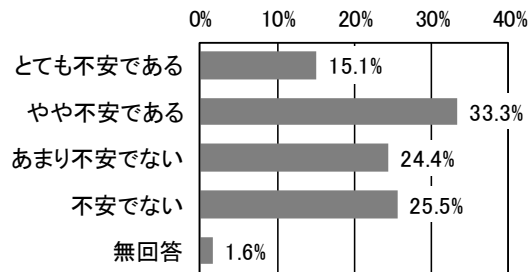


【圏域別クロス】



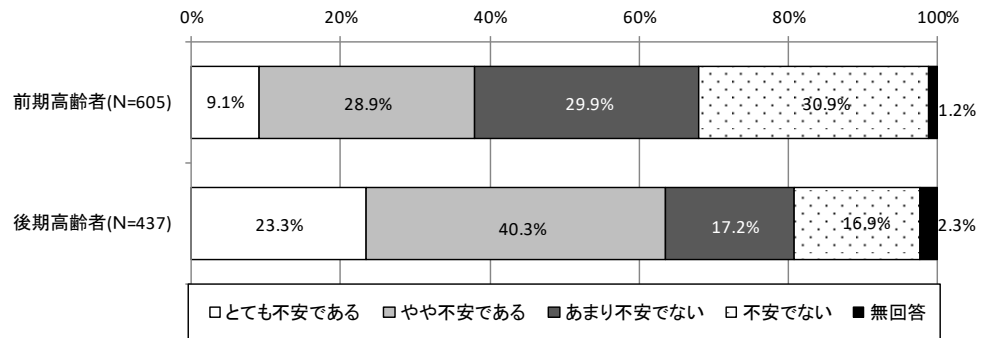
(5) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安については、「やや不安である」が 33.3%、「不安でない」が 25.5% となっています。

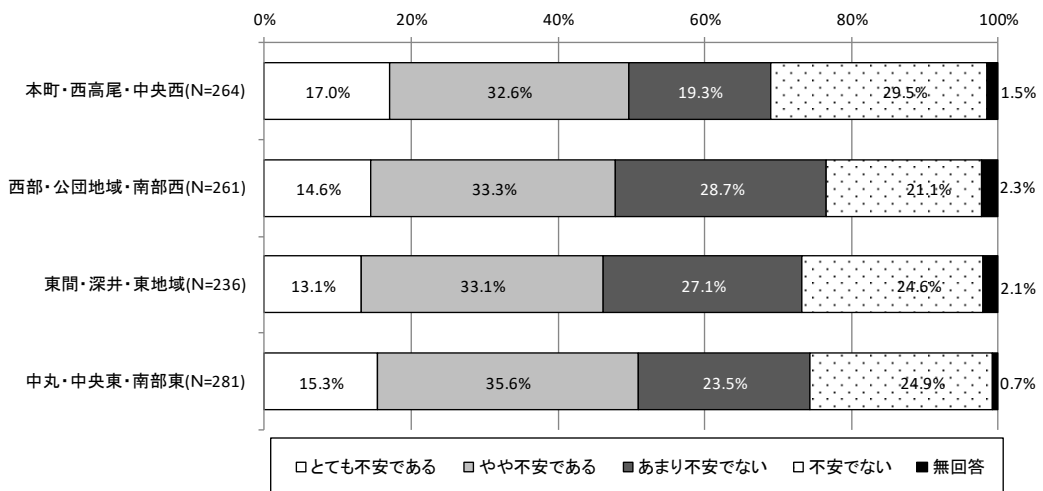


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------|-------|--------|
| とても不安である | 159 | 15.1% |
| やや不安である | 351 | 33.3% |
| あまり不安でない | 257 | 24.4% |
| 不安でない | 269 | 25.5% |
| 無回答 | 17 | 1.6% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

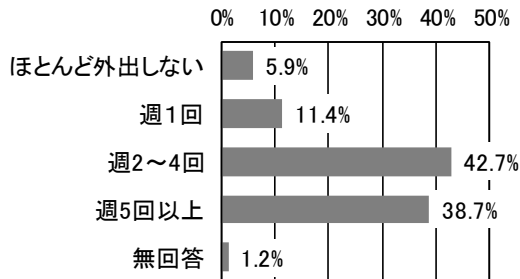


【圏域別クロス】



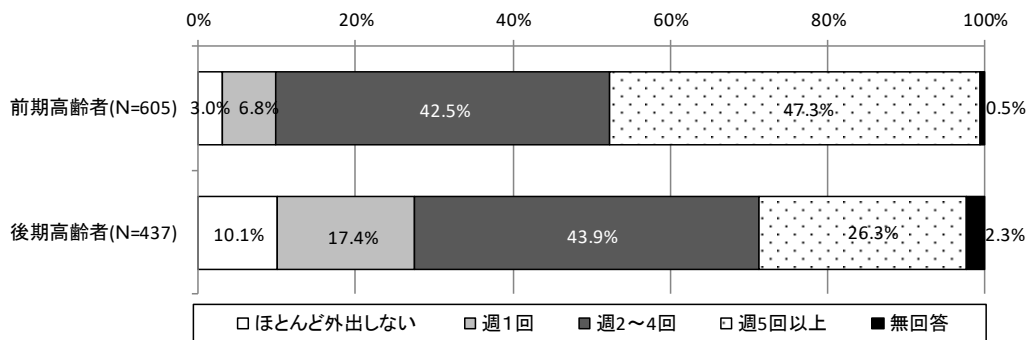
(6)週に1回以上は外出していますか

外出については、「週2～4回」が42.7%、「週5回以上」が38.7%となっています。

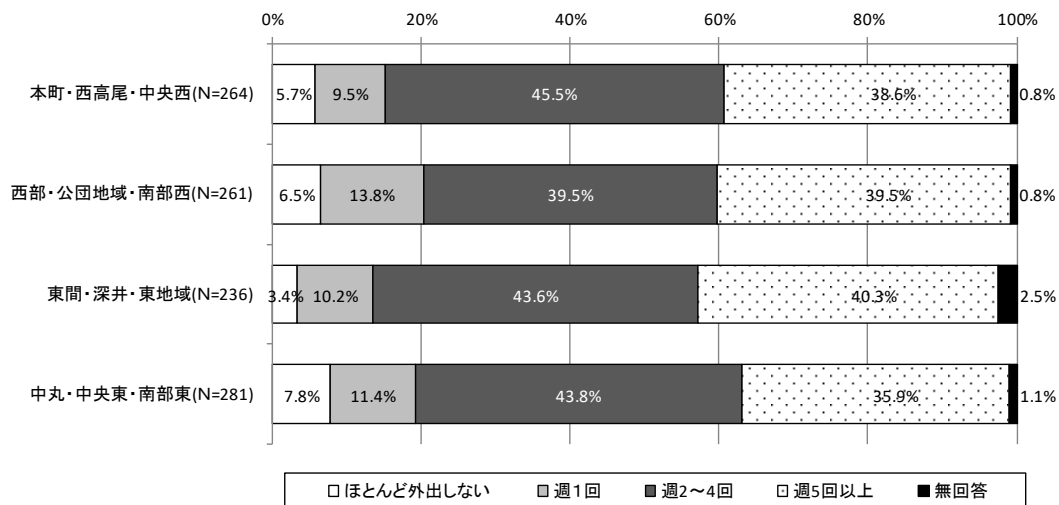


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------|-------|--------|
| ほとんど外出しない | 62 | 5.9% |
| 週1回 | 120 | 11.4% |
| 週2～4回 | 450 | 42.7% |
| 週5回以上 | 408 | 38.7% |
| 無回答 | 13 | 1.2% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

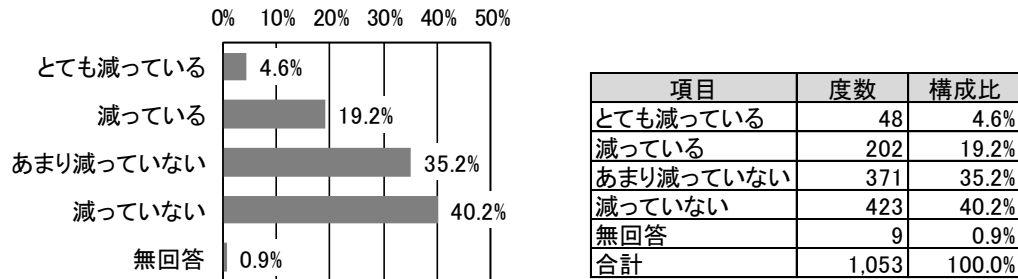


【圏域別クロス】

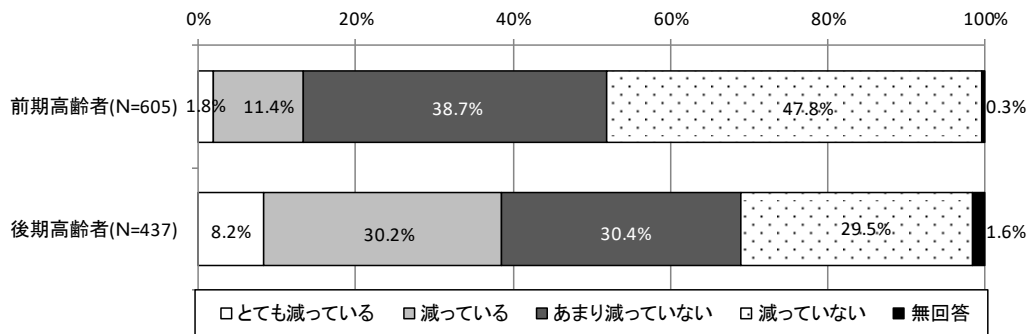


(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

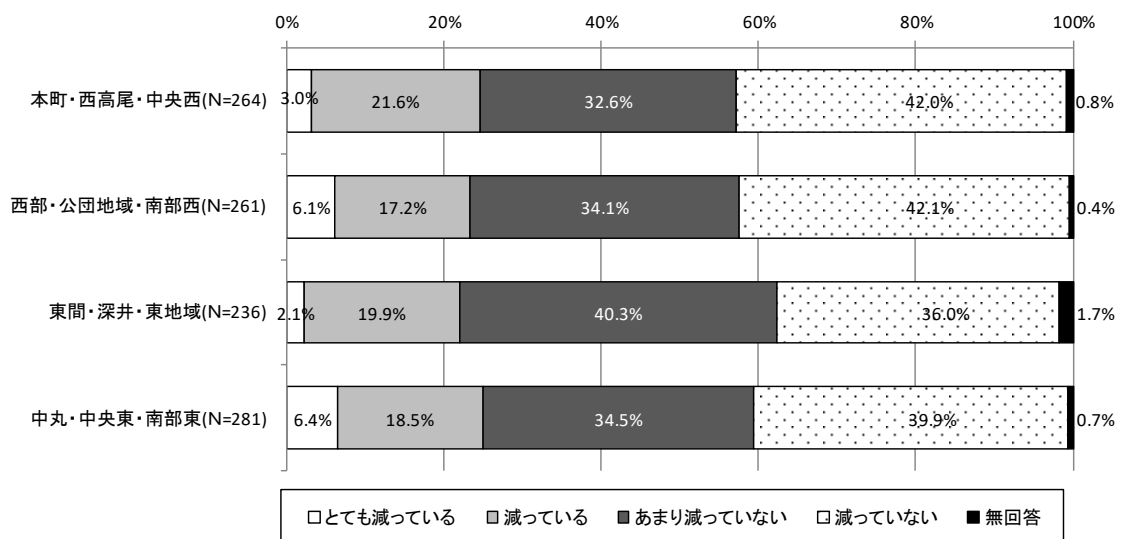
外出の回数については、「減っていない」が40.2%、「あまり減っていない」が35.2%となっています。



【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

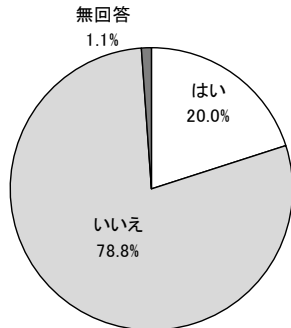


【圏域別クロス】



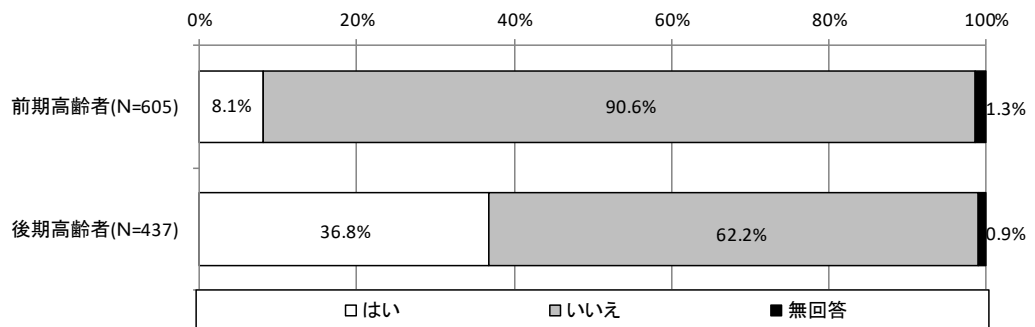
(8)外出を控えていますか

外出を控えているかについては、「はい」が20.0%、「いいえ」が78.8%となっています。

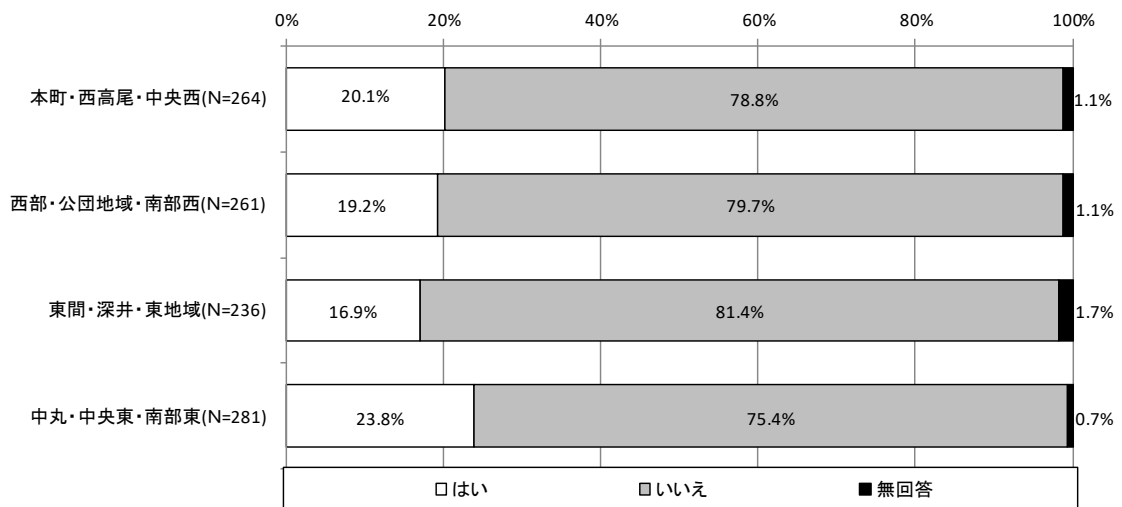


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|-------|--------|
| はい | 211 | 20.0% |
| いいえ | 830 | 78.8% |
| 無回答 | 12 | 1.1% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



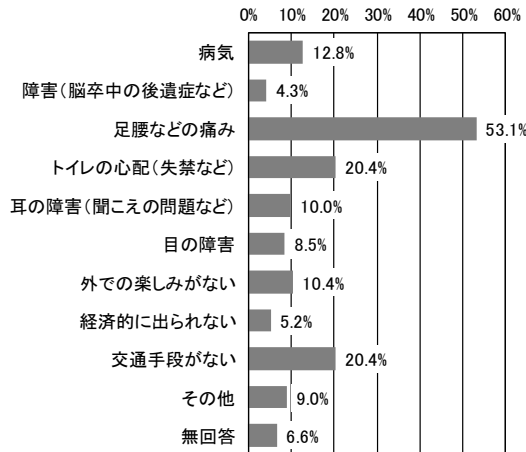
【圏域別クロス】



《(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ》

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

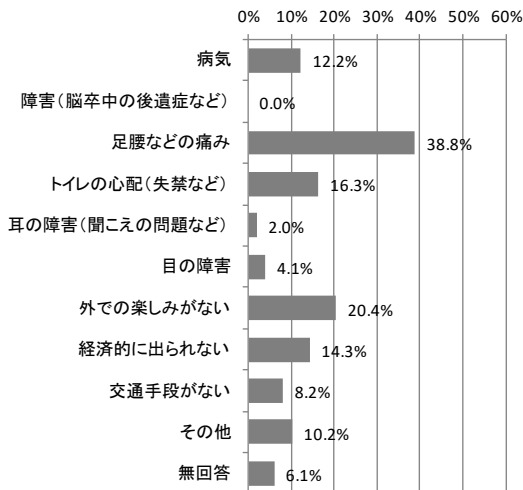
外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が53.1%、「トイレの心配(失禁など)」、「交通手段がない」が20.4%となっています。



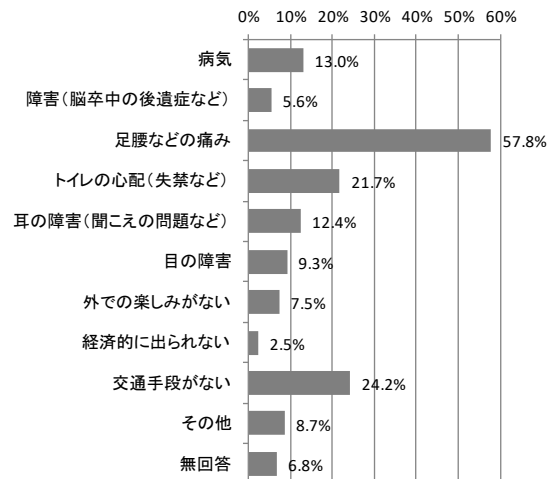
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------|-------|-------|
| 病気 | 27 | 12.8% |
| 障害(脳卒中の後遺症など) | 9 | 4.3% |
| 足腰などの痛み | 112 | 53.1% |
| トイレの心配(失禁など) | 43 | 20.4% |
| 耳の障害(聞こえの問題など) | 21 | 10.0% |
| 目の障害 | 18 | 8.5% |
| 外での楽しみがない | 22 | 10.4% |
| 経済的に出られない | 11 | 5.2% |
| 交通手段がない | 43 | 20.4% |
| その他 | 19 | 9.0% |
| 無回答 | 14 | 6.6% |
| 回答者数 | 211 | |
| 非該当 | 842 | |
| 合計 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=49)

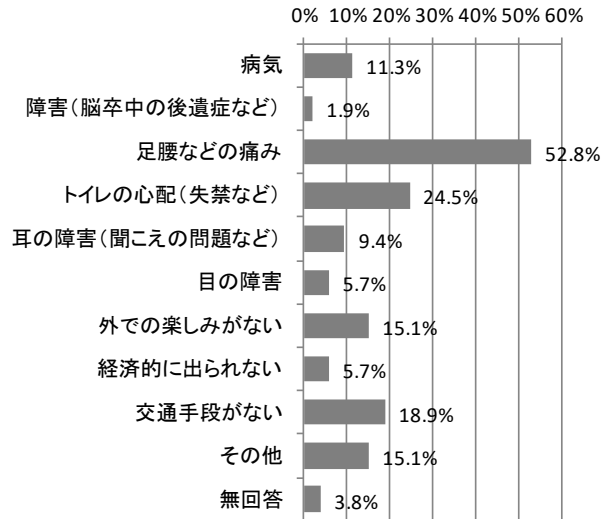


後期高齢者(N=161)

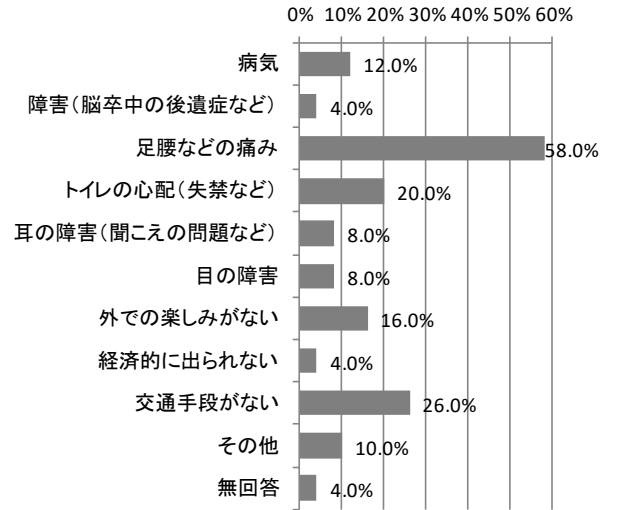


【圏域別クロス】

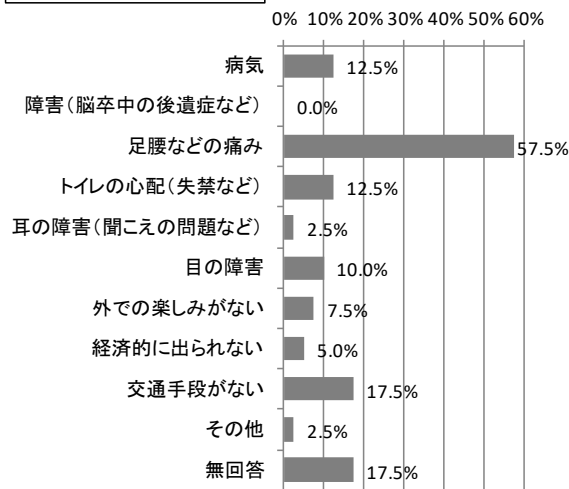
本町・西高尾・中央西(N=53)



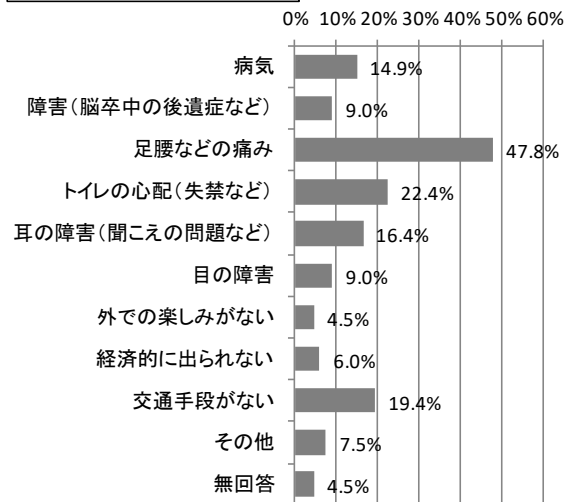
西部・公団地域・南部西(N=50)



東間・深井・東地域(N=40)

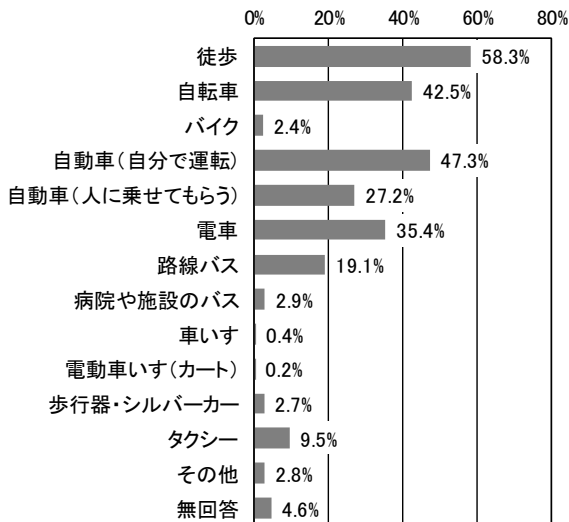


中丸・中央東・南部東(N=67)



(9)外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

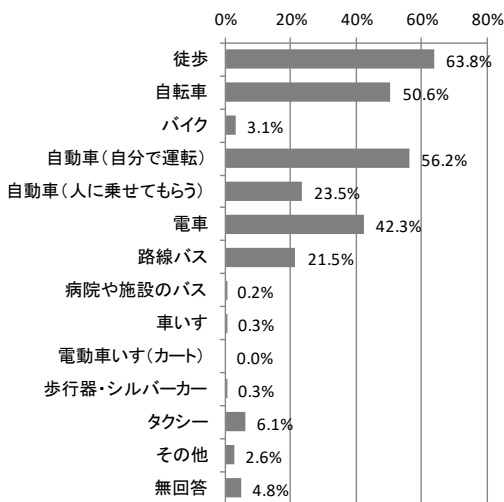
外出する際の移動手段については、「徒歩」が58.3%、「自動車(自分で運転)」が47.3%となっています。



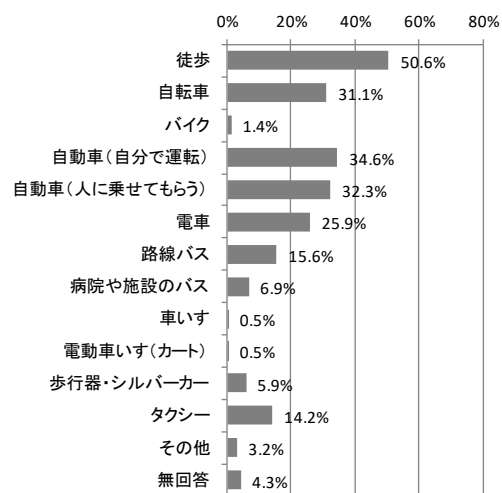
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------|-------|-------|
| 徒歩 | 614 | 58.3% |
| 自転車 | 448 | 42.5% |
| バイク | 25 | 2.4% |
| 自動車(自分で運転) | 498 | 47.3% |
| 自動車(人に乗せてもらう) | 286 | 27.2% |
| 電車 | 373 | 35.4% |
| 路線バス | 201 | 19.1% |
| 病院や施設のバス | 31 | 2.9% |
| 車いす | 4 | 0.4% |
| 電動車いす(カート) | 2 | 0.2% |
| 歩行器・シルバーカー | 28 | 2.7% |
| タクシー | 100 | 9.5% |
| その他 | 30 | 2.8% |
| 無回答 | 48 | 4.6% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

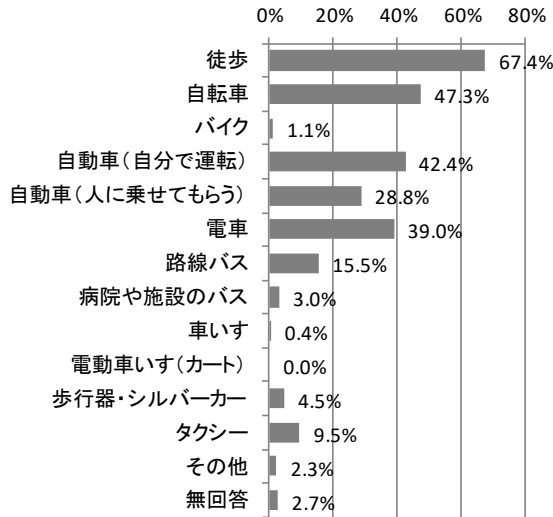


後期高齢者(N=437)

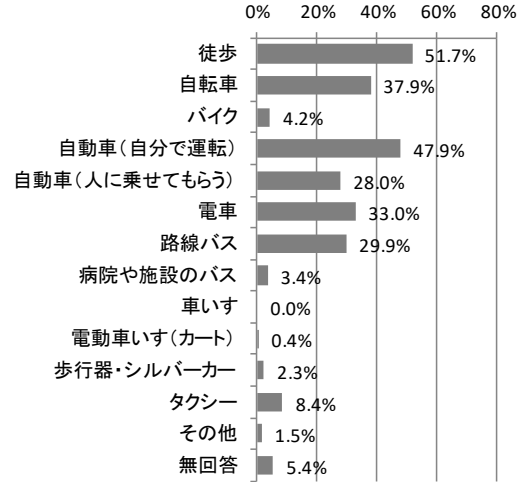


【圏域別クロス】

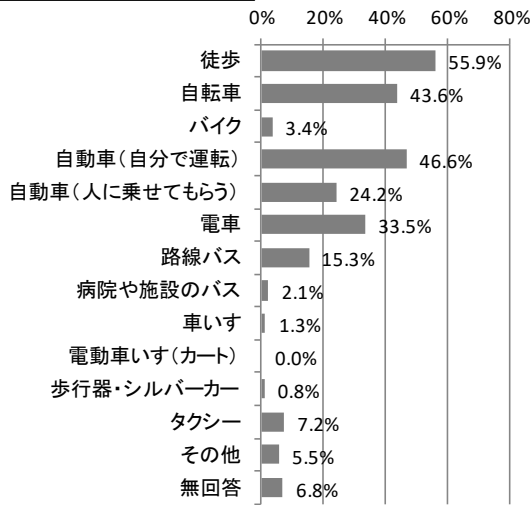
本町・西高尾・中央西(N=264)



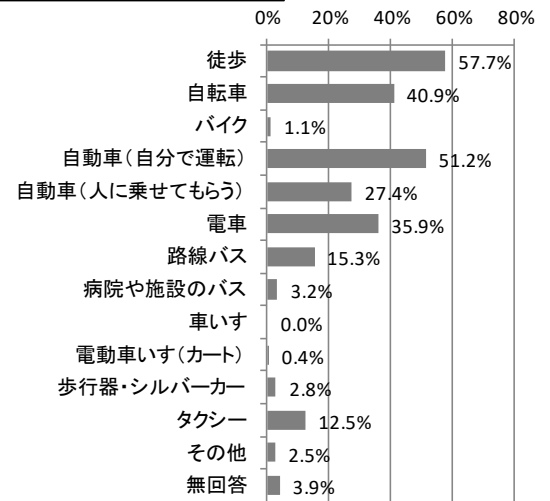
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)



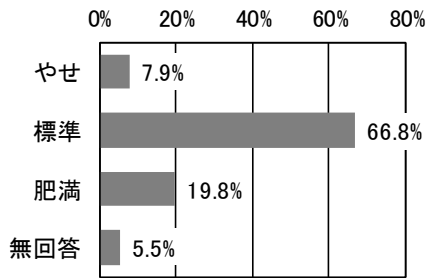
中丸・中央東・南部東(N=281)



【問3 食べることについて】

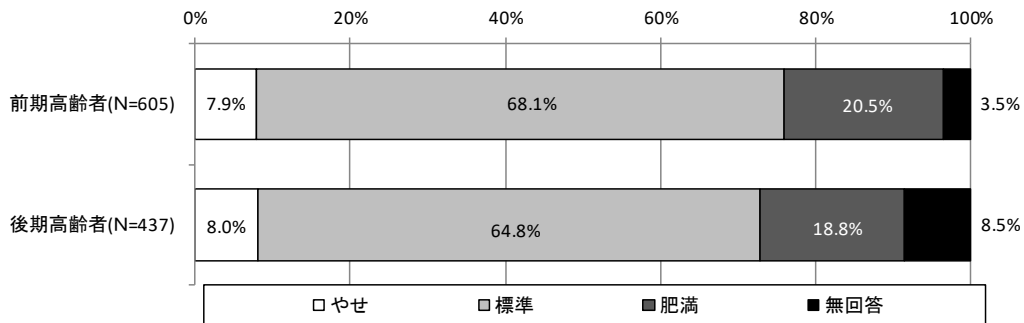
(1) 身長・体重

身長・体重によりBMIを算出し、BMI指標により分類すると、「標準」が66.8%、「肥満」が19.8%となっています。

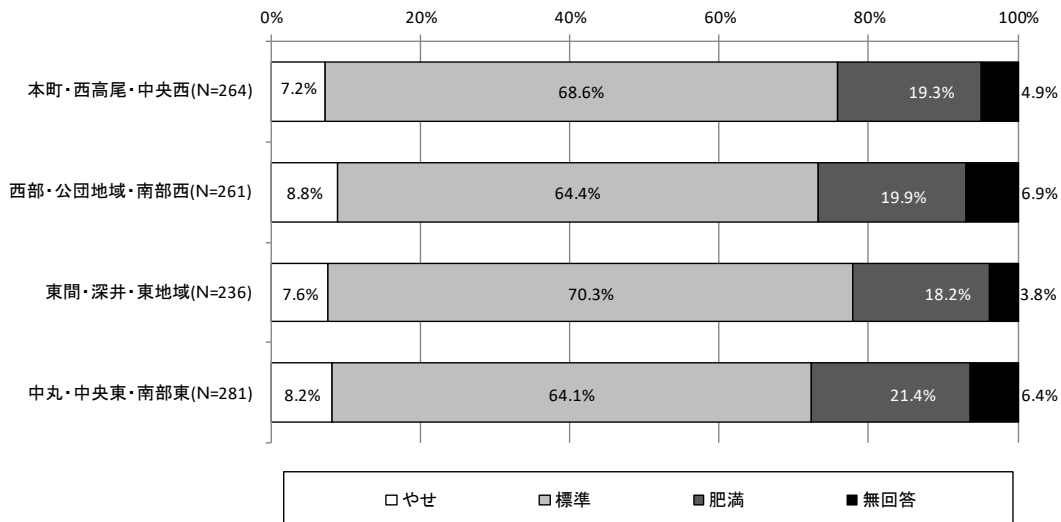


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|-------|--------|
| やせ | 83 | 7.9% |
| 標準 | 703 | 66.8% |
| 肥満 | 209 | 19.8% |
| 無回答 | 58 | 5.5% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



【圏域別クロス】



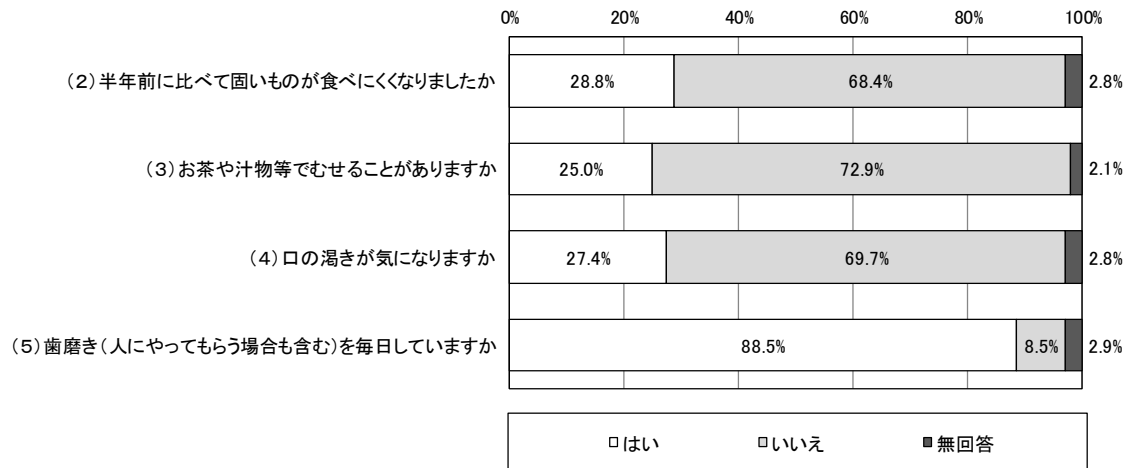
- (2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
 (3)お茶や汁物等でむせることがありますか
 (4)口の渇きが気になりますか
 (5)歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が28.8%、「いいえ」が68.4%となっています。

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が25.0%、「いいえ」が72.9%となっています。

口の渇きが気になるかについては、「はい」が27.4%、「いいえ」が69.7%となっています。

歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日しているかについては、「はい」が88.5%、「いいえ」が8.5%となっています。

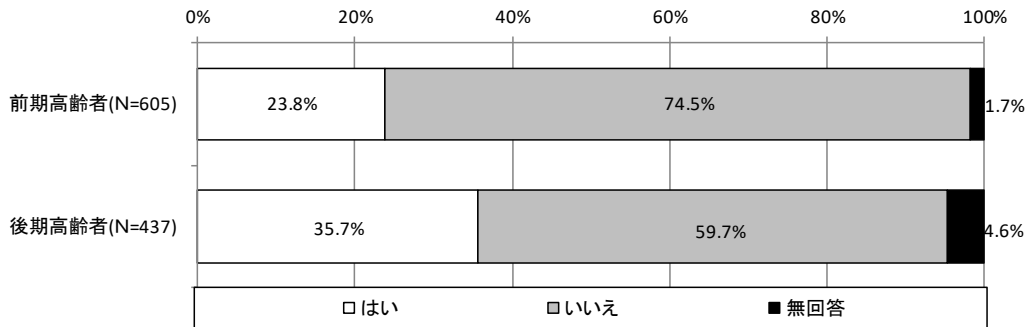


| 項目(度数) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-------|
| (2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか | 303 | 720 | 30 | 1,053 |
| (3)お茶や汁物等でむせることがありますか | 263 | 768 | 22 | 1,053 |
| (4)口の渇きが気になりますか | 289 | 734 | 30 | 1,053 |
| (5)歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか | 932 | 90 | 31 | 1,053 |

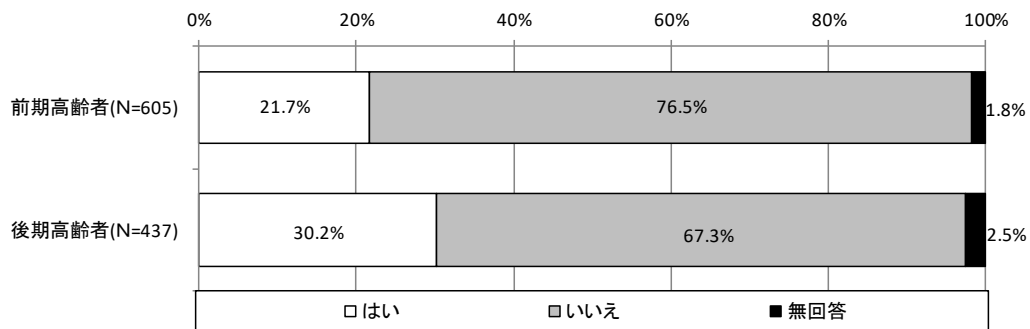
| 項目(構成比) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
|--------------------------------|-------|-------|------|--------|
| (2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか | 28.8% | 68.4% | 2.8% | 100.0% |
| (3)お茶や汁物等でむせることがありますか | 25.0% | 72.9% | 2.1% | 100.0% |
| (4)口の渇きが気になりますか | 27.4% | 69.7% | 2.8% | 100.0% |
| (5)歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか | 88.5% | 8.5% | 2.9% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

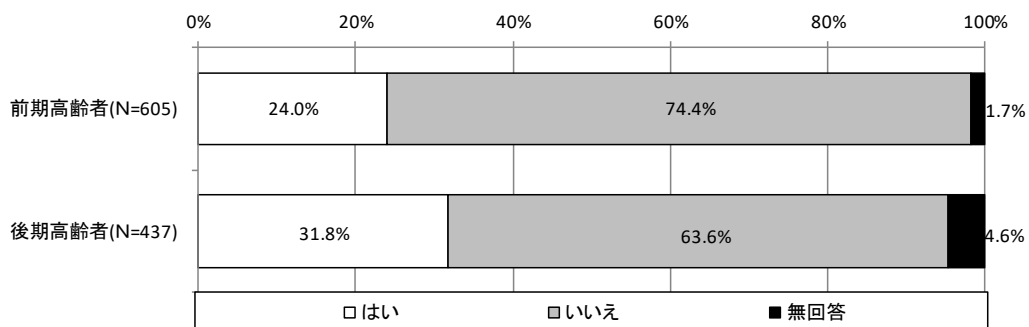
(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



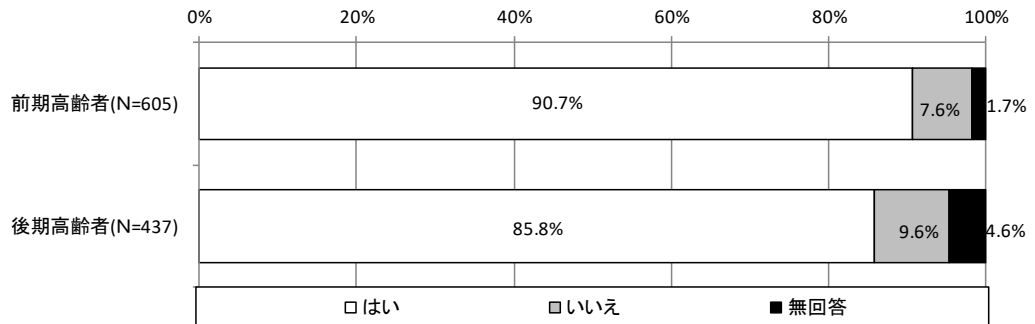
(3)お茶や汁物等でむせることがありますか



(4)口の渇きが気になりますか

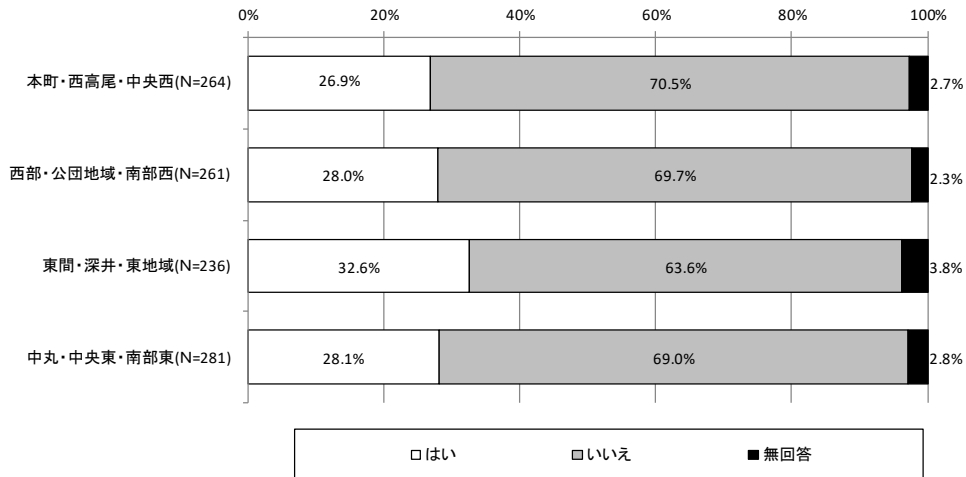


(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

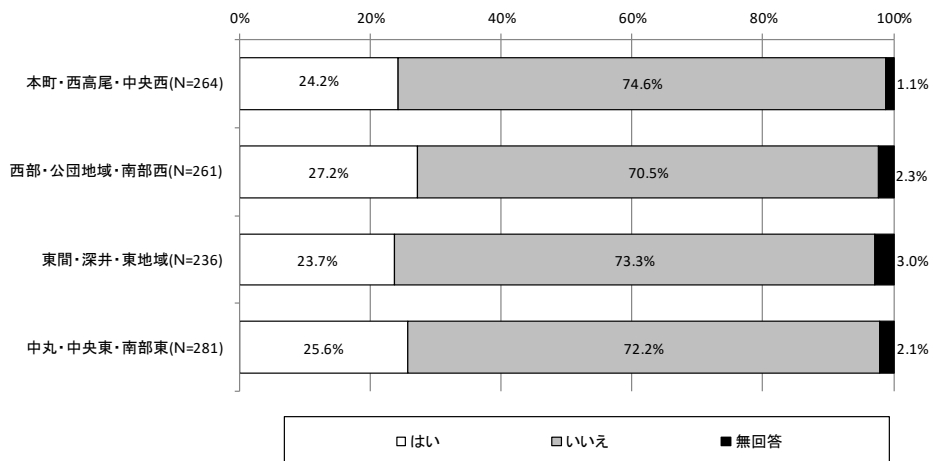


【圏域別クロス】

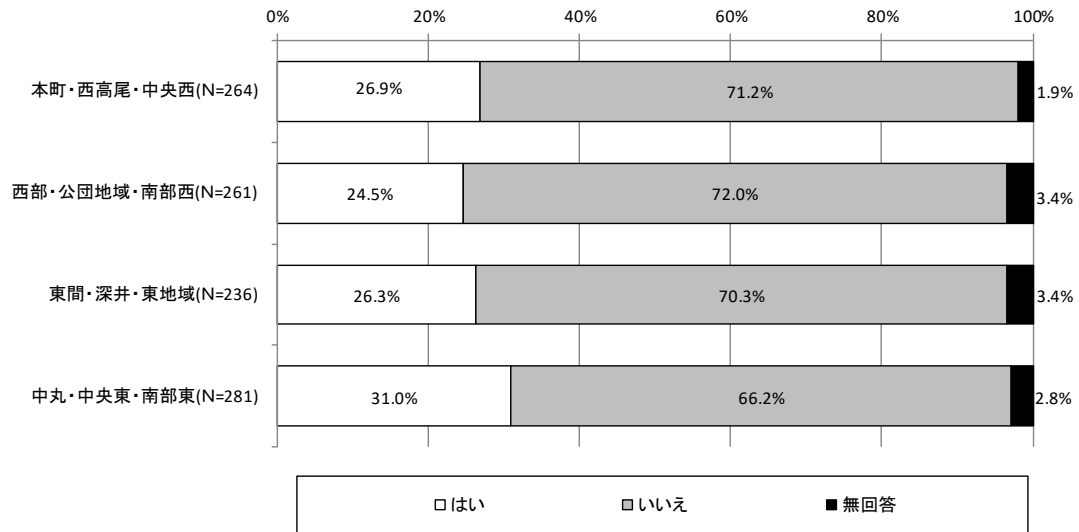
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



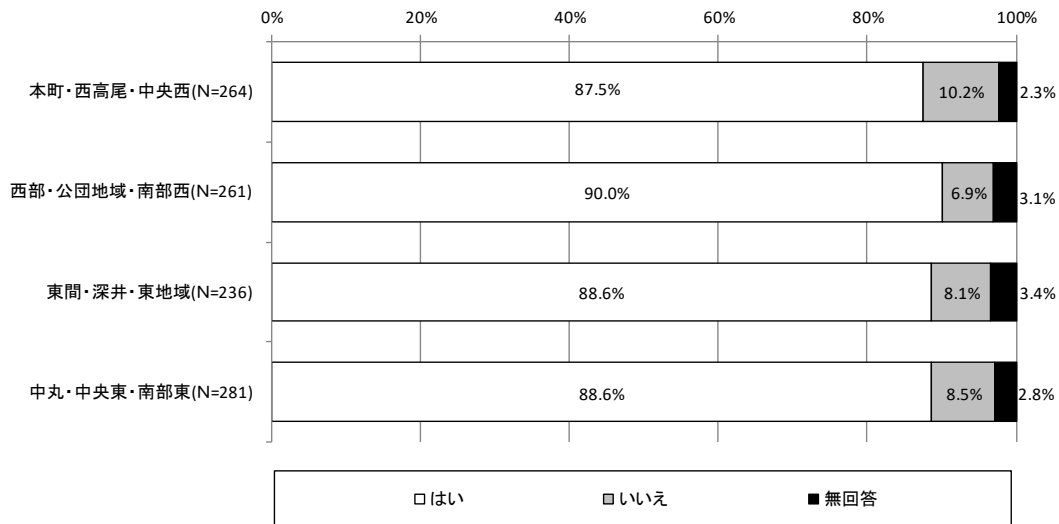
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか



(4) 口の渇きが気になりますか



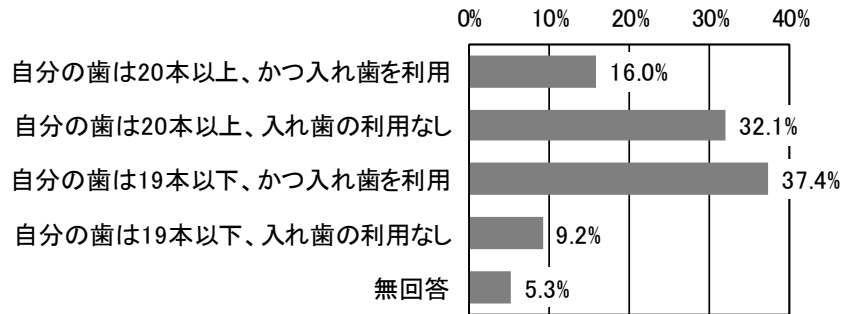
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

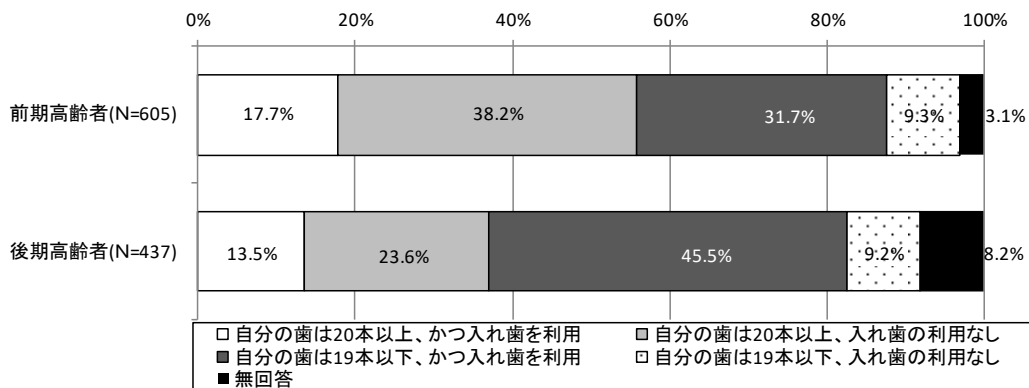
※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.4%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 32.1%となっています。

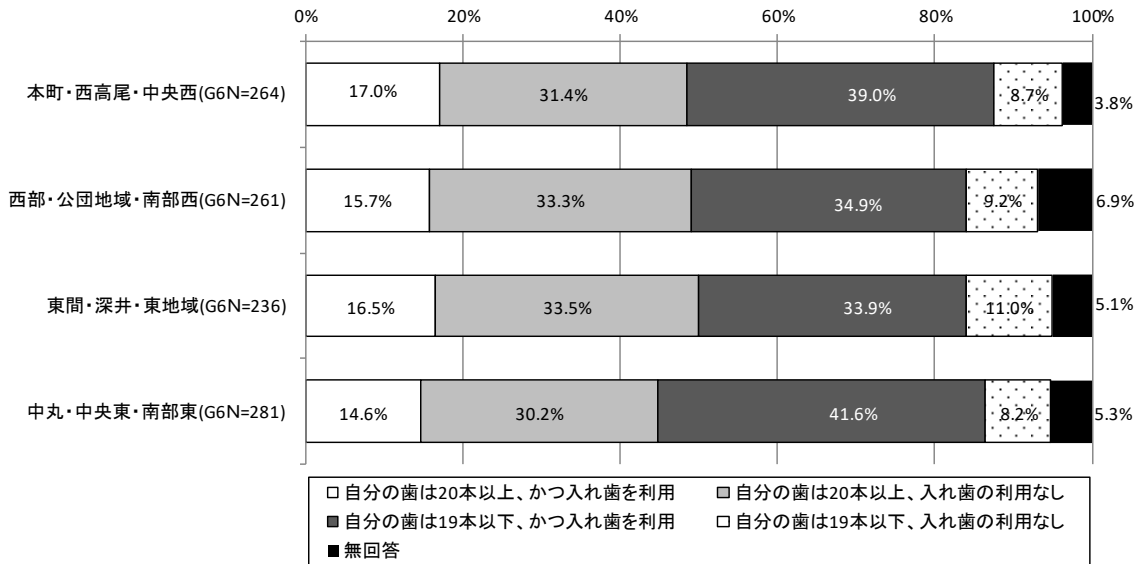


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------|-------|--------|
| 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 168 | 16.0% |
| 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし | 338 | 32.1% |
| 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | 394 | 37.4% |
| 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし | 97 | 9.2% |
| 無回答 | 56 | 5.3% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

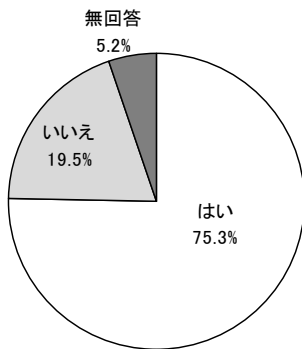


【圏域別クロス】



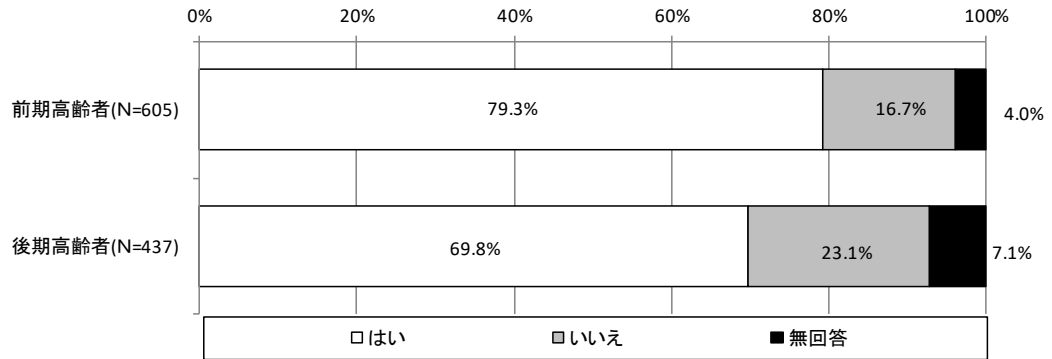
①噛み合わせは良いですか

噛み合わせが良いかについては、「はい」が75.3%、「いいえ」が19.5%となっています。

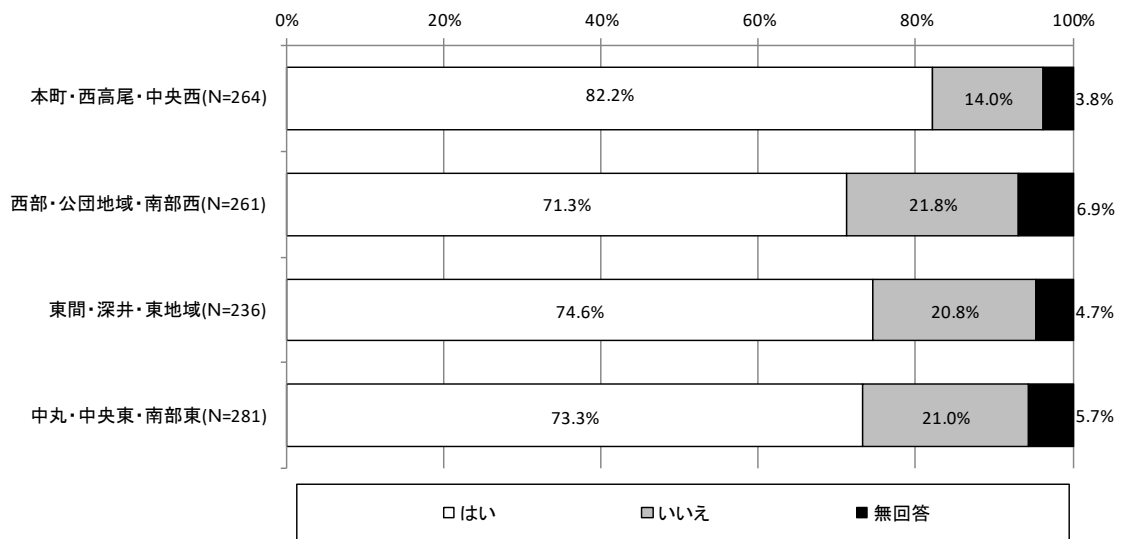


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|-------|--------|
| はい | 793 | 75.3% |
| いいえ | 205 | 19.5% |
| 無回答 | 55 | 5.2% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



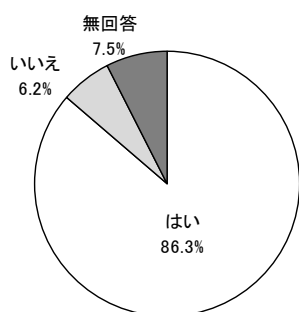
【圏域別クロス】



《(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ》

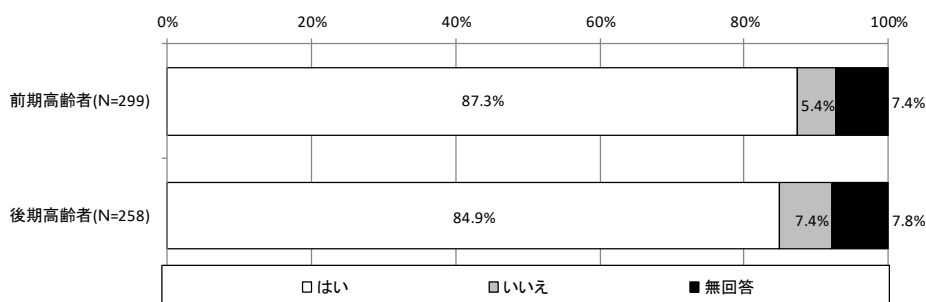
②毎日入れ歯の手入れをしていますか

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が86.3%、「いいえ」が6.2%となっています。

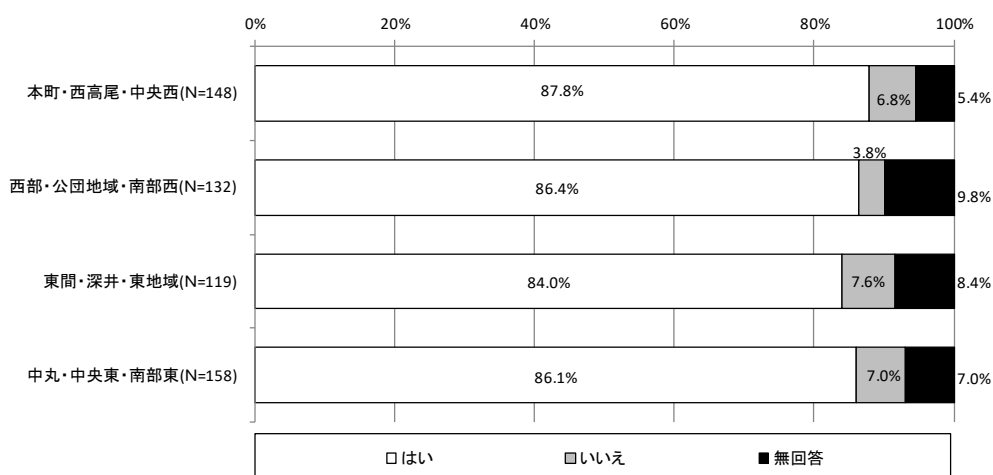


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------|-------|--------|
| はい | 485 | 86.3% |
| いいえ | 35 | 6.2% |
| 無回答 | 42 | 7.5% |
| 回答者数 | 562 | 100.0% |
| 非該当 | 491 | |
| 合計 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

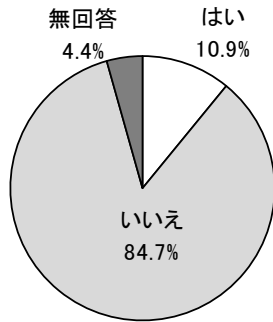


【圏域別クロス】



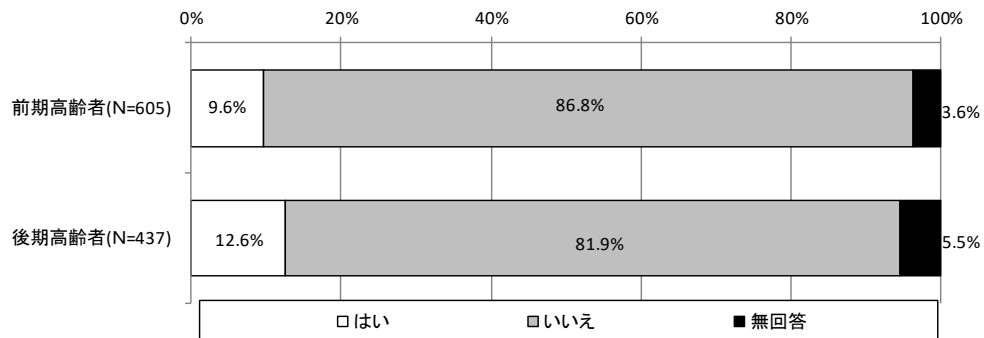
(7)6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が10.9%、「いいえ」が84.7%となっています。

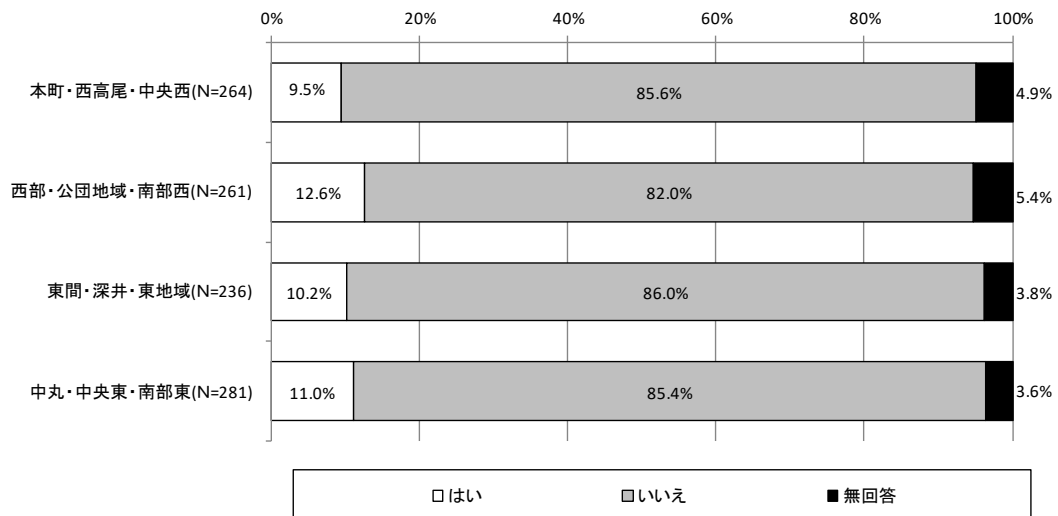


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|-------|--------|
| はい | 115 | 10.9% |
| いいえ | 892 | 84.7% |
| 無回答 | 46 | 4.4% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

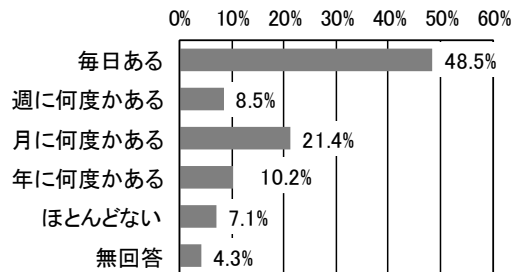


【圏域別クロス】



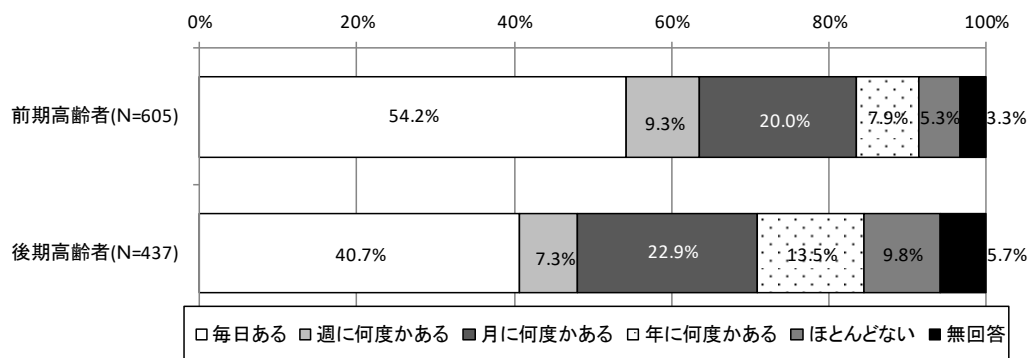
(8)どなたかと食事をとにもする機会がありますか

食事の機会については、「毎日ある」が48.5%、「月に何度かある」が21.4%となっています。

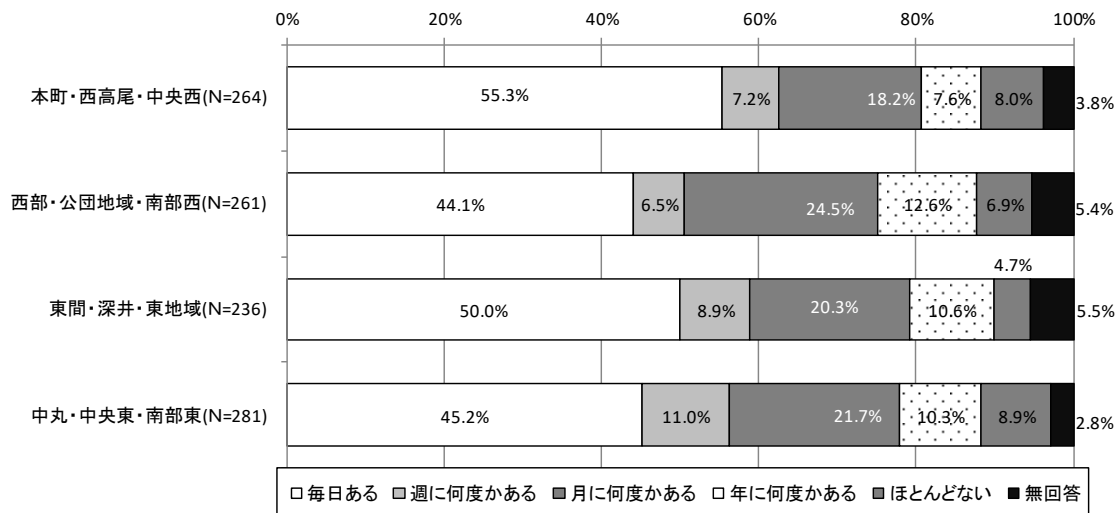


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-------|--------|
| 毎日ある | 511 | 48.5% |
| 週に何度かある | 90 | 8.5% |
| 月に何度かある | 225 | 21.4% |
| 年に何度かある | 107 | 10.2% |
| ほとんどない | 75 | 7.1% |
| 無回答 | 45 | 4.3% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



【圏域別クロス】



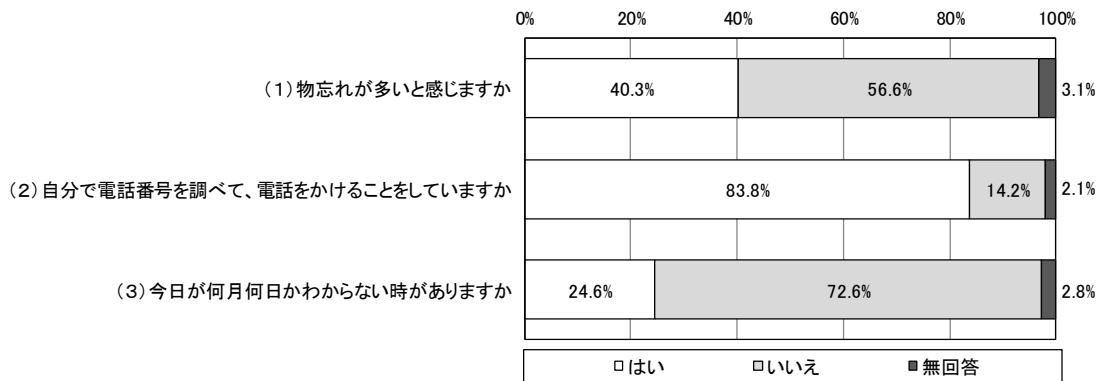
【問4 毎日の生活について】

- (1)物忘れが多いと感じますか
 (2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
 (3)今日が何月何日かわからない時がありますか

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が40.3%、「いいえ」が56.6%となっています。

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が83.8%、「いいえ」が14.2%となっています。

日付がわからない時があるかについては、「はい」が24.6%、「いいえ」が72.6%となっています。

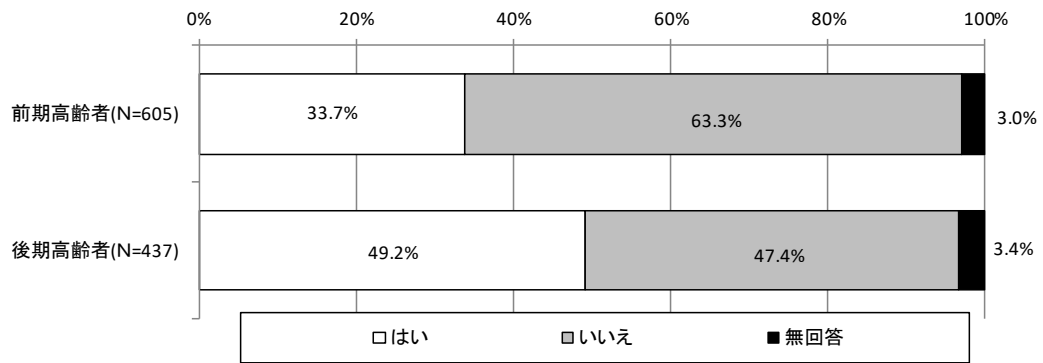


| 項目(度数) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-------|
| (1)物忘れが多いと感じますか | 424 | 596 | 33 | 1,053 |
| (2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか | 882 | 149 | 22 | 1,053 |
| (3)今日が何月何日かわからない時がありますか | 259 | 765 | 29 | 1,053 |

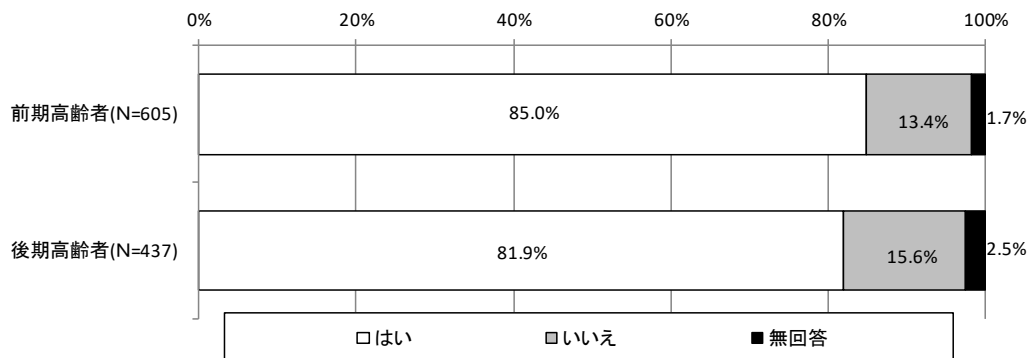
| 項目(構成比) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
|--------------------------------|-------|-------|------|--------|
| (1)物忘れが多いと感じますか | 40.3% | 56.6% | 3.1% | 100.0% |
| (2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか | 83.8% | 14.2% | 2.1% | 100.0% |
| (3)今日が何月何日かわからない時がありますか | 24.6% | 72.6% | 2.8% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

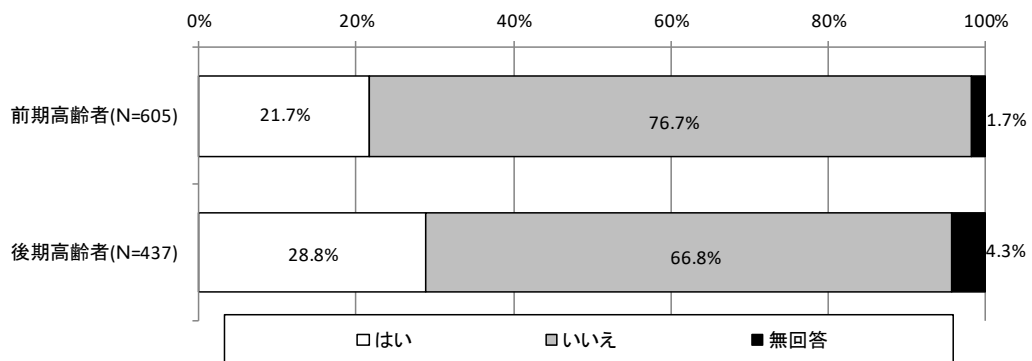
(1) 物忘れが多いと感じますか



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

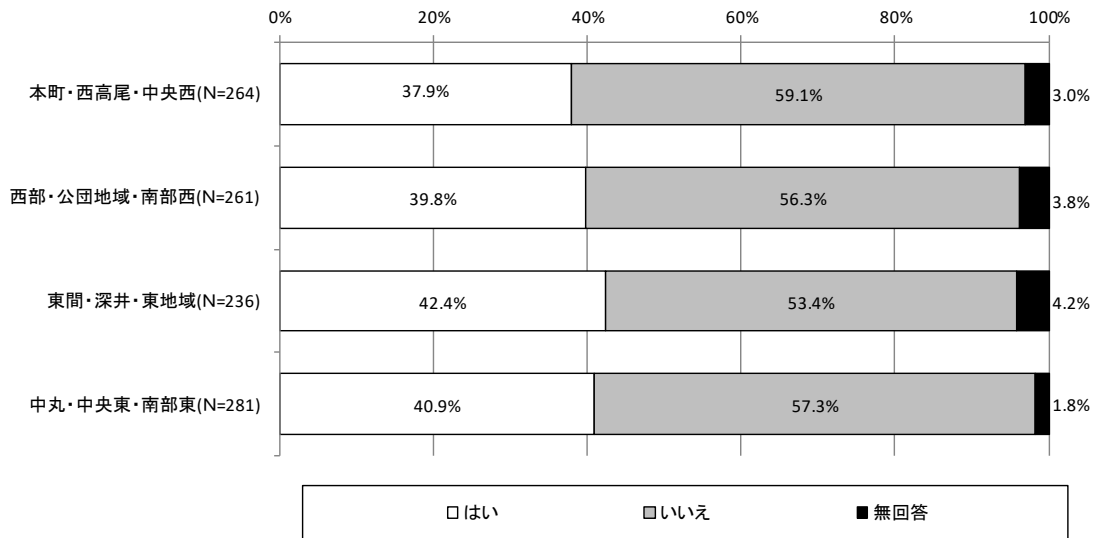


(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

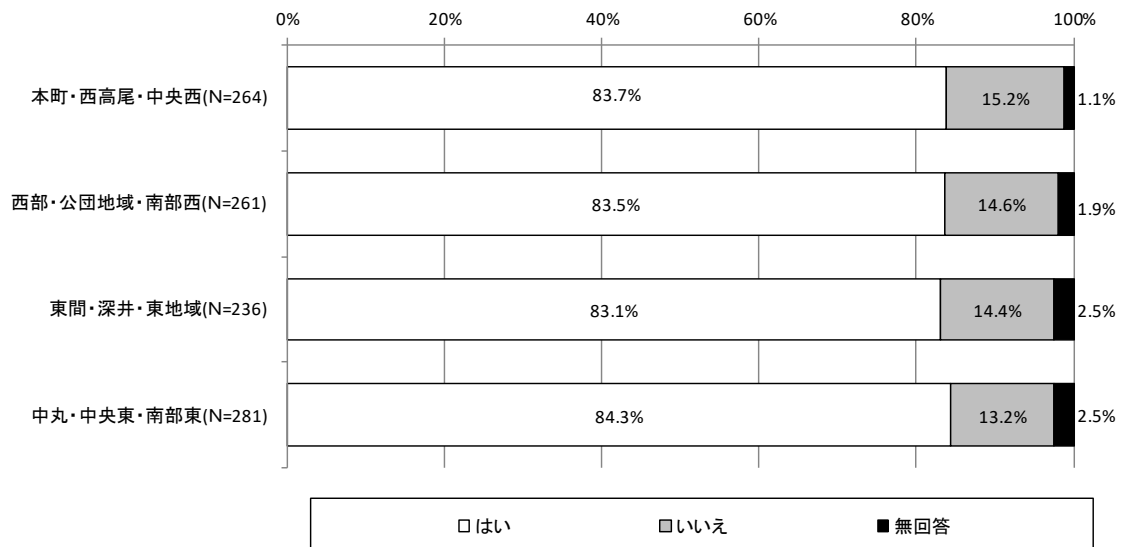


【圏域別クロス】

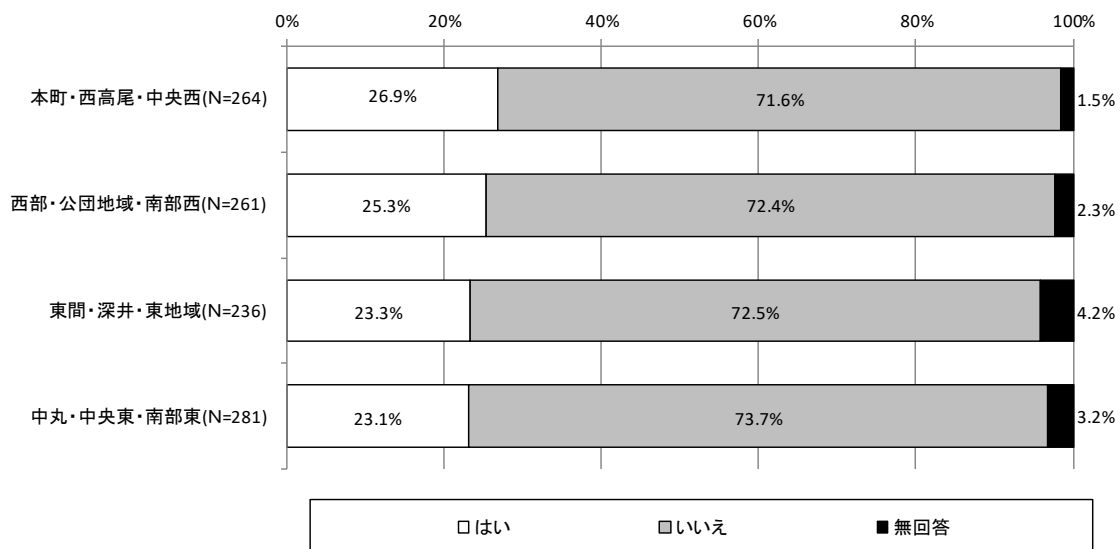
(1) 物忘れが多いと感じますか



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか



- (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)
 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか
 (6) 自分で食事の用意をしていますか
 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか
 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

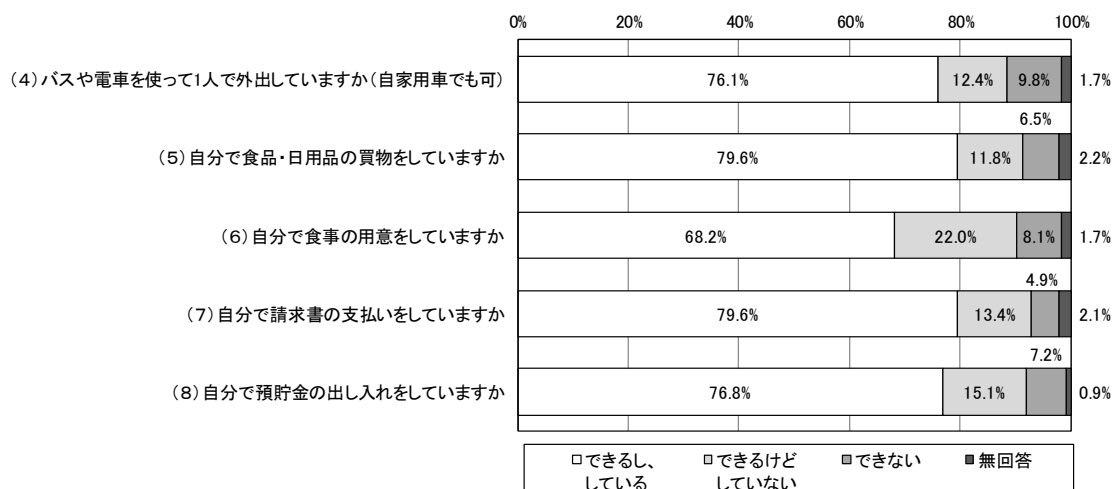
バスや電車を使って1人で外出しているか(自家用車でも可)については、「できるし、している」が76.1%、「できるけどしていない」が12.4%となっています。

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が79.6%、「できるけどしていない」が11.8%となっています。

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が68.2%、「できるけどしていない」が22.0%となっています。

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が79.6%、「できるけどしていない」が13.4%となっています。

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が76.8%、「できるけどしていない」が15.1%となっています。

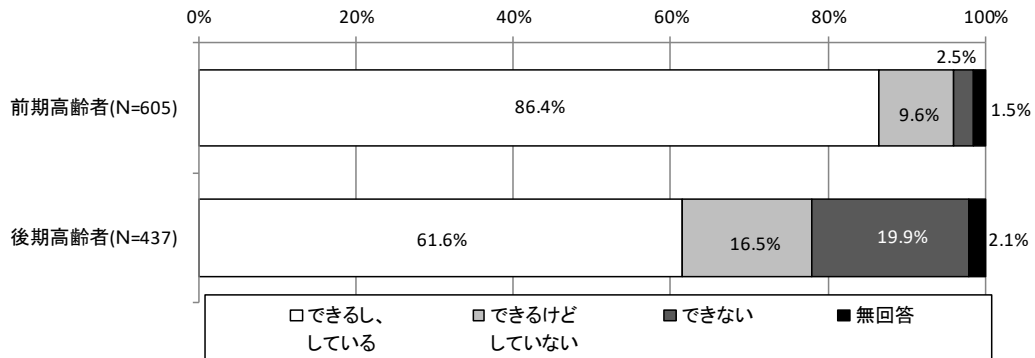


| 項目(度数) | できるし、している | できるけどしていない | できない | 無回答 | 合計 |
|-----------------------------------|-----------|------------|------|-----|-------|
| (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可) | 801 | 131 | 103 | 18 | 1,053 |
| (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか | 838 | 124 | 68 | 23 | 1,053 |
| (6) 自分で食事の用意をしていますか | 718 | 232 | 85 | 18 | 1,053 |
| (7) 自分で請求書の支払いをしていますか | 838 | 141 | 52 | 22 | 1,053 |
| (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか | 809 | 159 | 76 | 9 | 1,053 |

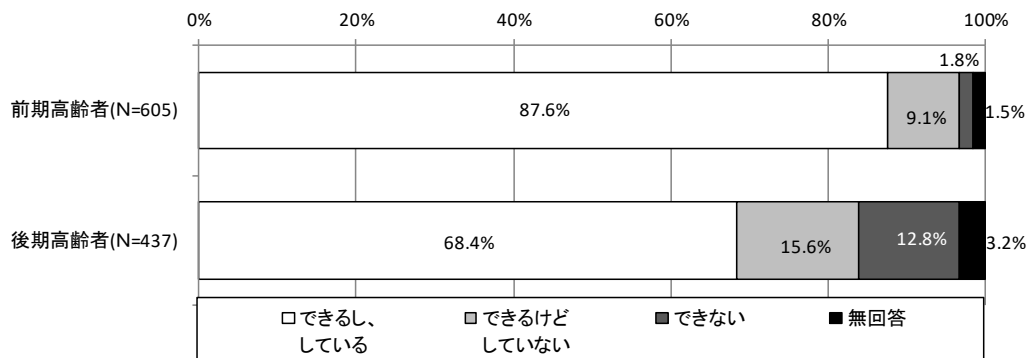
| 項目(構成比) | できるし、している | できるけどしていない | できない | 無回答 | 合計 |
|-----------------------------------|-----------|------------|------|------|--------|
| (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可) | 76.1% | 12.4% | 9.8% | 1.7% | 100.0% |
| (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか | 79.6% | 11.8% | 6.5% | 2.2% | 100.0% |
| (6) 自分で食事の用意をしていますか | 68.2% | 22.0% | 8.1% | 1.7% | 100.0% |
| (7) 自分で請求書の支払いをしていますか | 79.6% | 13.4% | 4.9% | 2.1% | 100.0% |
| (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか | 76.8% | 15.1% | 7.2% | 0.9% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

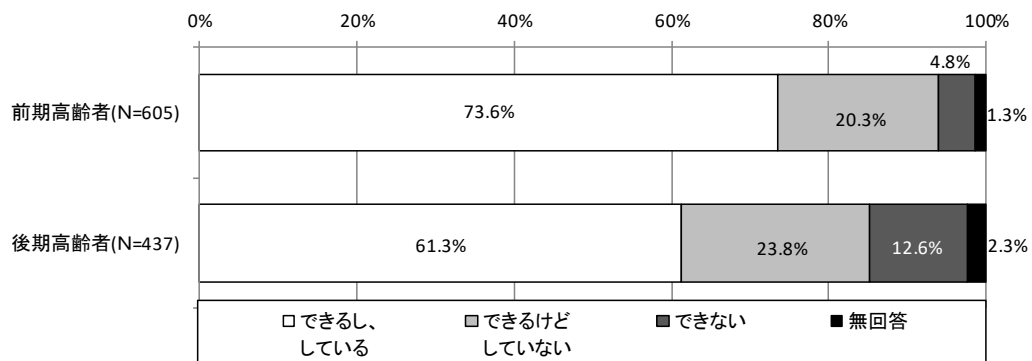
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)



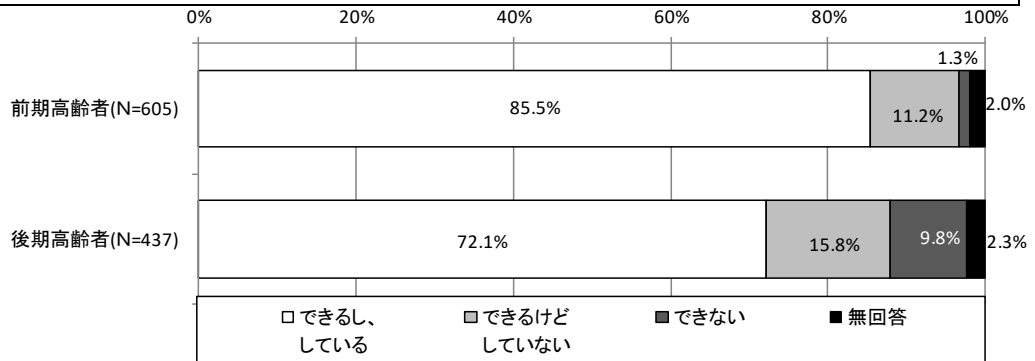
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか



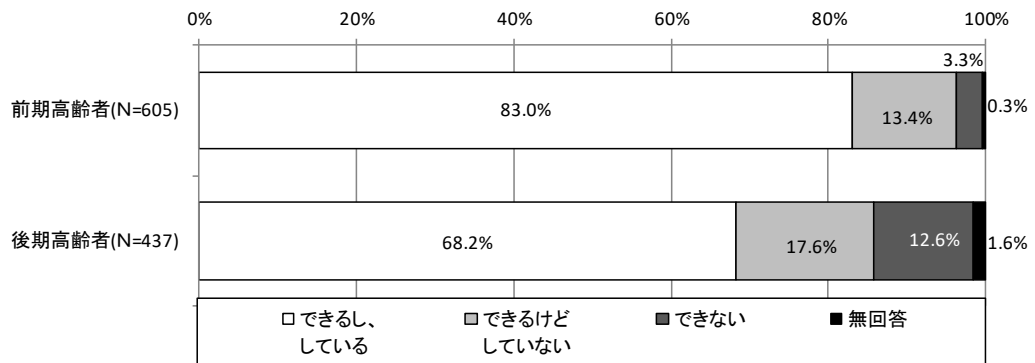
(6) 自分で食事の用意をしていますか



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

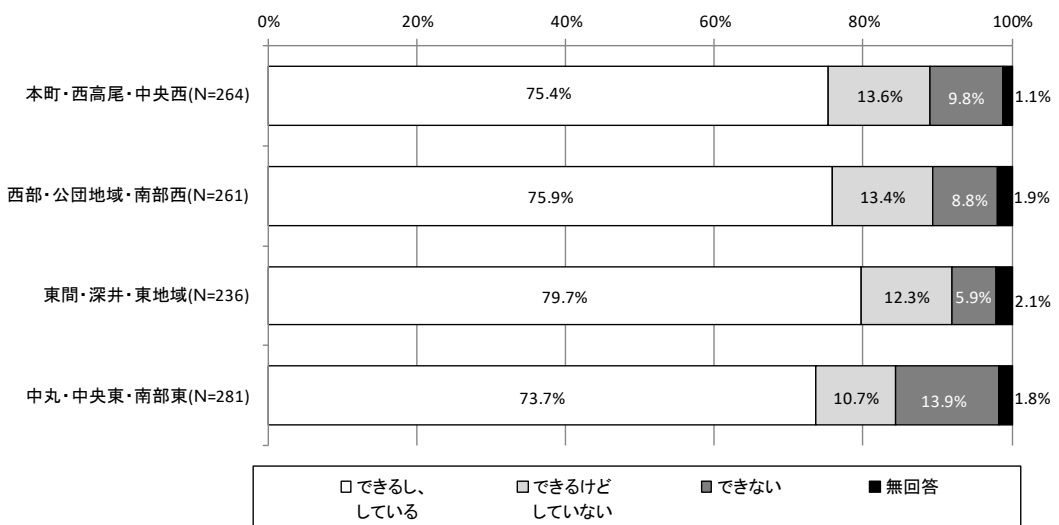


(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

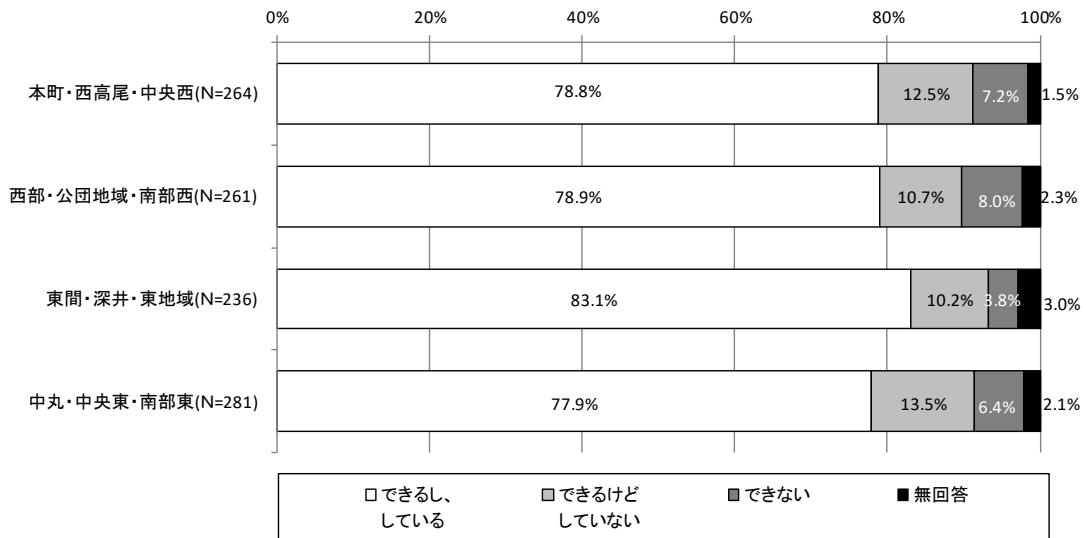


【圏域別クロス】

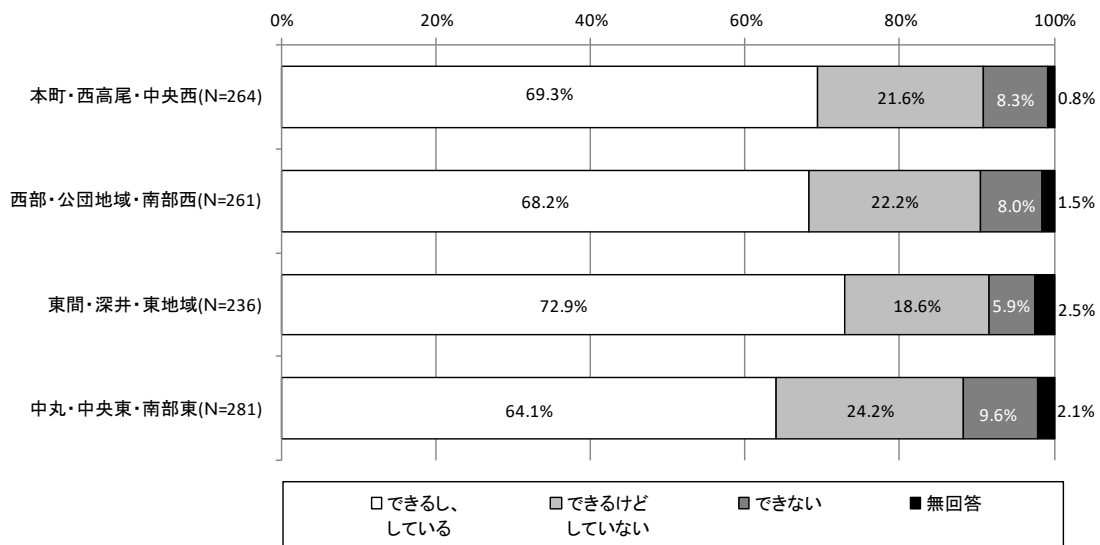
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)



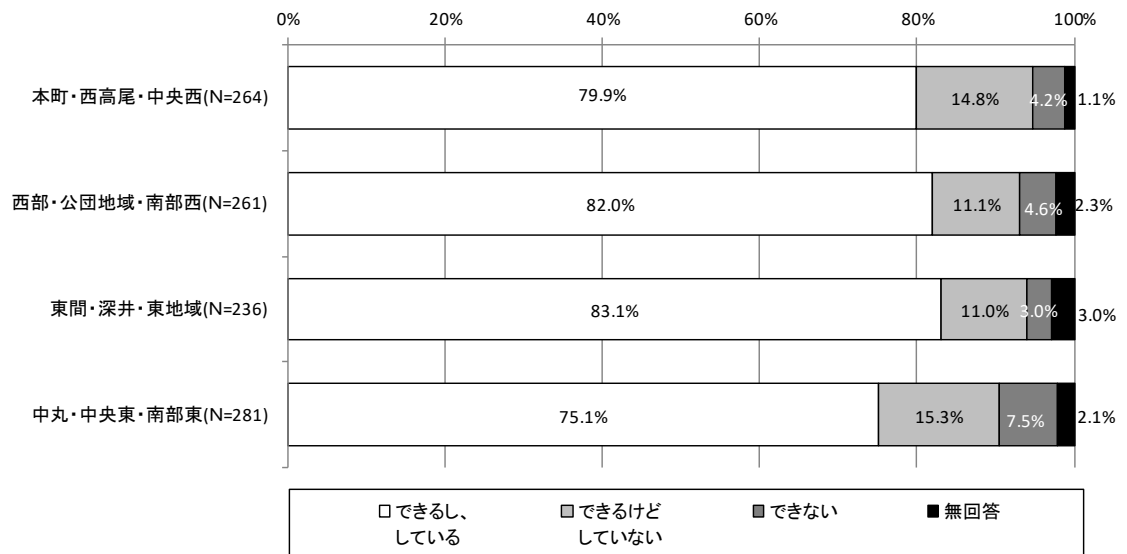
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか



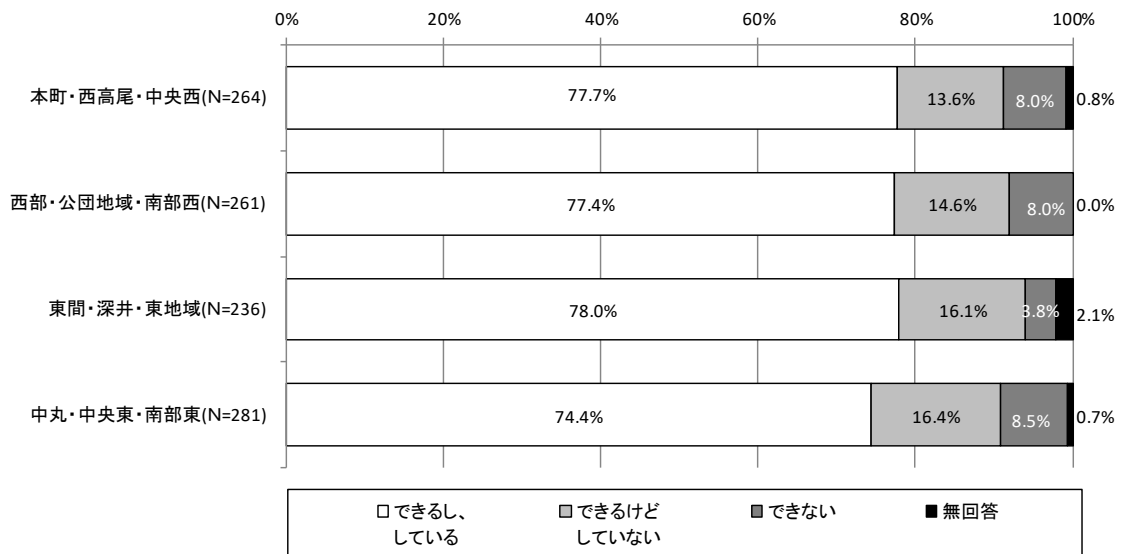
(6) 自分で食事の用意をしていますか



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか



(9)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

(10)新聞を読んでいますか

(11)本や雑誌を読んでいますか

(12)健康についての記事や番組に関心がありますか

(13)友人の家を訪ねていますか

(14)家族や友人の相談にのっていますか

(15)病人を見舞うことができますか

(16)若い人に自分から話しかけることがありますか

年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けるかについては、「はい」が88.3%、「いいえ」が10.5%となっています。

新聞を読んでいるかについては、「はい」が82.3%、「いいえ」が17.0%となっています。

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が71.9%、「いいえ」が26.8%となっています。

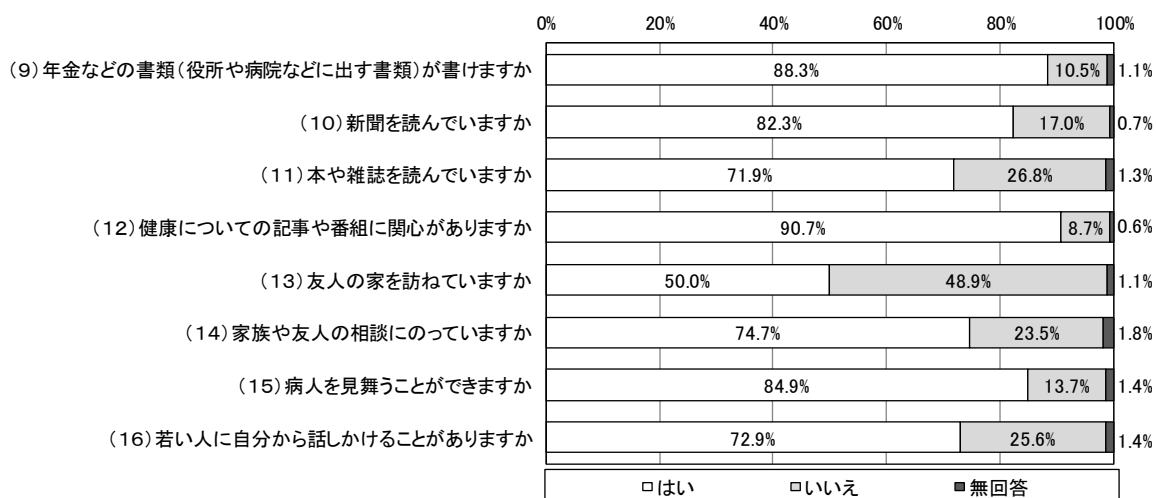
健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が90.7%、「いいえ」が8.7%となっています。

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が50.0%、「いいえ」が48.9%となっています。

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が74.7%、「いいえ」が23.5%となっています。

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が84.9%、「いいえ」が13.7%となっています。

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が72.9%、「いいえ」が25.6%となっています。

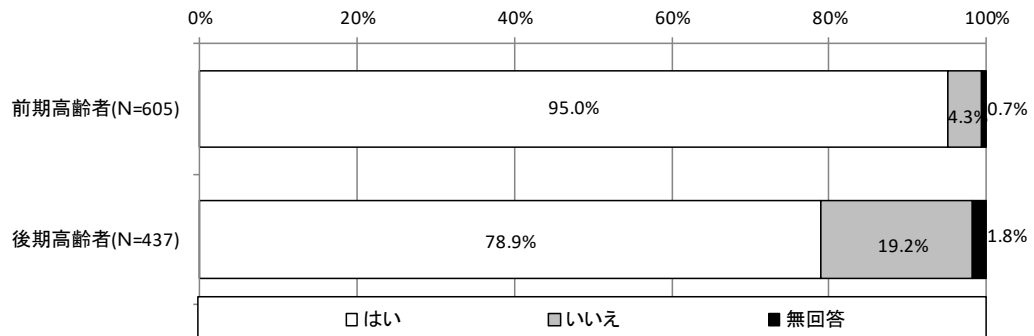


| 項目(度数) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-------|
| (9)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか | 930 | 111 | 12 | 1,053 |
| (10)新聞を読んでいますか | 867 | 179 | 7 | 1,053 |
| (11)本や雑誌を読んでいますか | 757 | 282 | 14 | 1,053 |
| (12)健康についての記事や番組に関心がありますか | 955 | 92 | 6 | 1,053 |
| (13)友人の家を訪ねていますか | 526 | 515 | 12 | 1,053 |
| (14)家族や友人の相談にのっていますか | 787 | 247 | 19 | 1,053 |
| (15)病人を見舞うことができますか | 894 | 144 | 15 | 1,053 |
| (16)若い人に自分から話しかけることができますか | 768 | 270 | 15 | 1,053 |

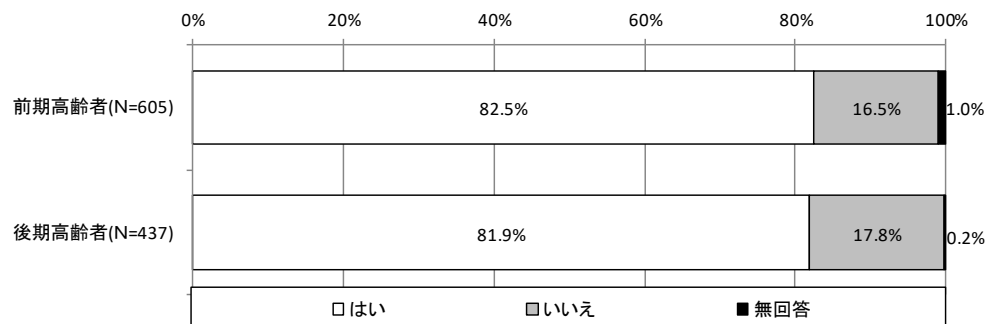
| 項目(構成比) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
|--------------------------------|-------|-------|------|--------|
| (9)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか | 88.3% | 10.5% | 1.1% | 100.0% |
| (10)新聞を読んでいますか | 82.3% | 17.0% | 0.7% | 100.0% |
| (11)本や雑誌を読んでいますか | 71.9% | 26.8% | 1.3% | 100.0% |
| (12)健康についての記事や番組に関心がありますか | 90.7% | 8.7% | 0.6% | 100.0% |
| (13)友人の家を訪ねていますか | 50.0% | 48.9% | 1.1% | 100.0% |
| (14)家族や友人の相談にのっていますか | 74.7% | 23.5% | 1.8% | 100.0% |
| (15)病人を見舞うことができますか | 84.9% | 13.7% | 1.4% | 100.0% |
| (16)若い人に自分から話しかけることができますか | 72.9% | 25.6% | 1.4% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

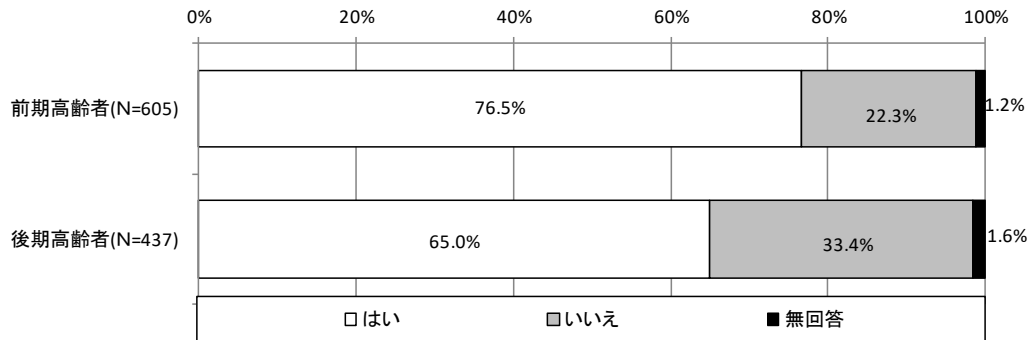
(9)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか



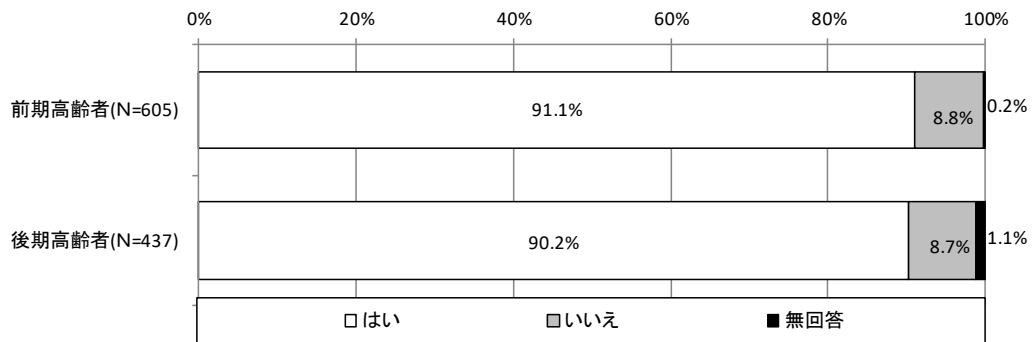
(10)新聞を読んでいますか



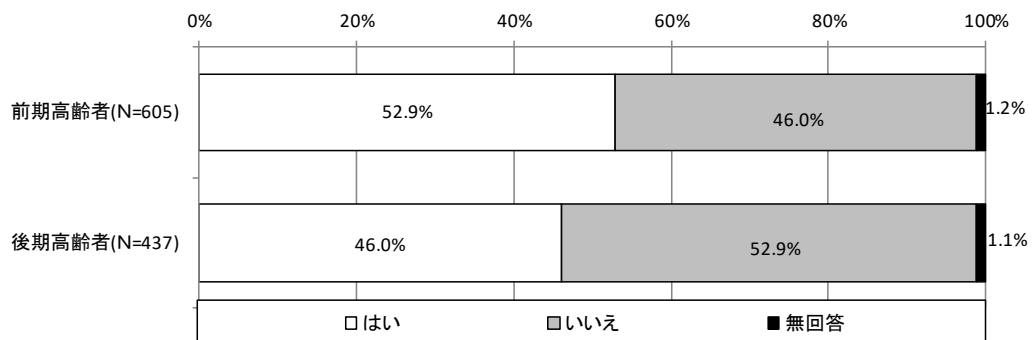
(11) 本や雑誌を読んでいますか



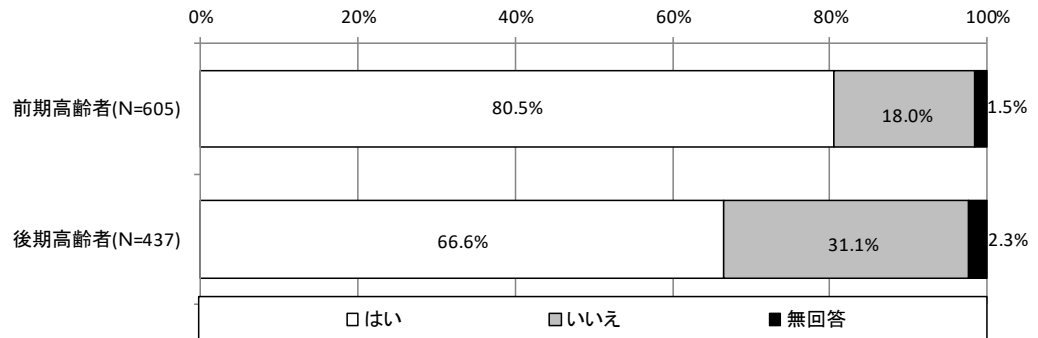
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか



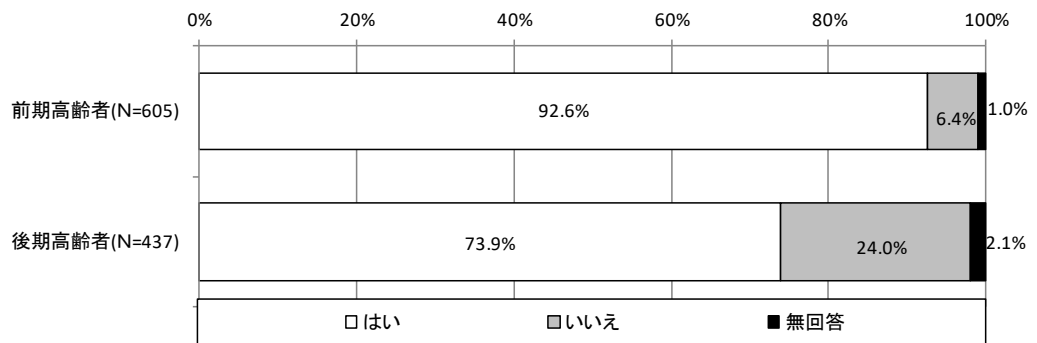
(13) 友人の家を訪ねていますか



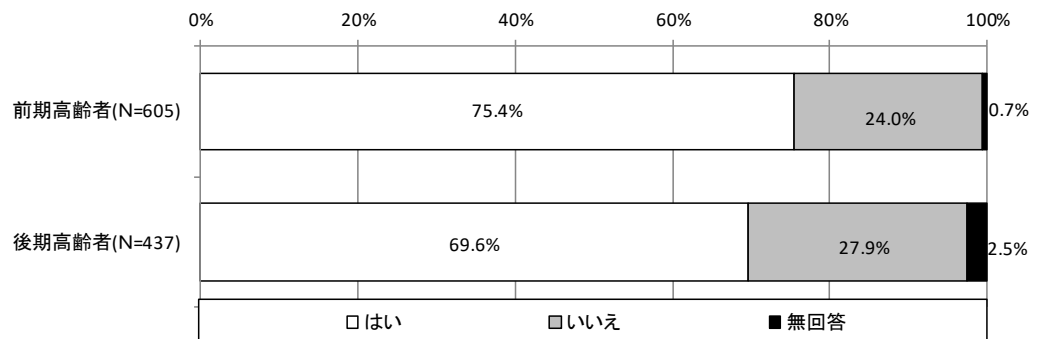
(14) 家族や友人の相談にのっていますか



(15) 病人を見舞うことができますか

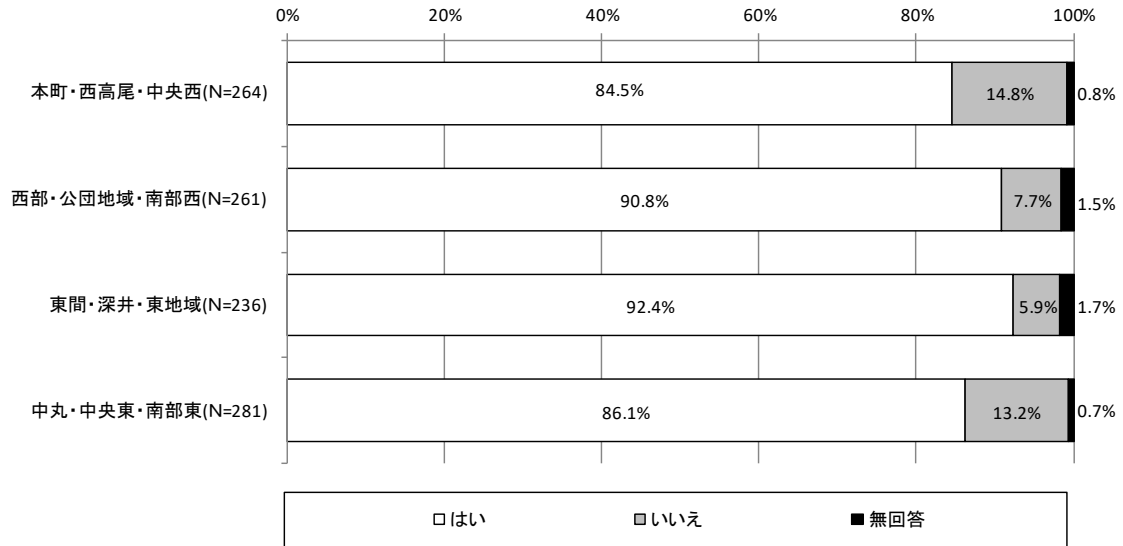


(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

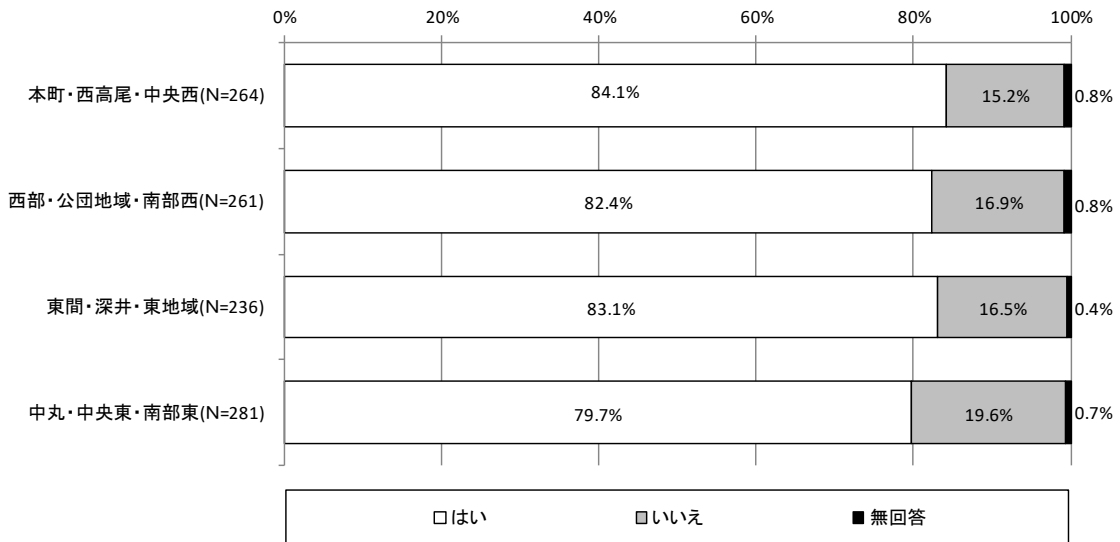


【圏域別クロス】

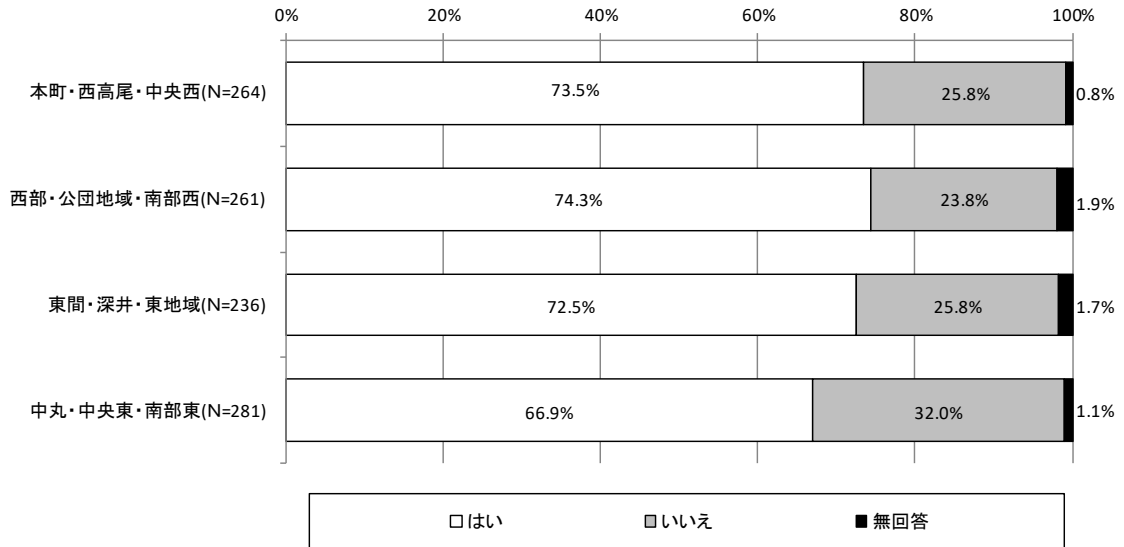
(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか



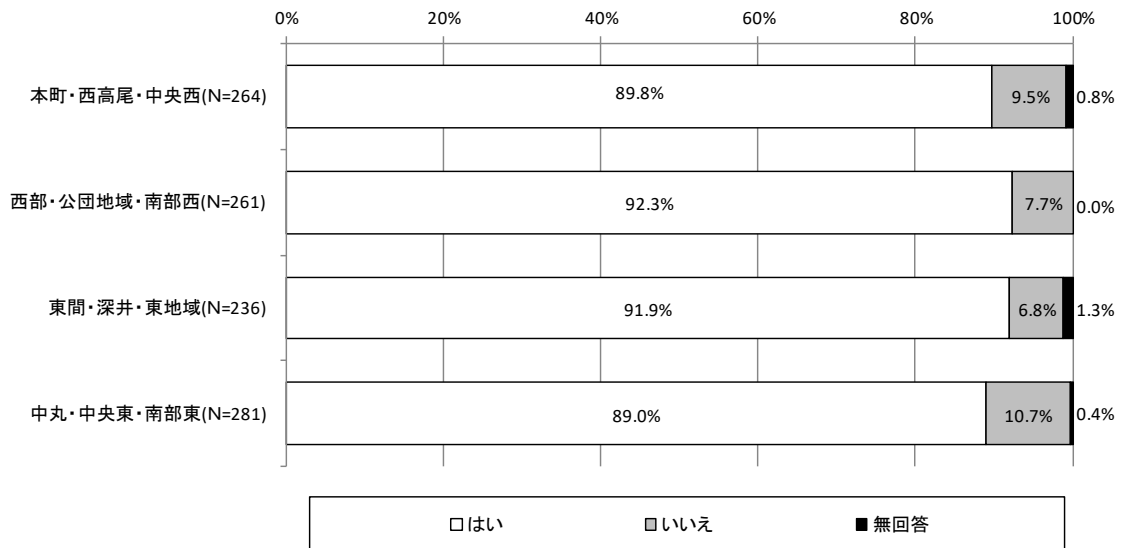
(10) 新聞を読んでいますか



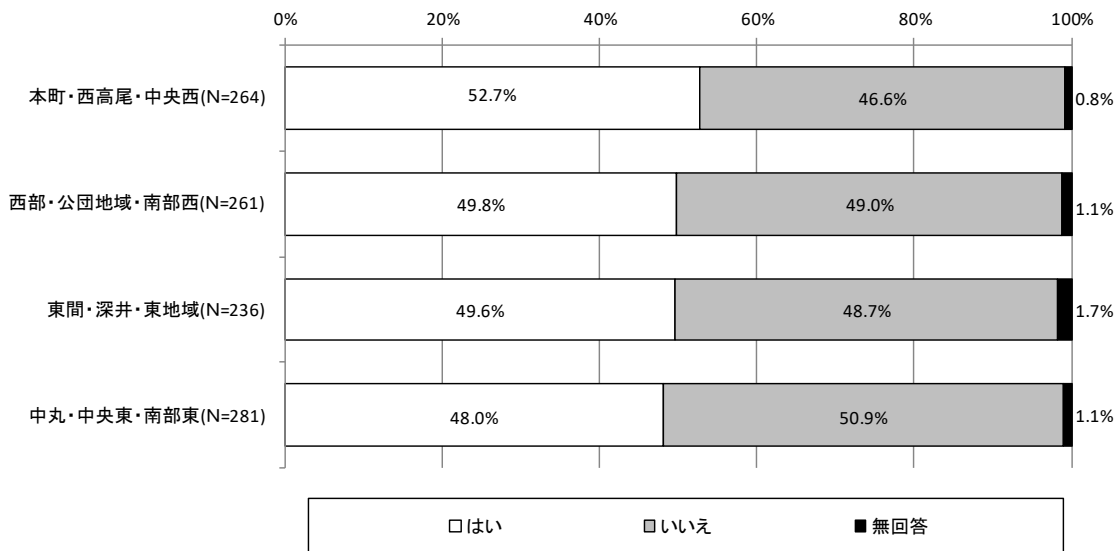
(11) 本や雑誌を読んでいますか



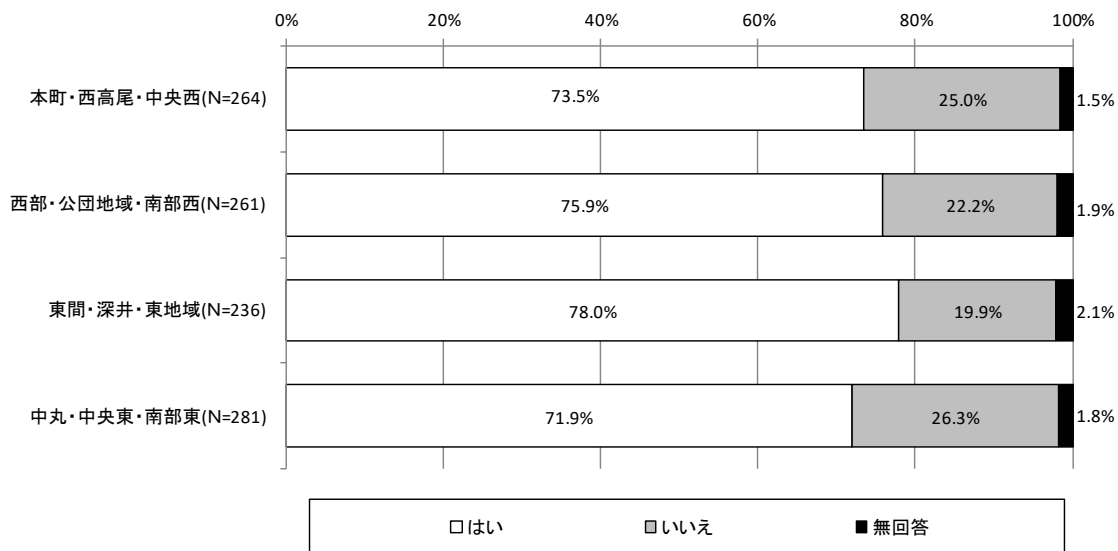
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか



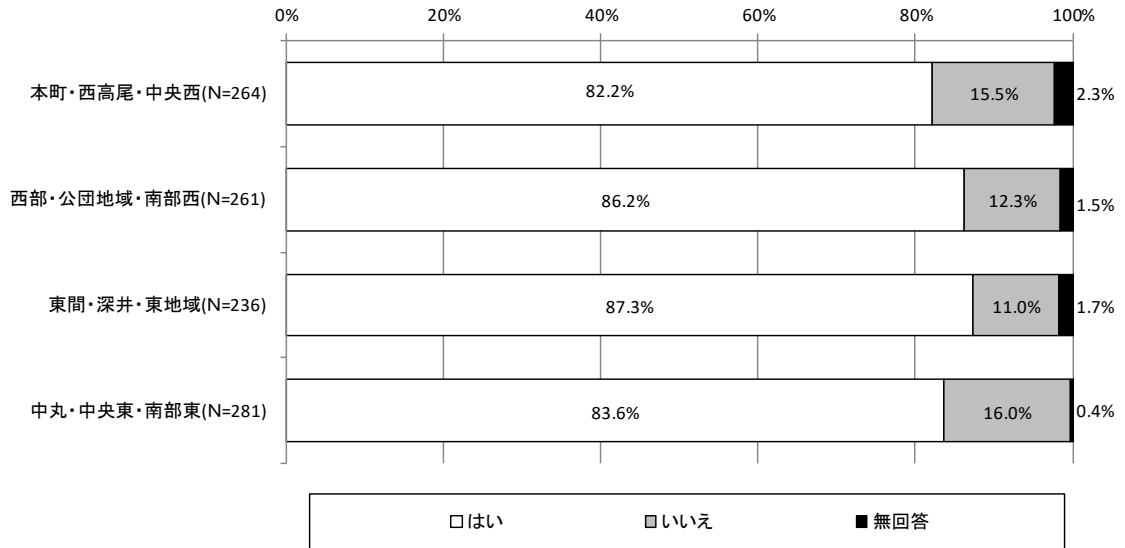
(13) 友人の家を訪ねていますか



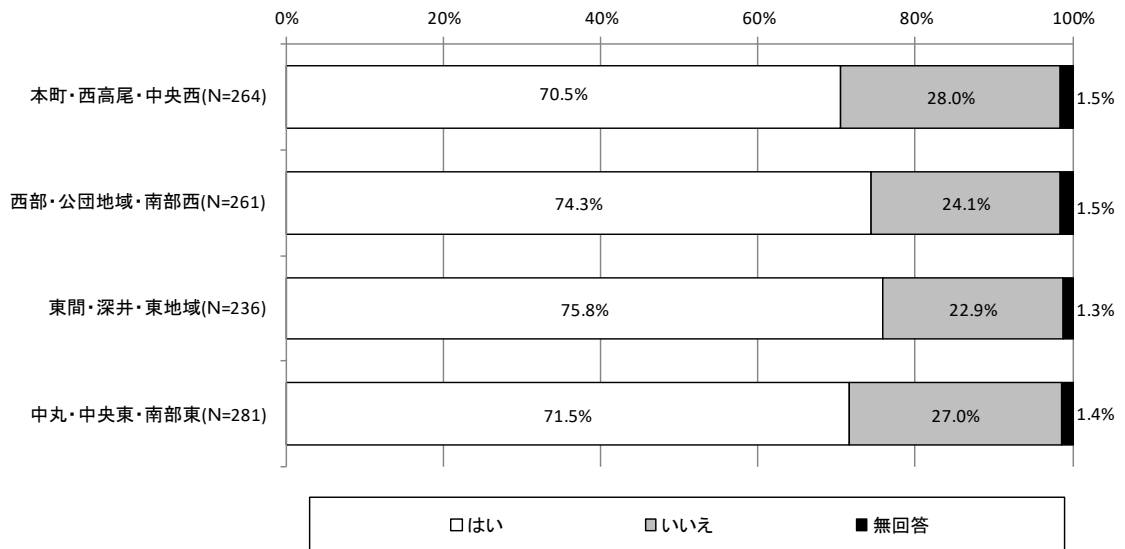
(14) 家族や友人の相談にのっていますか



(15) 病人を見舞うことができますか

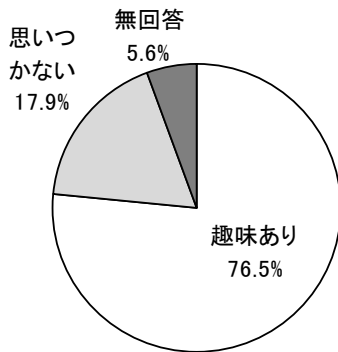


(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか



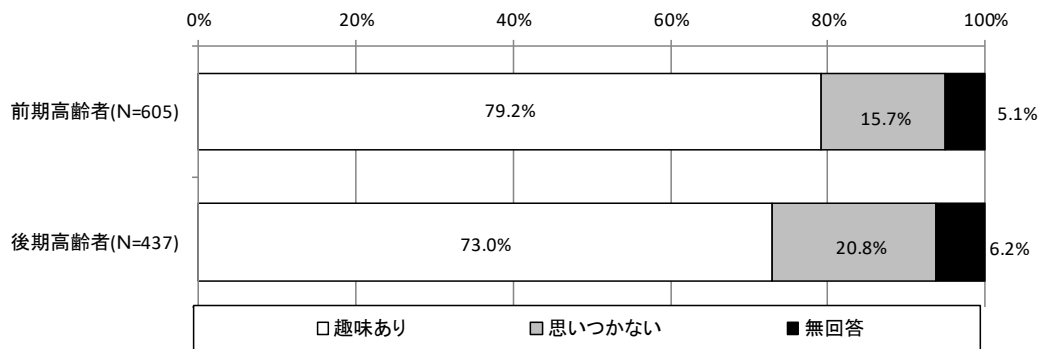
(17) 趣味はありますか

趣味があるかについては、「趣味あり」が76.5%、「思いつかない」が17.9%となっています。

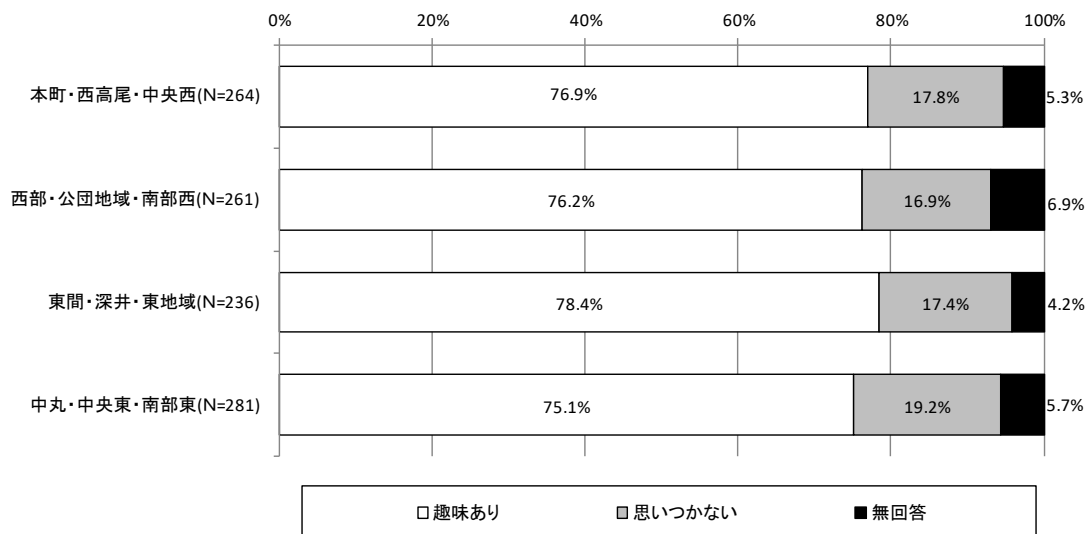


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------|-------|--------|
| 趣味あり | 806 | 76.5% |
| 思いつかない | 188 | 17.9% |
| 無回答 | 59 | 5.6% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

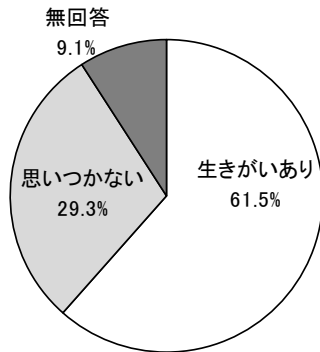


【圏域別クロス】



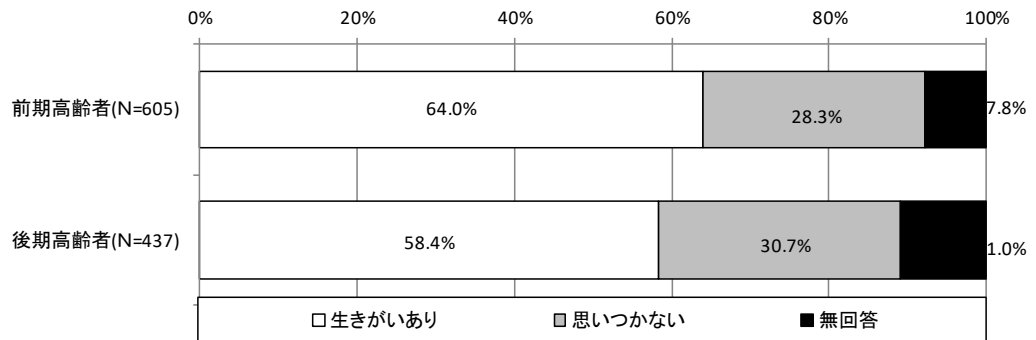
(18) 生きがいがありますか

生きがいがあるかについては、「生きがいあり」が61.5%、「思いつかない」が29.3%となっています。

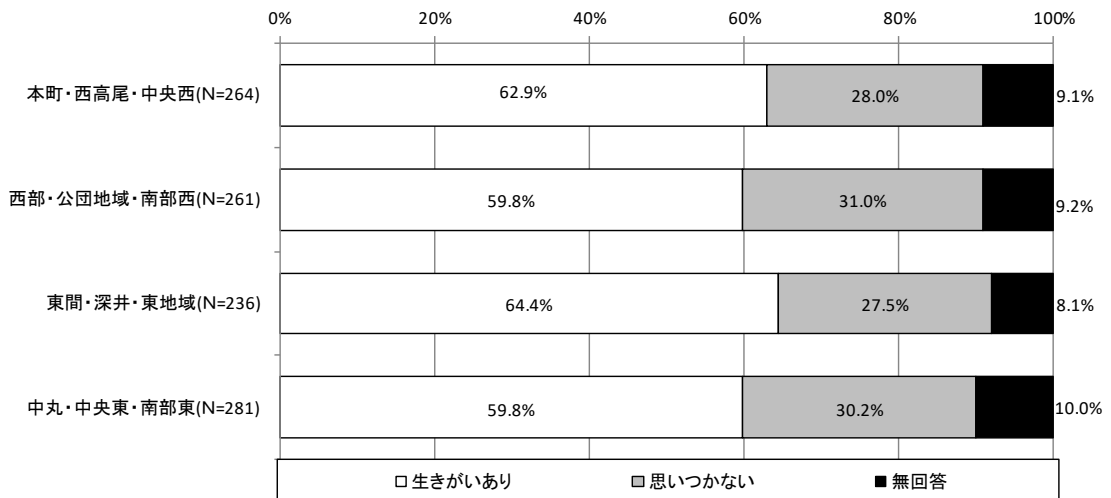


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------|-------|--------|
| 生きがいあり | 648 | 61.5% |
| 思いつかない | 309 | 29.3% |
| 無回答 | 96 | 9.1% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



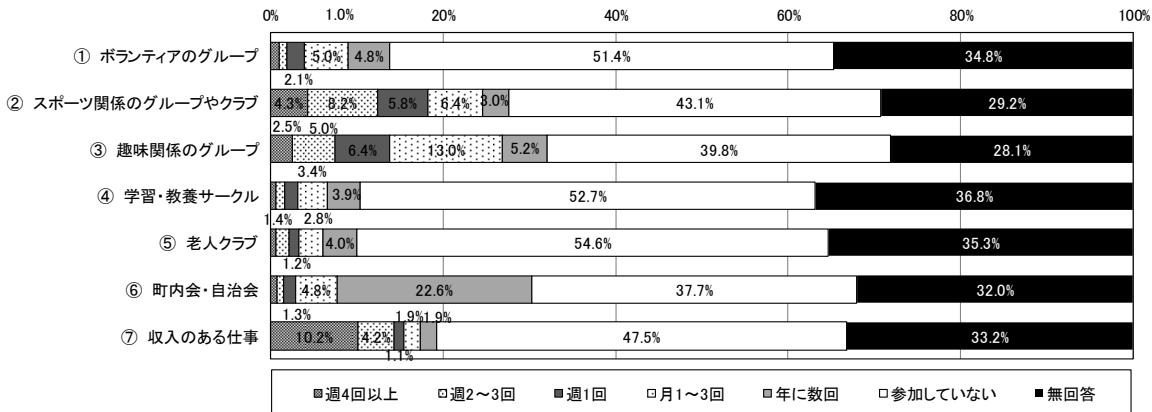
【圏域別クロス】



【問5 地域での活動について】

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

地域での活動の頻度については、すべての項目において「参加していない」が最も多くなっています。参加しているものでは、「③趣味関係のグループ」、「②スポーツ関係のグループやクラブ」がやや参加者が多くなっています。

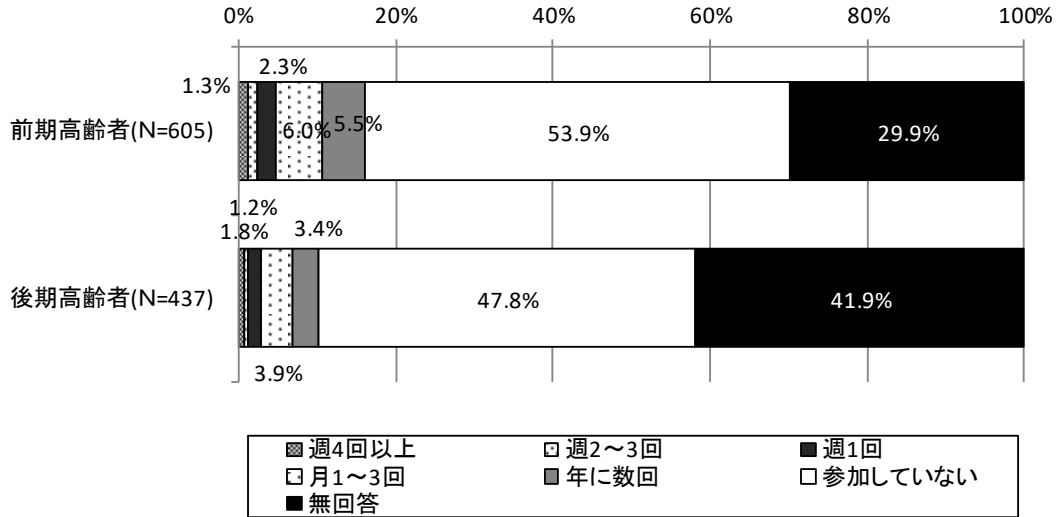


| 項目(度数) | 週4回以上 | 週2~3回 | 週1回 | 月1~3回 | 年に数回 | 参加してない | 無回答 | 合計 |
|-------------------|-------|-------|-----|-------|------|--------|-----|-------|
| ① ボランティアのグループ | 11 | 9 | 22 | 53 | 51 | 541 | 366 | 1,053 |
| ② スポーツ関係のグループやクラブ | 45 | 86 | 61 | 67 | 32 | 454 | 308 | 1,053 |
| ③ 趣味関係のグループ | 26 | 53 | 67 | 137 | 55 | 419 | 296 | 1,053 |
| ④ 学習・教養サークル | 7 | 10 | 16 | 36 | 41 | 555 | 388 | 1,053 |
| ⑤ 老人クラブ | 7 | 15 | 13 | 29 | 42 | 575 | 372 | 1,053 |
| ⑥ 町内会・自治会 | 8 | 8 | 14 | 51 | 238 | 397 | 337 | 1,053 |
| ⑦ 収入のある仕事 | 107 | 44 | 12 | 20 | 20 | 500 | 350 | 1,053 |

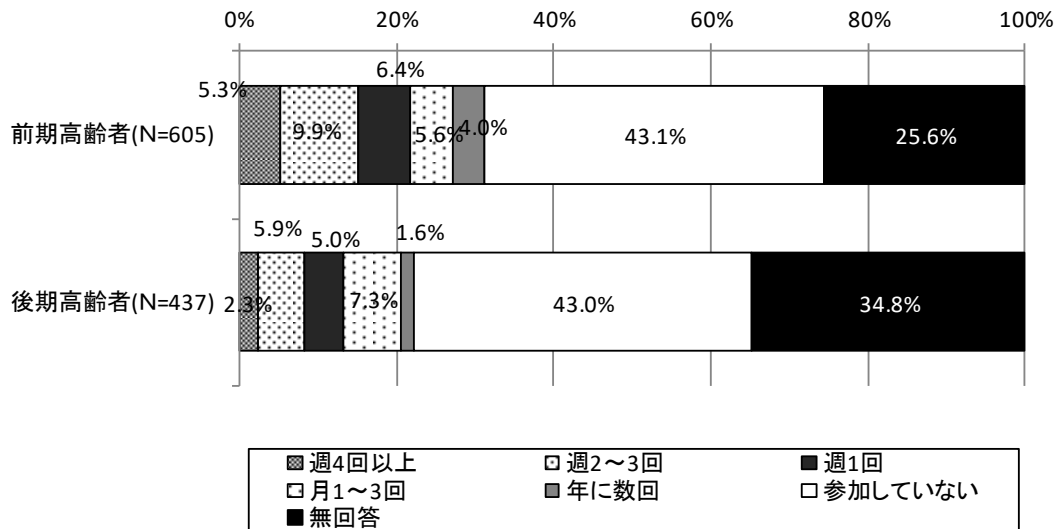
| 項目(構成比) | 週4回以上 | 週2~3回 | 週1回 | 月1~3回 | 年に数回 | 参加してない | 無回答 | 合計 |
|-------------------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|--------|
| ① ボランティアのグループ | 1.0% | 0.9% | 2.1% | 5.0% | 4.8% | 51.4% | 34.8% | 100.0% |
| ② スポーツ関係のグループやクラブ | 4.3% | 8.2% | 5.8% | 6.4% | 3.0% | 43.1% | 29.2% | 100.0% |
| ③ 趣味関係のグループ | 2.5% | 5.0% | 6.4% | 13.0% | 5.2% | 39.8% | 28.1% | 100.0% |
| ④ 学習・教養サークル | 0.7% | 0.9% | 1.5% | 3.4% | 3.9% | 52.7% | 36.8% | 100.0% |
| ⑤ 老人クラブ | 0.7% | 1.4% | 1.2% | 2.8% | 4.0% | 54.6% | 35.3% | 100.0% |
| ⑥ 町内会・自治会 | 0.8% | 0.8% | 1.3% | 4.8% | 22.6% | 37.7% | 32.0% | 100.0% |
| ⑦ 収入のある仕事 | 10.2% | 4.2% | 1.1% | 1.9% | 1.9% | 47.5% | 33.2% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

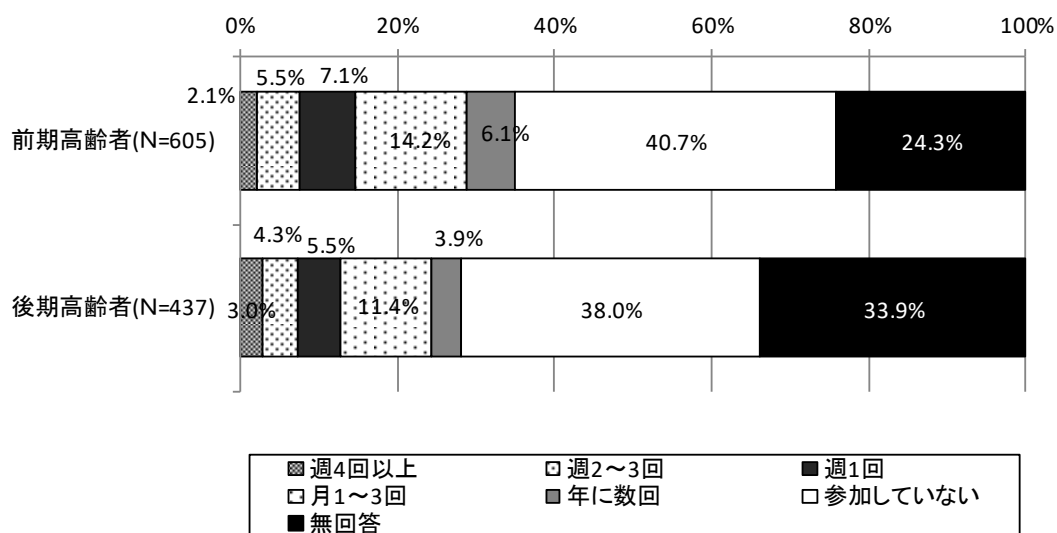
①ボランティアのグループ



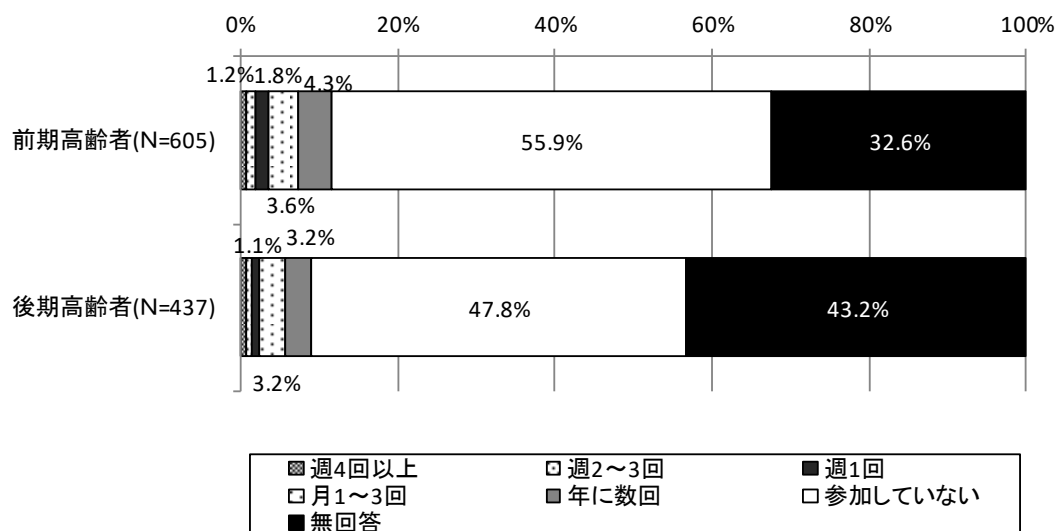
②スポーツ関係のグループやクラブ



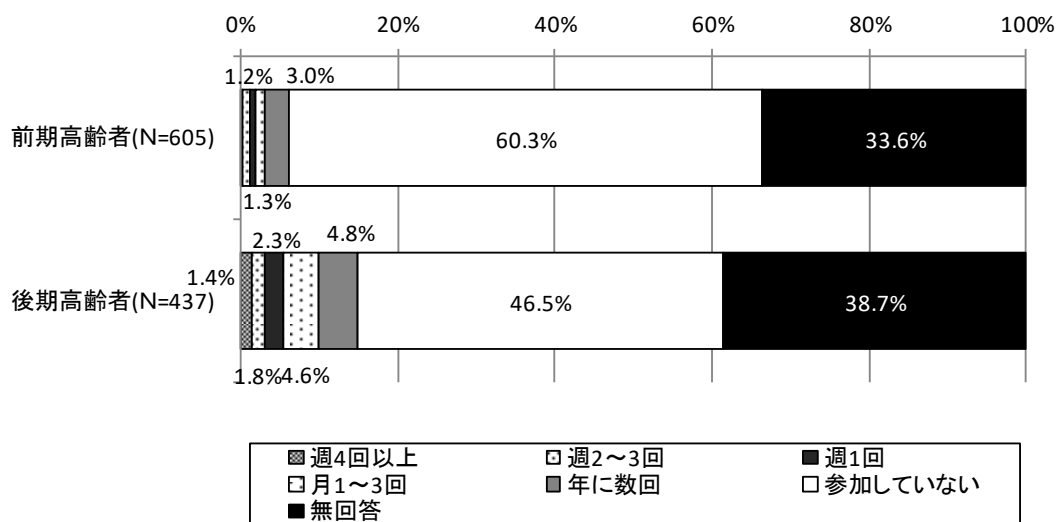
③ 趣味関係のグループ



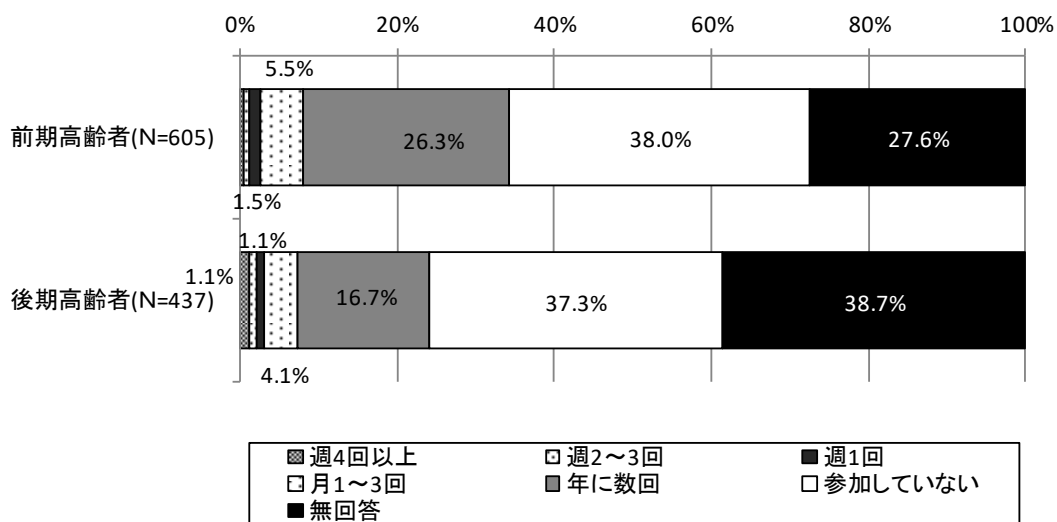
④ 学習・教養サークル



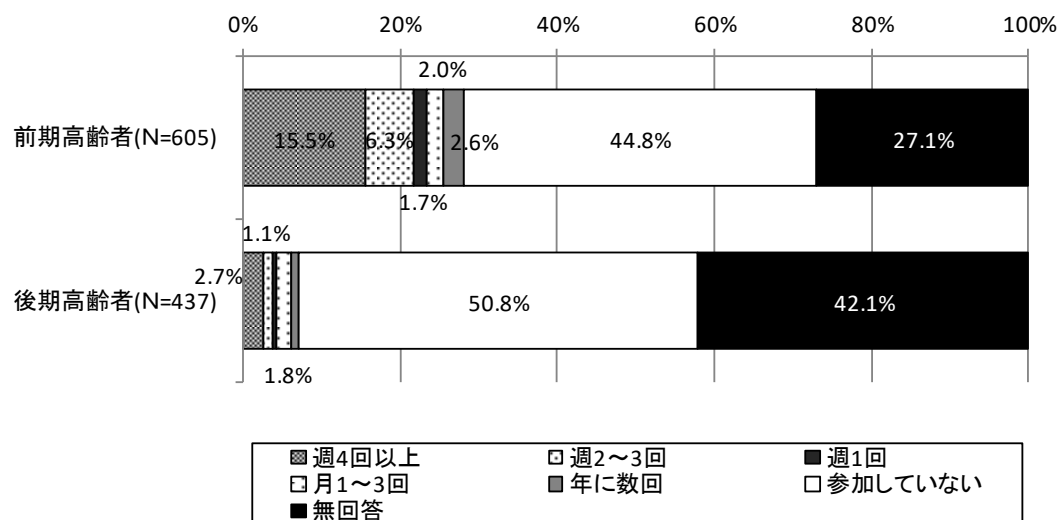
⑤老人クラブ



⑥町内会・自治会

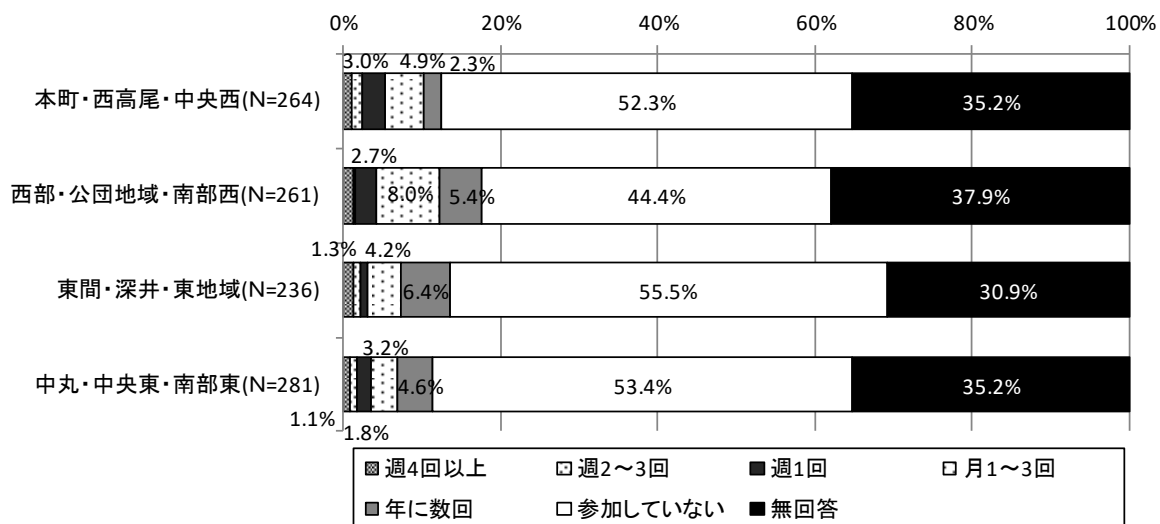


⑦収入のある仕事

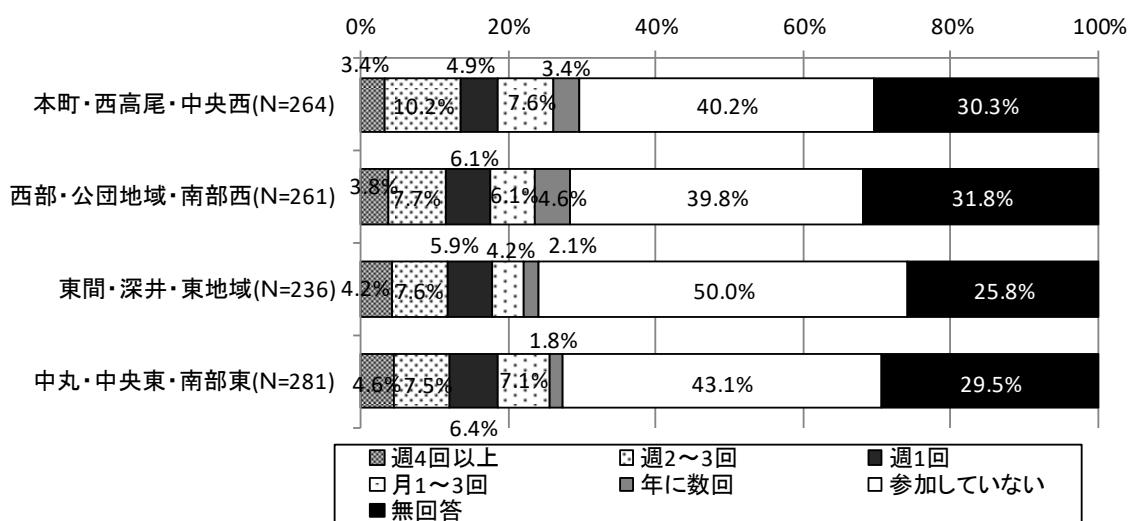


【圏域別クロス】

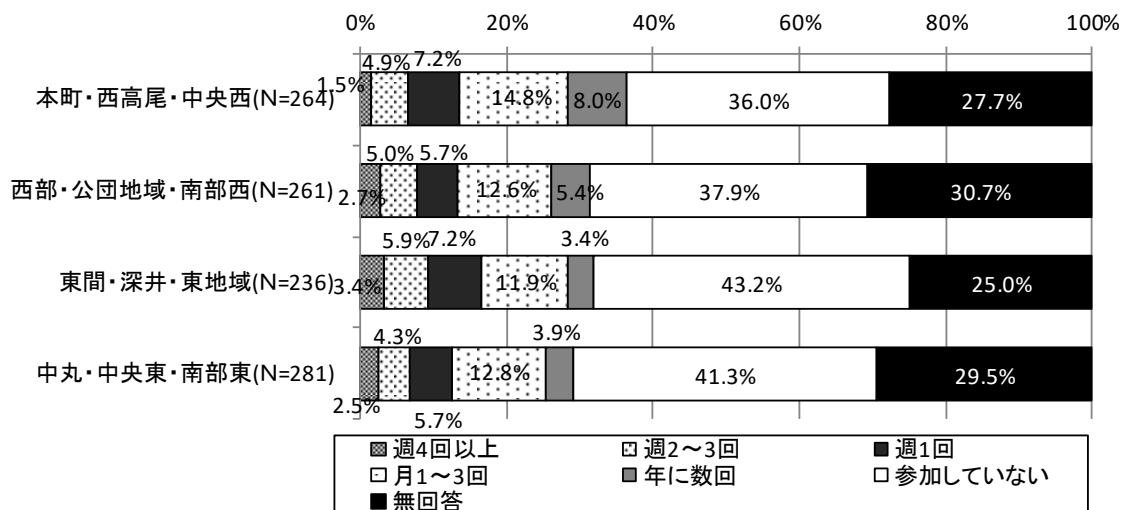
①ボランティアのグループ



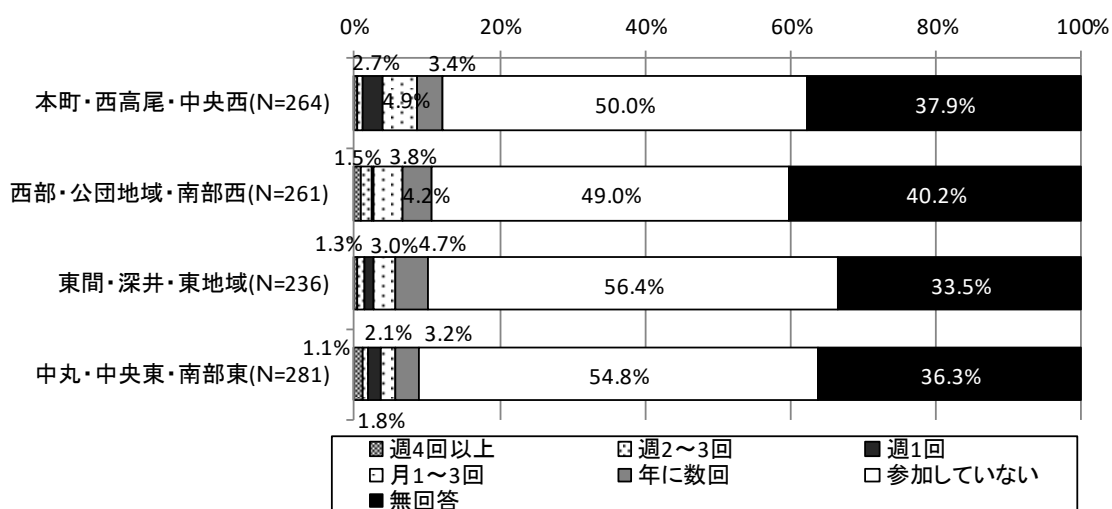
②スポーツ関係のグループやクラブ



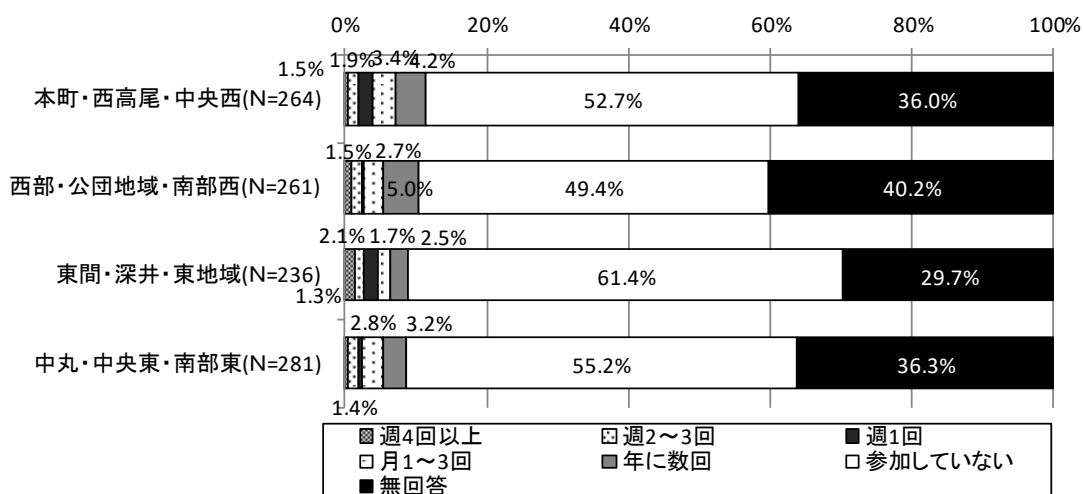
③趣味関係のグループ



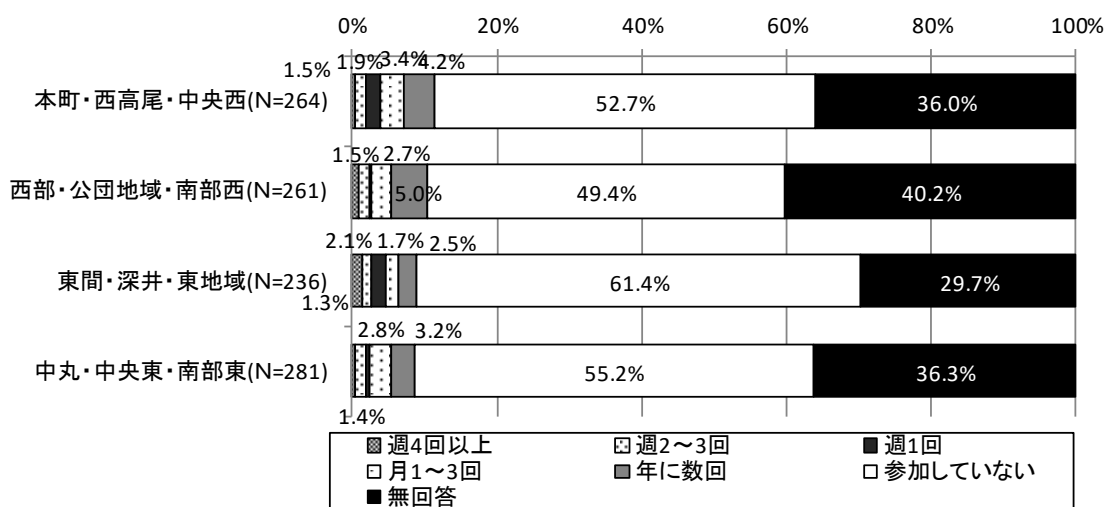
④学習・教養サークル



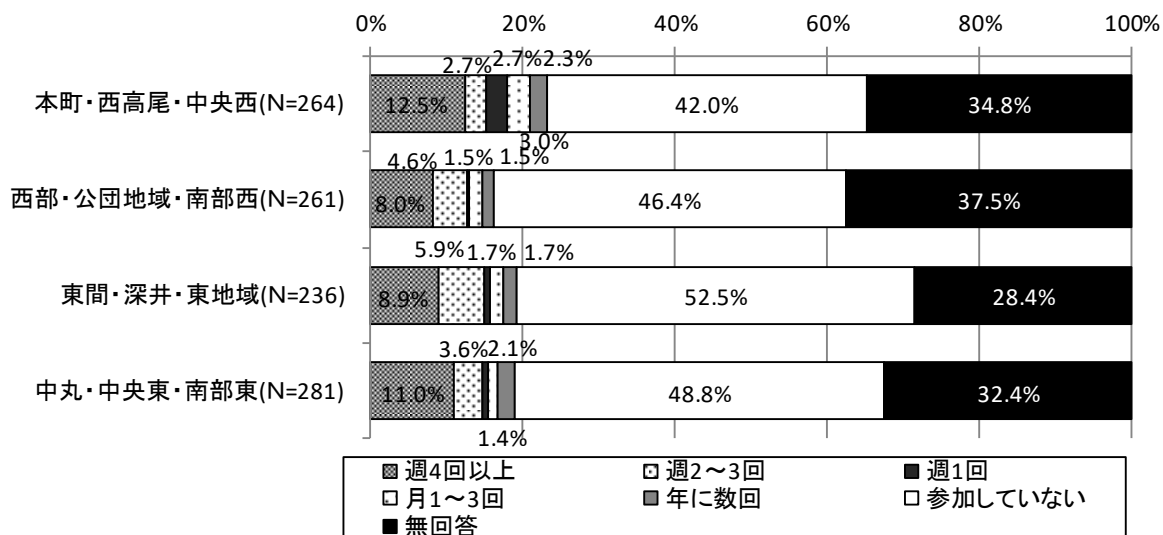
⑤老人クラブ



⑥町内会・自治会



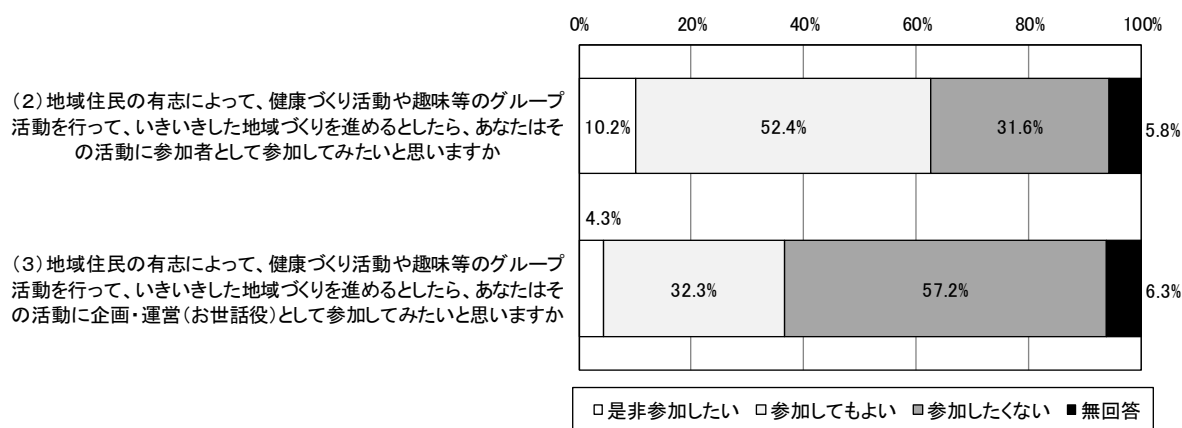
⑦収入のある仕事



- (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか
- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

地域活動に参加してみたいかについては、「参加してもよい」が 52.4%、「参加したくない」が 31.6%となっています。

地域活動に企画・運営として参加してみたいかについては、「参加したくない」が 57.2%、「参加してもよい」が 32.3%となっています。

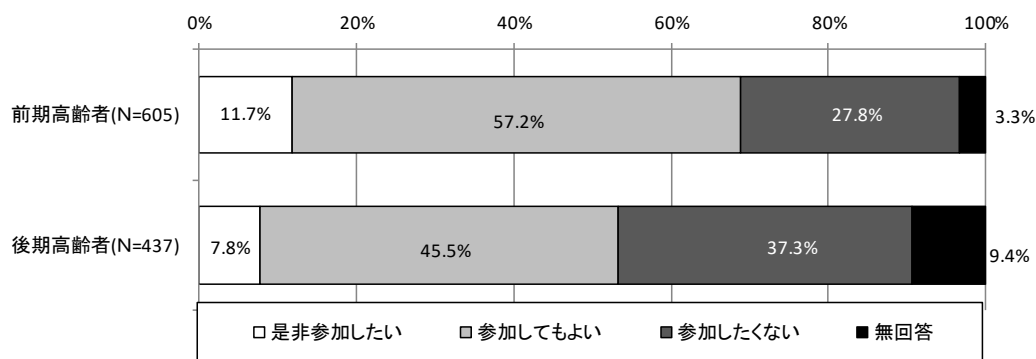


| 項目(度数) | 是非参加したい | 参加してもよい | 参加したくない | 無回答 | 合計 |
|---|---------|---------|---------|-----|-------|
| (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか | 107 | 552 | 333 | 61 | 1,053 |
| (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか | 45 | 340 | 602 | 66 | 1,053 |

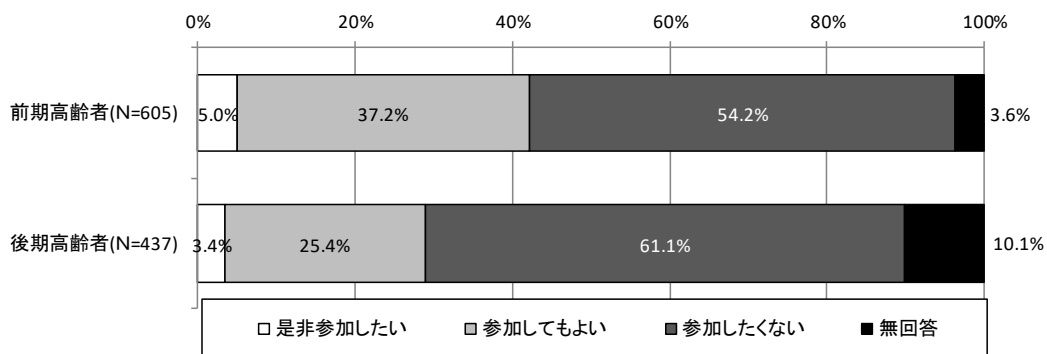
| 項目(構成比) | 是非参加したい | 参加してもよい | 参加したくない | 無回答 | 合計 |
|---|---------|---------|---------|------|--------|
| (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか | 10.2% | 52.4% | 31.6% | 5.8% | 100.0% |
| (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか | 4.3% | 32.3% | 57.2% | 6.3% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

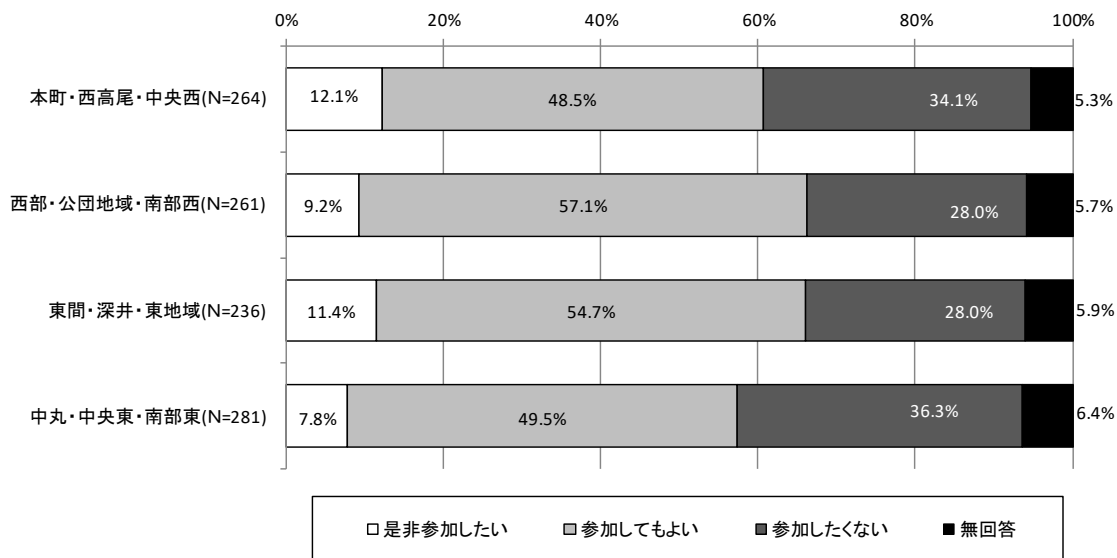


(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

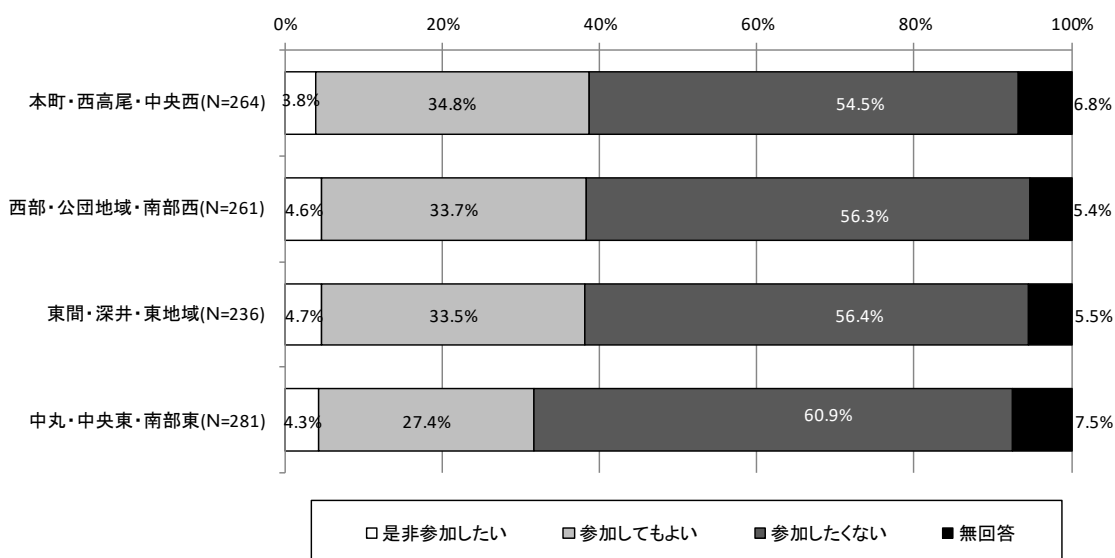


【圏域別クロス】

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

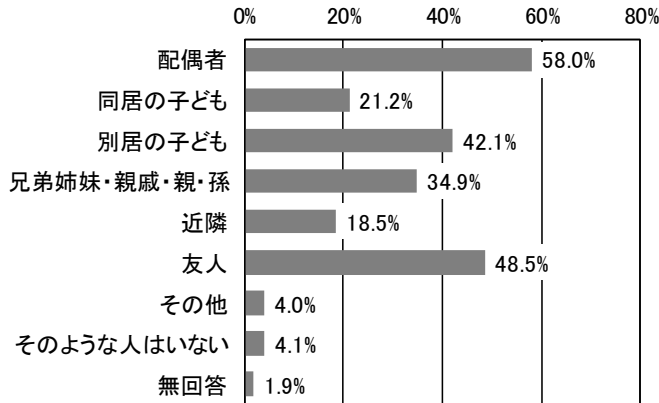


【問6 たすけあいについて】

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

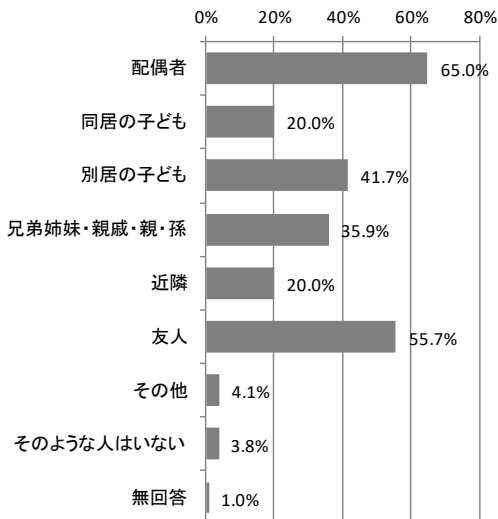
心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人については、「配偶者」が58.0%、「友人」が48.5%となっています。



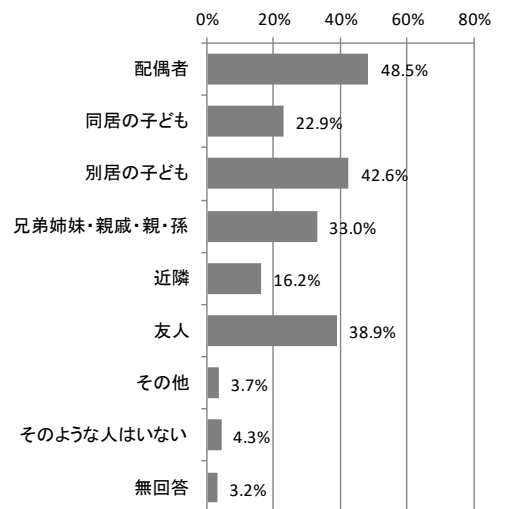
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-------|-------|
| 配偶者 | 611 | 58.0% |
| 同居の子ども | 223 | 21.2% |
| 別居の子ども | 443 | 42.1% |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 367 | 34.9% |
| 近隣 | 195 | 18.5% |
| 友人 | 511 | 48.5% |
| その他 | 42 | 4.0% |
| そのような人はいない | 43 | 4.1% |
| 無回答 | 20 | 1.9% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

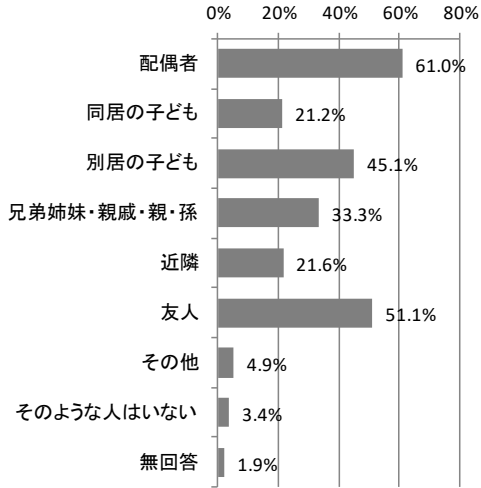


後期高齢者(N=437)

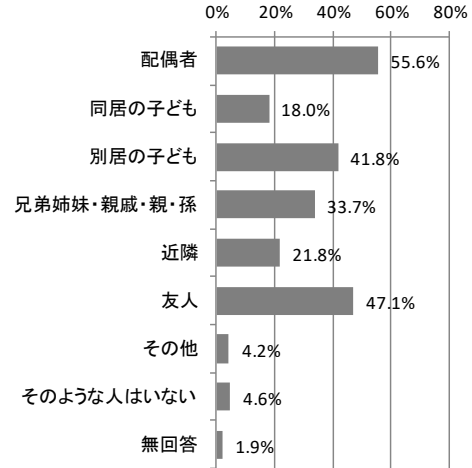


【圏域別クロス】

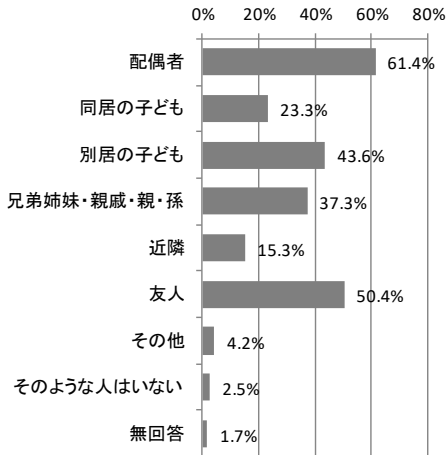
本町・西高尾・中央西(N=264)



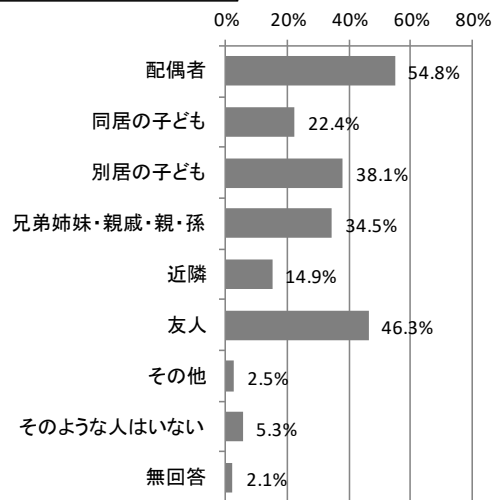
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)

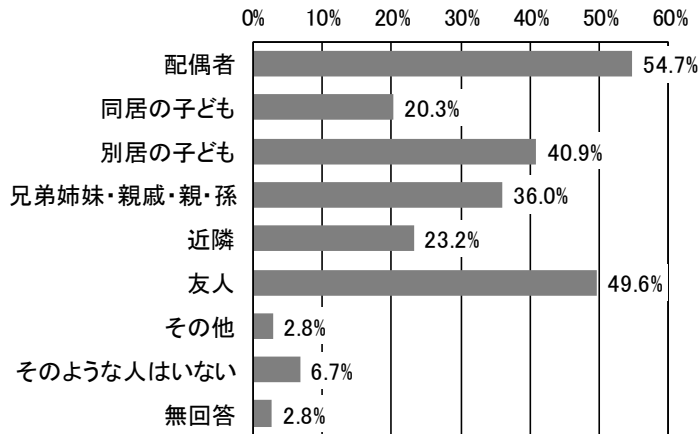


中丸・中央東・南部東(N=281)



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

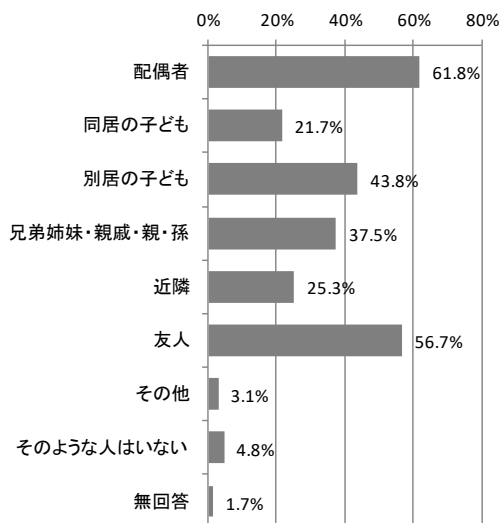
心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人については、「配偶者」が54.7%、「友人」が49.6%となっています。



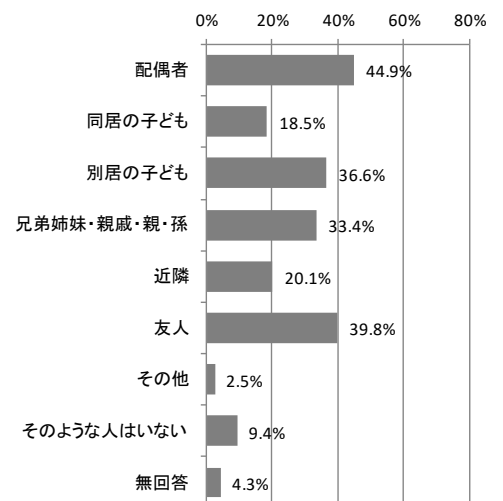
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-------|-------|
| 配偶者 | 576 | 54.7% |
| 同居の子ども | 214 | 20.3% |
| 別居の子ども | 431 | 40.9% |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 379 | 36.0% |
| 近隣 | 244 | 23.2% |
| 友人 | 522 | 49.6% |
| その他 | 30 | 2.8% |
| そのような人はいない | 71 | 6.7% |
| 無回答 | 29 | 2.8% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

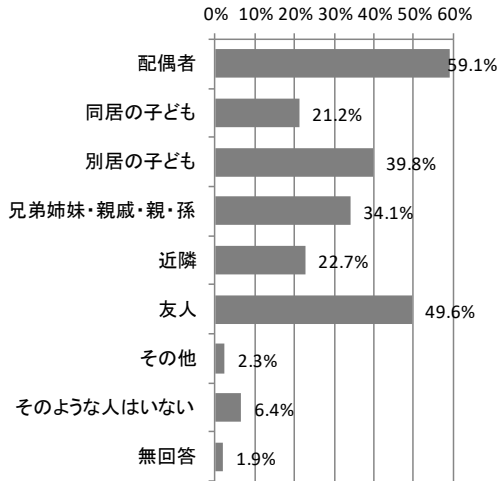


後期高齢者(N=437)

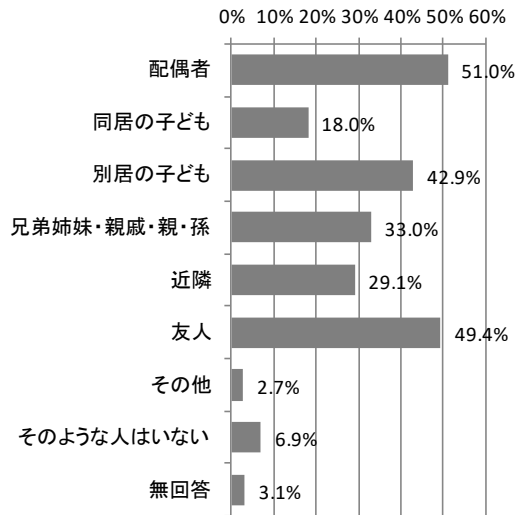


【圏域別クロス】

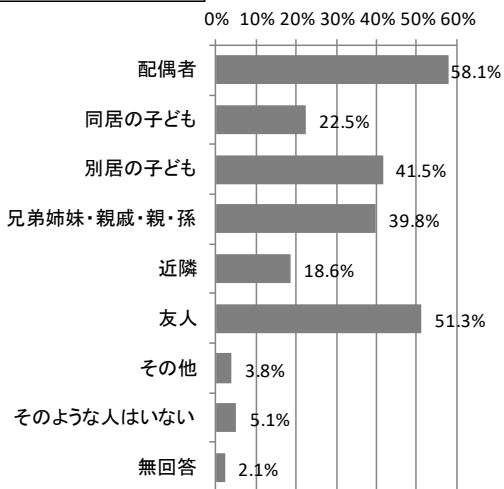
本町・西高尾・中央西(N=264)



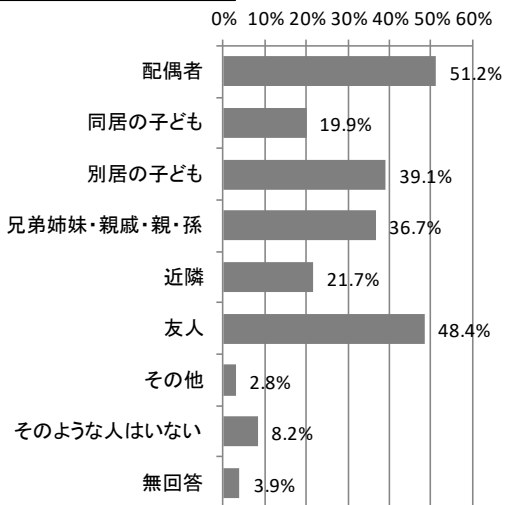
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)

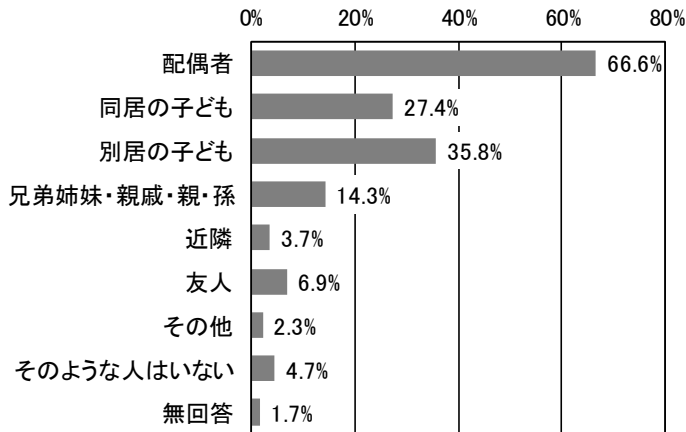


中丸・中央東・南部東(N=281)



(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

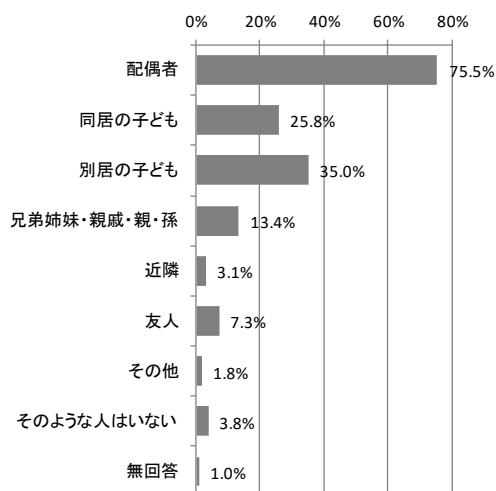
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が66.6%、「別居の子ども」が35.8%となっています。



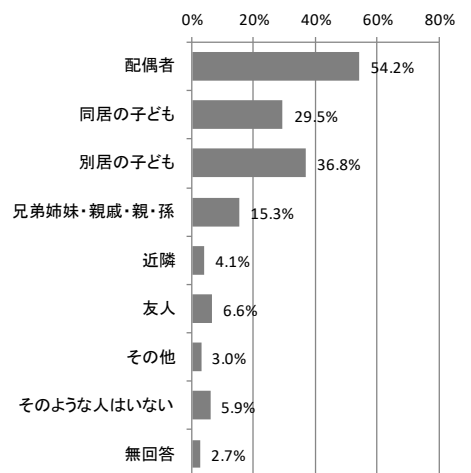
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-------|-------|
| 配偶者 | 701 | 66.6% |
| 同居の子ども | 289 | 27.4% |
| 別居の子ども | 377 | 35.8% |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 151 | 14.3% |
| 近隣 | 39 | 3.7% |
| 友人 | 73 | 6.9% |
| その他 | 24 | 2.3% |
| そのような人はいない | 49 | 4.7% |
| 無回答 | 18 | 1.7% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

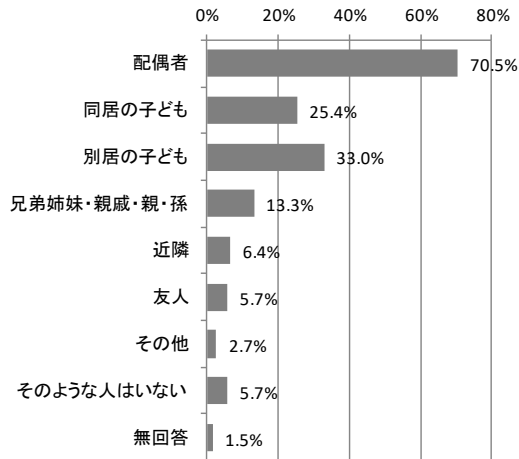


後期高齢者(N=437)

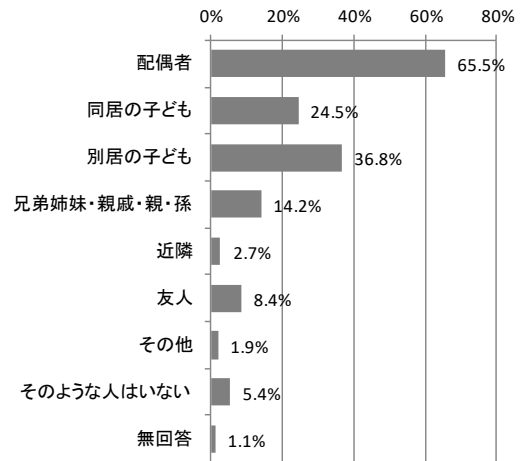


【圏域別クロス】

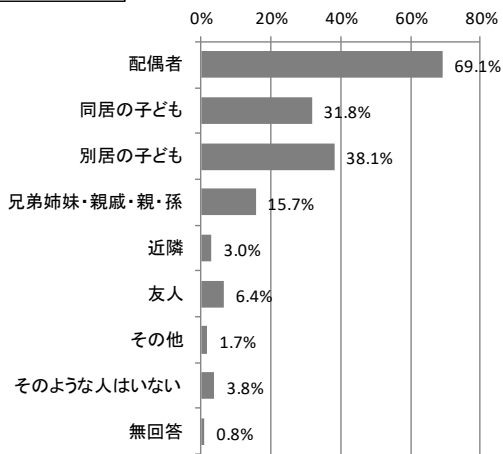
本町・西高尾・中央西(N=264)



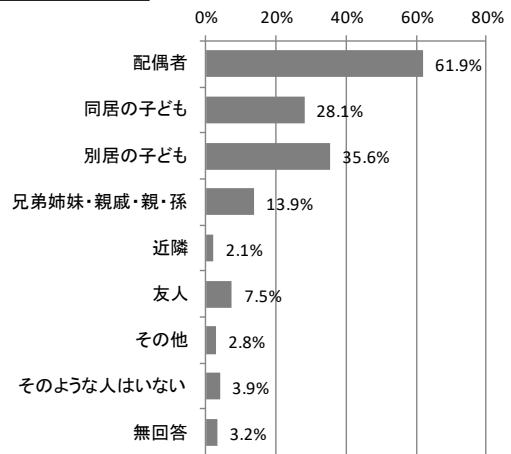
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)

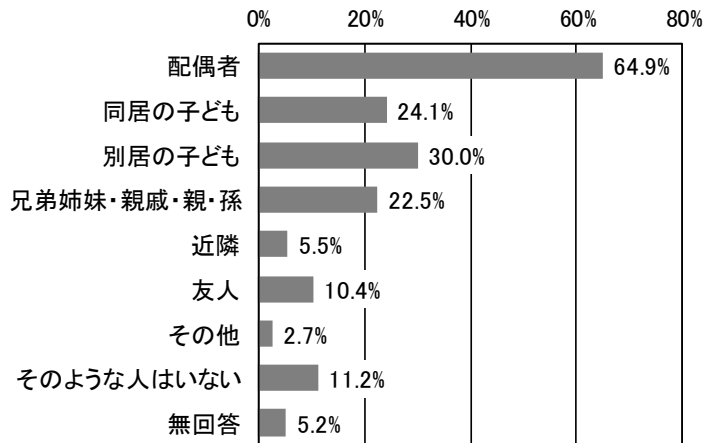


中丸・中央東・南部東(N=281)



(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

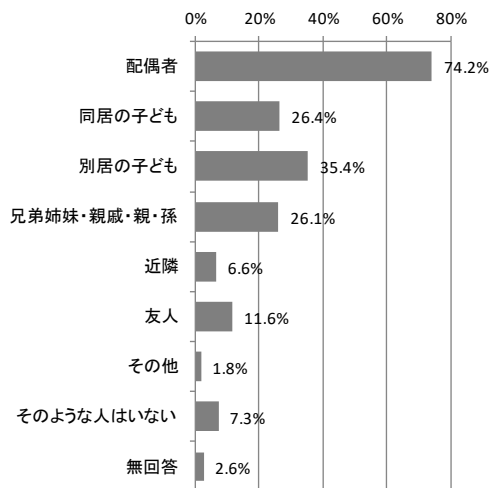
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が64.9%、「別居の子ども」が30.0%となっています。



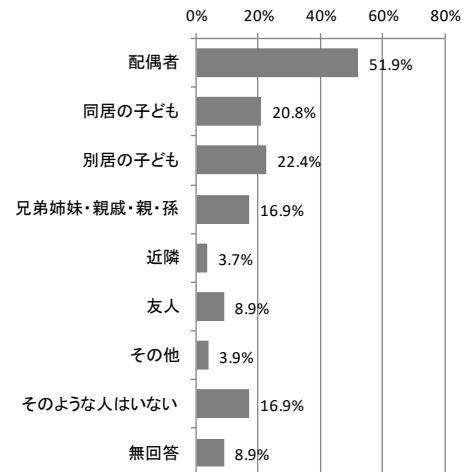
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|-------|-------|
| 配偶者 | 683 | 64.9% |
| 同居の子ども | 254 | 24.1% |
| 別居の子ども | 316 | 30.0% |
| 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 237 | 22.5% |
| 近隣 | 58 | 5.5% |
| 友人 | 109 | 10.4% |
| その他 | 28 | 2.7% |
| そのような人はいない | 118 | 11.2% |
| 無回答 | 55 | 5.2% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

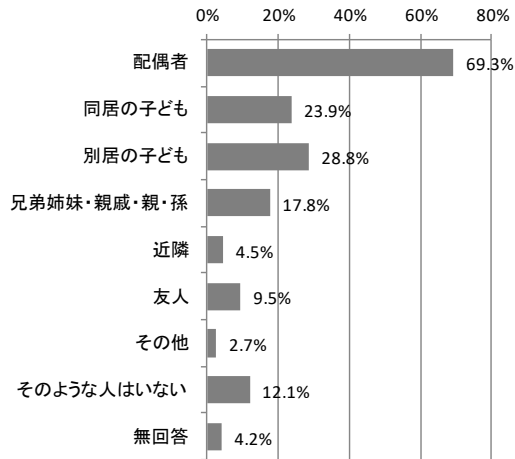


後期高齢者(N=437)

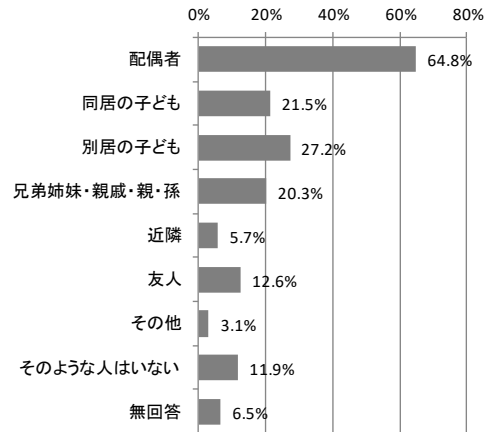


【圏域別クロス】

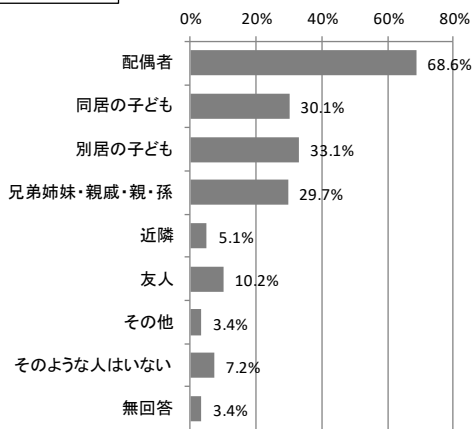
本町・西高尾・中央西(N=264)



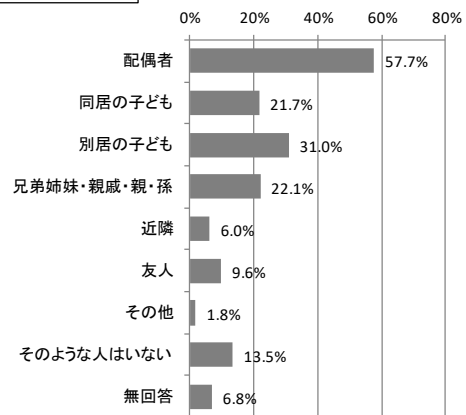
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)

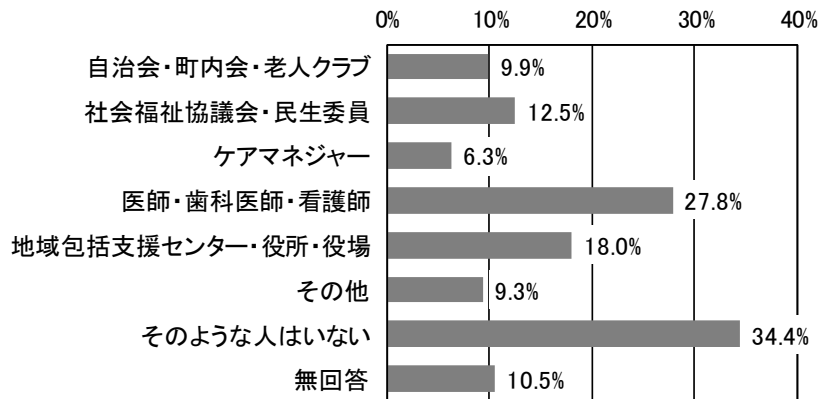


中丸・中央東・南部東(N=281)



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)

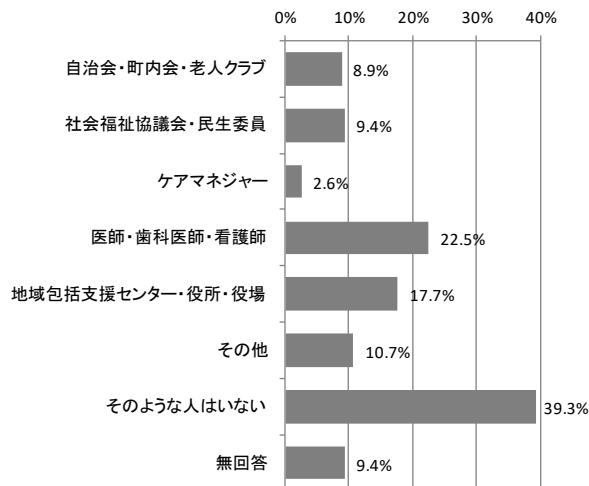
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が27.8%、「地域包括支援センター・役所・役場」が18.0%となっています。また、「そのような人はいない」の割合が34.4%となっています。



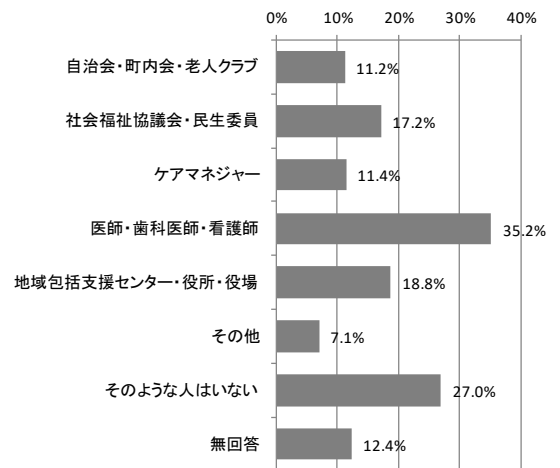
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------|-------|-------|
| 自治会・町内会・老人クラブ | 104 | 9.9% |
| 社会福祉協議会・民生委員 | 132 | 12.5% |
| ケアマネジャー | 66 | 6.3% |
| 医師・歯科医師・看護師 | 293 | 27.8% |
| 地域包括支援センター・役所・役場 | 190 | 18.0% |
| その他 | 98 | 9.3% |
| そのような人はいない | 362 | 34.4% |
| 無回答 | 111 | 10.5% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

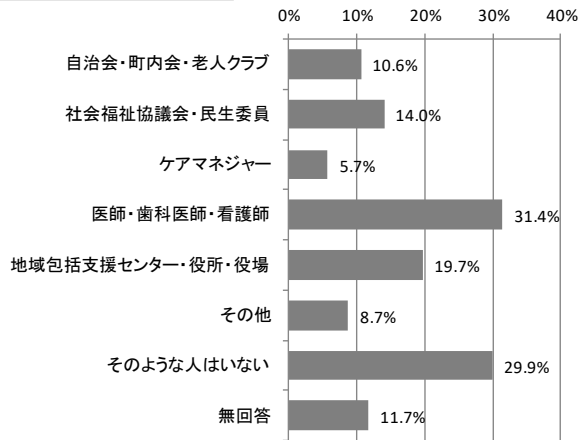


後期高齢者(N=437)

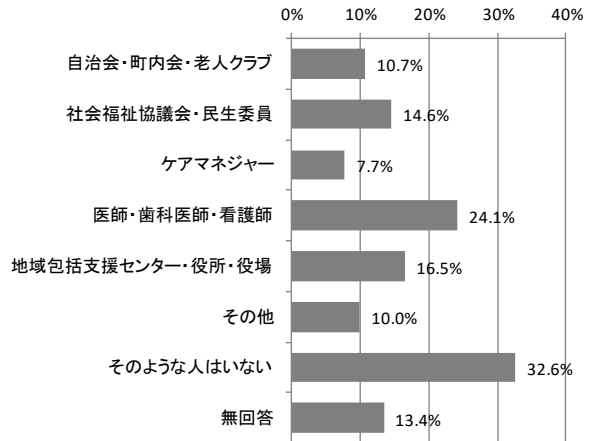


【圏域別クロス】

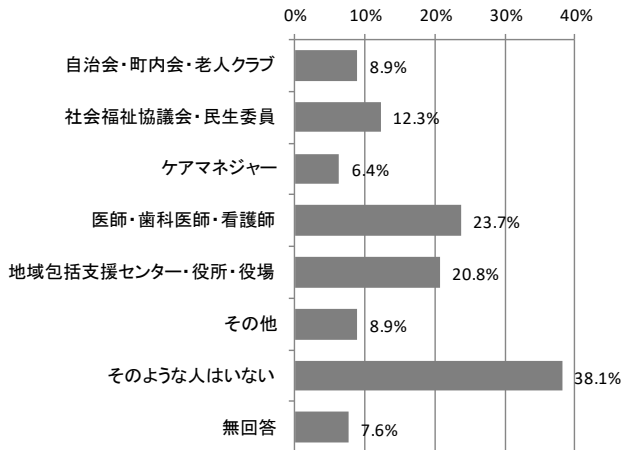
本町・西高尾・中央西(N=264)



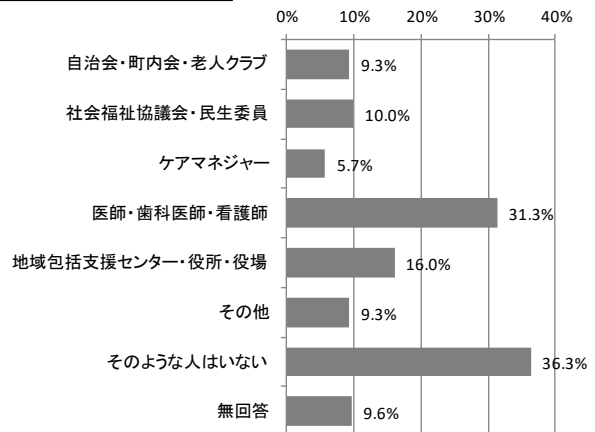
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)

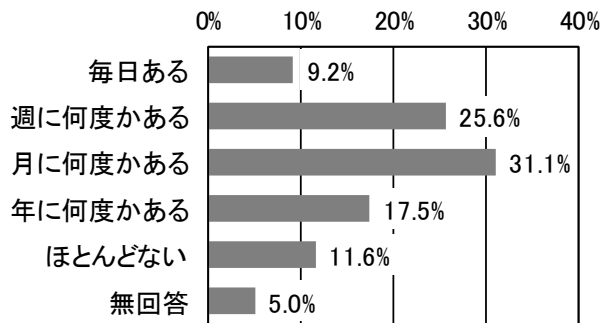


中丸・中央東・南部東(N=281)



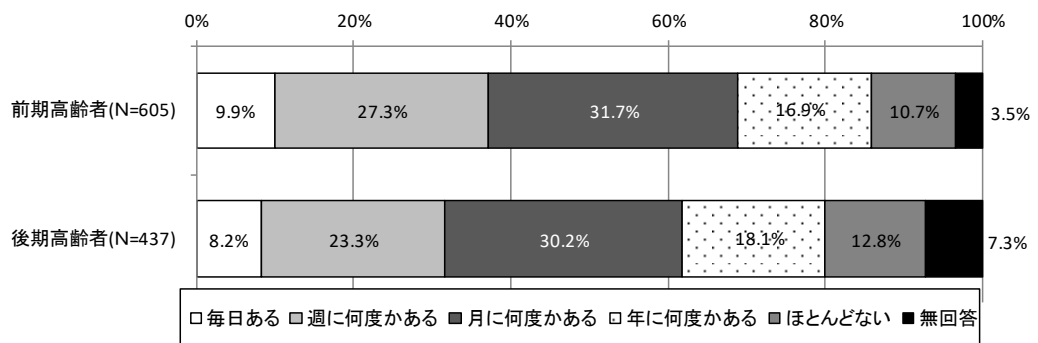
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が31.1%、「週に何度かある」が25.6%となっています。

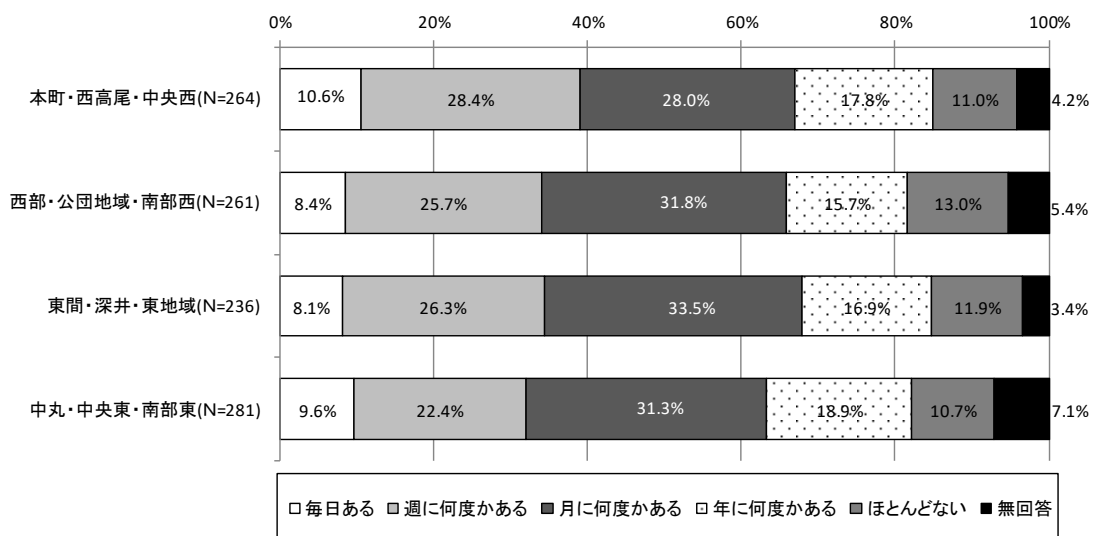


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-------|--------|
| 毎日ある | 97 | 9.2% |
| 週に何度かある | 270 | 25.6% |
| 月に何度かある | 327 | 31.1% |
| 年に何度かある | 184 | 17.5% |
| ほとんどない | 122 | 11.6% |
| 無回答 | 53 | 5.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

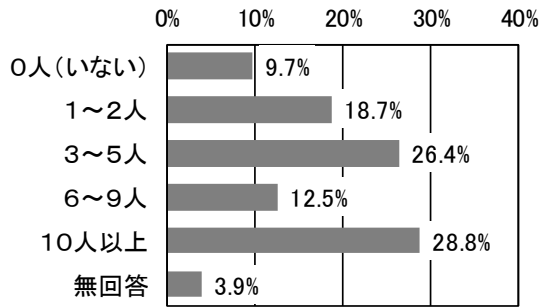


【圏域別クロス】



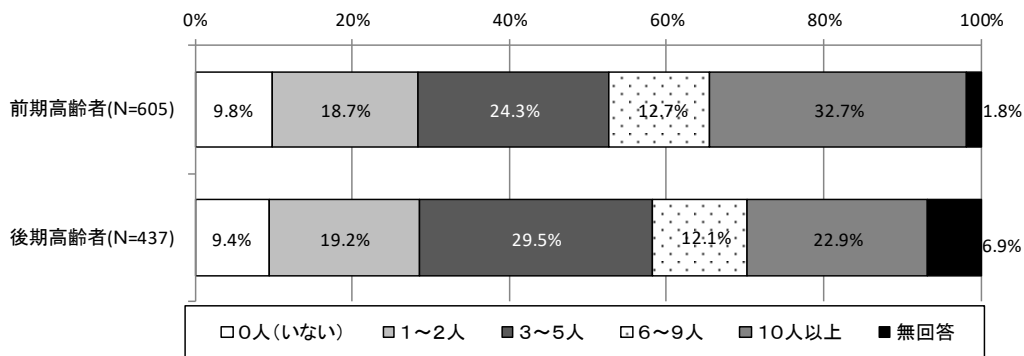
**(7)この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数える
こととします**

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「10人以上」が28.8%、「3～5人」が26.4%となっています。

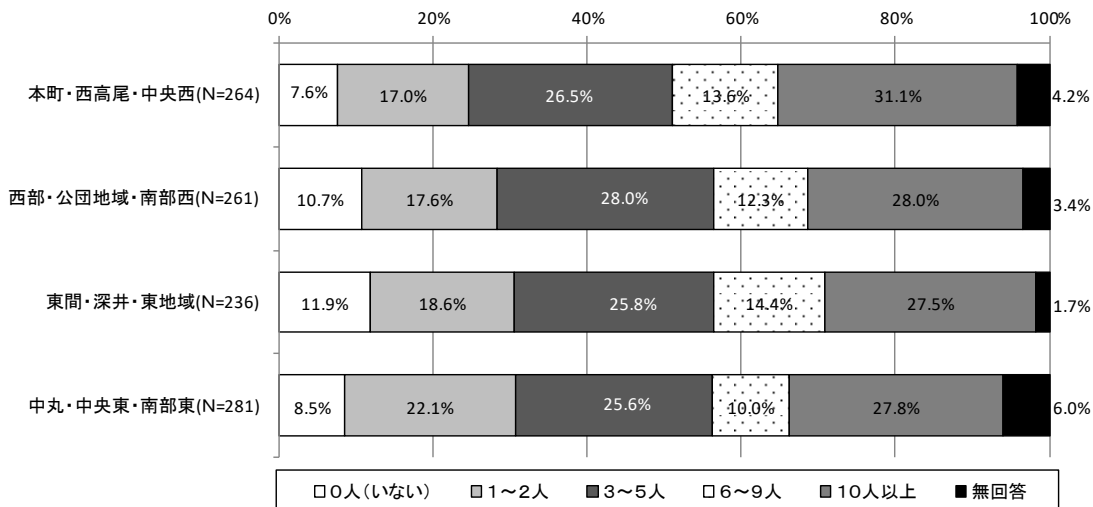


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-------|--------|
| 0人(いない) | 102 | 9.7% |
| 1～2人 | 197 | 18.7% |
| 3～5人 | 278 | 26.4% |
| 6～9人 | 132 | 12.5% |
| 10人以上 | 303 | 28.8% |
| 無回答 | 41 | 3.9% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

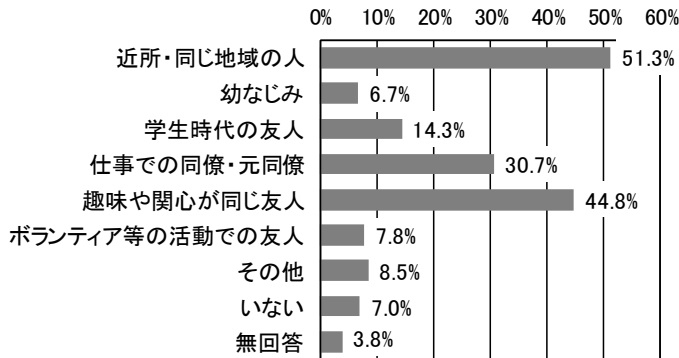


【圏域別クロス】



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)

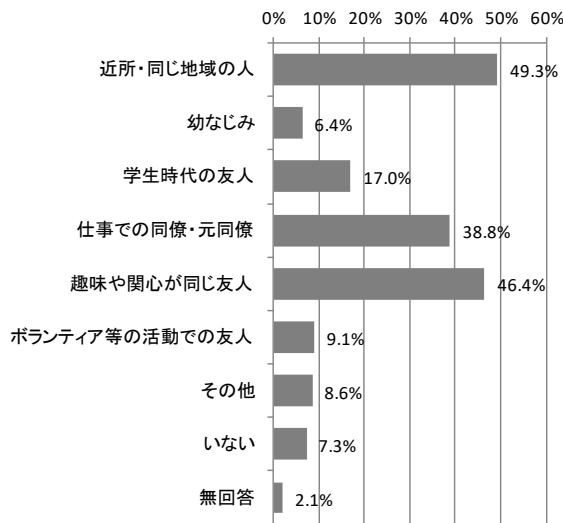
よく会う友人・知人については、「近所・同じ地域の人」が 51.3%、「趣味や関心が同じ友人」が 44.8%となっています。



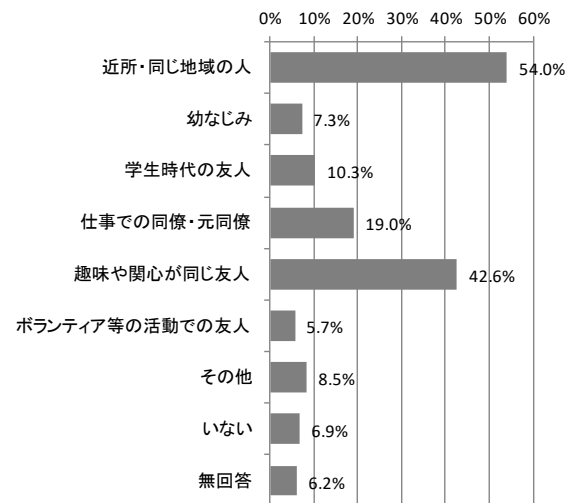
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------|-------|-------|
| 近所・同じ地域の人 | 540 | 51.3% |
| 幼なじみ | 71 | 6.7% |
| 学生時代の友人 | 151 | 14.3% |
| 仕事での同僚・元同僚 | 323 | 30.7% |
| 趣味や関心が同じ友人 | 472 | 44.8% |
| ボランティア等の活動での友人 | 82 | 7.8% |
| その他 | 89 | 8.5% |
| いない | 74 | 7.0% |
| 無回答 | 40 | 3.8% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

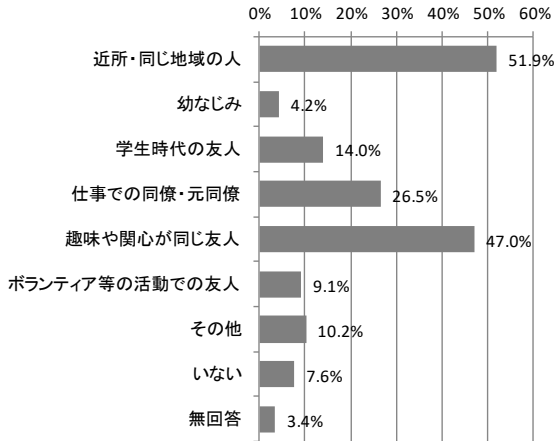


後期高齢者(N=437)

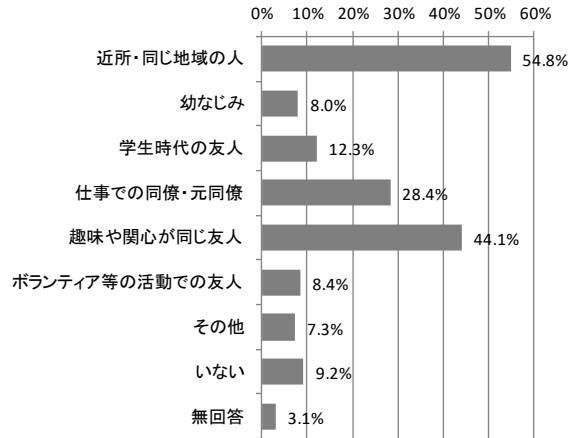


【圏域別クロス】

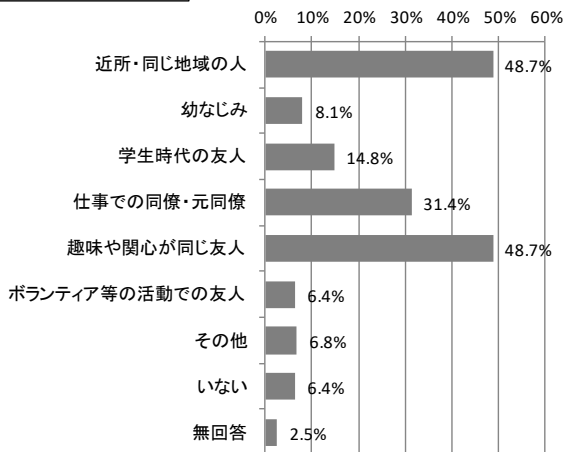
本町・西高尾・中央西(N=264)



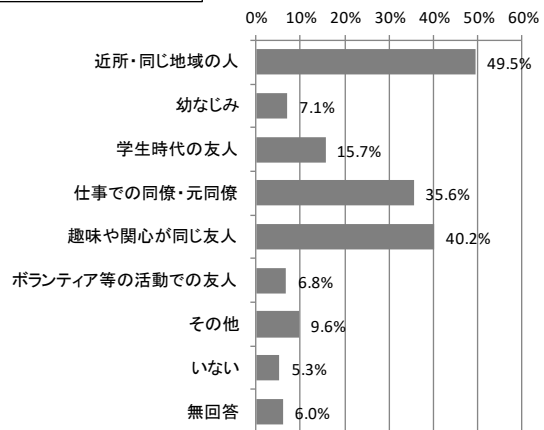
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)



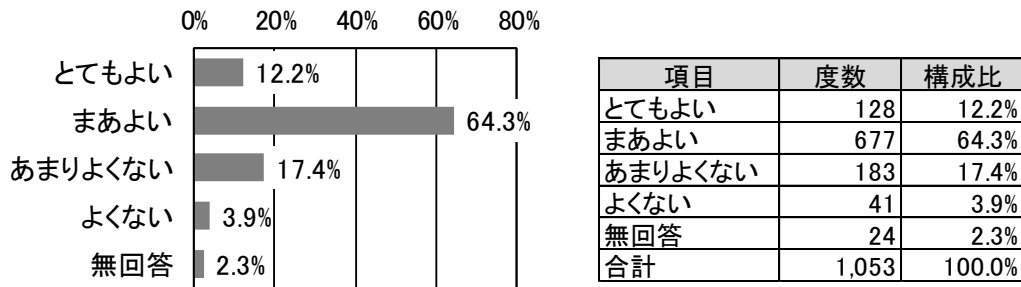
中丸・中央東・南部東(N=281)



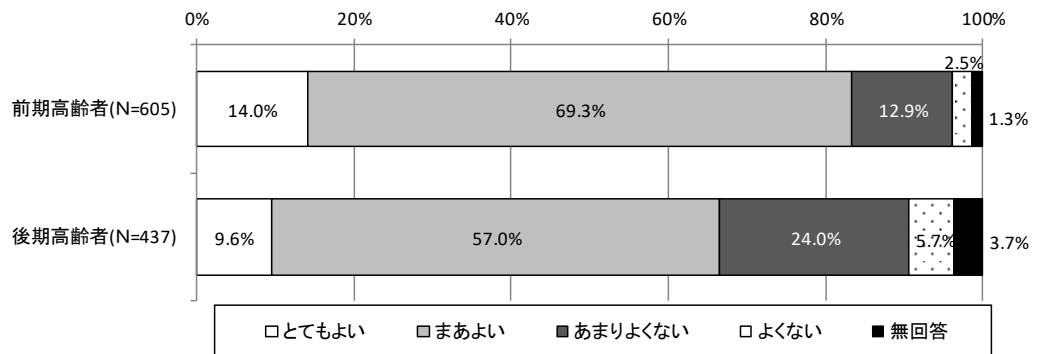
【問7 健康について】

(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか

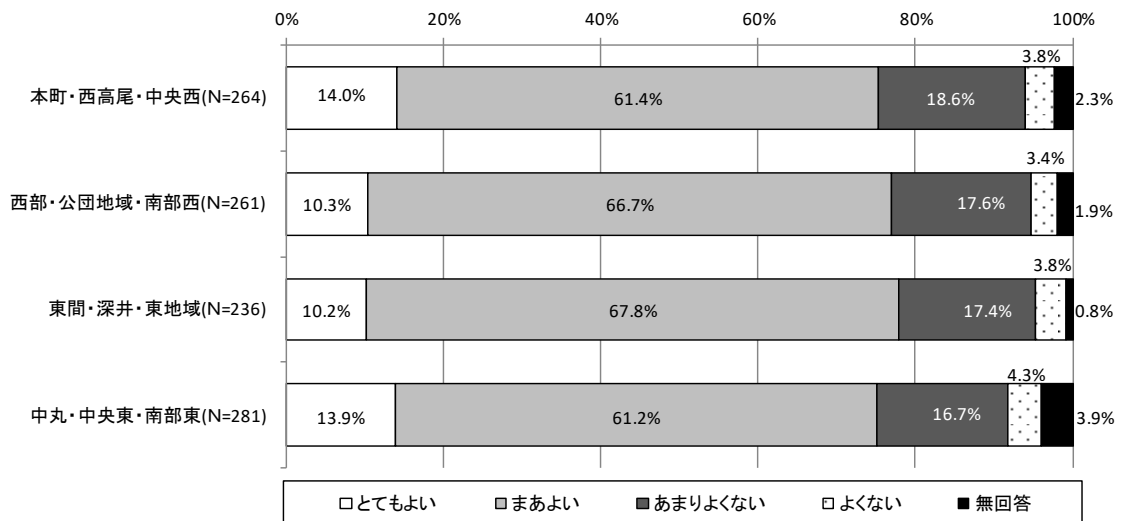
現在の健康状態については、「まあよい」が64.3%、「あまりよくない」が17.4%となっています。



【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

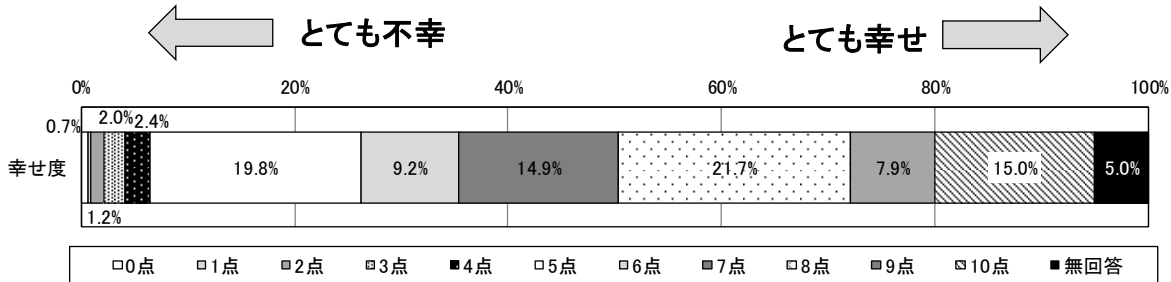


【圏域別クロス】



(2)あなたは、現在どの程度幸せですか

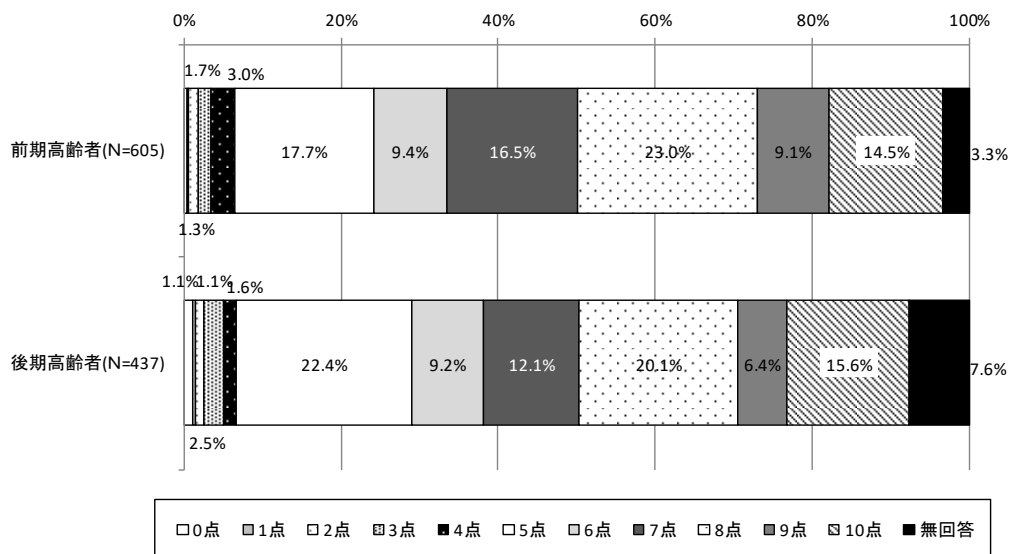
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)
 幸せ度については、「8点」が21.7%、「5点」が19.8%となっています。



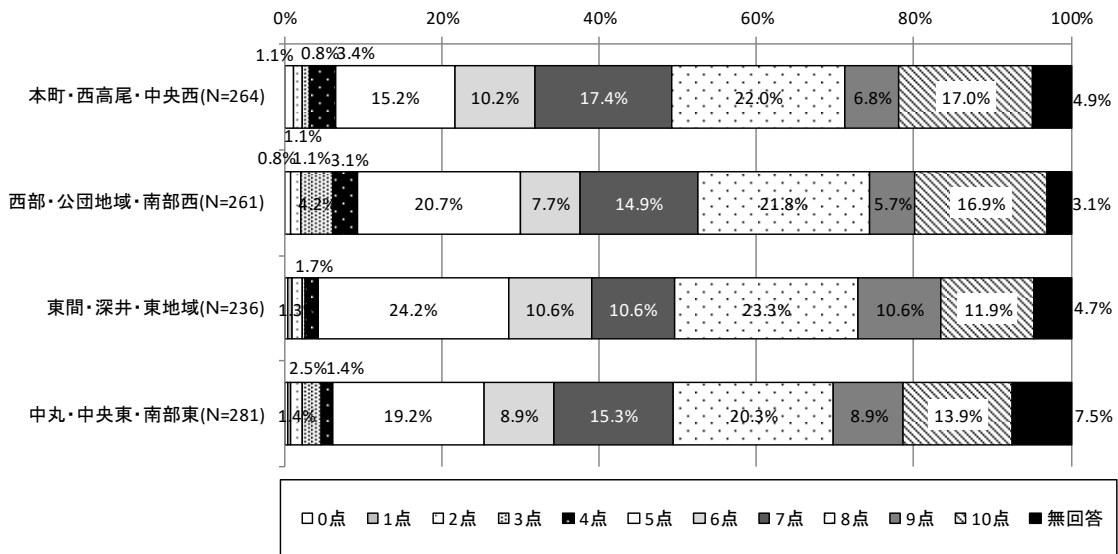
| 項目(度数) | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | 無回答 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 幸せ度 | 7 | 2 | 13 | 21 | 25 | 208 | 97 | 157 | 229 | 83 | 158 | 53 | 1,053 |

| 項目(構成比) | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | 無回答 | 合計 |
|---------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|--------|
| 幸せ度 | 0.7% | 0.2% | 1.2% | 2.0% | 2.4% | 19.8% | 9.2% | 14.9% | 21.7% | 7.9% | 15.0% | 5.0% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】



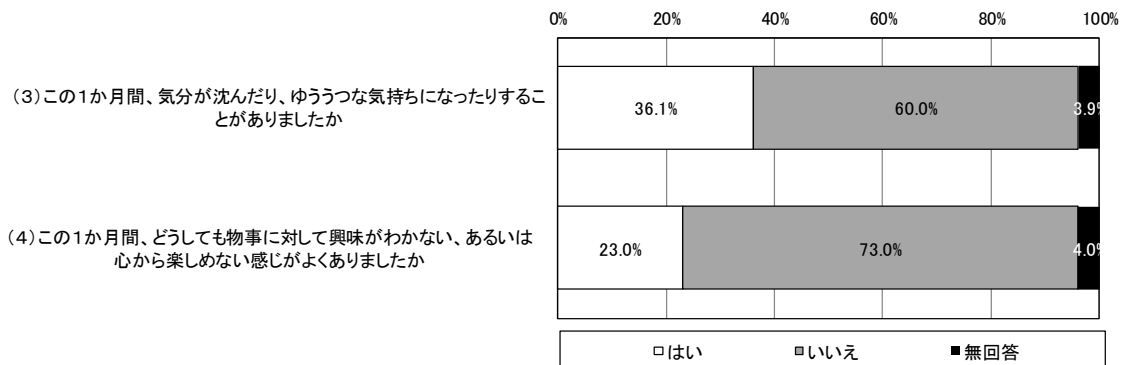
【圏域別クロス】



(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が36.1%、「いいえ」が60.0%となっています。

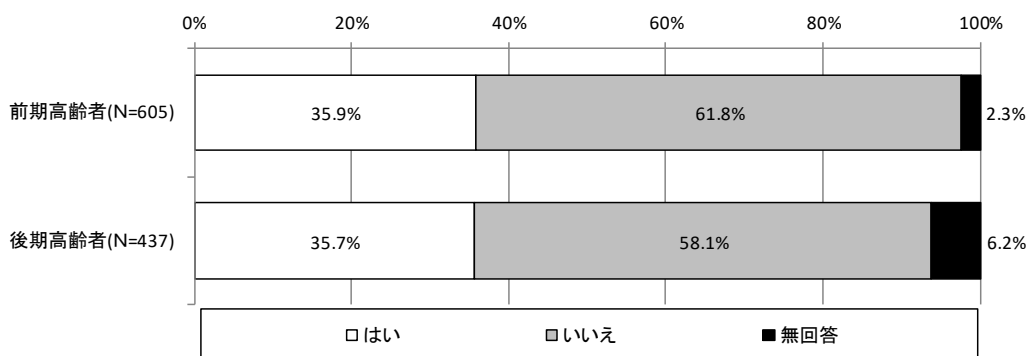
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が23.0%、「いいえ」が73.0%となっています。



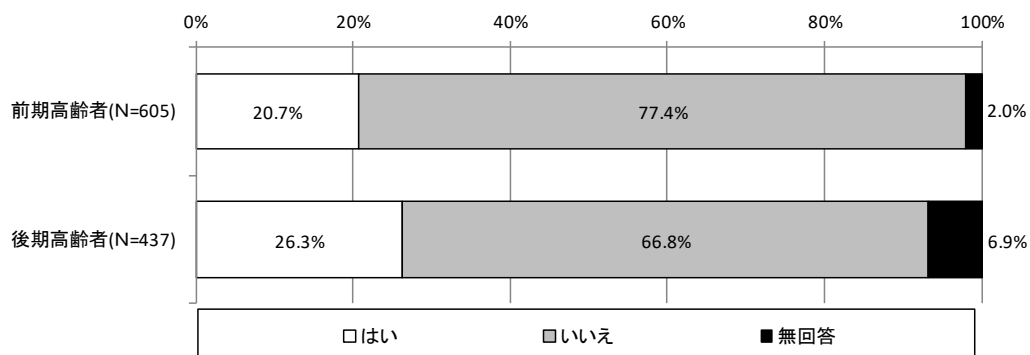
| 項目(度数) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
|--|-------|-------|------|--------|
| (3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか | 380 | 632 | 41 | 1,053 |
| (4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか | 242 | 769 | 42 | 1,053 |
| 項目(構成比) | はい | いいえ | 無回答 | 合計 |
| (3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか | 36.1% | 60.0% | 3.9% | 100.0% |
| (4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか | 23.0% | 73.0% | 4.0% | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

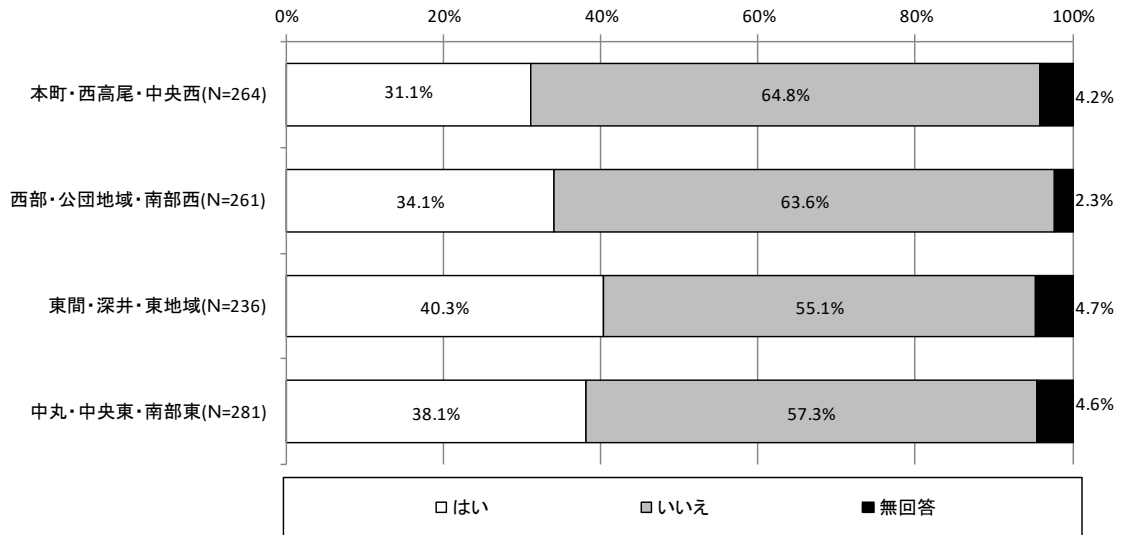


(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

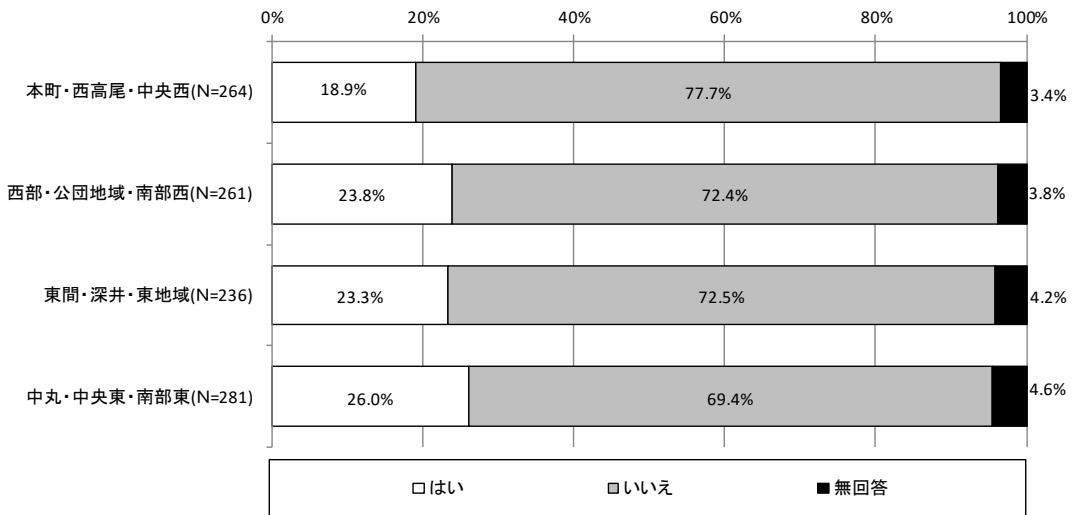


【圏域別クロス】

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

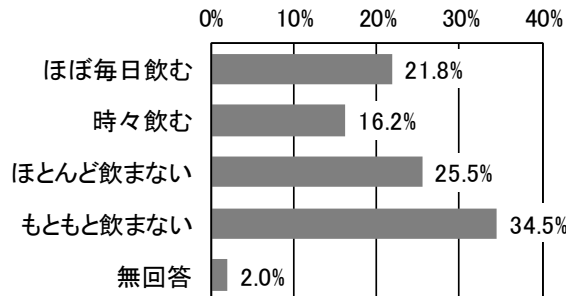


(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



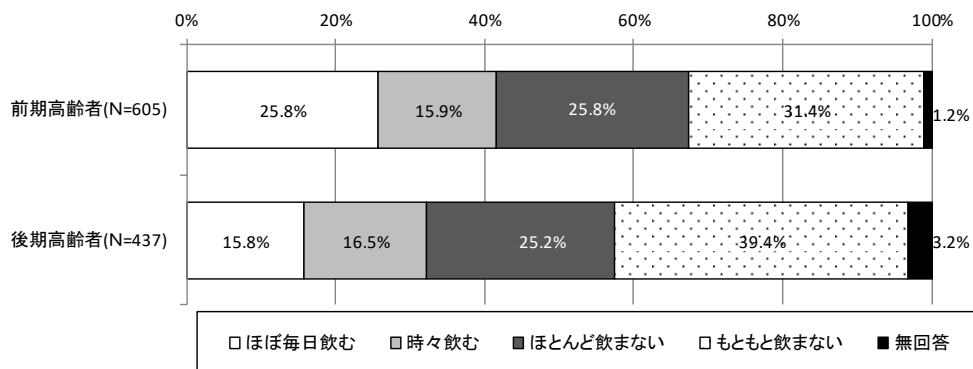
(5) お酒は飲みますか

お酒については、「もともと飲まない」が34.5%、「ほとんど飲まない」が25.5%となっています。

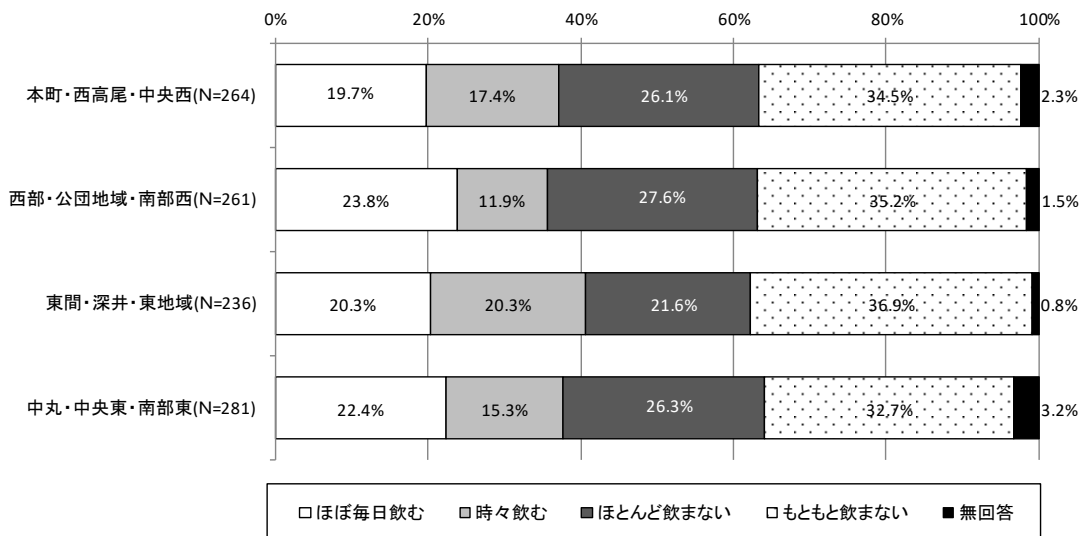


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------|-------|--------|
| ほぼ毎日飲む | 230 | 21.8% |
| 時々飲む | 171 | 16.2% |
| ほとんど飲まない | 268 | 25.5% |
| もともと飲まない | 363 | 34.5% |
| 無回答 | 21 | 2.0% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

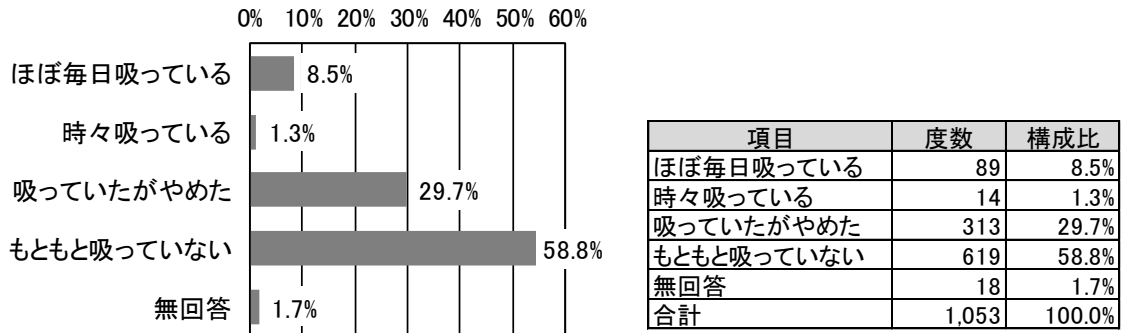


【圏域別クロス】

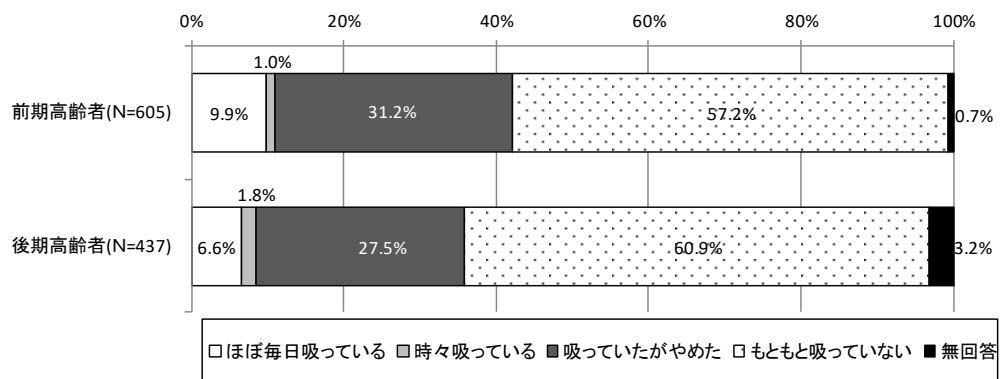


(6) タバコは吸っていますか

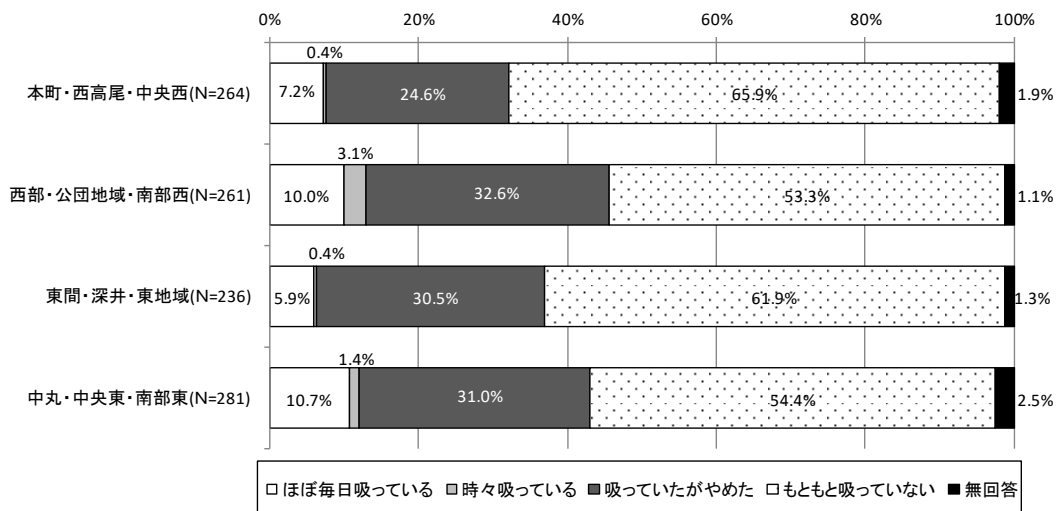
喫煙については、「もともと吸っていない」が 58.8%、「吸っていたがやめた」が 29.7% となっています。



【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

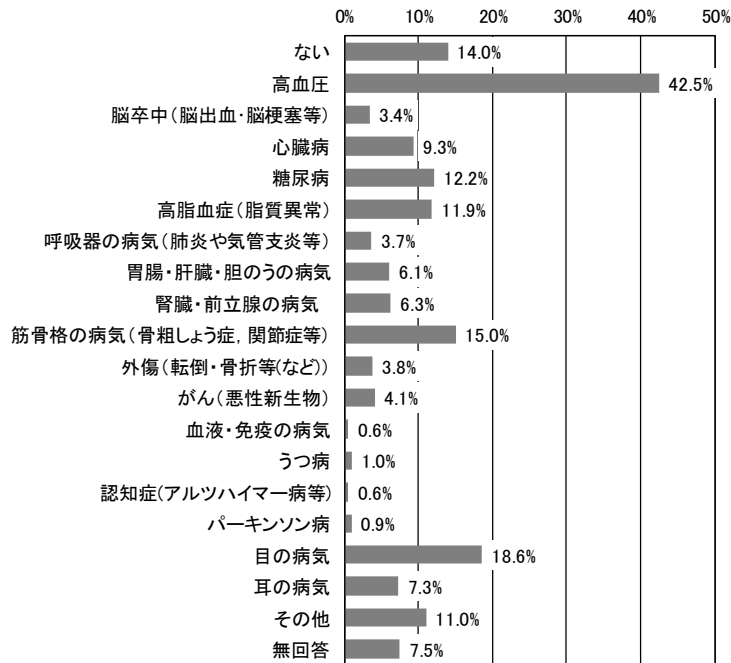


【圏域別クロス】



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

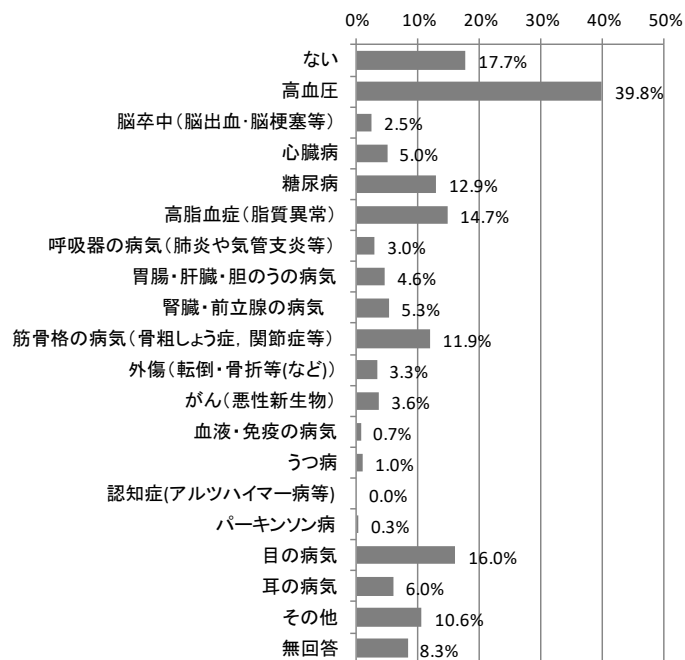
現在治療中、または後遺症のある病気はあるかについては、「高血圧」が42.5%、「目の病気」が18.6%となっています。



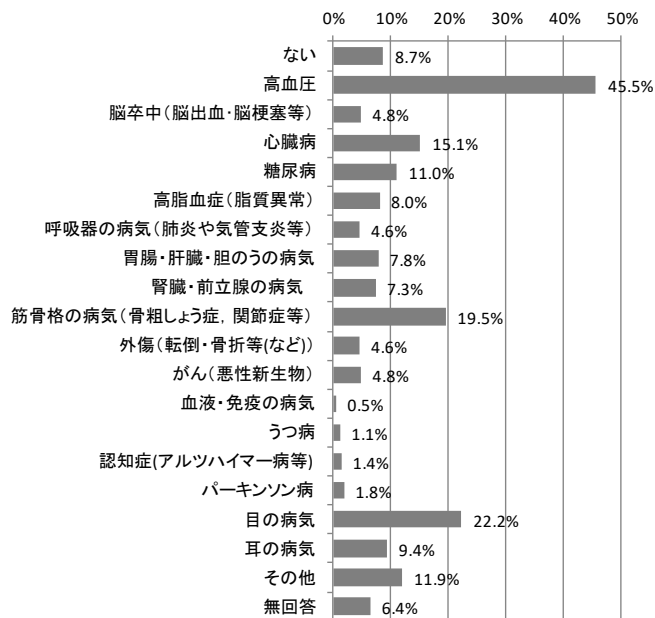
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------|-------|-------|
| ない | 147 | 14.0% |
| 高血圧 | 447 | 42.5% |
| 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 36 | 3.4% |
| 心臓病 | 98 | 9.3% |
| 糖尿病 | 128 | 12.2% |
| 高脂血症(脂質異常) | 125 | 11.9% |
| 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 39 | 3.7% |
| 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 64 | 6.1% |
| 腎臓・前立腺の病気 | 66 | 6.3% |
| 筋骨格の病気(骨粗しょう症, 関節症等) | 158 | 15.0% |
| 外傷(転倒・骨折等(など)) | 40 | 3.8% |
| がん(悪性新生物) | 43 | 4.1% |
| 血液・免疫の病気 | 6 | 0.6% |
| うつ病 | 11 | 1.0% |
| 認知症(アルツハイマー病等) | 6 | 0.6% |
| パーキンソン病 | 10 | 0.9% |
| 目の病気 | 196 | 18.6% |
| 耳の病気 | 77 | 7.3% |
| その他 | 116 | 11.0% |
| 無回答 | 79 | 7.5% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

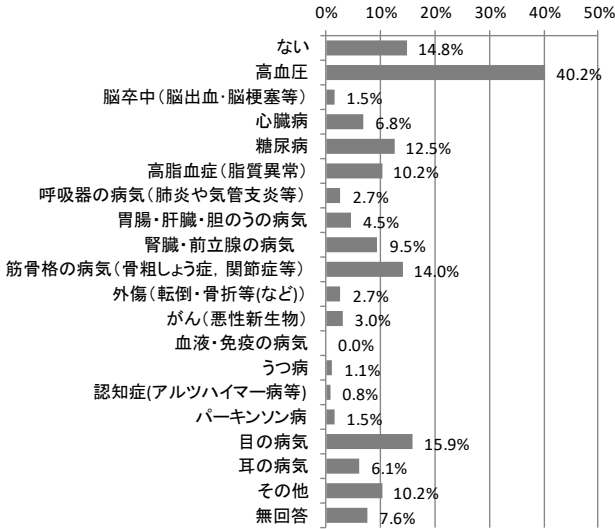


後期高齢者(N=437)

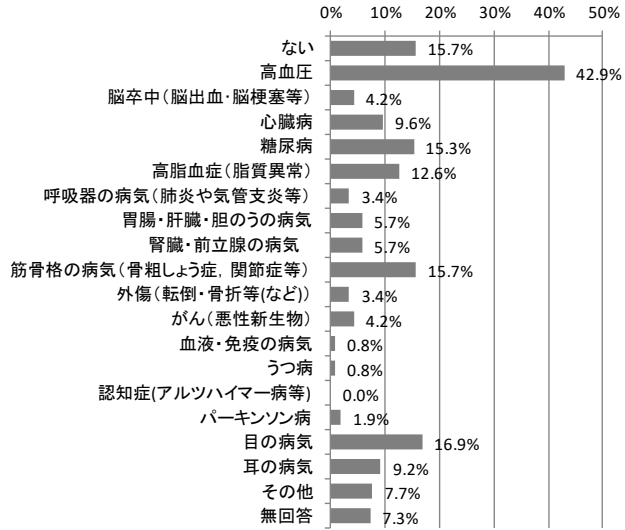


【圏域別クロス】

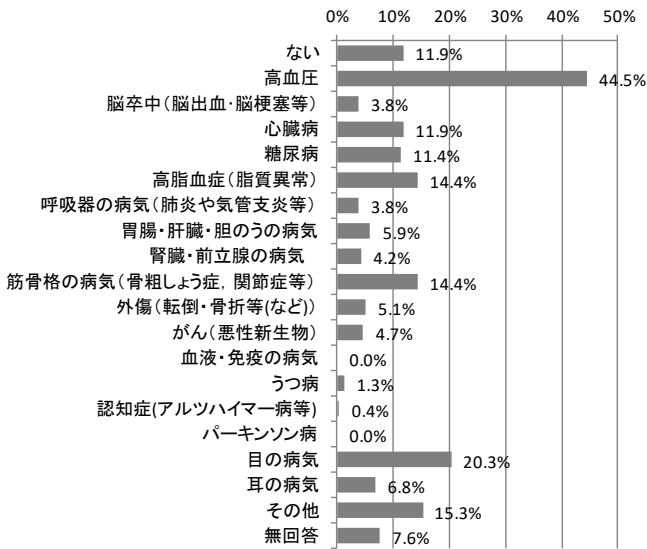
本町・西高尾・中央西(N=264)



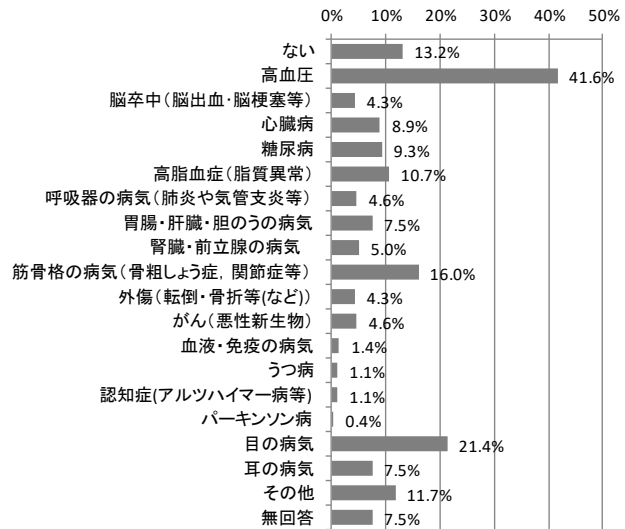
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)



中丸・中央東・南部東(N=281)

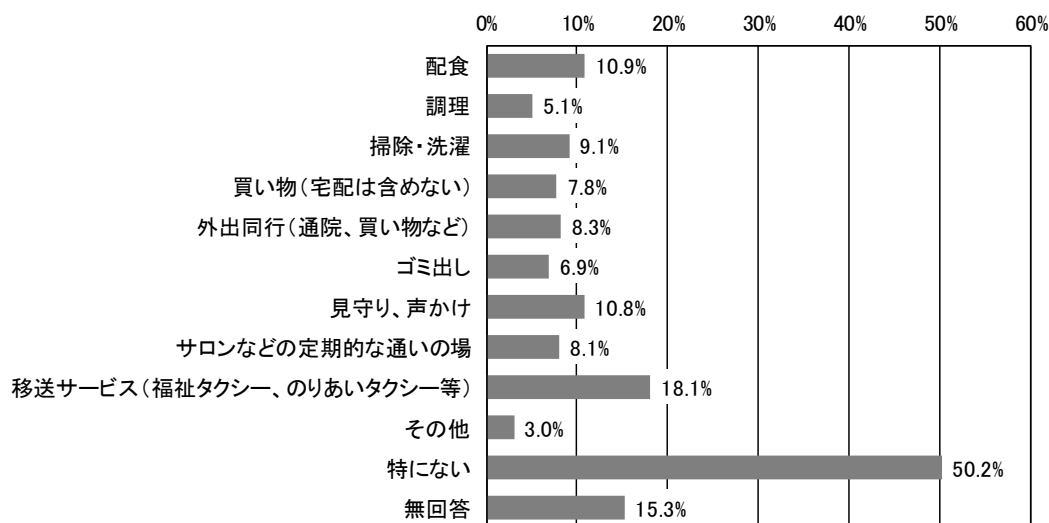


【問8 介護保険以外のサービスについて】

(1) 今後、在宅生活の継続に必要と感じる「介護保険サービス以外」の支援サービスはありますか(いくつでも)

今後の在宅生活の継続に必要と感じる「介護保険サービス以外」の支援サービスについては、「移送サービス(福祉タクシー、のりあいタクシー)」が18.1%、「配食」が10.9%、「見守り、声かけ」が10.8%となっています。

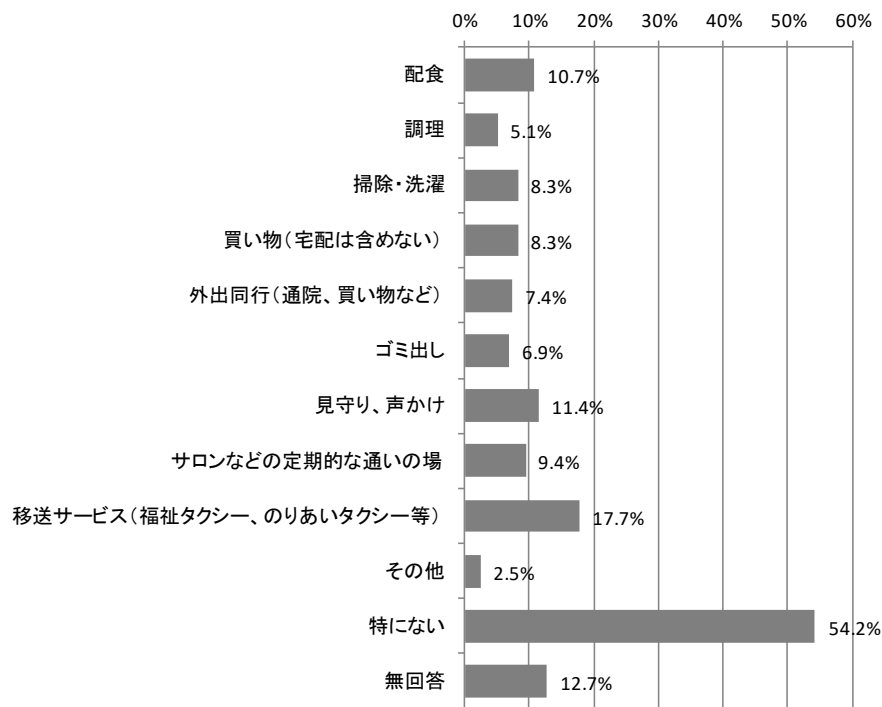
また、「特にない」が50.2%となっています。



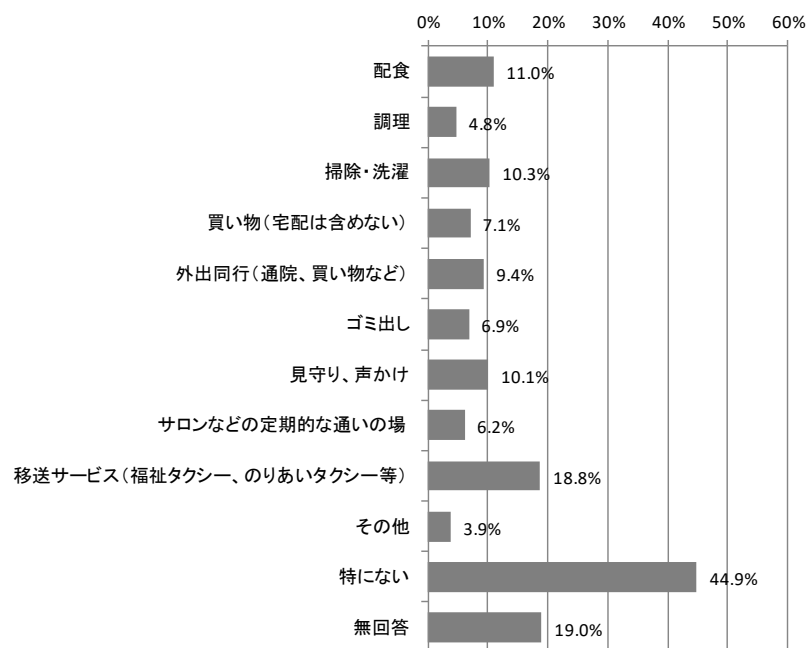
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------------------|-------|-------|
| 配食 | 115 | 10.9% |
| 調理 | 54 | 5.1% |
| 掃除・洗濯 | 96 | 9.1% |
| 買い物(宅配は含めない) | 82 | 7.8% |
| 外出同行(通院、買い物など) | 87 | 8.3% |
| ゴミ出し | 73 | 6.9% |
| 見守り、声かけ | 114 | 10.8% |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 85 | 8.1% |
| 移送サービス(福祉タクシー、のりあいタクシー等) | 191 | 18.1% |
| その他 | 32 | 3.0% |
| 特にない | 529 | 50.2% |
| 無回答 | 161 | 15.3% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

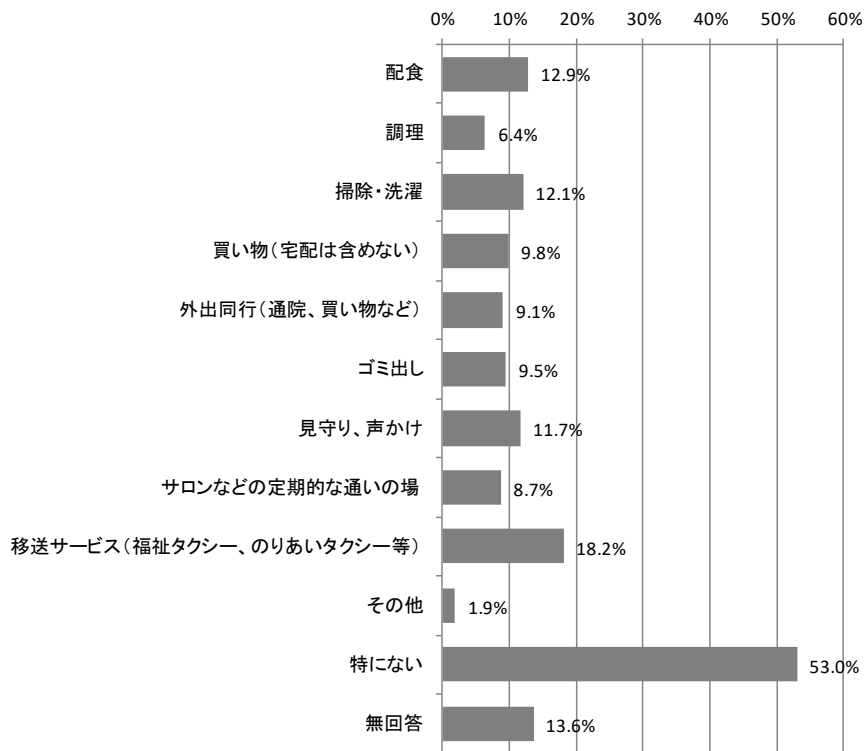


後期高齢者(N=437)

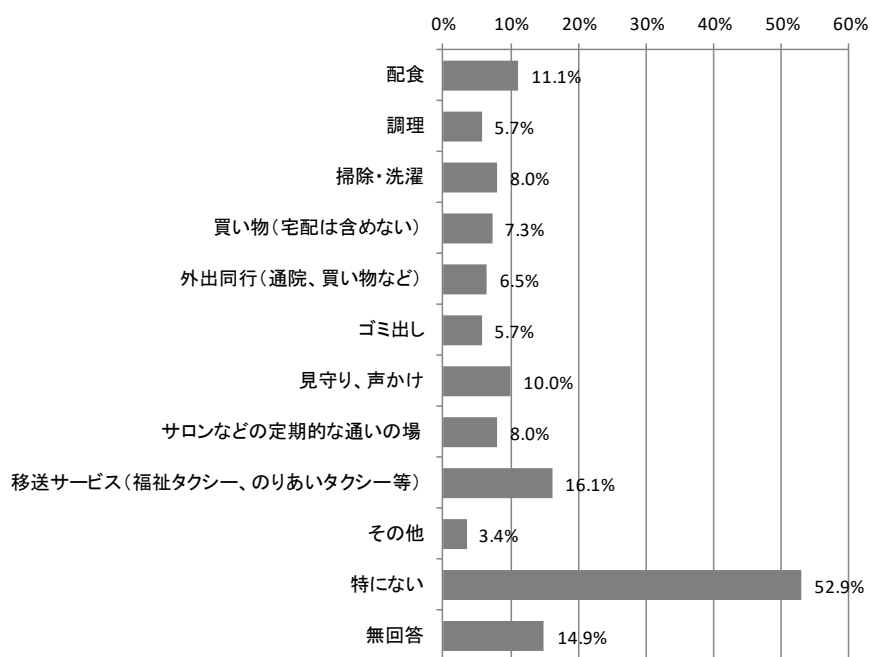


【圏域別クロス】

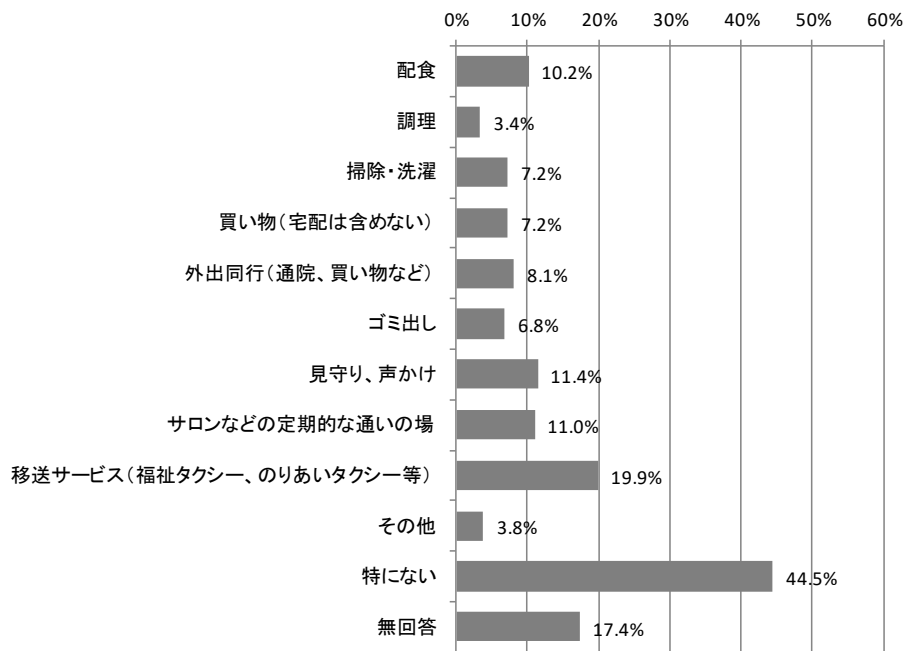
本町・西高尾・中央西(N=264)



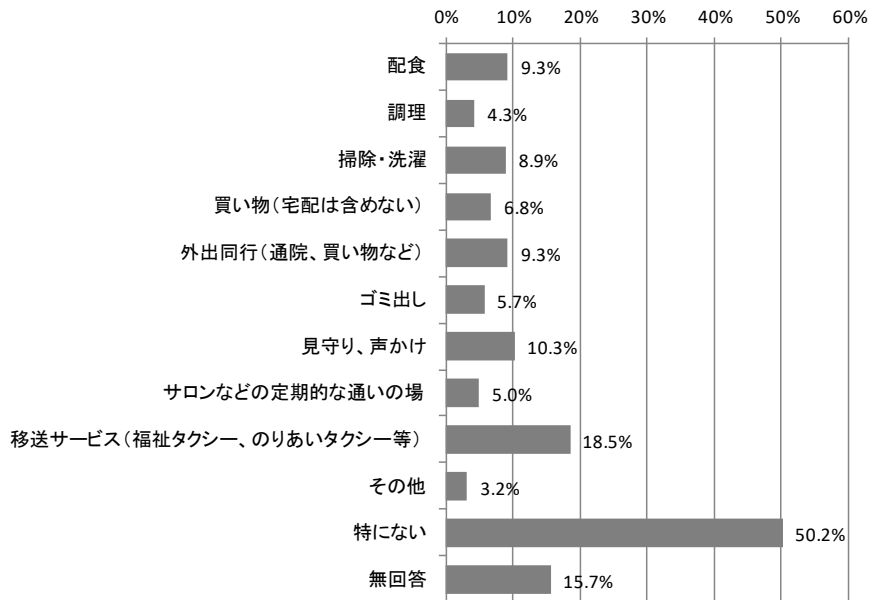
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)



中丸・中央東・南部東(N=281)



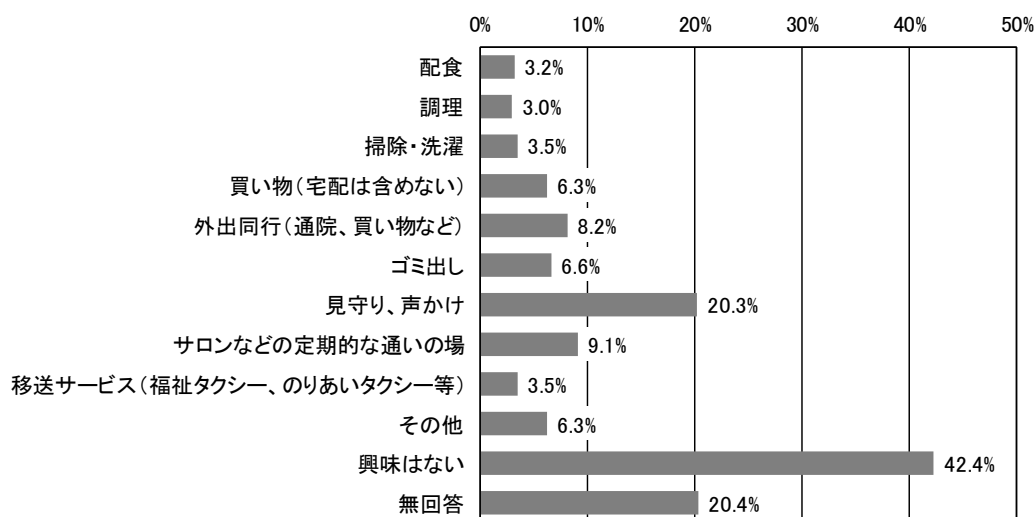
※サロン

地域でのつながりや、生きがいをもつために、気軽に参加できる集いの場

(2)「介護保険サービス以外」の支援サービスで、あなたがボランティアなどで参加したいと興味のあるものはありますか(いくつでも)

「介護保険サービス以外」の支援サービスで、ボランティアなどで参加したいと興味のあるものについては、「見守り、声かけ」が 20.3%、「サロンなどの定期的な通いの場」が 9.1%となっています。

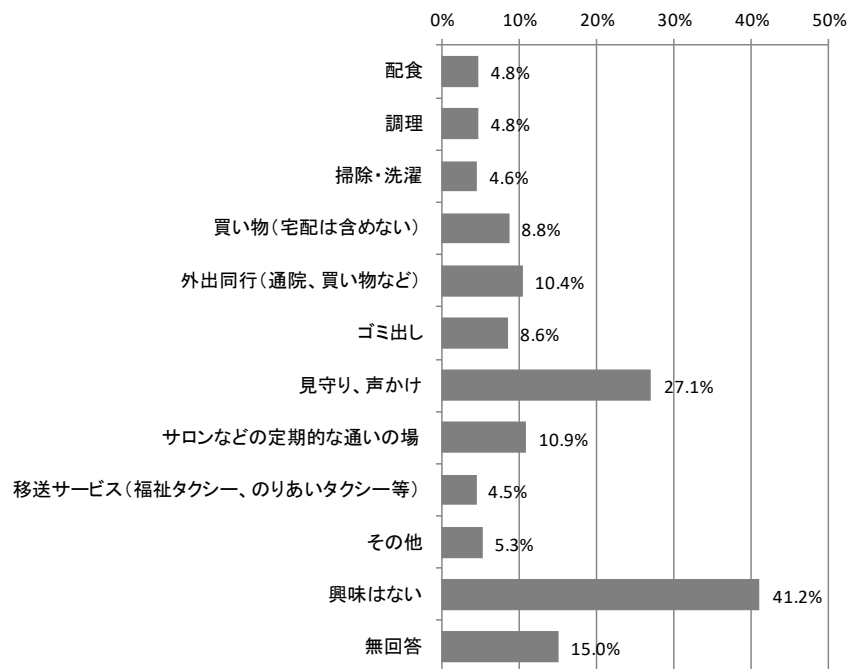
また、「興味はない」が 42.4%となっています。



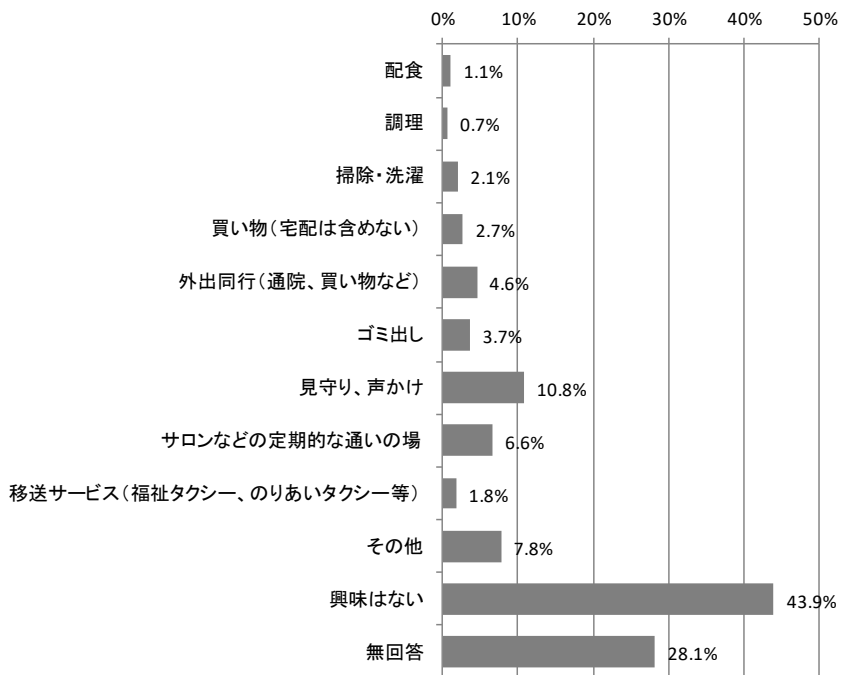
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------------------|-------|-------|
| 配食 | 34 | 3.2% |
| 調理 | 32 | 3.0% |
| 掃除・洗濯 | 37 | 3.5% |
| 買い物(宅配は含めない) | 66 | 6.3% |
| 外出同行(通院、買い物など) | 86 | 8.2% |
| ゴミ出し | 70 | 6.6% |
| 見守り、声かけ | 214 | 20.3% |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 96 | 9.1% |
| 移送サービス(福祉タクシー、のりあいタクシー等) | 37 | 3.5% |
| その他 | 66 | 6.3% |
| 興味はない | 446 | 42.4% |
| 無回答 | 215 | 20.4% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

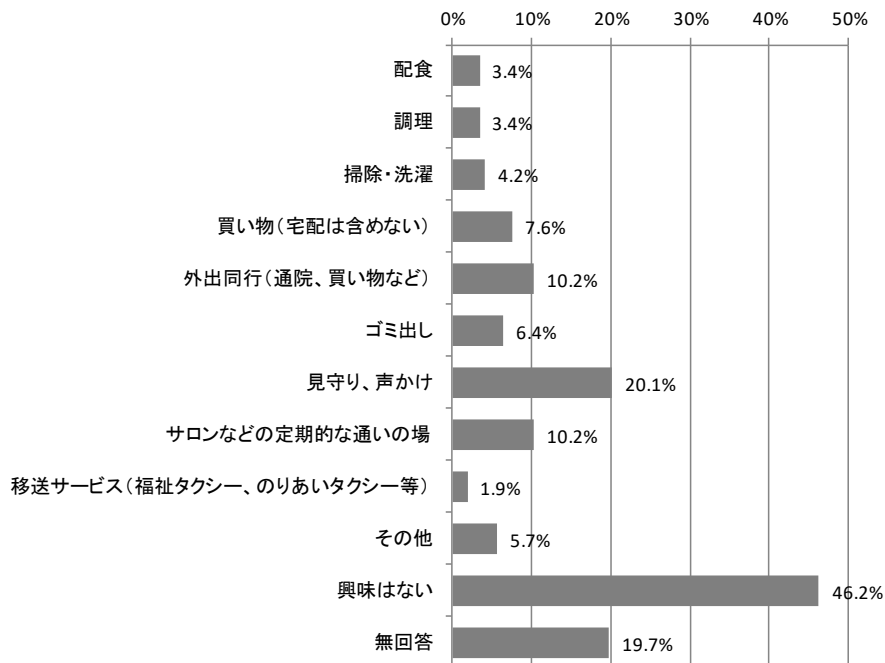


後期高齢者(N=437)

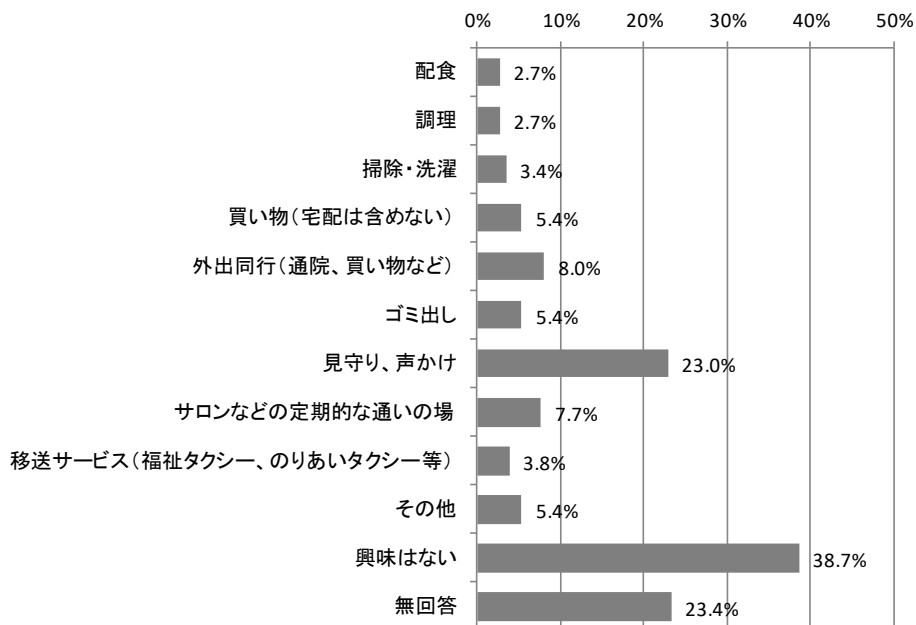


【圏域別クロス】

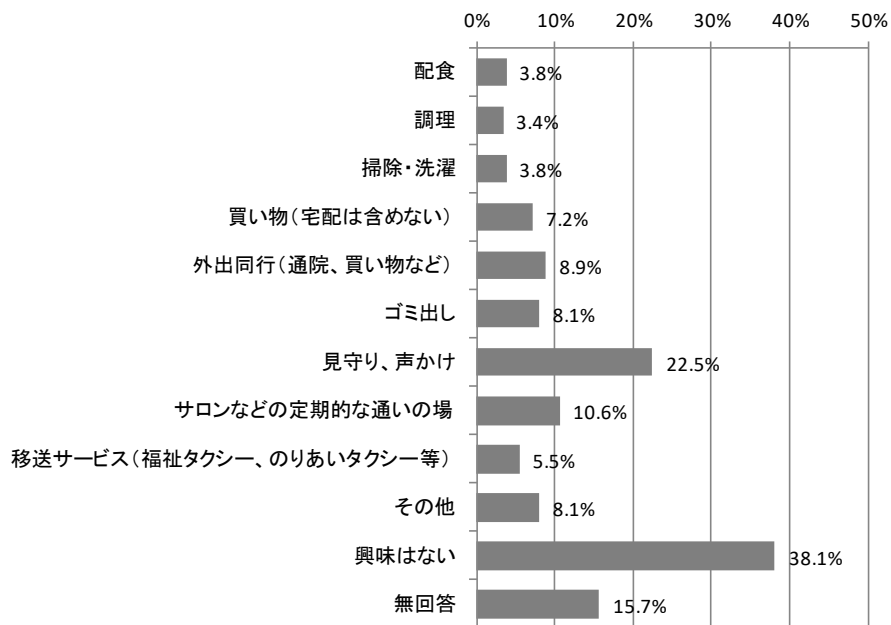
本町・西高尾・中央西(N=264)



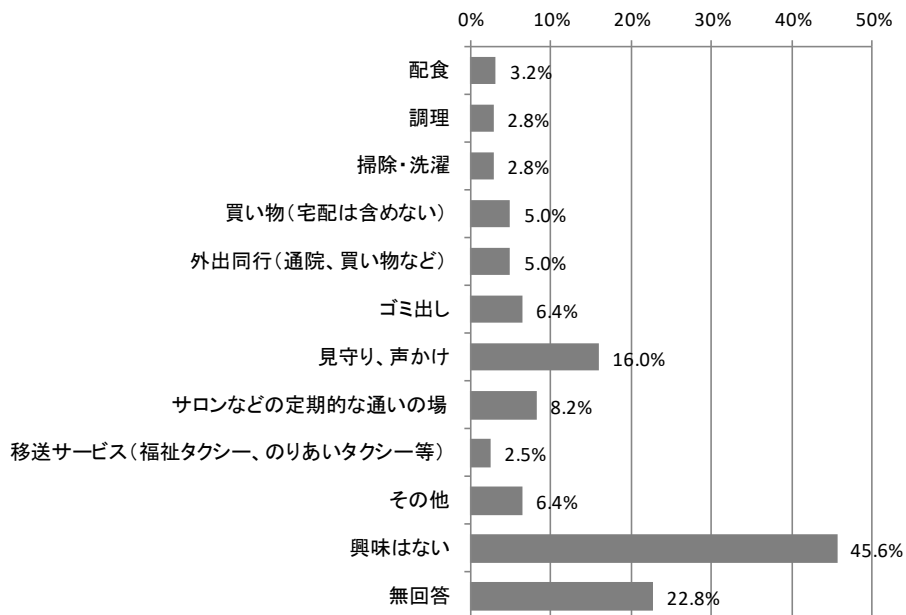
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)



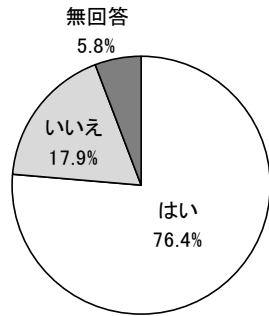
中丸・中央東・南部東(N=281)



【問9 在宅医療について】

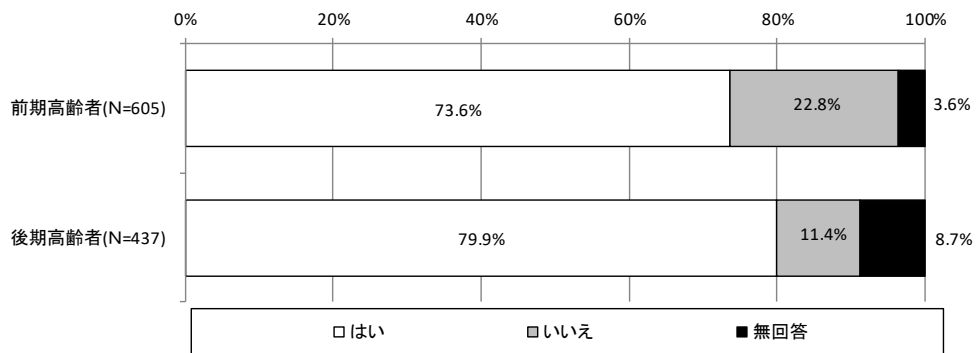
(1) かかりつけ医はいますか

かかりつけ医がいるかについては、「はい」が76.4%、「いいえ」が17.9%となっています。

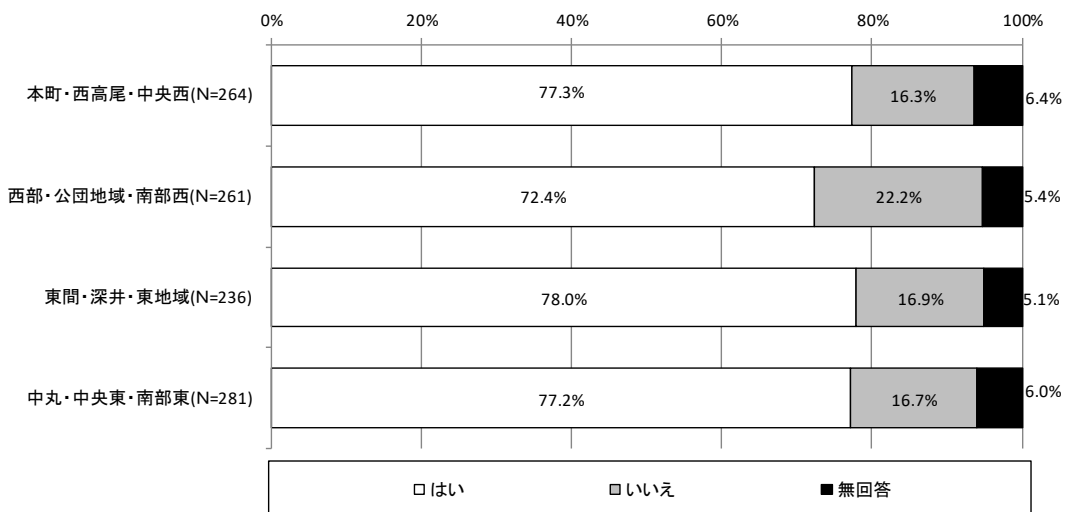


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|-------|--------|
| はい | 804 | 76.4% |
| いいえ | 188 | 17.9% |
| 無回答 | 61 | 5.8% |
| 合計 | 1,053 | 100.0% |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

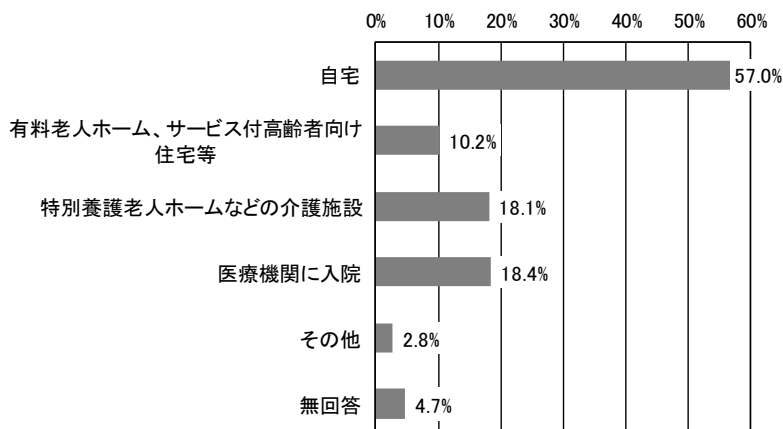


【圏域別クロス】



(2)あなたが、医療や介護が必要になった時、主にどこで過ごしたいですか

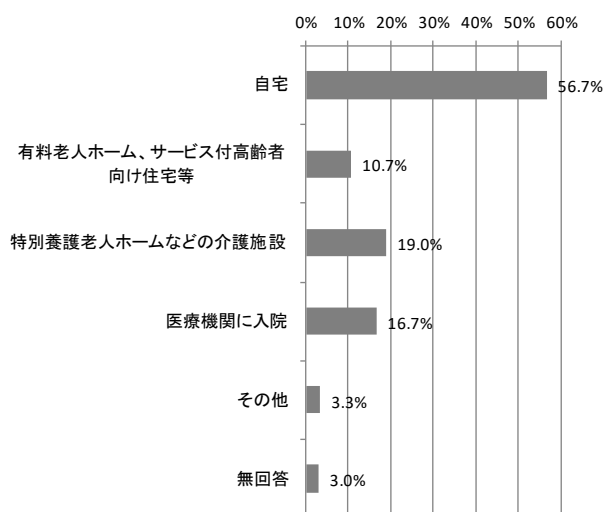
医療や介護が必要になった時、主にどこで過ごしたいかについては、「自宅」が57.0%、「医療機関に入院」が18.4%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が18.1%となっています。



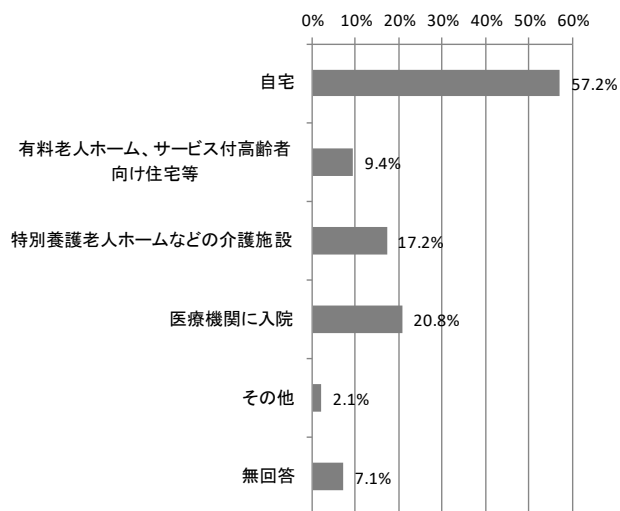
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------|-------|-------|
| 自宅 | 600 | 57.0% |
| 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 | 107 | 10.2% |
| 特別養護老人ホームなどの介護施設 | 191 | 18.1% |
| 医療機関に入院 | 194 | 18.4% |
| その他 | 29 | 2.8% |
| 無回答 | 50 | 4.7% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

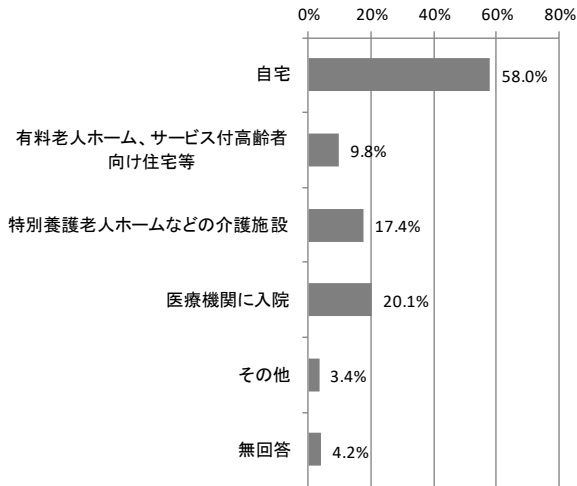


後期高齢者(N=437)

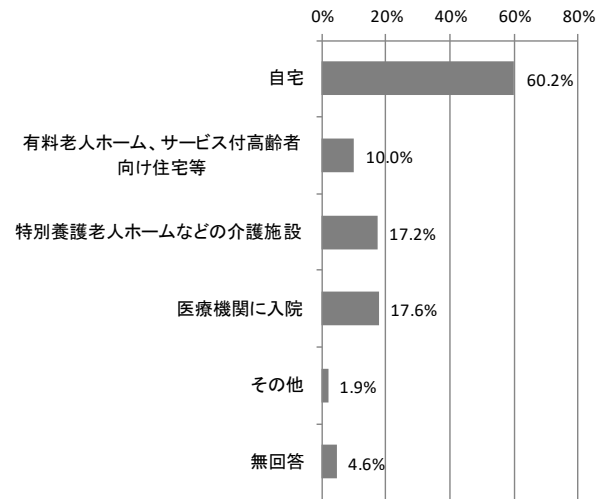


【圏域別クロス】

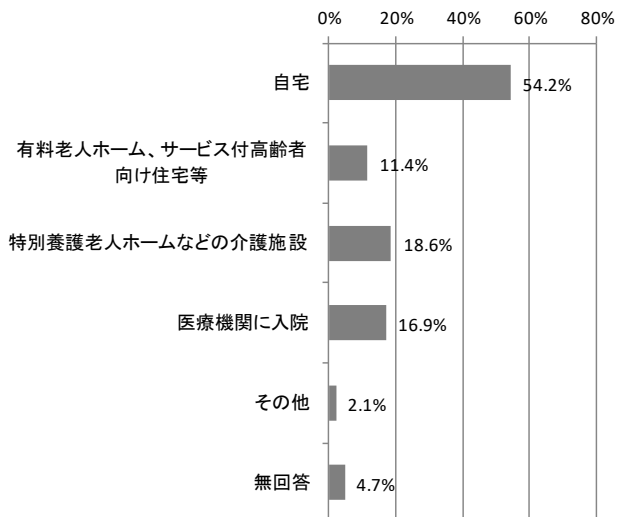
本町・西高尾・中央西(N=264)



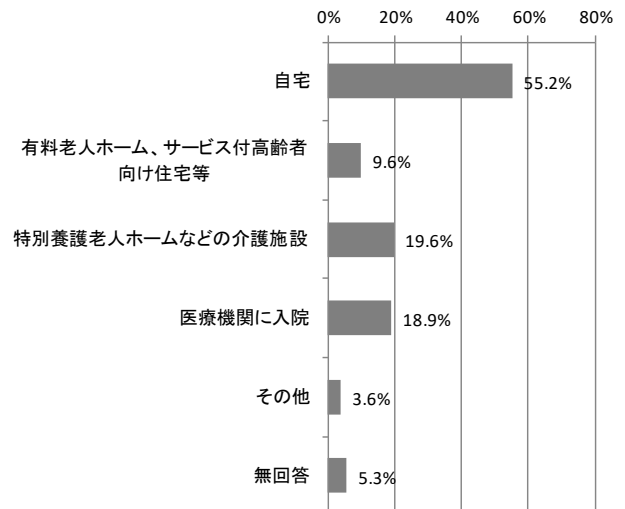
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)



中丸・中央東・南部東(N=281)



※有料老人ホーム

食事の提供、介護の提供、掃除、洗濯等の家事や健康管理などの日常生活を送る上で必要なサービスを利用することができる施設

※サービス付高齢者向け住宅等

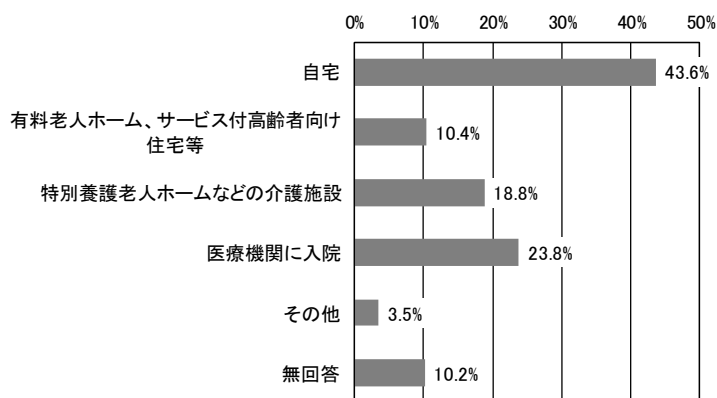
入居者の安否確認や、生活支援サービスを受けることができるバリアフリー対応の賃貸住宅

※特別養護老人ホーム

日常生活に常時介護が必要で、自宅での生活が困難な方が入所し、食事や入浴、排泄などの日常生活の介護や機能訓練、健康管理及び療養上のお世話を受けながら生活する施設

(3)あなたの家族が、医療や介護が必要になった時、主にどこで過ごしてもらいたいですか

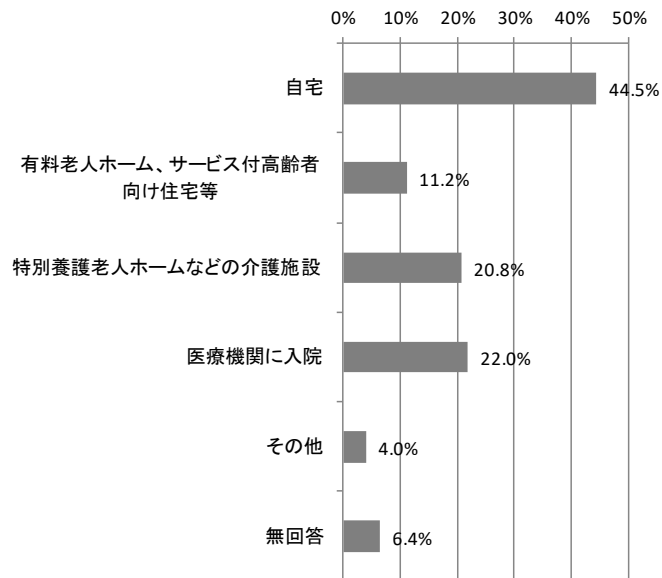
家族が、医療や介護が必要になった時、主にどこで過ごしてもらいたいかについては、「自宅」が43.6%、「医療機関に入院」が23.8%となっています。



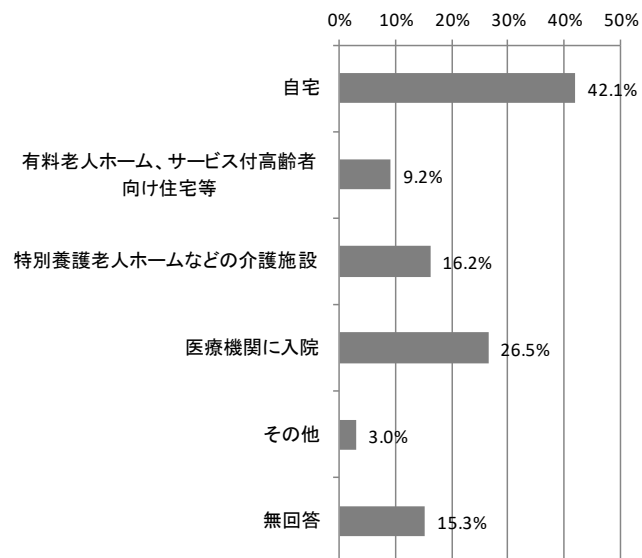
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------|-------|-------|
| 自宅 | 459 | 43.6% |
| 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 | 110 | 10.4% |
| 特別養護老人ホームなどの介護施設 | 198 | 18.8% |
| 医療機関に入院 | 251 | 23.8% |
| その他 | 37 | 3.5% |
| 無回答 | 107 | 10.2% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

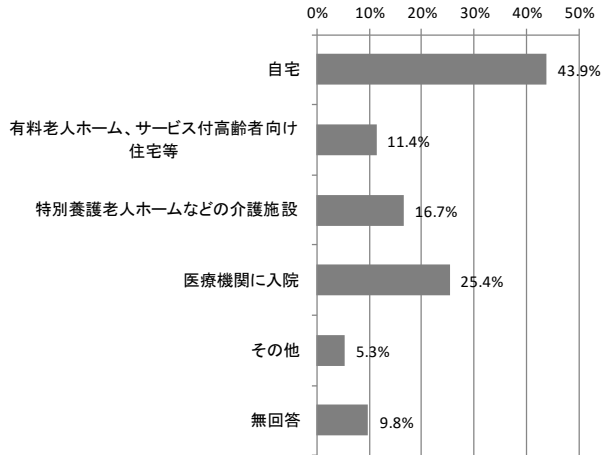


後期高齢者(N=437)

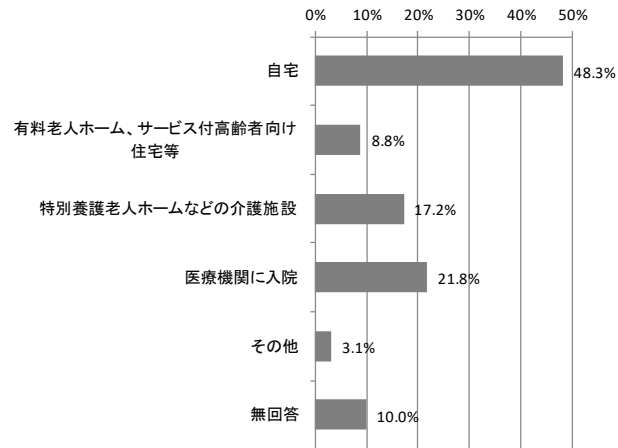


【圏域別クロス】

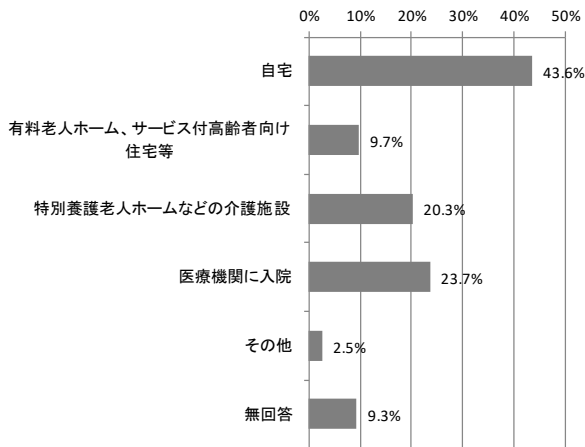
本町・西高尾・中央西(N=264)



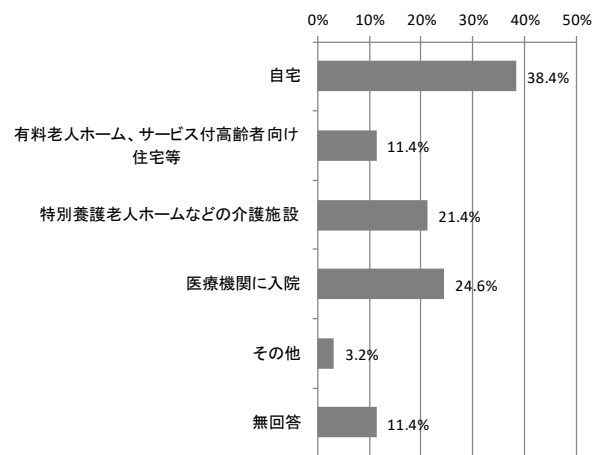
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)

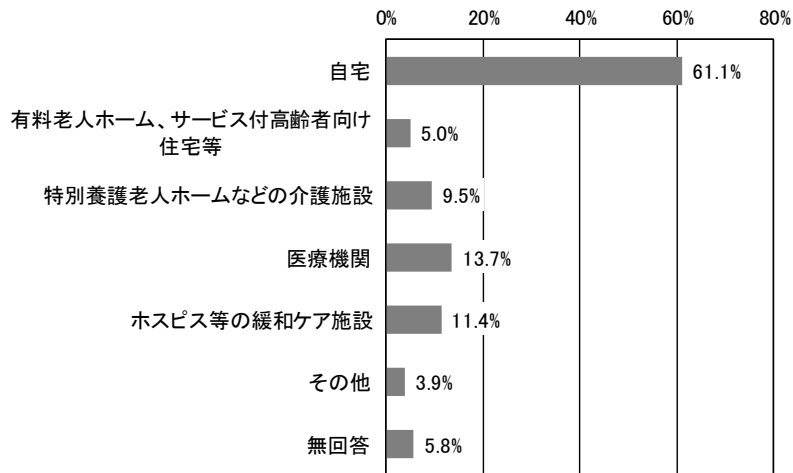


中丸・中央東・南部東(N=281)



(4) 人生の最期をどこで過ごしたいですか

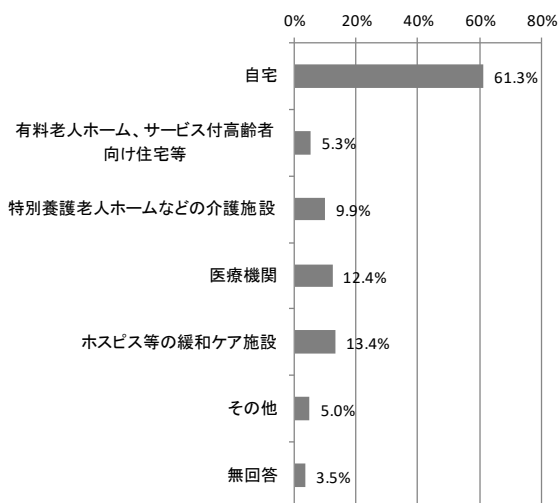
人生の最期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が61.1%、「医療機関」が13.7%となっています。



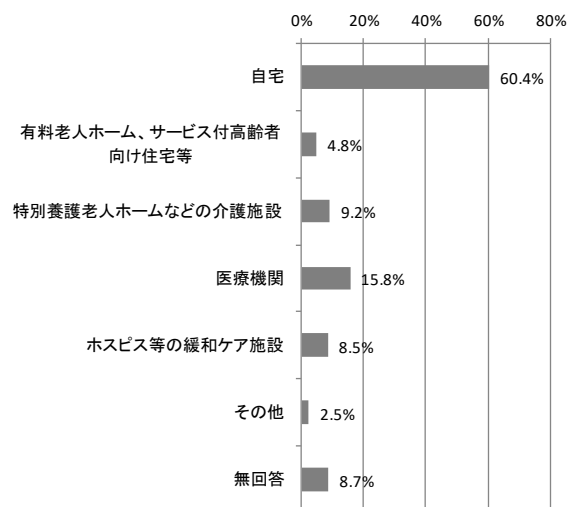
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------|-------|-------|
| 自宅 | 643 | 61.1% |
| 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 | 53 | 5.0% |
| 特別養護老人ホームなどの介護施設 | 100 | 9.5% |
| 医療機関 | 144 | 13.7% |
| ホスピス等の緩和ケア施設 | 120 | 11.4% |
| その他 | 41 | 3.9% |
| 無回答 | 61 | 5.8% |
| 回答者数 | 1,053 | |

【前期高齢者・後期高齢者別クロス】

前期高齢者(N=605)

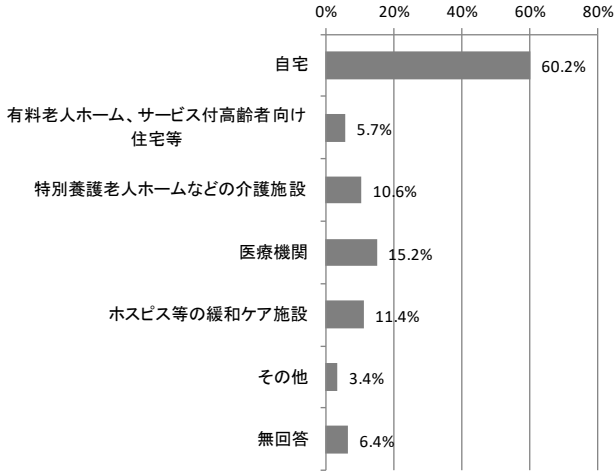


後期高齢者(N=437)

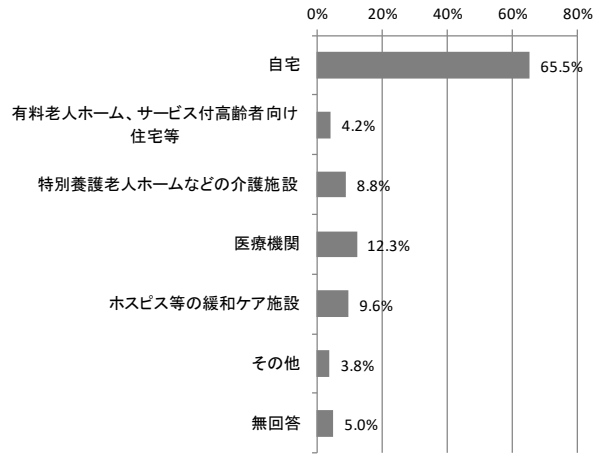


【圏域別クロス】

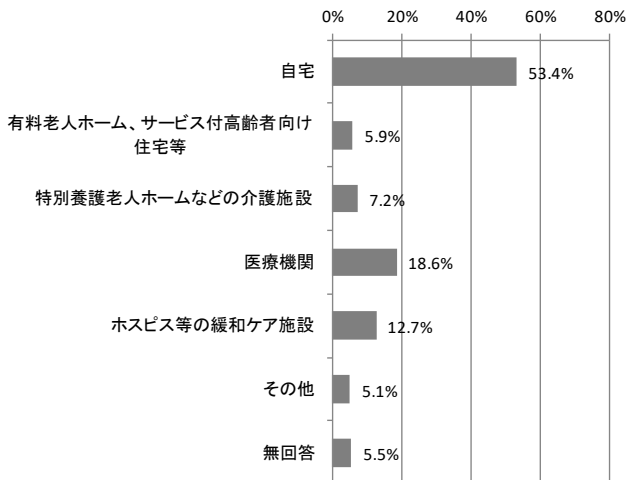
本町・西高尾・中央西(N=264)



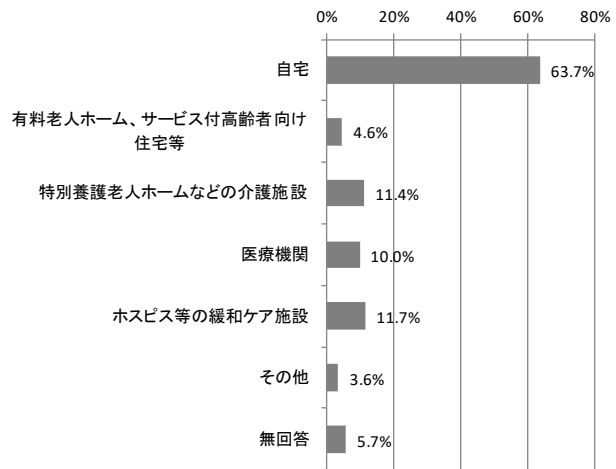
西部・公団地域・南部西(N=261)



東間・深井・東地域(N=236)



中丸・中央東・南部東(N=281)



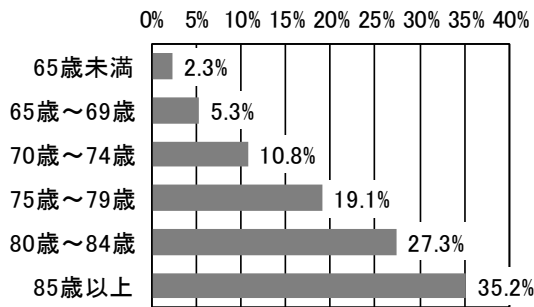
※緩和ケア施設

末期がん等による痛みを主体とした不快な症状や、不安に苦しむ患者の身体の諸症状を和らげ、平穏な心を取り戻すために援助し、本来のその人らしさを発揮して生命を全うすることを目的とする施設。

【2 在宅介護実態調査】

年齢区分

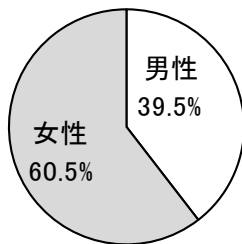
年齢区分については、「85歳以上」が35.2%、「80歳～84歳」が27.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 65歳未満 | 15 | 2.3% |
| 65歳～69歳 | 34 | 5.3% |
| 70歳～74歳 | 69 | 10.8% |
| 75歳～79歳 | 122 | 19.1% |
| 80歳～84歳 | 175 | 27.3% |
| 85歳以上 | 225 | 35.2% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

性別

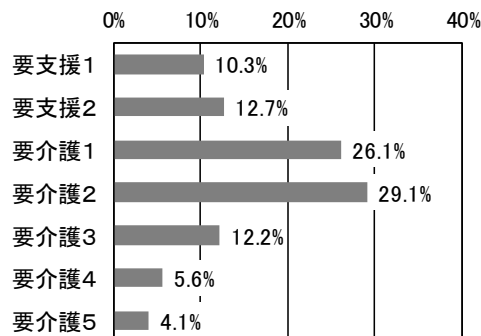
性別については、「男性」が39.5%、「女性」が60.5%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----|-----|--------|
| 男性 | 253 | 39.5% |
| 女性 | 387 | 60.5% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

介護度

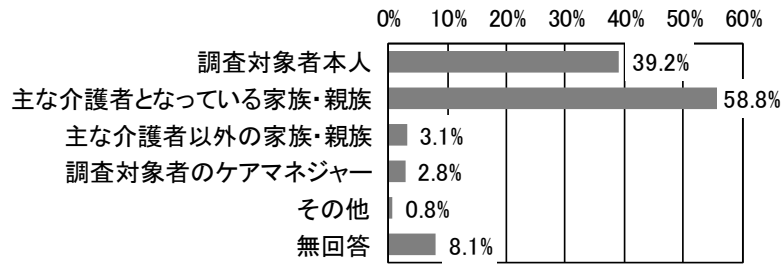
介護度については、「要介護2」が29.1%、「要介護1」が26.1%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------|-----|--------|
| 要支援1 | 66 | 10.3% |
| 要支援2 | 81 | 12.7% |
| 要介護1 | 167 | 26.1% |
| 要介護2 | 186 | 29.1% |
| 要介護3 | 78 | 12.2% |
| 要介護4 | 36 | 5.6% |
| 要介護5 | 26 | 4.1% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

【A票にご記入いただいたのは、どなたですか】（いくつでも）

記入者については、「主な介護者となっている家族・親族」が 58.8%、「調査対象者本人」が 39.2%となっています。



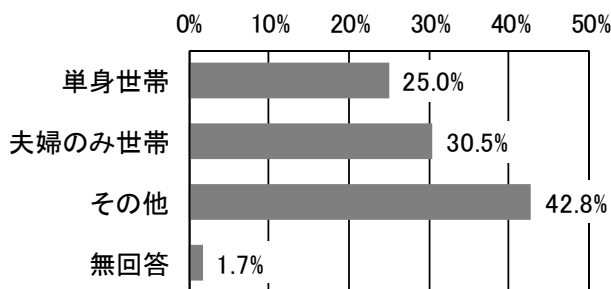
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------|-----|-------|
| 調査対象者本人 | 251 | 39.2% |
| 主な介護者となっている家族・親族 | 376 | 58.8% |
| 主な介護者以外の家族・親族 | 20 | 3.1% |
| 調査対象者のケアマネジャー | 18 | 2.8% |
| その他 | 5 | 0.8% |
| 無回答 | 52 | 8.1% |
| 回答者数 | 640 | |

【A票 あて名のご本人についておうかがいします】

問1 世帯類型について、ご回答ください（〇は1つ）

世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が 30.5%、「単身世帯」が 25.0%となっています。

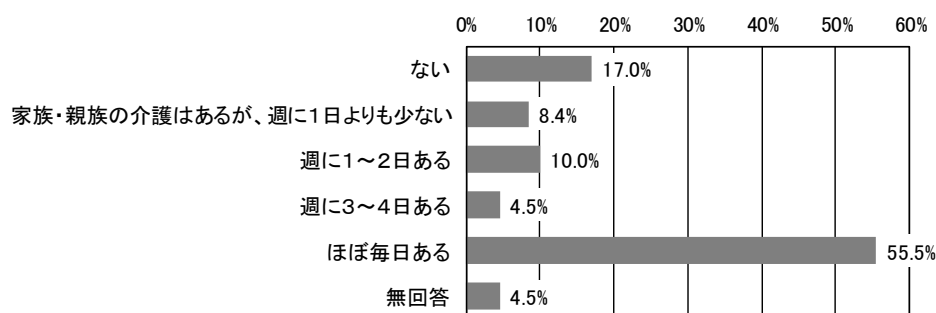
また、「その他」が 42.8%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| 単身世帯 | 160 | 25.0% |
| 夫婦のみ世帯 | 195 | 30.5% |
| その他 | 274 | 42.8% |
| 無回答 | 11 | 1.7% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(○は1つ)

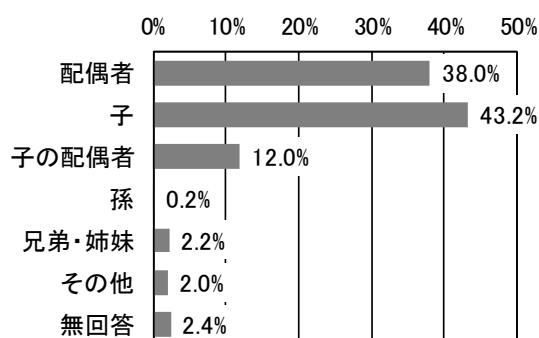
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかについては、「ほぼ毎日ある」が55.5%、「ない」が17.0%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------------|-----|--------|
| ない | 109 | 17.0% |
| 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | 54 | 8.4% |
| 週に1～2日ある | 64 | 10.0% |
| 週に3～4日ある | 29 | 4.5% |
| ほぼ毎日ある | 355 | 55.5% |
| 無回答 | 29 | 4.5% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

問3 主な介護者の方は、どなたですか(○は1つ)

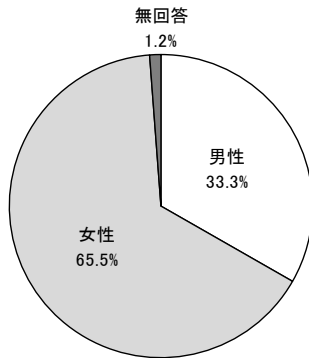
主な介護者の方については、「子」が43.2%、「配偶者」が38.0%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 配偶者 | 191 | 38.0% |
| 子 | 217 | 43.2% |
| 子の配偶者 | 60 | 12.0% |
| 孫 | 1 | 0.2% |
| 兄弟・姉妹 | 11 | 2.2% |
| その他 | 10 | 2.0% |
| 無回答 | 12 | 2.4% |
| 回答者数 | 502 | 100.0% |
| 非該当 | 138 | |
| 合計 | 640 | |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(○は1つ)

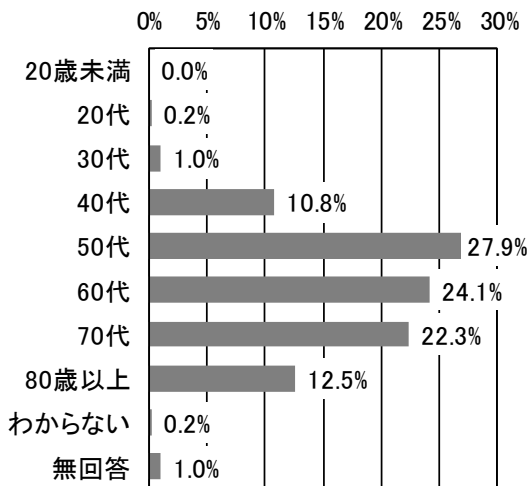
主な介護者の方の性別については、「男性」が 33.3%、「女性」が 65.5%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------|-----|--------|
| 男性 | 167 | 33.3% |
| 女性 | 329 | 65.5% |
| 無回答 | 6 | 1.2% |
| 回答者数 | 502 | 100.0% |
| 非該当 | 138 | |
| 合計 | 640 | |

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(○は1つ)

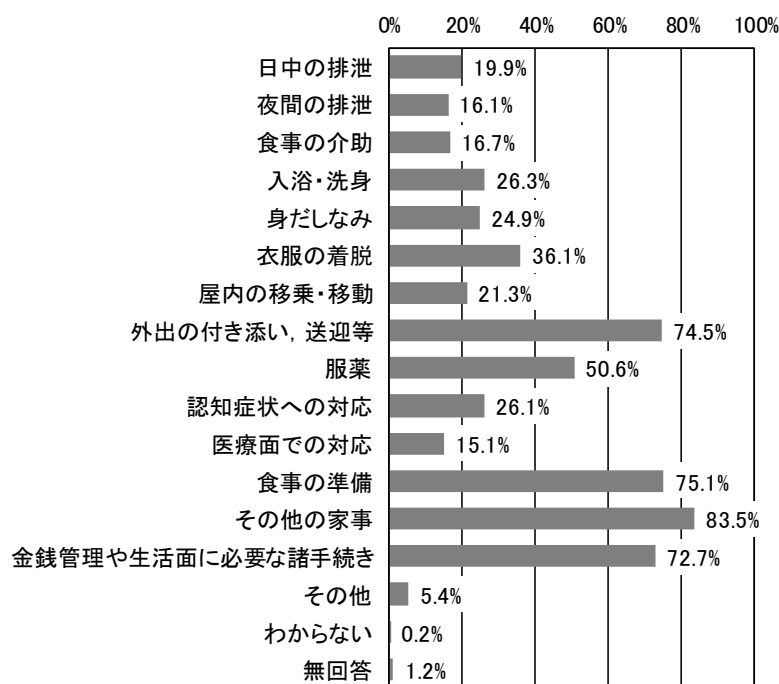
主な介護者の方の年齢については、「50代」が 27.9%、「60代」が 24.1%となっています。



| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 20歳未満 | 0 | 0.0% |
| 20代 | 1 | 0.2% |
| 30代 | 5 | 1.0% |
| 40代 | 54 | 10.8% |
| 50代 | 140 | 27.9% |
| 60代 | 121 | 24.1% |
| 70代 | 112 | 22.3% |
| 80歳以上 | 63 | 12.5% |
| わからない | 1 | 0.2% |
| 無回答 | 5 | 1.0% |
| 回答者数 | 502 | 100.0% |
| 非該当 | 138 | |
| 合計 | 640 | |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(いくつでも)

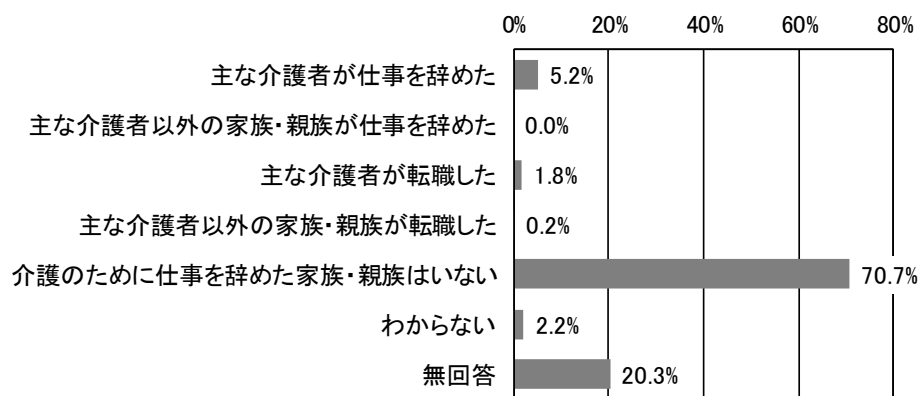
主な介護者の方が行っている介護等については、「その他の家事」が 83.5%、「食事の準備」が 75.1%、「外出の付き添い、送迎等」が 74.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 72.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------|-----|-------|
| 日中の排泄 | 100 | 19.9% |
| 夜間の排泄 | 81 | 16.1% |
| 食事の介助(食べる時) | 84 | 16.7% |
| 入浴・洗身 | 132 | 26.3% |
| 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 125 | 24.9% |
| 衣服の着脱 | 181 | 36.1% |
| 屋内の移乗・移動 | 107 | 21.3% |
| 外出の付き添い、送迎等 | 374 | 74.5% |
| 服薬 | 254 | 50.6% |
| 認知症状への対応 | 131 | 26.1% |
| 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | 76 | 15.1% |
| 食事の準備(調理等) | 377 | 75.1% |
| その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) | 419 | 83.5% |
| 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | 365 | 72.7% |
| その他 | 27 | 5.4% |
| わからない | 1 | 0.2% |
| 無回答 | 6 | 1.2% |
| 回答者数 | 502 | |
| 非該当 | 138 | |
| 合計 | 640 | |

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(いくつでも)

介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が70.7%、「主な介護者が仕事を辞めた」が5.2%となっています。

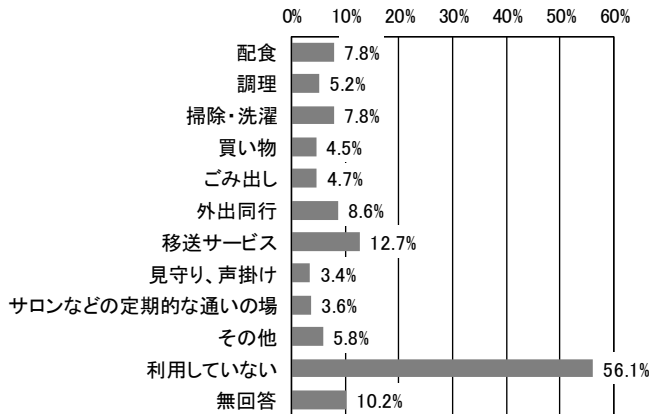


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------------|-----|-------|
| 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 26 | 5.2% |
| 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) | 0 | 0.0% |
| 主な介護者が転職した | 9 | 1.8% |
| 主な介護者以外の家族・親族が転職した | 1 | 0.2% |
| 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 355 | 70.7% |
| わからない | 11 | 2.2% |
| 無回答 | 102 | 20.3% |
| 回答者数 | 502 | |
| 非該当 | 138 | |
| 合計 | 640 | |

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(いくつかでも)

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「移送サービス」が12.7%、「外出同行」が8.6%となっています。

また、「利用していない」が56.1%となっています。

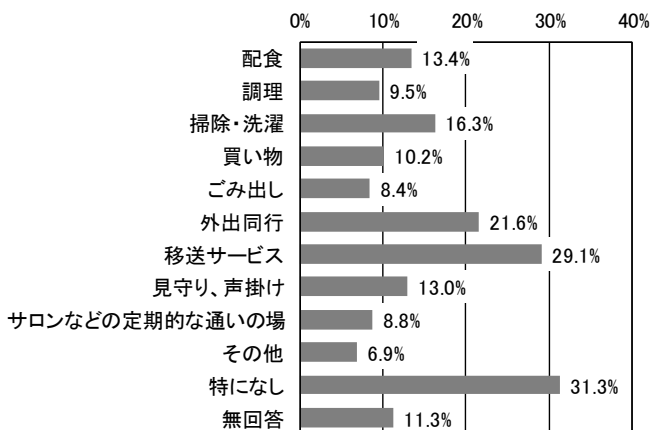


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------|-----|-------|
| 配食 | 50 | 7.8% |
| 調理 | 33 | 5.2% |
| 掃除・洗濯 | 50 | 7.8% |
| 買い物(生協などの配送は除く) | 29 | 4.5% |
| ごみ出し | 30 | 4.7% |
| 外出同行(通院、買い物など) | 55 | 8.6% |
| 移送サービス(介護・福祉ｸﾞﾗﾝﾌﾟなど) | 81 | 12.7% |
| 見守り、声掛け | 22 | 3.4% |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 23 | 3.6% |
| その他 | 37 | 5.8% |
| 利用していない | 359 | 56.1% |
| 無回答 | 65 | 10.2% |
| 回答者数 | 640 | |

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(いくつかでも)

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス」が29.1%、「外出同行」が21.6%となっています。

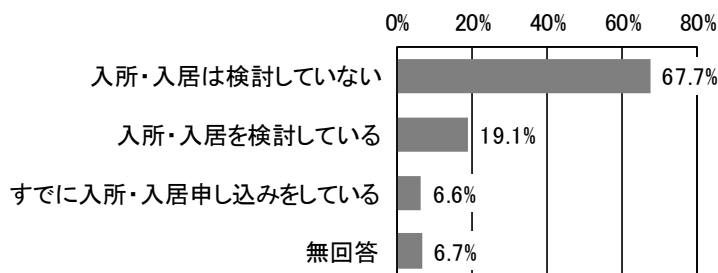
また、「特になし」が31.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------|-----|-------|
| 配食 | 86 | 13.4% |
| 調理 | 61 | 9.5% |
| 掃除・洗濯 | 104 | 16.3% |
| 買い物(生協などの配送は除く) | 65 | 10.2% |
| ごみ出し | 54 | 8.4% |
| 外出同行(通院、買い物など) | 138 | 21.6% |
| 移送サービス(介護・福祉ｸﾞﾗﾝﾌﾟなど) | 186 | 29.1% |
| 見守り、声掛け | 83 | 13.0% |
| サロンなどの定期的な通いの場 | 56 | 8.8% |
| その他 | 44 | 6.9% |
| 特になし | 200 | 31.3% |
| 無回答 | 72 | 11.3% |
| 回答者数 | 640 | |

**問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(〇は1つ)**

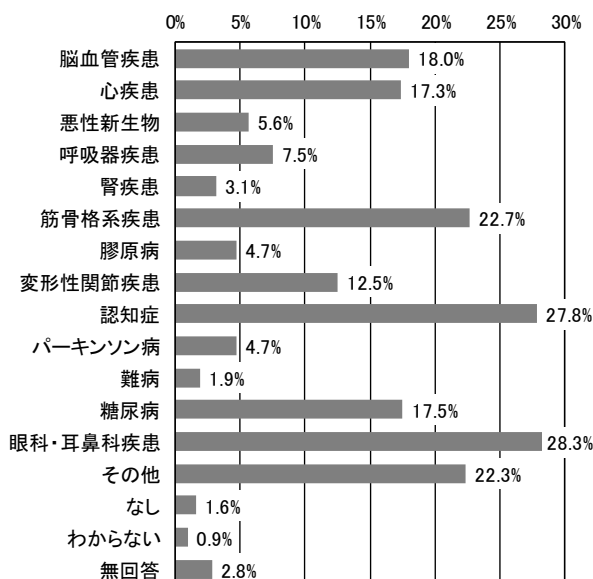
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が67.7%、「入所・入居を検討している」が19.1%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|-----|--------|
| 入所・入居は検討していない | 433 | 67.7% |
| 入所・入居を検討している | 122 | 19.1% |
| すでに入所・入居申し込みをしている | 42 | 6.6% |
| 無回答 | 43 | 6.7% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

問11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(いくつでも)

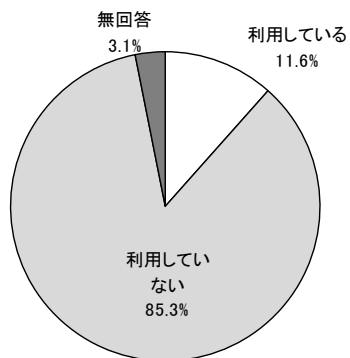
ご本人が、現在抱えている傷病については、「眼科・耳鼻科疾患」が28.3%、「認知症」が27.8%、「筋骨格系疾患」が22.7%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------------|-----|-------|
| 脳血管疾患(脳卒中) | 115 | 18.0% |
| 心疾患(心臓病) | 111 | 17.3% |
| 悪性新生物(がん) | 36 | 5.6% |
| 呼吸器疾患 | 48 | 7.5% |
| 腎疾患(透析) | 20 | 3.1% |
| 筋骨格系疾患(骨粗しょう症, 脊柱管狭窄症等) | 145 | 22.7% |
| 膠原病(関節リウマチ含む) | 30 | 4.7% |
| 変形性関節疾患 | 80 | 12.5% |
| 認知症 | 178 | 27.8% |
| パーキンソン病 | 30 | 4.7% |
| 難病(パーキンソン病を除く) | 12 | 1.9% |
| 糖尿病 | 112 | 17.5% |
| 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 181 | 28.3% |
| その他 | 143 | 22.3% |
| なし | 10 | 1.6% |
| わからない | 6 | 0.9% |
| 無回答 | 18 | 2.8% |
| 回答者数 | 640 | |

問12 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか(○は1つ)

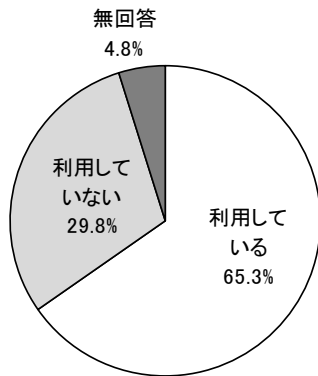
訪問診療の利用については「利用している」が11.6%、「利用していない」が85.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 利用している | 74 | 11.6% |
| 利用していない | 546 | 85.3% |
| 無回答 | 20 | 3.1% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

問13 現在、(住宅改修・福祉用具のレンタル・福祉用具購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(○は1つ)

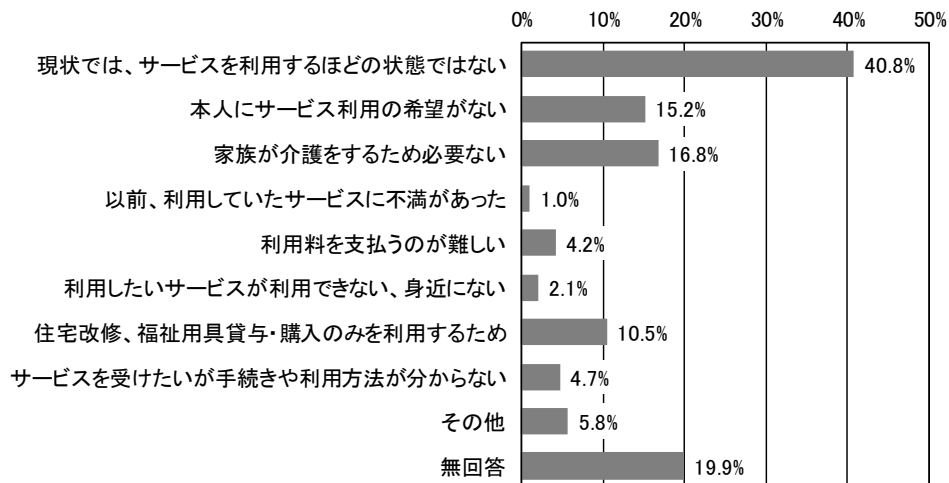
住宅改修・福祉用具のレンタル・福祉用具購入以外の介護保険サービスを利用しているかについては、「利用している」が65.3%、「利用していない」が29.8%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 利用している | 418 | 65.3% |
| 利用していない | 191 | 29.8% |
| 無回答 | 31 | 4.8% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(いくつでも)

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.8%、「家族が介護をするため必要ない」が16.8%となっています。



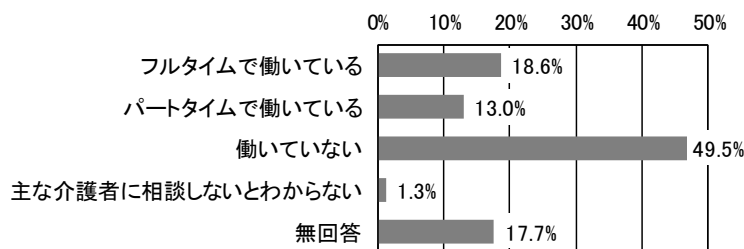
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------------------|-----|-------|
| 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 78 | 40.8% |
| 本人にサービス利用の希望がない | 29 | 15.2% |
| 家族が介護をするため必要ない | 32 | 16.8% |
| 以前、利用していたサービスに不満があった | 2 | 1.0% |
| 利用料を支払うのが難しい | 8 | 4.2% |
| 利用したいサービスが利用できない、身近にない | 4 | 2.1% |
| 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | 20 | 10.5% |
| サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9 | 4.7% |
| その他 | 11 | 5.8% |
| 無回答 | 38 | 19.9% |
| 回答者数 | 191 | |
| 非該当 | 449 | |
| 合計 | 640 | |

【B 票 主な介護者について】

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(○は1つ)

介護者の方の勤務形態については、「フルタイムで働いている」が 18.6%、「パートタイムで働いている」が 13.0%となっています。

また、「働いていない」が 49.5%となっています。



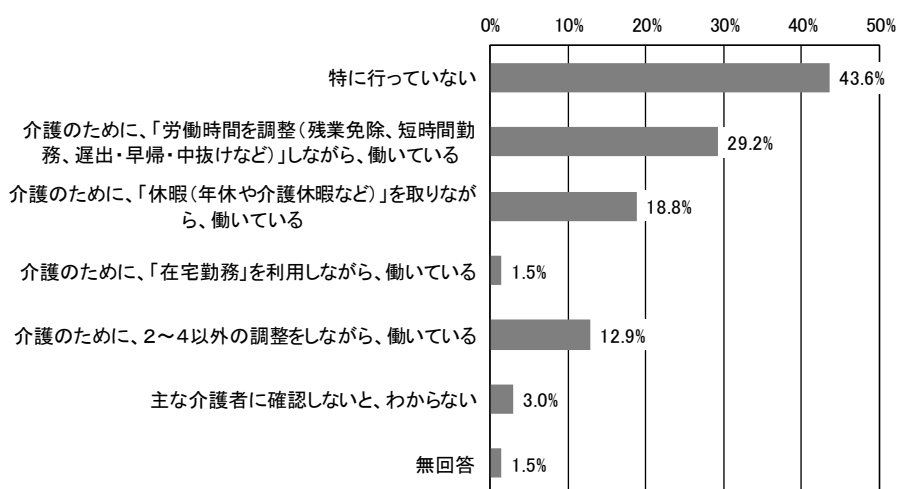
| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|-----|--------|
| フルタイムで働いている | 119 | 18.6% |
| パートタイムで働いている | 83 | 13.0% |
| 働いていない | 317 | 49.5% |
| 主な介護者に相談しないとわからない | 8 | 1.3% |
| 無回答 | 113 | 17.7% |
| 合計 | 640 | 100.0% |

《問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。》

**問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてい
すか(いくつでも)**

介護をするにあたって、働き方の調整等をしているかについては、「介護のために、労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が29.2%、「介護のために、休暇(年休や介護休暇等)を取りながら、働いている」が18.8%となっています。

また、「特に行っていない」が43.6%となっています。

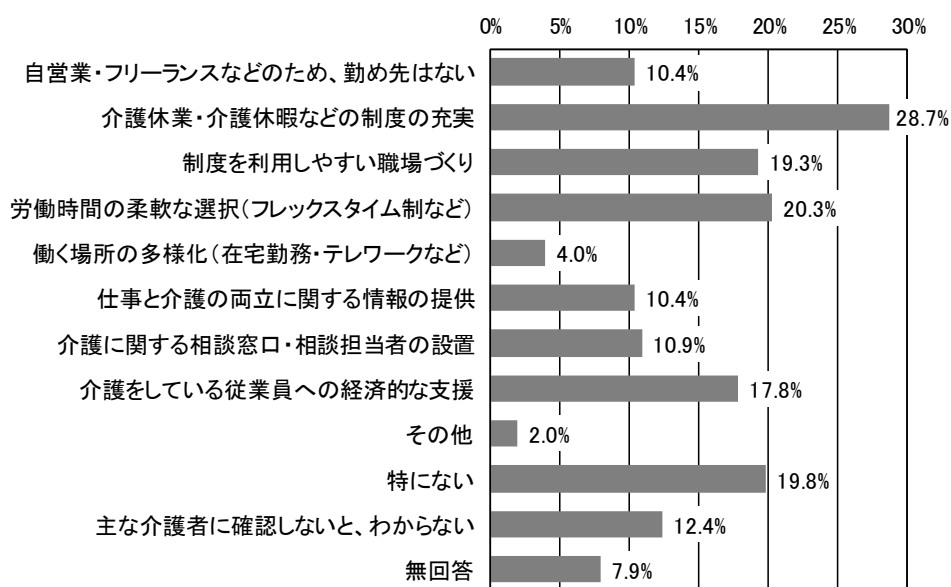


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---|-----|-------|
| 特に行っていない | 88 | 43.6% |
| 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)しながら、働いている | 59 | 29.2% |
| 介護のために、「休暇(年休や介護休暇など)を取りながら、働いている | 38 | 18.8% |
| 介護のために、「在宅勤務)を利用しながら、働いている | 3 | 1.5% |
| 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている | 26 | 12.9% |
| 主な介護者に確認しないと、わからない | 6 | 3.0% |
| 無回答 | 3 | 1.5% |
| 回答者数 | 202 | |
| 非該当 | 438 | |
| 合計 | 640 | |

《問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。》

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(〇は3つまで)

勤め先からの支援で、仕事と介護の両立に効果があるものについては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 28.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックス制など）」が 20.3%となっています。

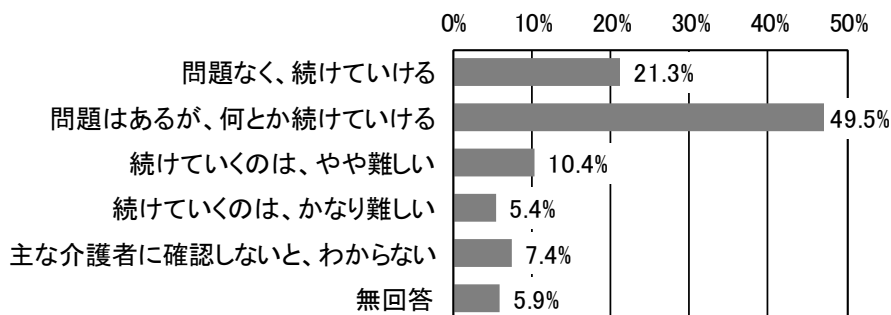


| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------------|-----|-------|
| 自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない | 21 | 10.4% |
| 介護休業・介護休暇などの制度の充実 | 58 | 28.7% |
| 制度を利用しやすい職場づくり | 39 | 19.3% |
| 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) | 41 | 20.3% |
| 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 8 | 4.0% |
| 仕事と介護の両立に関する情報の提供 | 21 | 10.4% |
| 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 22 | 10.9% |
| 介護をしている従業員への経済的な支援 | 36 | 17.8% |
| その他 | 4 | 2.0% |
| 特になし | 40 | 19.8% |
| 主な介護者に確認しないと、わからない | 25 | 12.4% |
| 無回答 | 16 | 7.9% |
| 回答者数 | 202 | |
| 非該当 | 438 | |
| 合計 | 640 | |

《問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。》

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(○は1つ)

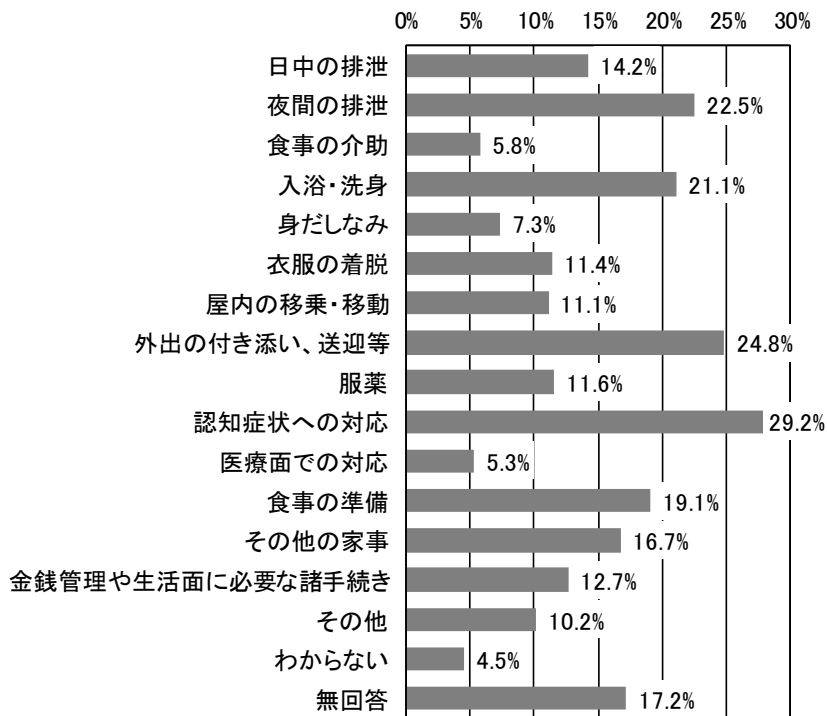
今後も働きながら介護を続けていけるかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が49.5%、「問題なく、続けていける」が21.3%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------------|-----|--------|
| 問題なく、続けていける | 43 | 21.3% |
| 問題はあるが、何とか続けていける | 100 | 49.5% |
| 続けていくのは、やや難しい | 21 | 10.4% |
| 続けていくのは、かなり難しい | 11 | 5.4% |
| 主な介護者に確認しないと、わからない | 15 | 7.4% |
| 無回答 | 12 | 5.9% |
| 回答者数 | 202 | 100.0% |
| 非該当 | 438 | |
| 合計 | 640 | |

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(〇は3つまで)

介護者の方が不安に感じる介護については、「認知症状への対応」が 29.2%、「外出の付き添い、送迎等」が 24.8%、「夜間の排泄」が 22.5%となっています。



| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------|-----|-------|
| 日中の排泄 | 91 | 14.2% |
| 夜間の排泄 | 144 | 22.5% |
| 食事の介助(食べる時) | 37 | 5.8% |
| 入浴・洗身 | 135 | 21.1% |
| 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 47 | 7.3% |
| 衣服の着脱 | 73 | 11.4% |
| 屋内の移乗・移動 | 71 | 11.1% |
| 外出の付き添い、送迎等 | 159 | 24.8% |
| 服薬 | 74 | 11.6% |
| 認知症状への対応 | 187 | 29.2% |
| 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | 34 | 5.3% |
| 食事の準備(調理等) | 122 | 19.1% |
| その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) | 107 | 16.7% |
| 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | 81 | 12.7% |
| その他 | 65 | 10.2% |
| 不安に感じていることは、特になし | 62 | 9.7% |
| 主な介護者に確認しないとわからない | 29 | 4.5% |
| 無回答 | 110 | 17.2% |
| 回答者数 | 640 | |

【3 介護サービス提供事業者調査】

【最初に、貴事業所の概要について】

問1. 貴事業所の概要について記入してください

①経営形態(○は1つ)

経営形態については、「営利法人(株式会社・有限会社等)」が18件、「社会福祉法人(社会福祉協議会)」、「社会福祉法人(社会福祉協議会以外)」が3件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|----|--------|
| 社会福祉法人(社会福祉協議会) | 3 | 10.7% |
| 社会福祉法人(社会福祉協議会以外) | 2 | 7.1% |
| 医療法人(社団・財団) | 3 | 10.7% |
| 民法法人(社団・財団) | 0 | 0.0% |
| 営利法人(株式会社・有限会社等) | 18 | 64.3% |
| 特定非営利活動法人(NPO法人) | 0 | 0.0% |
| 農業協同組合(農協) | 0 | 0.0% |
| 生活協同組合 | 1 | 3.6% |
| その他の法人 | 0 | 0.0% |
| 市町村 | 0 | 0.0% |
| 広域連合 | 0 | 0.0% |
| 個人 | 0 | 0.0% |
| その他 | 1 | 3.6% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

②サービス提供地域(いくつでも)

サービス提供地域については、「北本市」が26件、「桶川市」が16件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------|----|-------|
| 北本市 | 26 | 92.9% |
| 桶川市 | 16 | 57.1% |
| 鴻巣市 | 15 | 53.6% |
| 上尾市 | 9 | 32.1% |
| 吉見町 | 3 | 10.7% |
| 久喜市 | 5 | 17.9% |
| 川島町 | 3 | 10.7% |
| その他 | 6 | 21.4% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 28 | |

③貴事業所が提供するサービスの種類についてお答えください。

(いくつでも)

サービスの種類については、「居宅介護支援」が11件、「通所介護」が8件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------|----|-------|
| 訪問介護 | 5 | 17.9% |
| 訪問入浴介護 | 1 | 3.6% |
| 訪問看護 | 3 | 10.7% |
| 訪問リハビリテーション | 2 | 7.1% |
| 通所介護 | 8 | 28.6% |
| 通所リハビリテーション | 4 | 14.3% |
| 福祉用具貸与 | 2 | 7.1% |
| 短期入所生活介護 | 5 | 17.9% |
| 短期入所療養介護 | 3 | 10.7% |
| 居宅療養管理指導 | 1 | 3.6% |
| 特定施設入居者生活介護 | 2 | 7.1% |
| 居宅介護支援 | 11 | 39.3% |
| 住宅改修 | 2 | 7.1% |
| 特定福祉用具販売 | 1 | 3.6% |
| 小規模多機能型居宅介護 | 0 | 0.0% |
| 認知症対応型共同生活介護 | 2 | 7.1% |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 0 | 0.0% |
| 介護老人福祉施設 | 3 | 10.7% |
| 介護老人保健施設 | 2 | 7.1% |
| 介護予防訪問介護 | 5 | 17.9% |
| 介護予防訪問入浴介護 | 0 | 0.0% |
| 介護予防訪問看護 | 2 | 7.1% |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 1 | 3.6% |
| 介護予防通所介護 | 7 | 25.0% |
| 介護予防通所リハビリテーション | 3 | 10.7% |
| 介護予防福祉用具貸与 | 1 | 3.6% |
| 介護予防短期入所生活介護 | 2 | 7.1% |
| 介護予防短期入所療養介護 | 2 | 7.1% |
| 介護予防居宅療養管理指導 | 0 | 0.0% |
| 介護予防特定施設入居者生活介護 | 2 | 7.1% |
| 介護予防支援 | 3 | 10.7% |
| 介護予防住宅改修 | 1 | 3.6% |
| 特定介護予防福祉用具販売 | 1 | 3.6% |
| 地域密着型通所介護 | 4 | 14.3% |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 0 | 0.0% |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 1 | 3.6% |
| その他 | 1 | 3.6% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 28 | |

**問2. 貴事業者の平成28年12月(1か月)分のサービス利用者数についてお答えください
(〇は1つ)**

平成28年12月(1か月)分のサービス利用者数については、「100人以上」が10件、「50人～100人未満」が9件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------|----|--------|
| 0人 | 0 | 0.0% |
| 1～10人未満 | 1 | 3.6% |
| 10～20人未満 | 2 | 7.1% |
| 20～30人未満 | 1 | 3.6% |
| 30～50人未満 | 5 | 17.9% |
| 50～100人未満 | 9 | 32.1% |
| 100人以上 | 10 | 35.7% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

問3. 問2のうち、北本市民のサービス利用者数についてお答えください(〇は1つ)

北本市民のサービス利用者数については、「100人以上」、「50～100人未満」が6件、「20～30人未満」が4件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------|----|--------|
| 0人 | 0 | 0.0% |
| 1～10人未満 | 4 | 14.3% |
| 10～20人未満 | 2 | 7.1% |
| 20～30人未満 | 5 | 17.9% |
| 30～50人未満 | 4 | 14.3% |
| 50～100人未満 | 6 | 21.4% |
| 100人以上 | 6 | 21.4% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

【収支状況について】

問4. 平成28年度の貴事業所の介護事業会計についてお聞きます。介護事業収支は、どのような状況ですか。(〇は1つ)

介護事業収支については、「やや黒字である」が10件、「やや赤字である」が9件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|----|--------|
| 大幅な黒字である | 0 | 0.0% |
| やや黒字である | 10 | 35.7% |
| ほぼ収支が均衡している | 7 | 25.0% |
| やや赤字である | 9 | 32.1% |
| 大幅な赤字である | 1 | 3.6% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

問5. 問4の介護事業会計の収支は、当初見込んだものと比較して、どのような状況ですか(〇は1つ)

当初見込んだものと比較して、どのような状況については、「やや下回った」が11件、「ほぼ見込みどおりである」が8件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------|----|--------|
| 大幅に上回った | 0 | 0.0% |
| やや上回った | 4 | 14.3% |
| やや下回った | 11 | 39.3% |
| 大幅に下回った | 4 | 14.3% |
| ほぼ見込みどおりである | 8 | 28.6% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

問5-1. 《問5で「1. 大幅に上回った」「2. やや上回った」と回答した事業所にお聞きます》

その理由をどうお考えですか(〇は2つまで)

理由については、「一定以上の利用者数を確保できたため」が3件、「利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため」が2件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------------------|----|-------|
| 一定以上の利用者数を確保できたため | 3 | 75.0% |
| 利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため | 2 | 50.0% |
| 人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため | 1 | 25.0% |
| 介護報酬収入以外の事業収入が得られたため | 0 | 0.0% |
| 介護報酬が改定されたため | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 4 | |
| 非該当 | 24 | |
| 合計 | 28 | |

問5-2. 《問5で「3. やや下回った」「4. 大幅に下回った」と回答した事業所にお聞きします》

その理由をどうお考えですか(○は2つまで)

理由については、「当初見込んだ利用者数を確保できなかったため」が9件、「介護報酬が改定されたため」が6件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------------------|----|-------|
| 当初見込んだ利用者数を確保できなかったため | 9 | 60.0% |
| 当初見込んだ利用者1人当たりのサービス量を確保できなかったため | 1 | 6.7% |
| 人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため | 5 | 33.3% |
| 介護報酬が改定されたため | 6 | 40.0% |
| その他 | 1 | 6.7% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 15 | |
| 非該当 | 13 | |
| 合計 | 28 | |

問6. 円滑な事業運営を進めていく上で、現在、特に困難を感じることは何ですか(いくつでも)

現在、特に困難を感じることについては、「従事者の確保が難しい」が19件、「利用者の確保が難しい」が17件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------------|----|-------|
| 従事者の確保が難しい | 19 | 67.9% |
| 利用者の確保が難しい | 17 | 60.7% |
| 事務作業が多い | 10 | 35.7% |
| 施設・設備の改善が難しい | 2 | 7.1% |
| 必要な情報の入手に支障がある | 1 | 3.6% |
| 従事者の資質向上を図ることが難しい | 8 | 28.6% |
| 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない | 2 | 7.1% |
| 市町村等との連携を図ることが難しい | 1 | 3.6% |
| その他 | 1 | 3.6% |
| 特に困難を感じることはない | 1 | 3.6% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 回答者数 | 28 | |

問7. 貴事業所の平成28年度のサービス利用実績についてお聞きします。当初見込んだ利用量と比較して、実績は上回りましたか(○は1つ)

当初見込んだ利用量と比較して、実績は上回ったかについては、「はい」が9件、「いいえ」が18件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----|----|--------|
| はい | 9 | 32.1% |
| いいえ | 18 | 64.3% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

問7-1. 《問7で「1. はい」と回答した事業所にお聞きします》

その理由をどうお考えですか。(〇は2つまで)

理由については、「必要なサービスの利用について、利用者の理解を得られるよう努めたため」が5件、「サービスの内容や質が、利用者に評価されたため」が4件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------------------|----|-------|
| サービスの内容や質が、利用者に評価されたため | 4 | 44.4% |
| 広報活動などにより、一定以上の利用者を確保できたため | 1 | 11.1% |
| 必要なサービスの利用について、利用者の理解を得られるよう努めたため | 5 | 55.6% |
| 地域に見込んだ以上の需要があったため | 2 | 22.2% |
| その他 | 1 | 11.1% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 9 | |
| 非該当 | 19 | |
| 合計 | 28 | |

問7-2. 《問7で「2. いいえ」と回答した事業所にお聞きします》

その理由をどうお考えですか(〇は2つまで)

理由については、「見込んだほどの需要がなかったため」が8件、「既存の事業所に利用者が集中する傾向があるため」が5件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------------------------|----|-------|
| 見込んだほどの需要がなかったため | 8 | 44.4% |
| 既存の事業所に利用者が集中する傾向があるため | 5 | 27.8% |
| 新たな事業所が参入してきたため | 3 | 16.7% |
| 利用者負担を考慮して、利用者がサービスの利用を控えているため | 1 | 5.6% |
| 医療保険などのほかの制度を利用するケースが見込み以上に多かったため | 0 | 0.0% |
| 必要な従事者を確保できなかったため | 2 | 11.1% |
| その他 | 5 | 27.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 18 | |
| 非該当 | 10 | |
| 合計 | 28 | |

【苦情内容について】

問8. これまでに利用者や家族からどのような苦情を受けていますか
(いくつでも)

利用者や家族からどのような苦情を受けているかについては、「特に苦情を受けていない」が10件、「サービス内容に関するもの」が8件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|------------------------|----|-------|
| サービス内容に関するもの | 8 | 28.6% |
| 利用手続に関するもの | 0 | 0.0% |
| 職員の態度に関するもの | 7 | 25.0% |
| 施設・設備に関するもの | 3 | 10.7% |
| 保険外負担(その他日常生活費等)に関するもの | 2 | 7.1% |
| その他 | 1 | 3.6% |
| 特に苦情を受けていない | 10 | 35.7% |
| 無回答 | 2 | 7.1% |
| 回答者数 | 28 | |

【介護保険サービスについて】

問9. 貴事業者が実施している職員への研修・資格取得支援についてお答えください
(いくつでも)

職員への研修・資格取得支援については、「研修の企画・実施のための体制がある」が18件、「外部研修への参加費を補助している」が15件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------|----|-------|
| 研修の企画・実施のための体制がある | 18 | 64.3% |
| 外部機関に研修実施の委託をしている | 6 | 21.4% |
| 外部研修への参加費を補助している | 15 | 53.6% |
| 研修の全てを当該事業所内で実施している | 3 | 10.7% |
| その他 | 3 | 10.7% |
| 特に行っていない | 3 | 10.7% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 28 | |

問10. 貴事業者が実施している介護サービス向上のための具体的な取り組みについてお答えください(いくつでも)

介護サービス向上のための具体的な取り組みについては、「事故防止のためのヒヤリ・ハット事例の収集・検討及び職員間での共有」が21件、「サービス提供のためのガイドライン、マニュアルを作成」が17件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------------------|----|-------|
| サービス提供のためのガイドライン、マニュアルを作成 | 17 | 60.7% |
| 事故防止のためのヒヤリ・ハット事例の収集・検討及び職員間での共有 | 21 | 75.0% |
| 利用者・家族への満足度調査 | 10 | 35.7% |
| 外部評価機関への第三者評価委託 | 4 | 14.3% |
| 事業所による内部評価を実施 | 8 | 28.6% |
| サービス提供困難事例等検討会 | 8 | 28.6% |
| その他 | 6 | 21.4% |
| 取り組みなし | 1 | 3.6% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 回答者数 | 28 | |

【貴事業所の今後の運営方針について】

問11. 貴事業所で提供しているサービスについて、今後、どのように考えていますか (〇は1つ)

提供しているサービスについて、今後、どのように考えているかについては、「現状維持で考えている」が20件、「事業規模の拡大を考えている」が5件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-----------------|----|--------|
| 現状維持で考えている | 20 | 71.4% |
| 事業規模の拡大を考えている | 5 | 17.9% |
| 事業規模の縮小を考えている | 0 | 0.0% |
| 事業の廃止を考えている | 0 | 0.0% |
| 新規事業の立ち上げを考えている | 2 | 7.1% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

問11-1. 《問11で「3. 規模の縮小を考えている」「4. 事業の廃止を考えている」と回答した事業所にお聞きします》

事業規模の縮小または廃止を考えている理由をお答えください(〇は2つまで)

回答はありません。

問11-2. 《問11で「5. 新規事業の立ち上げを考えている」と回答した事業所にお聞きします》

その新規事業をお答えください(いくつでも)

新規事業については、「居宅サービス事業(予防を含む)に参入」、「地域密着型介護サービス事業(予防を含む)に参入」が1件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------------|----|-----|
| 居宅サービス事業(予防を含む)に参入 | 1 | 50% |
| 地域密着型介護サービス事業(予防を含む)に参入 | 1 | 50% |
| 介護老人福祉施設事業に参入 | 0 | 0% |
| 介護老人保健施設事業に参入 | 0 | 0% |
| 居宅介護支援事業に参入 | 0 | 0% |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に参入 | 0 | 0% |
| その他 | 0 | 0% |
| 無回答 | 0 | 0% |
| 回答者数 | 2 | |
| 非該当 | 26 | |
| 合計 | 28 | |

問 1 1-3. 《問 1 1-2 で「1. 居宅サービス事業（予防を含む）に参入」と回答した事業所にお聞きします》

サービスについて次の中からお答えください(いくつでも)

サービスについては、「訪問介護」、「短期入所生活介護（予防を含む）」、「福祉用具貸与（予防を含む）」が1件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------------|----|------|
| 訪問介護 | 1 | 100% |
| 訪問入浴介護(予防を含む) | 0 | 0% |
| 訪問看護(予防を含む) | 0 | 0% |
| 訪問リハビリテーション(予防を含む) | 0 | 0% |
| 居宅療養管理指導(予防を含む) | 0 | 0% |
| 通所介護 | 0 | 0% |
| 通所リハビリテーション(予防を含む) | 0 | 0% |
| 短期入所生活介護(予防を含む) | 1 | 100% |
| 短期入所療養介護(予防を含む) | 0 | 0% |
| 特定施設入居者生活介護(予防を含む) | 0 | 0% |
| 福祉用具貸与(予防を含む) | 1 | 100% |
| 特定福祉用具販売(予防を含む) | 0 | 0% |
| 住宅改修(予防を含む) | 0 | 0% |
| その他 | 0 | 0% |
| 回答者数 | 1 | |
| 非該当 | 27 | |
| 合計 | 28 | |

問 1 1-4. 《問 1 1-2 で「2. 地域密着型サービス事業（予防を含む）に参入」と回答した事業所にお聞きします》

サービスについて次の中からお答えください(いくつでも)

サービスについては、「小規模多機能型居宅介護（予防を含む）」が1件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|----------------------|----|------|
| 夜間対応型訪問介護 | 0 | 0% |
| 認知症対応型通所介護(予防を含む) | 0 | 0% |
| 小規模多機能型居宅介護(予防を含む) | 1 | 100% |
| 認知症対応型共同生活介護(予防を含む) | 0 | 0% |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 0 | 0% |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 0 | 0% |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 0 | 0% |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 0 | 0% |
| 地域密着型通所介護 | 0 | 0% |
| 回答者数 | 1 | |
| 非該当 | 27 | |
| 合計 | 28 | |

【認知症ケアについて】

問12. 職員に対して、認知症ケアのスキルアップを実施していますか（〇は1つ）

職員に対して、認知症ケアのスキルアップを実施しているかについては、「実施している」が24件、「実施していない」が4件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------|----|--------|
| 実施している | 24 | 85.7% |
| 実施していない | 4 | 14.3% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 28 | 100.0% |

問12-1. 《問12で「1. 実施している」と回答した事業所にお聞きします》

具体的な方法は何ですか(いくつでも)

具体的な方法については、「外部研修への参加」が19件、「専門家を招くなどの内部研修の実施」、「地域間での情報収集と共有化」が6件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|-------------------|----|-------|
| 専門家を招くなどの内部研修の実施 | 6 | 25.0% |
| 医師とのカンファレンス(情報交換) | 4 | 16.7% |
| 外部研修への参加 | 19 | 79.2% |
| 地域間での情報収集と共有化 | 6 | 25.0% |
| その他 | 2 | 8.3% |
| 回答者数 | 24 | |
| 非該当 | 4 | |
| 合計 | 28 | |

**問13. 認知症の方で、対応が難しいと思われる症状は何ですか
(いくつでも)**

認知症の方で、対応が難しいと思われる症状については、「徘徊」が16件、「暴力」、
「介助拒否」が12件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------|----|-------|
| 徘徊 | 16 | 57.1% |
| 暴言 | 8 | 28.6% |
| 暴力 | 12 | 42.9% |
| 異食 | 5 | 17.9% |
| 不潔行為 | 7 | 25.0% |
| 性的行為 | 4 | 14.3% |
| 物盗られ妄想 | 10 | 35.7% |
| 帰宅要求 | 8 | 28.6% |
| 入浴拒否 | 4 | 14.3% |
| 介助拒否 | 12 | 42.9% |
| その他 | 2 | 7.1% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 28 | |

問14. 今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと考えますか(〇は3つまで)

今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと考えるかについては、「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診療のしくみづくり」が19件、「認知症の介護・コミュニケーション方法等、家族向け研修会の開催」が13件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------------------------|----|-------|
| 医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診療のしくみづくり | 19 | 67.9% |
| かかりつけ医に対する研修 | 7 | 25.0% |
| 介護従事者に対する研修 | 12 | 42.9% |
| 介護予防教室や講演会など市民に対する啓発 | 9 | 32.1% |
| 家族の交流や相談会などの支援 | 3 | 10.7% |
| 認知症の介護・コミュニケーション方法等、家族向け研修会の開催 | 13 | 46.4% |
| 認知症を見守るボランティアなどのしくみづくり | 2 | 7.1% |
| 福祉サービス制度の充実 | 2 | 7.1% |
| 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備 | 1 | 3.6% |
| 成年後見制度や虐待防止などの制度の充実 | 4 | 14.3% |
| 若年性認知症に対する支援 | 7 | 25.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 28 | |

【貴事業所と保険者(北本市)との連携・協力について】

問15. 貴事業所と保険者(北本市)との連携に期待することは何ですか
(いくつでも)

保険者(北本市)との連携に期待することは何かについては、「苦情相談への指導・助言・支援」、「介護サービス提供事業所等連絡会の開催(研修会やケース検討会)」が15件、「情報提供(介護保険制度・市の高齢者福祉サービス等)」、「被保険者・家族に対する制度の周知」が14件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|--------------------------------|----|-------|
| 苦情相談への指導・助言・支援 | 15 | 53.6% |
| 施設入所相談等の相談窓口 | 10 | 35.7% |
| ケアプランの指導 | 4 | 14.3% |
| 施設等の空き情報 | 8 | 28.6% |
| サービス提供困難ケースへの指導・助言・支援 | 13 | 46.4% |
| 情報提供(介護保険制度・市の高齢者福祉サービス等) | 14 | 50.0% |
| 介護サービス提供事業所等連絡会の開催(研修会やケース検討会) | 15 | 53.6% |
| 地域包括支援センター、医療機関等との連絡・調整 | 11 | 39.3% |
| 被保険者・家族に対する制度の周知 | 14 | 50.0% |
| 事業者に対するサービスの質の評価及び情報公開 | 1 | 3.6% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 回答者数 | 28 | |

【高齢者福祉について】

問16. 高齢者福祉や介護保険に関する情報の入手方法は、次のどれが利用者にとってわかりやすいと思いますか(いくつでも)

高齢者福祉や介護保険に関する情報の入手方法については、「ケアマネジャー」が20件、「地域包括支援センターの職員」が17件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------|----|-------|
| 広報や市のお知らせ | 16 | 57.1% |
| 市役所の職員 | 14 | 50.0% |
| 地域包括支援センターの職員 | 17 | 60.7% |
| 保健師 | 2 | 7.1% |
| 民生委員 | 9 | 32.1% |
| ケアマネジャー | 20 | 71.4% |
| サービス提供事業者 | 10 | 35.7% |
| 病院の医師や看護師 | 6 | 21.4% |
| 社会福祉協議会の職員 | 7 | 25.0% |
| 家族・親族 | 7 | 25.0% |
| 知人 | 1 | 3.6% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 28 | |

【連携について】

問17. 貴事業所において、今後、医療機関とどのような関係を持っていきたいと思いますか (いくつでも)

今後、医療機関とどのような関係を持っていきたいと思うかについては、「在宅のサービス利用者に福祉・介護サービスと医療サービスを組み合わせて提供したい」が 21 件、「在宅のサービス利用者の緊急時の対応をお願いしたい」が 19 件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---|----|-------|
| 在宅のサービス利用者に福祉・介護サービスと医療サービスを組み合わせて提供したい | 21 | 75.0% |
| 退院後の高齢者に対し、必要な要介護認定を行い、適切な介護サービスを提供したい | 17 | 60.7% |
| 在宅のサービス利用者の緊急時の対応をお願いしたい | 19 | 67.9% |
| 要介護度や認知症の緩和のために協力したい | 12 | 42.9% |
| 認定者の終末期医療やガン等の緩和ケアで協力をお願いしたい | 15 | 53.6% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 3.6% |
| 回答者数 | 28 | |

問18. 貴事業所において、今後、市や住民等とどのような関係を持っていきたいと思いますか (いくつでも)

今後、市や住民等とどのような関係を持っていきたいと思うかについては、「市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実したい」が 27 件、「地域の福祉ボランティアとの協力を強化したい」が 17 件となっています。

| 項目 | 度数 | 構成比 |
|---------------------------------|----|-------|
| 市や関係機関との積極的な情報交換の場を充実したい | 27 | 96.4% |
| 市等と介護保険や保健福祉施策等について話し合う機会を増やしたい | 14 | 50.0% |
| お年寄りを通じて地域の行事などに参加、協力したい | 10 | 35.7% |
| 学校、幼稚園、保育所等との交流を活発化したい | 7 | 25.0% |
| 権利擁護・個人情報の取り扱いなどで、法務の専門家と協力したい | 4 | 14.3% |
| 地域の福祉ボランティアとの協力を強化したい | 17 | 60.7% |
| 指定管理者制度などを活用し、市の保健福祉事業にも参加したい | 1 | 3.6% |
| 公共施設(利用していない施設を含む)の利用を図りたい | 4 | 14.3% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 特に予定や希望はない | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 28 | |

【自由記述】

問19. 現在、北本市では地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいますが、次の項目について、どうお考えですか。

【在宅医療・介護連携の推進】

- 在宅医療と介護連携は、地域包括ケアシステムの構築に向けて必須とされています。医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ高齢者を地域で支えていくためには在宅医療の提供は不可欠です。しかし、一事業所単位での医療機関への働きかけは壁が高く難しいのが現状です。このシステムの扇の要は行政です。積極的に役割を果たしてくださるよう期待しています。
- 住み慣れた自分の家で最期を送れたら皆に看取られ幸せだと思います。在宅医療と介護で情報交換して充実した訪問介護を目指したいと思います。利用者の受容と傾聴にて心ある介護でホームヘルパーもケアさせていただきたいと思います。ホームヘルパーの質の向上に向けて市で勉強会を作ってください参加したいと思います。
- 地域の病院と信頼関係を築き体調を崩したらスムーズに入院でき良くなったら施設に戻り生活が出来る施設にしたい。
- 介護施設への入所が困難で在宅生活を余儀なくされている方々のためには、在宅医療は欠かせないと考えます。独居、老々介護、認知症等で生活している高齢者を市がどれだけ把握しているのか？どれだけの対応をしているのかを知りたい。施設入所が出来ない要介護認定者への市、地域包括支援センター、医療の連携の重要性。
- 数年前から医療との連携の必要性に共鳴し、医師とのコミュニケーションを取ってきましたが、外来の患者が優先されますので、待合室で待つ時間が長く、自分の仕事が出来なくなることが多い為、医師にケアマネタイムを作って欲しい。
- ガン末期の利用者など、ホームヘルパーだけでは難しいことが多いので、医療との連携で、訪問看護と訪問介護が一緒に支援できるようにしていきたい。
- 関係者間でお互いの顔の見える関係作りが必要だと考える。市主催の医療関係者との研修や事例検討会等を開催してはどうか。
- 医療は介護保険の枠内では利用できないが、高齢者にとっては必要なものです。在宅での医療と介護のサービスの利用や連携がスムーズに行えるような取り組みが重要だと考えております。
- 必須だと思います。利用者や家族が医師の説明を聞いても理解できなかつたり、忘れてしまったりし、私たちには曖昧な情報しか入ってこないことが多々あります。
- 在宅での医療(訪問診療、訪問看護、訪問介護)を安心して受けられる医療機関のシステムに不明な点があり、実際に訪問診療してくださる医師を把握していきたい。
- 弊社では在宅での医療サービスを行っているため、少しずつ介護と医療の連携を行っている。
- 認知症や要介護者、医療依存度が高い方でも住み慣れた地域で安心して尊厳のある生活が送れるよう、地域住民の見守りや支え合いの他、地域の専門多職種が連携を深めチームを

作って、高齢者一人ひとりの暮らしを支えていくことが大切だと考えています。

- 高齢者のみの世帯が増加しているため、住み慣れた環境で安心して療養を受けられるよう、介護、医療、生活支援、予防が一体的に提供されるよう、連携を取っていく必要がある。
- 在宅医療と介護は切り離せないと思う。在宅医が介護の現場で丁寧に指導してほしい。利用者、介護している家族や介護職員に寄り添っていかないといけないのではないかと思う。
- 医療と介護の研修。事例検討への参加。
- これまで市内で訪問診療を行っている数名の医師と連携させて頂いています。特に問題なくと申し上げたいのですが、特別養護老人ホームへの入所に関し家族と先生の意見が合わず、また時間外の新規依頼がスムーズにいかず困ったケースがありました。通院困難などの利用者がいらっしやるので訪問診療は必要でありトラブルなく進められればと思います。
- 訪問診療の充実が必要。介護の体制が不十分で介護保険だけでは足りない、家族の負担が大きいし、在宅での医療について理解が出来ていない。

【認知症施策の推進】

- オレンジカフェ等の積極的な取り組みについては評価できるものと認識しています。地域包括支援センターの職員の熱意や頑張りが伝わってきます。広報などでの周知活動も進んでいると思います。しかし、せっかく作った認知症ガイドブックは、まだまだ知らない方が多いと思われます。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて具体的な市民の取り組み支援をお願い致します。
- 年度内に地域の方を招き認知症サポーター養成講座を開きます。
- 動ける認知症の方、家族への理解等を行政が中心になって取り組んでいく必要があると考えます。特別養護老人ホームの運営をしていますが、施設を有効利用していただくことは全く構いません。
- 認知症家族の会等のお誘いの情報を頂くのですが、家族に紹介はするものの、なかなか参加への同意が得られない。
- 現在、多いアルツハイマー型認知症に加えレビー小体型認知症も増えている。理解を深めるための研修をしてスキルアップしていきたい。
- 既存の高齢者の見守りネットワークが活用されていないのではないかと。認知症高齢者も含めた高齢者の見守りネットワークの再構築が必要ではないかと。地域住民への認知症への理解を深めてもらう取り組み、若年性認知症の人への支援などやるべきことは山ほどある。地域包括支援センターとしても取り組んでいく必要があると感じている。
- 認知症の予防。社会でのあり方(認知症の正しい知識、理解)。
- 今後、団塊の世代が要介護者になっていき要介護者数も増えていくので認知症施策の推進、強化は必須だと思います。
- 若年性認知症の方が出かけていける場所(デイサービス、デイケア)を確保して欲しいと思う。

- 認知症サポーターの講習に参加している。
- 認知症カフェや認知症の医療介護にかかる研修を充実させ、また社会全体で認知症の人々を支えるための地域住民、関係機関が連携する必要性があると思います。
- 地域全体で見守り、システムなどのサービスがあると安心して過ごせる(人の目、手、声かけ)。
- 認知症サポーターの養成とオレンジリングの啓発。オレンジカフェの定期的な開催と開催回数の増加。
- 現在、徘徊のある利用者がいないのでその面では助かっています。物盗等の妄想のひどい利用者がおり、その都度対応できていますが、施策というよりはやはり家族を含めて知識のある介護者の育成かと思います。施設に於いては認知症の有無に関わらず一緒に過ごし自宅、施設共に同じ介護が出来るようになればいいと思われます。市の政策は充分で推進としては広報、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所なのかなと思われます。
- 市民の認知症の理解がまだまだ不十分で地域ぐるみで認知症について理解を深めるようにしていくべき。
高齢者が集える場所づくり、閉じこもりにならないようにする予防策が必要。

【地域ケア会議の推進】

- 地域ケア会議が毎月、地域包括支援センターで開催されているのは認識しています。自立支援型ケアプラン作成に向けてご指導いただいております。しかし、市が開催する地域ケア会議が現状年1回というのは「地域課題を解決するための社会基盤の整備」につながっているのだろうかと思う時があります。
- どの程度の会議をして、どんな会議内容であったのか？
- 地域ケア会議のシステム的なことへの理解はできたが、私のようにすべて一人で業務を行っているとなると実際どこまで自分が参加できるかわからない。
- 現在までに数回出席した。問題点を各専門職で話し合うことは良いと思う。
- 良い方法だと思いますが、「人材の確保」が出来ていない事業所にとってはたとえ30分でもスタッフが抜けることは仕事に支障をきたしてしまいます。
- 地域包括支援センター間の開催となっているため、社会資源の抽出や現在の困りごとの把握を居宅のケアマネジャーと共同で実施できる体制も必要と思われるし、市での開催も必要と思われる。ひとつずつやっていると難しい。
- 福祉用具事業者としての参加は一回ですが、事例を入れながら良いと思った。
- 個別課題の解決、様々な職種のネットワーク作り、地域課題の発見や資源開発を目指す上で重要な位置付けとなっていると考えています。
- 医療、介護、福祉関係者が会議に参加し、それぞれの役割を担うことが出来るように連携を行っていききたい。
- なかなか参加できなくて申し訳なく思っています。

- 個別の会議の次の段階、地域課題の取り組みをしていくようにしていかなければ生み出されるものがない。

【介護予防・日常生活支援総合事業の推進】

- 民生委員や地域の方と話をしていると思うのですが、厚生労働省の示す言葉「介護予防・日常生活支援総合事業」とか「地域包括支援センターの機能強化」とか「地域包括ケアシステム」等「一度聞いても何のことかさっぱりわからない」とよく言われます。国と現場をつなぐ通訳が必要です。わかりやすい言葉で伝えていかないと地域の課題も見えにくいのではないかという気がしています。
- 日常生活機能の低下に伴う高齢者の把握。介護予防に対する事業の推進。住み慣れた地域で暮らせることを。
- 自分が関わっている利用者の介護度の内訳は、重い方が80%なので介護予防の事を考えてる時間がない。
- まだ、完全に理解は難しい。研修会を開いてほしい。
- 制度が不明確な部分が多い。そのため、利用者に伝えきれない点が多い。
- 高齢者の中には少しの手助け(ゴミだし、服薬確認等)があれば自宅で生活できる人がいるが、その支援体制がない。
- これから高齢化が進む中、重要な事業の一つだと思います。
- 資源の抽出や地域で何が不足しているのか、どのように動いていけばいいか全体に周知していかなければならないと思う。
- 介護予防給付が市に移行したことで現在、要支援者が給付を受けているサービスの量が低下し、状態が悪化することのないよう、基盤整備を進めるべきだと考えています。
- 地域住民のニーズを知り、ニーズにあったサービスを利用していくには、まだまだ住民の理解度が低いと思われる。どのような支援があり、費用的な問題についても分かりやすく伝えていく必要がある。
- 高齢者にわかりやすいパンフレットや冊子作り。軽度高齢者に説明しても理解が難しくサービス利用ができなくなるという不安の訴えが多い。
- 文房具店に行ったとき、その店員より「公民館を利用して体操でもしようかと近所の人を誘ったが乗ってこない」と言う話がありました。市民の方も考えてくださっている方がいらっしゃるのでも上手く繋がるとよいのにと思われました。介護給付など利用者でも骨折等であれば予防給付は自立に繋がると思われますが認知症があると難しいのではないかと思います。総合事業に移行して認定調査の費用、時間、手間が省けるのはよかったですと思います。
- 市民の意識を向上させるための取り組み、フォーラムや研修の開催を行う。

【地域包括支援センターの機能強化】

- 現場の職員はいつも大変そうです。北本市は平成28年度から4か所の地域包括支援センターになりましたが、レベルの標準化を望みます。行政の更なる支援を期待しています。それは地域包括支援センターがやはり市民の身近な窓口であり、現場と直結しているからです。地域によって対応にばらつきがあるのは市民にとって不利益につながります。
- 地域包括支援センターの知名度アップが重要。市民への周知（東西南北）又、地域包括支援センターで働く職員の市民への働きかけも必要。待っていても知らなければ相談もないと考える。機能強化に努めてほしい。
- 一人ケアマネで何もかもやっているので地域包括支援センターの機能強化と関わっていません。
- 各センターの特色を活かして、相談しやすい雰囲気にしていくと良いと思う。
- よく「どこに聞けばいいのか分からない」との声があります。地域包括支援センターの機能を強化し「介護のことなら地域包括支援センターに」とすぐに分かるシステムが出来るといいと思います。
- 機能強化は必要と思う。仕事内容を把握しているのか疑問。共通認識の勉強会などあるといいと思う。地域への周知も足りないと感じた。少しでも地域包括支援センターとしての役割について近づけていきたい。
- 総合の相談窓口のため、機能強化は良いと思う。そのための4地域包括支援センター体制になったと思う。
- 早期診断、早期対応が重要となってくるので地域包括支援センター職員が初期の段階で認知症の人やその家族に対して個別の訪問を行い適切なアドバイスを行う仕組み作りを強化してはどうかと考えています。
- 医療ニーズ、介護ニーズを知り、高齢者を地域で支えていくため、多職種の話し合いが必要。顔の見える関係づくりを行うべき。
- 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の連携の強化。地域での困難事例など情報交換、共有化。
- いくつかの地域包括支援センターには、よく相談に乗って頂き、よきアドバイスを頂いてます。機能の強化とは権限ということでしょうか。実務ということでしたらケアプラン作成(自立支援)の指導をお願いしたいと思います。

【介護人材の確保】

- 担い手不足は深刻です。介護予防・日常生活支援総合事業を今後推進したくても担い手が集まるのだろうか心配になります。介護はきついというメディアでのイメージが先行しすぎていると思います。対人援助業務は確かに高ストレスな職種ではありますが、自分をそして周りの人を成長させてくれる素晴らしい仕事だという事を伝えていきたいと考えます。

- ホームヘルパーを市の文化センター等でどんどん養成して欲しいです。
- 募集しても集まらないのが現状です。働き方の改善をせまられていると感じます。
- 各事業所の自助努力でしかないのか？どこに相談しても逆に相談をされる状況にある。学生を始め若者への理解、働きかけが必要と思う。
- ケアマネジャーの試験が難しくなり、なかなか増員できない、「来るものは拒まず」の考え方でやっており、減算になっても仕事を引き受けようと思っている。
- 人材不足が問題となっている。広告などは有料のため研修などから実習をすることで人材不足が解消すると思う。
- シルバー人材を上手に活用できたらと考えます。現役を引退した方でも、今や60歳前半の方は元気ですし、働く意欲もある。市が窓口になって、働きたい方やボランティアで福祉に貢献したい人を紹介していただきたい。高齢者でも働き方を工夫すれば戦力として期待できる。各施設がハローワーク、新聞折込を使っても効果がない。
- 常に悩んでいます。平日の日中は人材の確保がしやすいが、土、日、祝、夜間はなかなか集まらない。女性が多い職場なので子育て世代が多く、働ける時間が限られ、時間に制限がない人にしわ寄せがきてしまうのが現状です。
- 初任者研修など資格取得にかかる金額が高くなり、取得する事が困難になっています。地域によっては研修を市主催で行っている所もあるようです。資格取得後、市内の介護施設で働いていただけるような制度があると、人材の確保にもつながり、助かります。
- 人材の確保は難しく、どう教育、育成をするかが大切である。
- 今後、更に高齢化が進み介護サービスの需要増加が見込まれるが人材確保は難しい状況にあると思う。介護分野の事業者全体の意識改革や事業所間の連携も含めた自主的な取り組みが重要で行政と協働しながら取り組むようにしていきたいと考えています。
- 適切な研修、学びを行い、質のよい人材を育てていく必要があると思われる。色々な面から広報を活用していく。
- 当ホームでも人材不足が続いている。確保が一番難しい。どうしたら職員が「辞めない現場」になるのか、どうしたら「職員が集まる」のか。職員不足が不適切な介護につながりやすいと思う。それはぜひ防ぎたい。
- 介護福祉士の資格を持った人がきちんと働き生活できるような処遇改善が必要と思う。
- リタイアされた方の活用や資格保持者で未就業の方の発掘もよいのではないかと思います。
- 高齢者施設にとって、介護人材の確保が難しい問題です。職員を募集しても全く集まらず、派遣業者に依頼しても新人なのに高額を要求されます。職員が確保できないと重労働となり辞めていくの悪循環で利用者を入れられない状況になっています。市として何らかの対策をお願いします。

【高齢者の生活拠点（住居等）のあり方】

- 住み慣れた地域や住まいでその人らしく最後まで生活できるよう支援していく事が求められています。新しい考え方で地域づくりはまだ始まったばかりです。地域の中での支え合いのシステムがあってこそ在宅での生活が可能になると考えます。今ある施設はもっと地域に開かれる方が良いと思います。
- 住み慣れた住居で生活できれば本人も良いと思います。思い出の場所で一生過ごせれば幸せです。
- 健康での生活が一番ではあるが、もしもの時でもこれまで培った自宅での生活が環境を変えることなく暮らしていける糧となる。様々な問題も多いかと思えるが、地域の協力を得ながらの生活を続けられる支援が必要。
- 独居、同居、生活保護、本人の考え、キーパーソンの考えと様々な問題があり、ケアマネジャーの立場からは住居についてはあまりいえないのが現状である。
- 近所とのかかわりが少なくなっているが、昔ながらの地域性で近所の人安否確認してくれることもある。地域コミュニティが“和”になると独居でも安心して生活できると思う。
- サービス付き高齢者向け自宅は食事が提供され、見守りがあり、自由度が高く「一人暮らしは少し不安だけど・・・」と言う高齢者には良いと思うが、利用料が高く実際には選択肢としては考えにくい。家賃補助等あれば利用しやすくなると思う。また高齢者に特化せず若い世代も一緒に住めるような「共生」の考え方が実現できれば良いと思う。
- 住み慣れた場所、家でなるべく過ごせる様サポート体制が重要だと思います。
- 住み慣れた地域でどのように支えるか、市はどう支えていくか、難しい課題である。
- 階段など旧家屋が多いため、バリアフリーではない。
- 高齢者になっても住み慣れた自宅、地域で暮らしつづけていきたいというニーズがある中で、まだそれを取り巻く環境整備が追いついていないと思う。仮に入院、施設入所となった場合においても、受け皿が乏しいため、在宅生活の維持を唱えるのか、今後生活拠点の選択肢を増加させていくのかを検討してもらいたいと思います。
- 独居高齢者が安心して在宅で生活していくためのサービスの利用又は、施設の提供を行っていくべき。
- 認知症の独居の方や高齢者世帯の人が自宅の生活を維持するため地域住民や民生委員、介護支援専門員の関わり方の難しさがある。
- 住み慣れた自宅が1番だということはよく理解していますが、独居で家屋の修理が必要と思われるところもあります。子供が居てもいずれ取り壊しの様子で先きの話ができずといったこともあります。現在、多様な施設があり利用者の状況で選択できるのでよいと思いますが、金銭面で折り合いのつかない場合もあります。やはり、本人、家族の意向に沿ってということになると思われます。
- 高齢者施設を新しく作りすぎているのではないのでしょうか(特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等)利用者家族は安くてきれいであればどこでもよいのです。介護老人保健施設は超高齢、重傷者ばかり集まり、療養型病院のようになってい

ます。

- 施設は入所料が高いものが数多くあるが誰でも入所することが出来る施設ではない。年金でカバーできない部分の助成等、市独自の支援方法を考えてもらいたい。

第7期介護保険事業計画策定に向けて、介護保険制度をめぐる課題、問題点等、あわせて市へのご意見、ご要望を記入してください。

- 記入したら多くの意見が事業所としての見解ではなく、ケアマネジャーとしての個人的な意見となってしまったことを反省しております。しかし、市民1人ひとりはこのようにいろいろな想いを抱えています。「地域のために役に立ちたい」と考えている元気な高齢者はたくさんいらっしゃいます。このような方達をつなぐネットワーク作りが必要と思います。本事業所は生活協同組合なので、地域との関係づくりをこれからも推進していきたいと考えております。
- 介護保険制度がコロコロと変わり事業所としてもやっと落ち着いたと思ったら変化あり大変です。本当に介護を必要とされる方が頑張って利用を控えており、利用者の必要性が課題です。始めに生活援助2時間が1.5時間になり今は生活援助1時間迄と変わり利用者も戸惑っている現状です。何がこの方に一番必要なのか考える必要があります。
- 市の担当者には、いつも相談に乗っていただきありがとうございます。感謝しています。
- 個人情報保護も必要だと思うが、それがネックになる所だと思います。情報が解らなければ「対応、対処も取れない」と考えるといかなものかと思える点が多い。課題であり一番の問題だと思う。
- 同じようなことを書きましたが、一人ケアマネジャーには、ほとんど新規がなく、ロコミのお仕事しかありませんので、その仕事をこなす事で精一杯です。今回、担当できる人数がオーバーして、減算になっております。更に、12月末に病院から通院される方の泊まり先がなく、家族の希望もあり、一箇所のショートステイに集中して、80%を超えてしまい介護報酬が減算されました。どんなに頑張っても金銭面が辛くなってきますので、今は自分の仕事をこなすことで精一杯です。ケアマネジャーの認知症加算と独居加算がなくなったことからのマイナスは未だに解消されていません。
- 身寄りのない生活保護の方の対応に苦慮しています。今以上に行政と連携を取り対応できればと思います。
- 福祉の財源が見直される中、相変わらずお年寄りの介護で困っている方は多い。在宅介護にシフトし、地域で支えあうことは良いことではあるが、介護保険制度発足当初の理念が忘れられつつある。「少子高齢化」を少しでも食い止めるためには安心して、親の介護を任せられる場所の確保である。そのための特別養護老人ホームの役割は大きく、介護度3以上でなければ入所できなくなった点が弊害をもたらしている。この点については要介護が1でも2でも受け入れ可能にして頂きたい。その上での個人負担増しは致し方ないのではないか。

- 市役所の職員の対応がとても良いと思います。施設の管理者もその市の住民でないため、分からないことが多いと思います。広報誌やボランティア情報がいただけると助かります。
- 保険者の方針が明確でない部分を明確にしてほしい。土台を固めつつ進んでいけるよう努力させていただきたい。
- 介護保険を利用する状況ではない人でも支援を必要とする人がいる。介護保険を使用せず過ごせるような取り組みが必要である。
- 高齢者も介護保険制度、サービスの利用は理解しているが費用負担(1割、2割)の理解が難しいようである。年金だけの生活のため、生活困窮の訴えが多い。対応に苦慮している。
- 種々制度が整っても利用者、参加者がいないと運用は難しいと思います。新聞をとっていない、また自治会に加入していない市民もいるとすれば、やはり民生委員、地域包括支援センターの活動に頼るところが大きいのかなと思います。高齢者は通院が多いというのであれば、病院の窓口にチラシを置かせていただくなど、まず知っていただくことが大事かと思われまます。知っていただいてどこに連絡すればよいのかを簡単、明確に記載する。私は必要な時には”市は恐いところではない、職員は親切に教えてくれるので行ってきて下さい”と伝えています。結果として”市職員はとても親切に教えてくれる、行って良かった”と言われていました。全体として求められている回答にはほど遠いものと思いますが、精一杯です。出来る事はしていきたいと考えます。ご指導をお願いします。

Ⅲ 在宅介護実態調査の分析

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

1.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。
- それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができると考えているのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。
- なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の2つからなります。
- また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護3以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

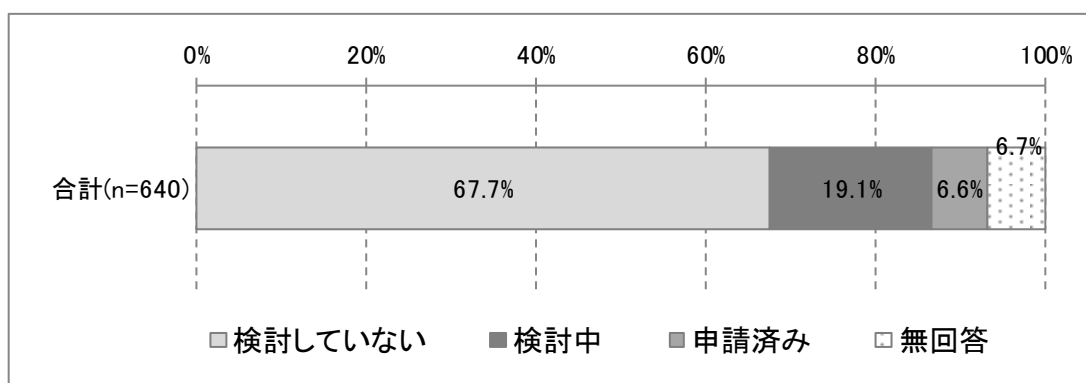
※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

1.2 集計結果と着目すべきポイント

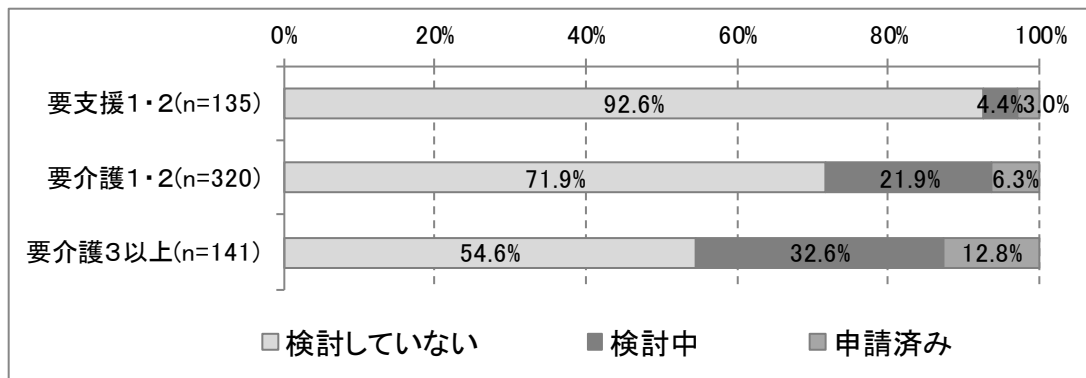
(1) 基礎集計

- 施設等の検討状況に係る、基礎的な集計を行っています（図表 1-1～図表 1-3）。
- 要介護度の重度化に伴う、施設等検討状況の変化や世帯類型ごとの施設等検討状況についてその状況を確認してください。

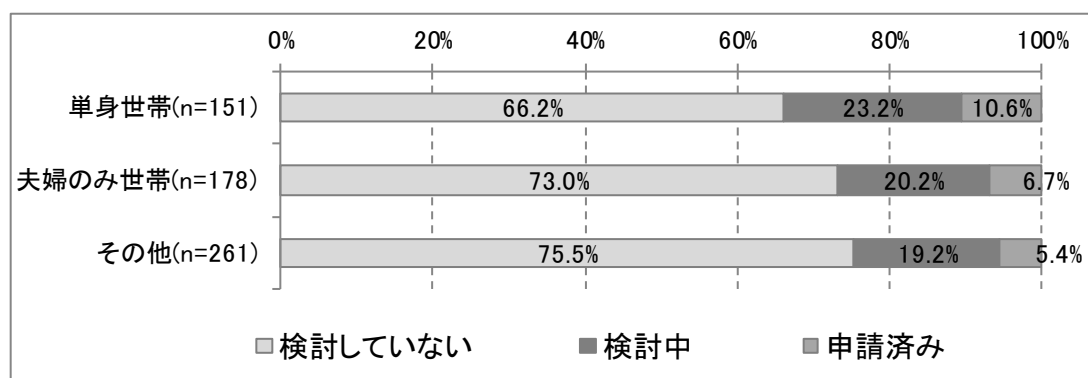
図表 1-1 施設等検討の状況



図表 1-2 要介護度別・施設等検討の状況



図表 1-3 世帯類型別・施設等検討の状況



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

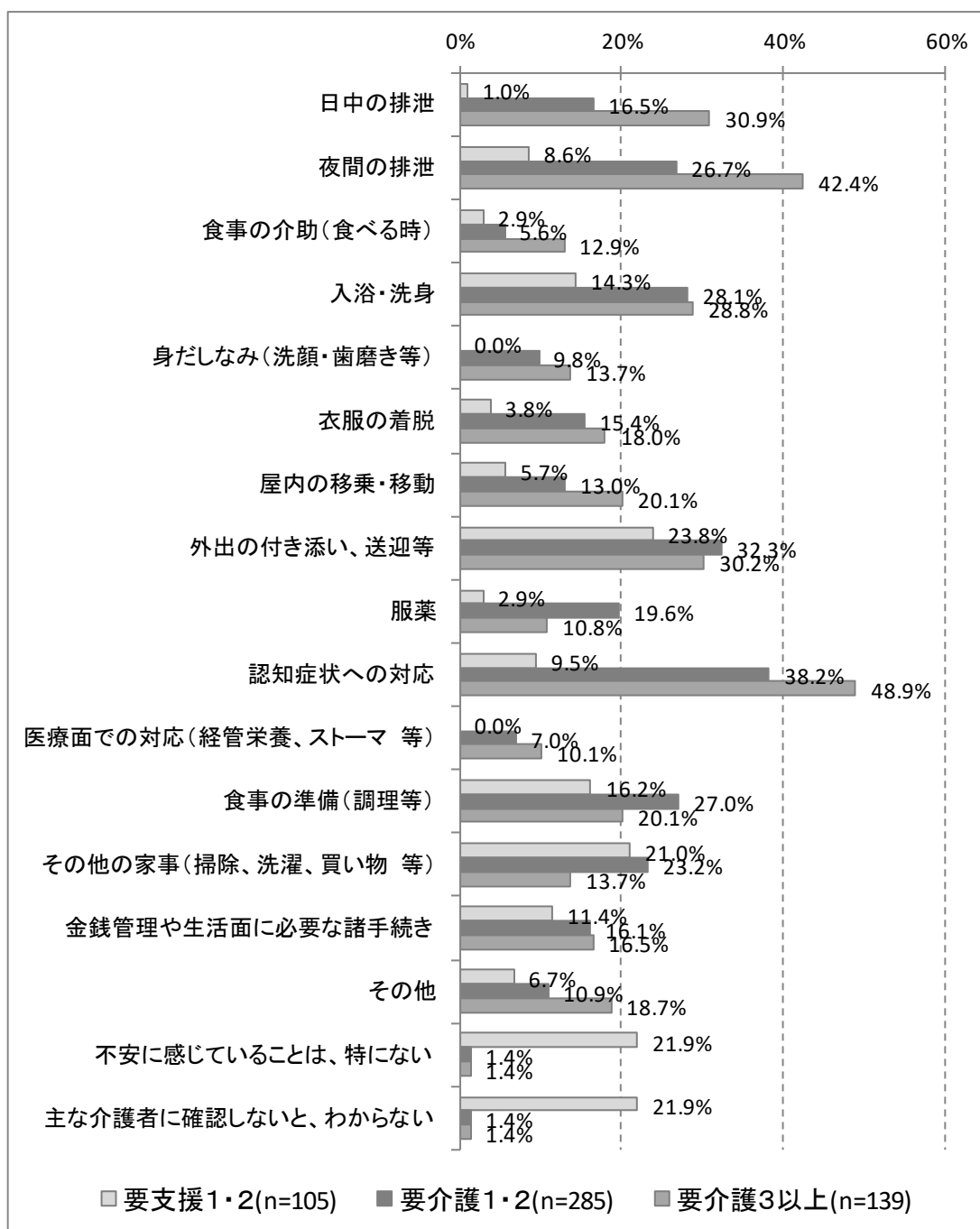
【着目すべきポイント】

- 要介護度と認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化について、集計分析をしています（図表 1-4、図表 1-5）。
- ここでの「主な介護者が不安に感じる介護」とは、「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等」のことです。なお、ここで選択される介護は、現状で行っている介護であるか否かは問われていません。
- ここから、要介護度・認知症自立度別の、主な介護者が不安に感じる介護等を把握することができます。
- また、主な介護者の不安が相対的に大きな介護や、重度化に伴い主な介護者の不安が大きくなる介護等に注目することで、在宅限界点に大きな影響を与えると考えられる「主な介護者が不安に感じる介護」を推測することも可能になります。

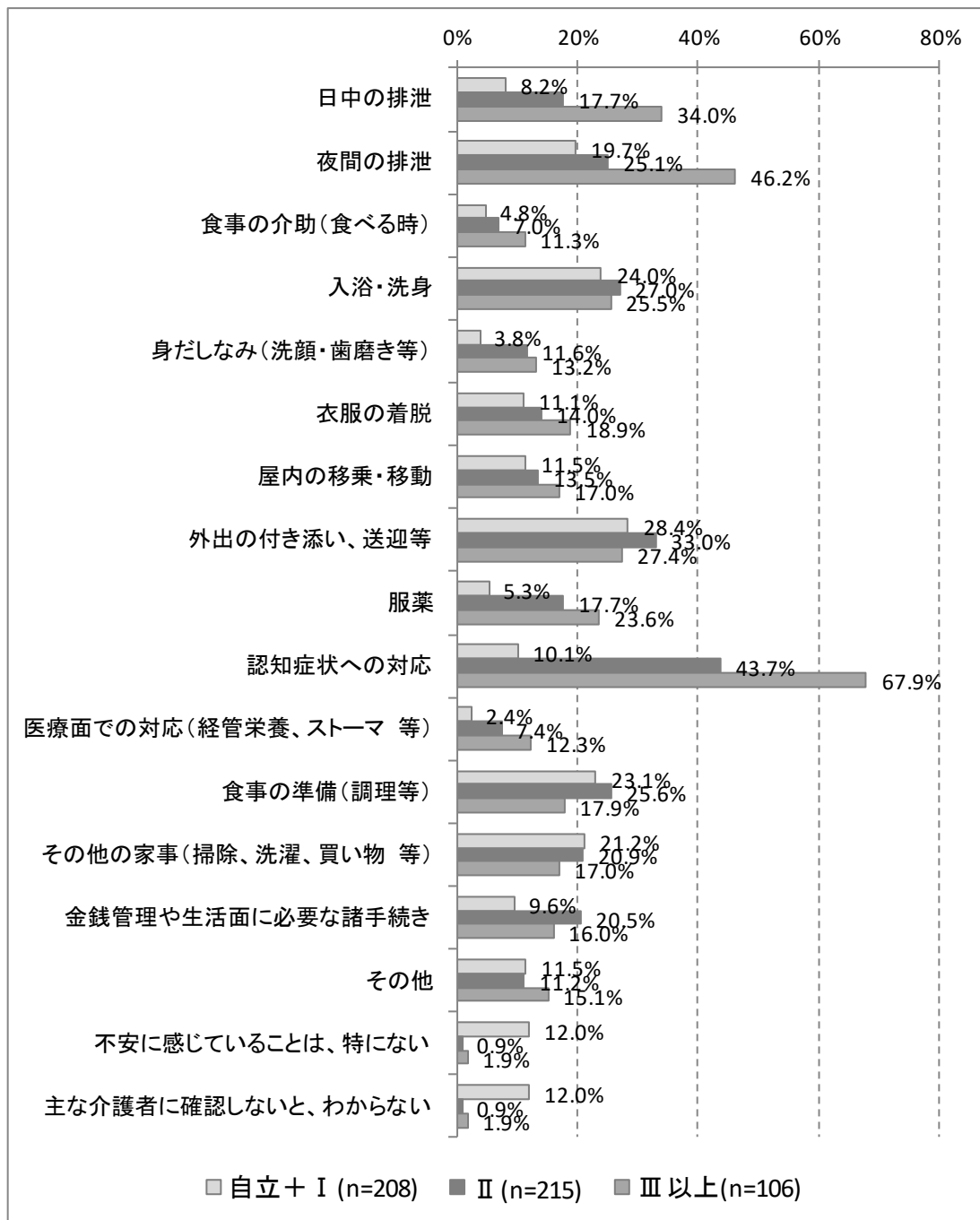
【留意事項】

- なお、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」については、特に、実際に行われている割合が低い可能性が高いと考えられます。したがって、仮に選択した回答者が少ない場合でも、実際に医療ニーズのある要介護者を介護しているケースでは、主な介護者の不安は大きいことも考えられます。
- そのような観点から、在宅限界点に与える影響が過小評価される項目もあると考えられることから、注意が必要です。

図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



図表 1-5 認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護



(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

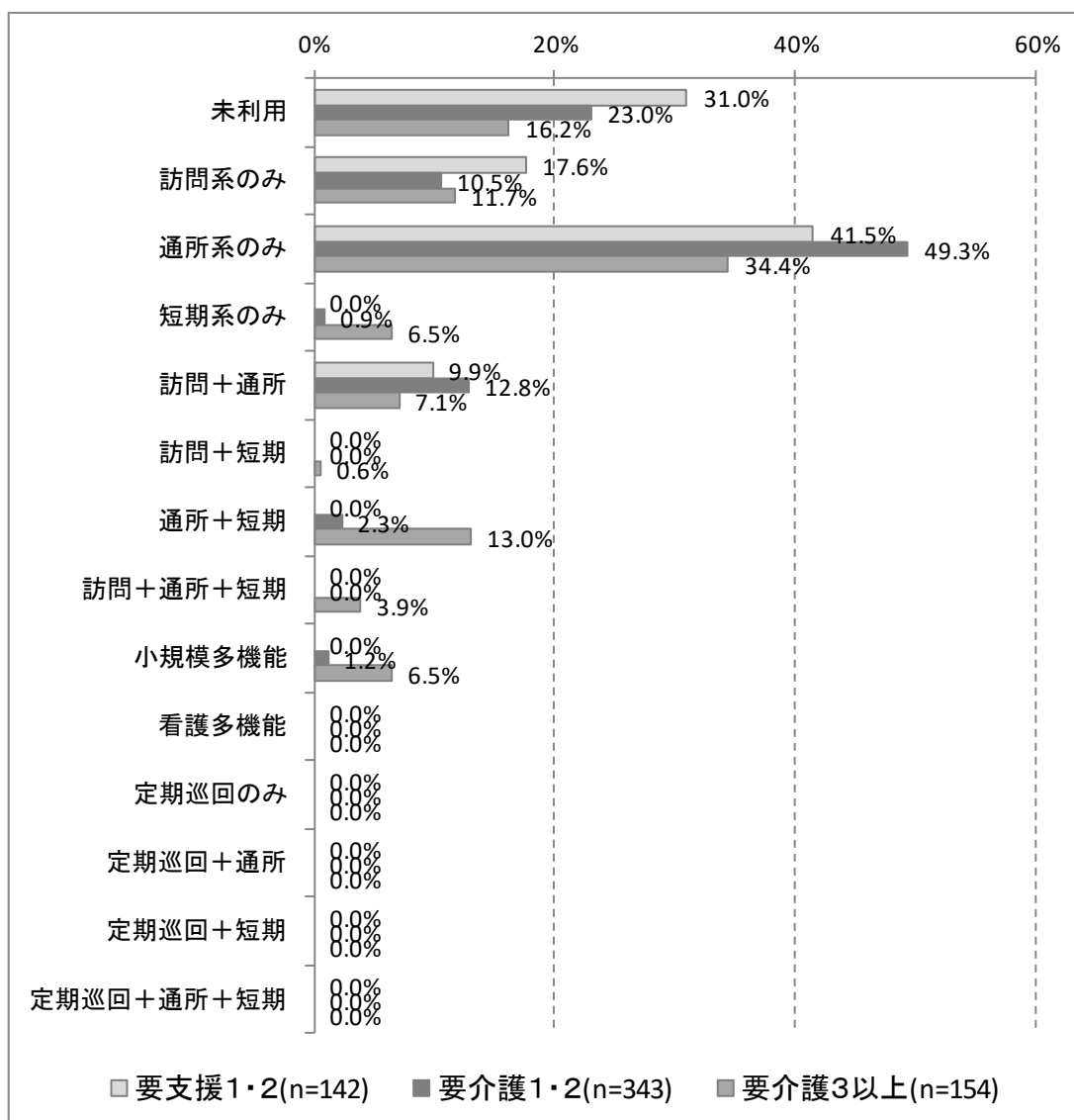
【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 1-6、図表 1-7）。
- 特に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。
- さらに、例えば今後の中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

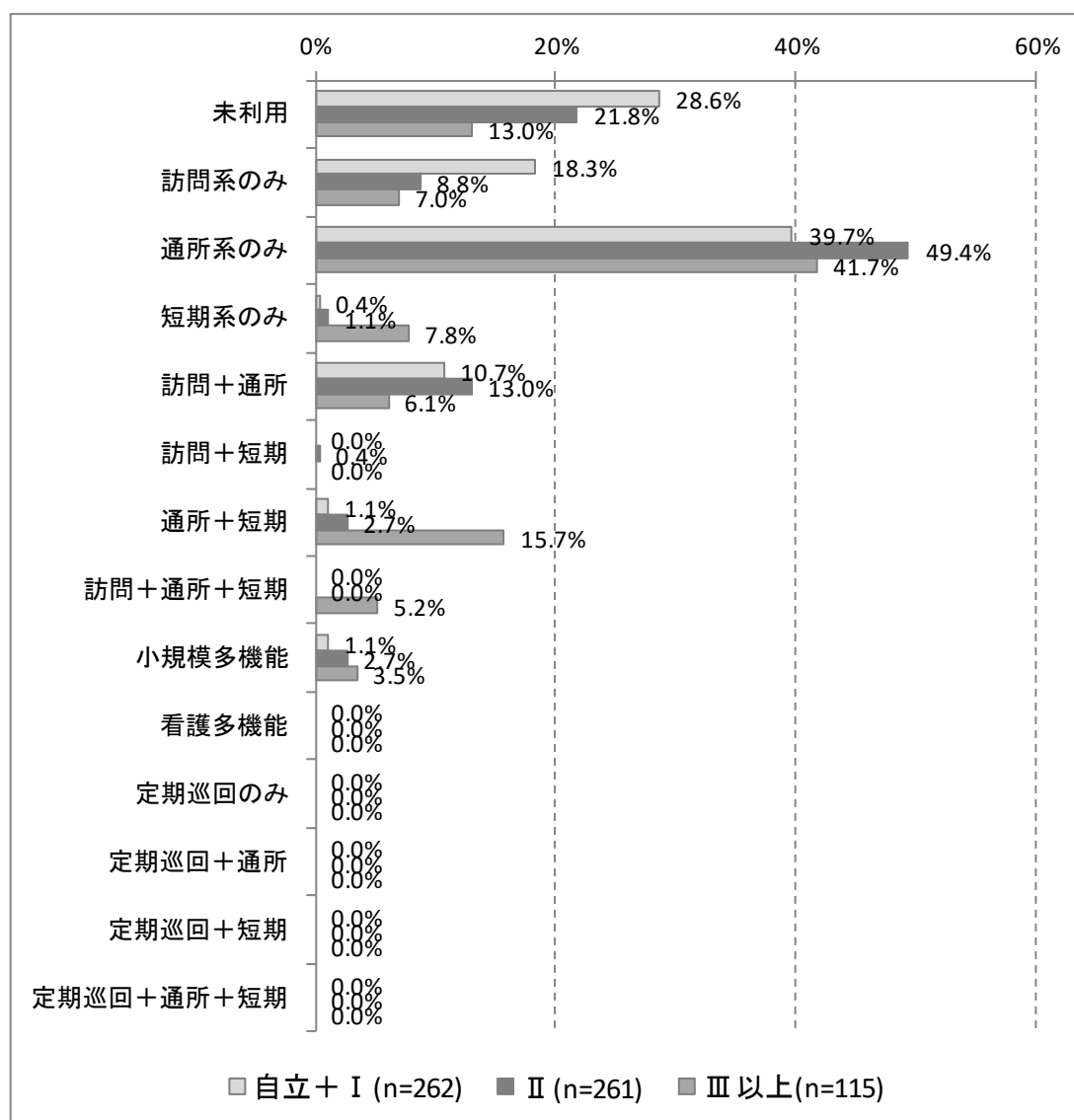
【留意事項】

- ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

図表 1-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



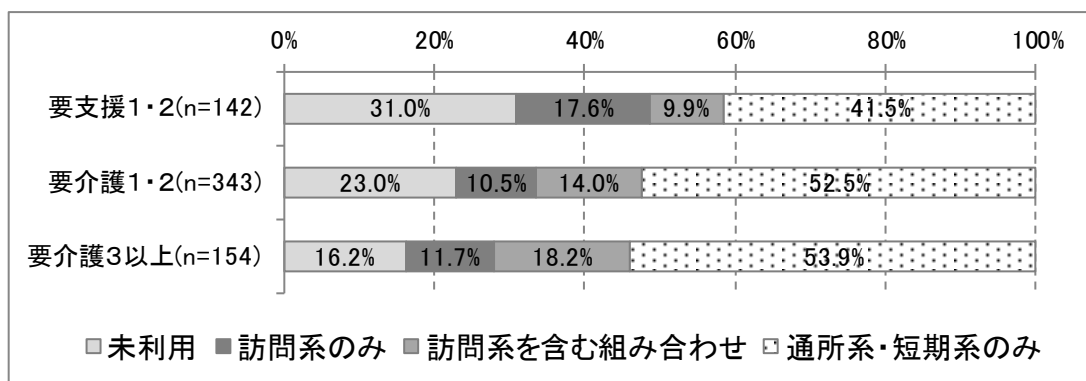
図表 1-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



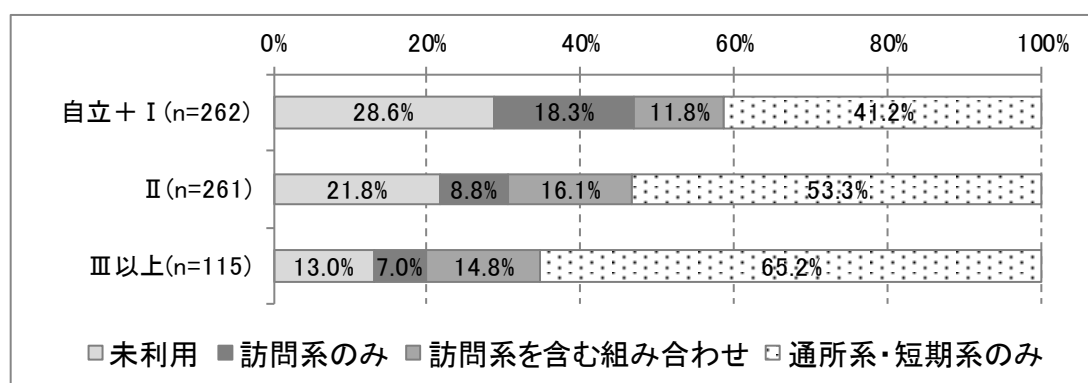
【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化した集計分析をしています（図表 1-8、図表 1-9）。
- 具体的には、サービス利用の組み合わせを、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に分類したものです。
- 組み合わせのパターンが細分化された集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と比較して、上記のような視点から、重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化の傾向等を分かりやすく示すことを目的としたものです。
- 前掲の集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と同様に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。
- また、中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

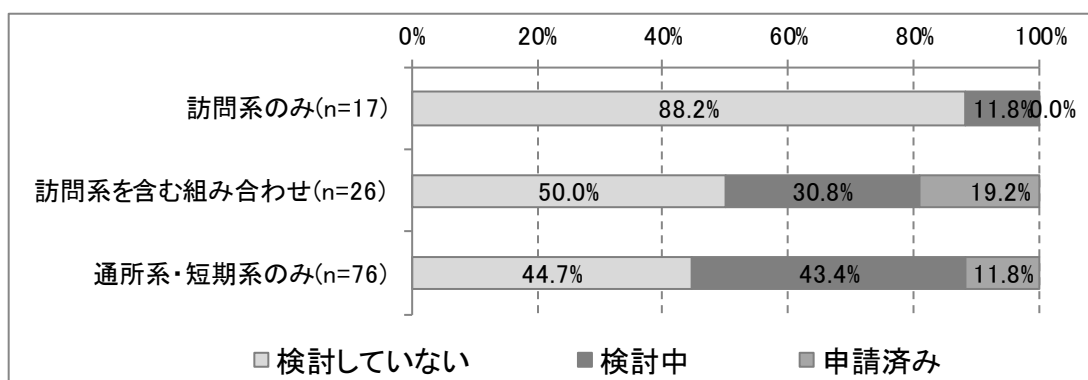
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係について、集計分析をしています。それぞれ、要介護3以上と要介護4以上、認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- 図表 1-10～図表 1-12 は、「サービス利用の組み合わせ」別に「施設等検討の状況」の割合を集計分析したもので、特に「サービス利用の組み合わせ」ごとの「施設等検討の状況」の比較が容易です。
- また、図表 1-13～図表 1-15 は、表側と表頭を逆にして集計したもので、「施設等検討の状況」別の「サービス利用の組み合わせ」をみることができます。これにより、例えば施設等への入所・入居を「検討していない」ケースのような「適切な在宅生活の継続を実現している」と考えられる要介護者について、実際に「どのような組み合わせのサービスを利用しているか」を把握することができます。
- したがって、例えば「検討中」や「申請済み」と比較して、「検討していない」ケースで多くみられるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

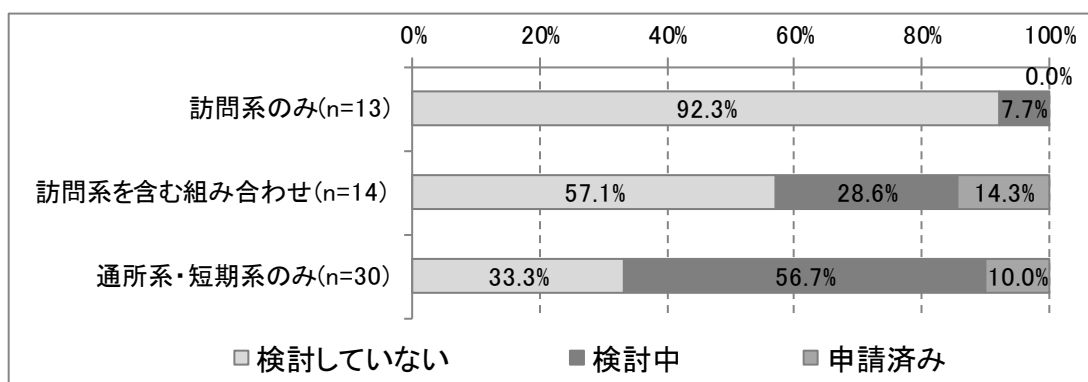
【留意事項】

- ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論を交えながら、地域ごとにその効果等についての考察を深めていくことが重要となります。
- 例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要となります。

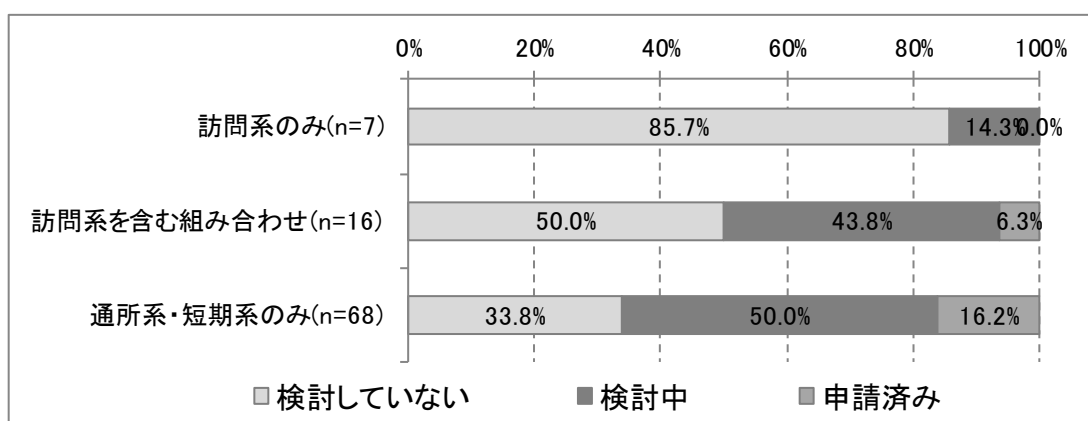
図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



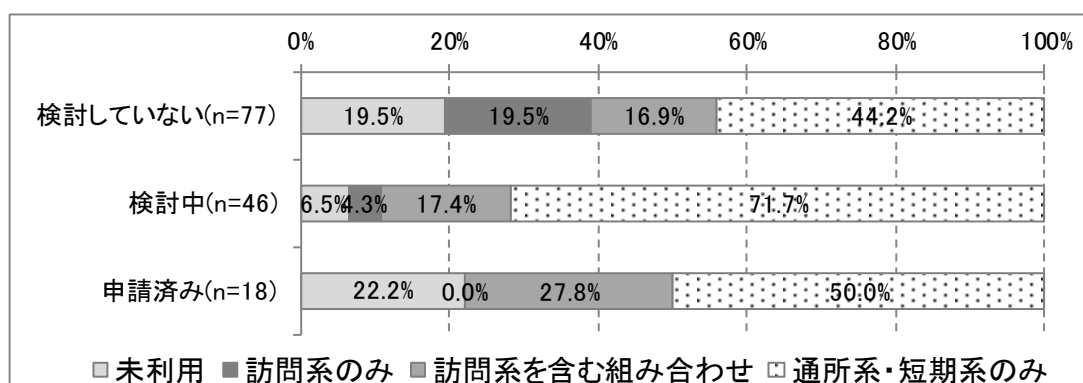
図表 1-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



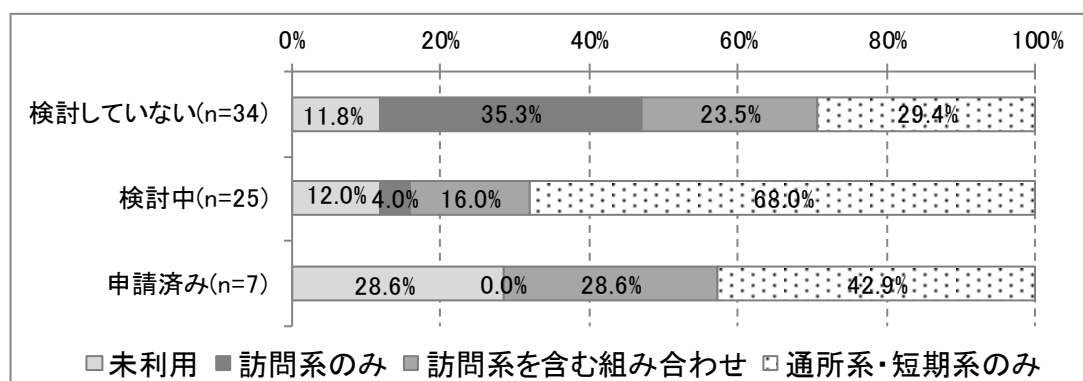
図表 1-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



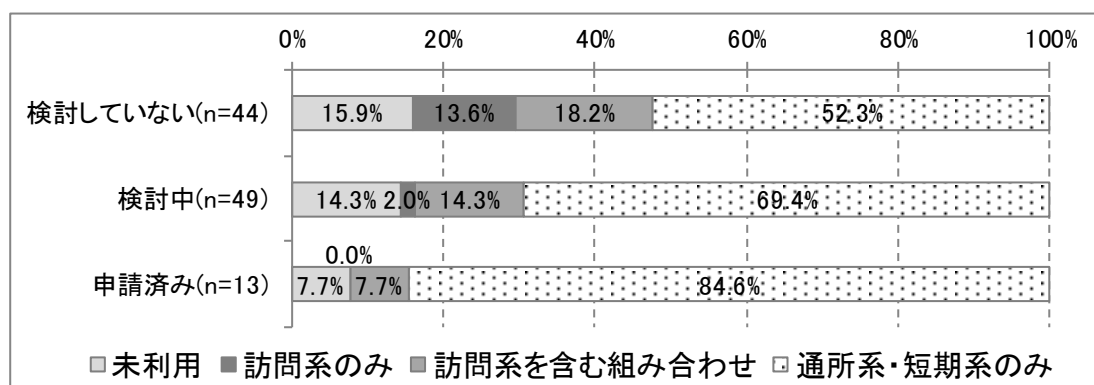
図表 1-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



図表 1-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



図表 1-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

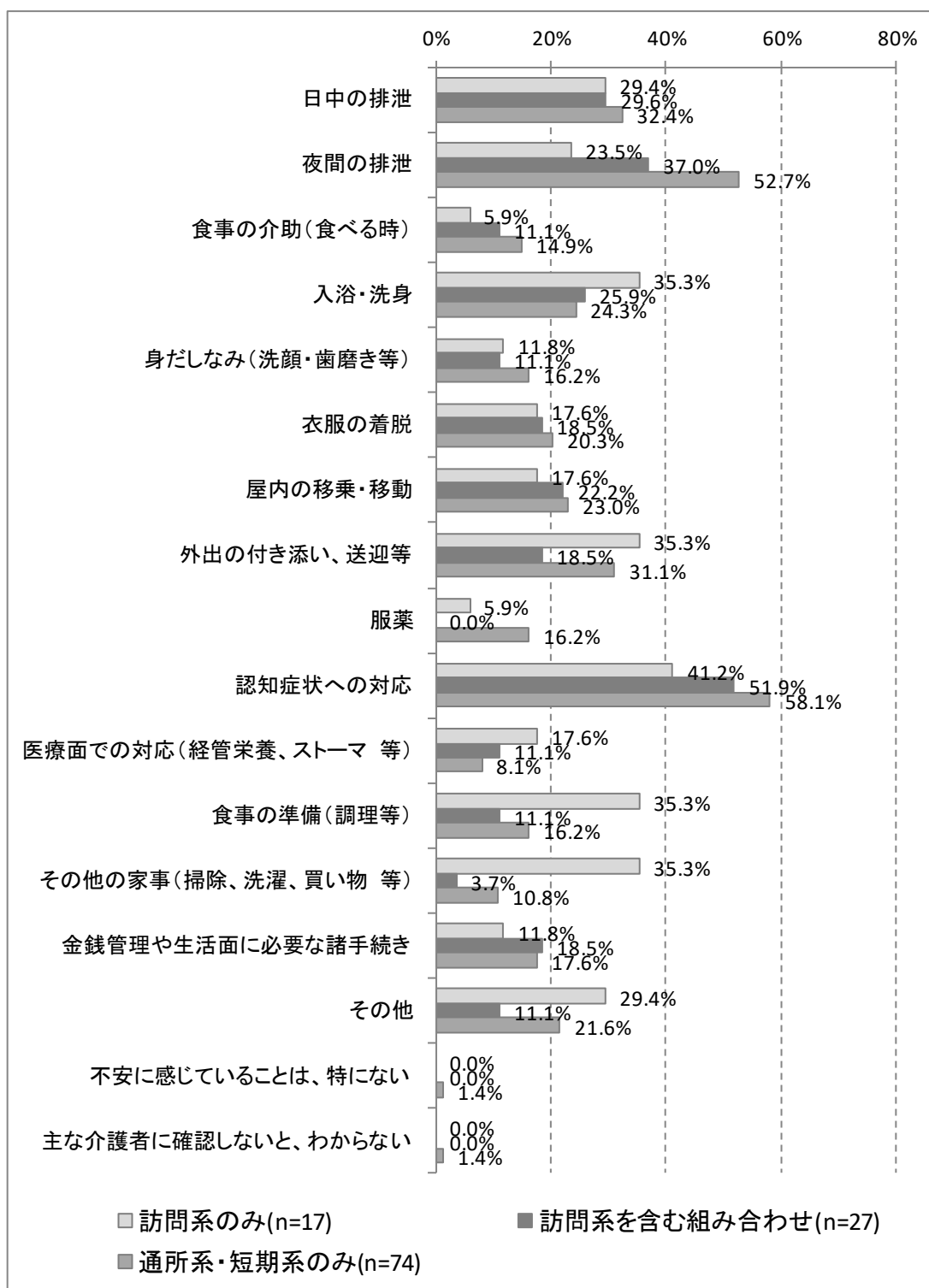
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係について、集計分析をしています（図表 1-16、図表 1-17）。それぞれ、要介護 3 以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の 1 つです。
- ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- したがって、「主な介護者の不安」が比較的小さくなるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するようなサービス整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

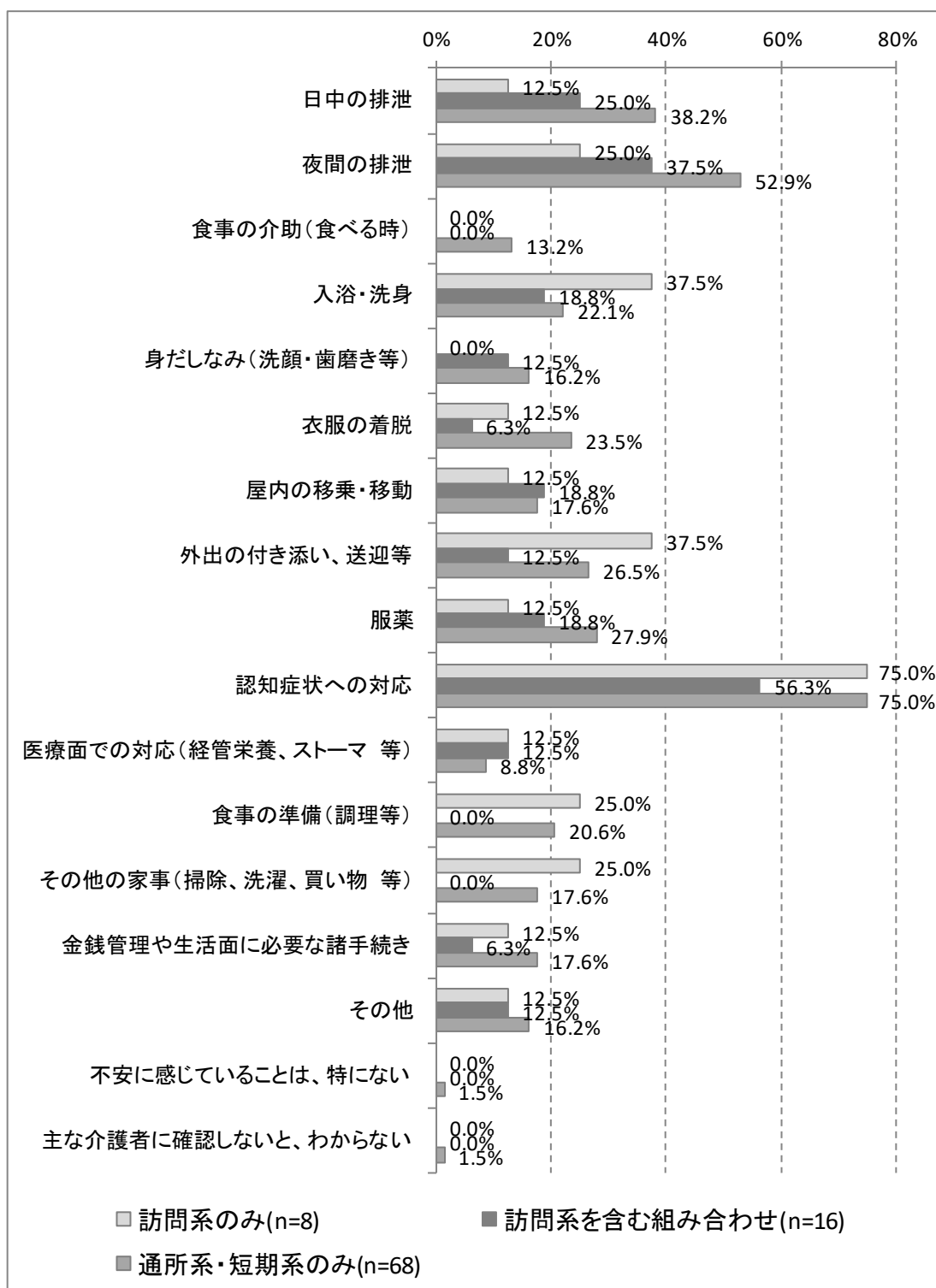
【留意事項】

- ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。
- 例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、〇〇の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、〇〇の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



図表 1-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

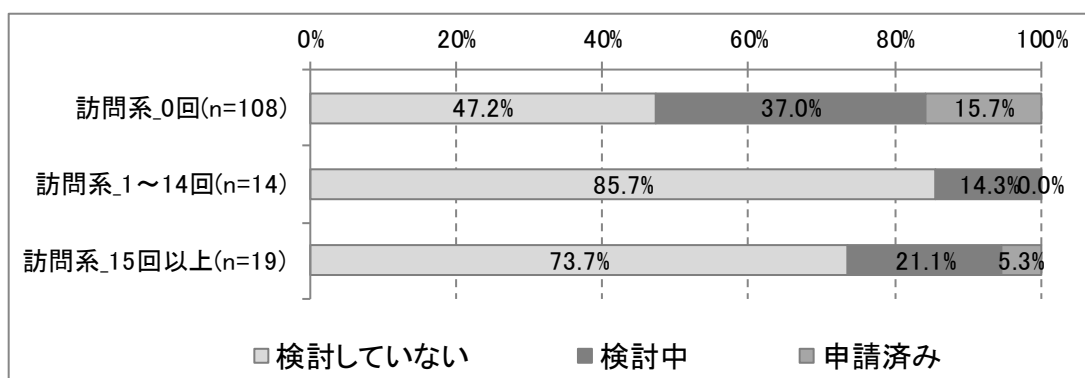
【着目すべきポイント】

- (4)では、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」について、集計分析を行っています。それぞれ、要介護3以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- 図表 1-18 と図表 1-19 が訪問系、図表 1-20 と図表 1-21 通所系、図表 1-22 と図表 1-23 が短期系について集計分析した結果です。
- 「サービス利用の回数」の増加に伴い、施設等への入所・入居を「検討していない」割合が高くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

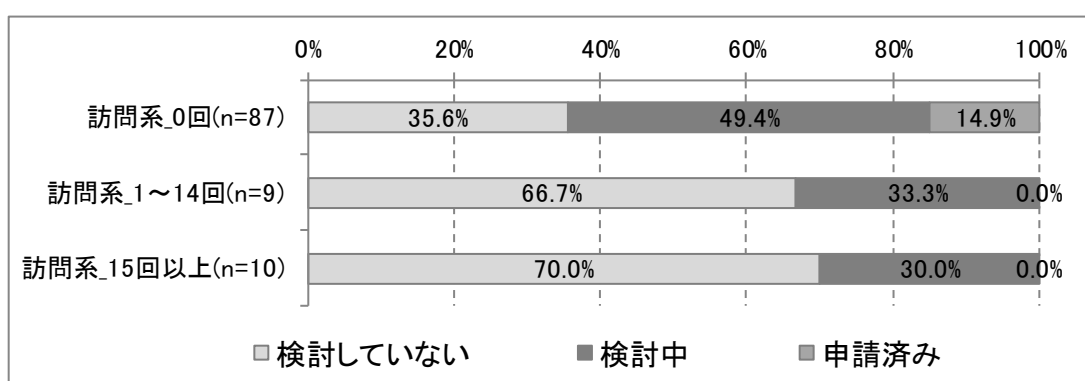
【留意事項】

- (4)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の2つの分析結果を参考に、在宅限界点の向上に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。
- (4)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

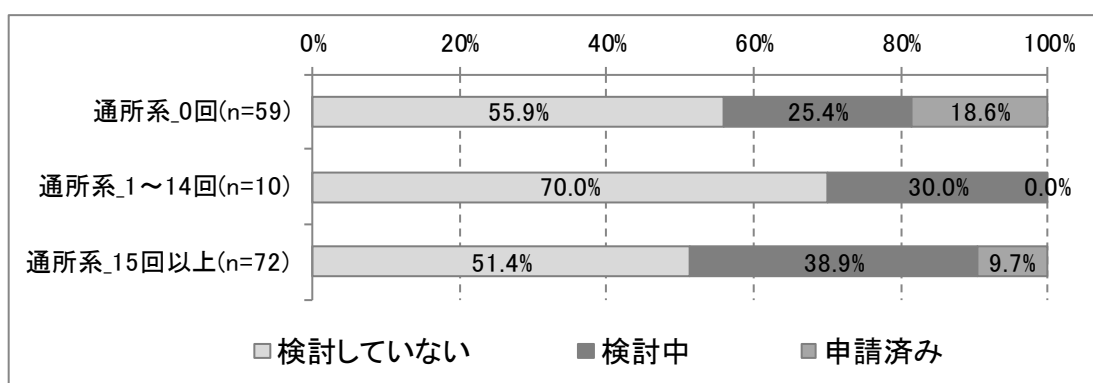
図表 1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



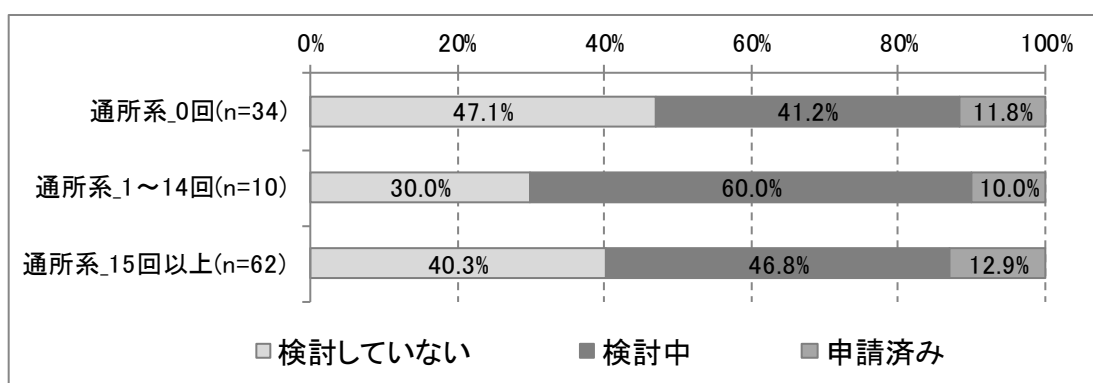
図表 1-19 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



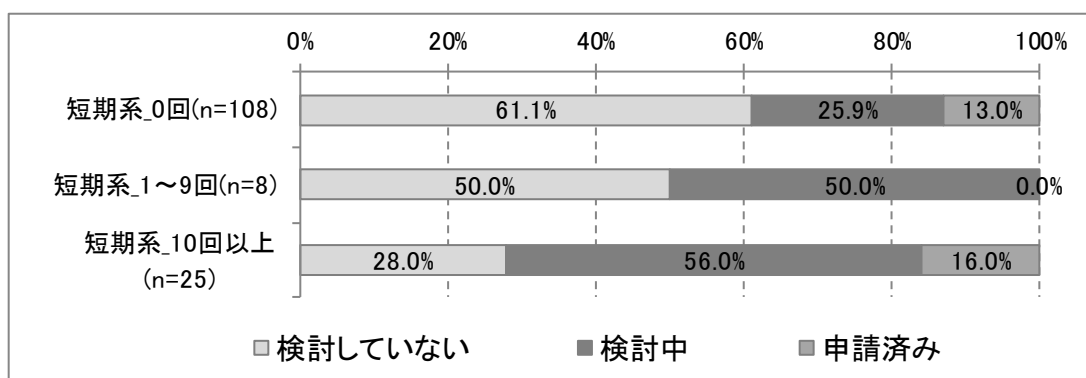
図表 1-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



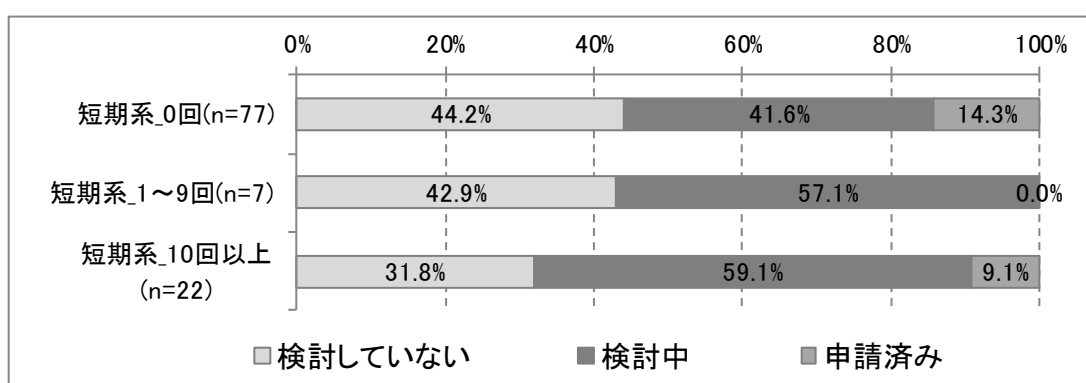
図表 1-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



図表 1-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



図表 1-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

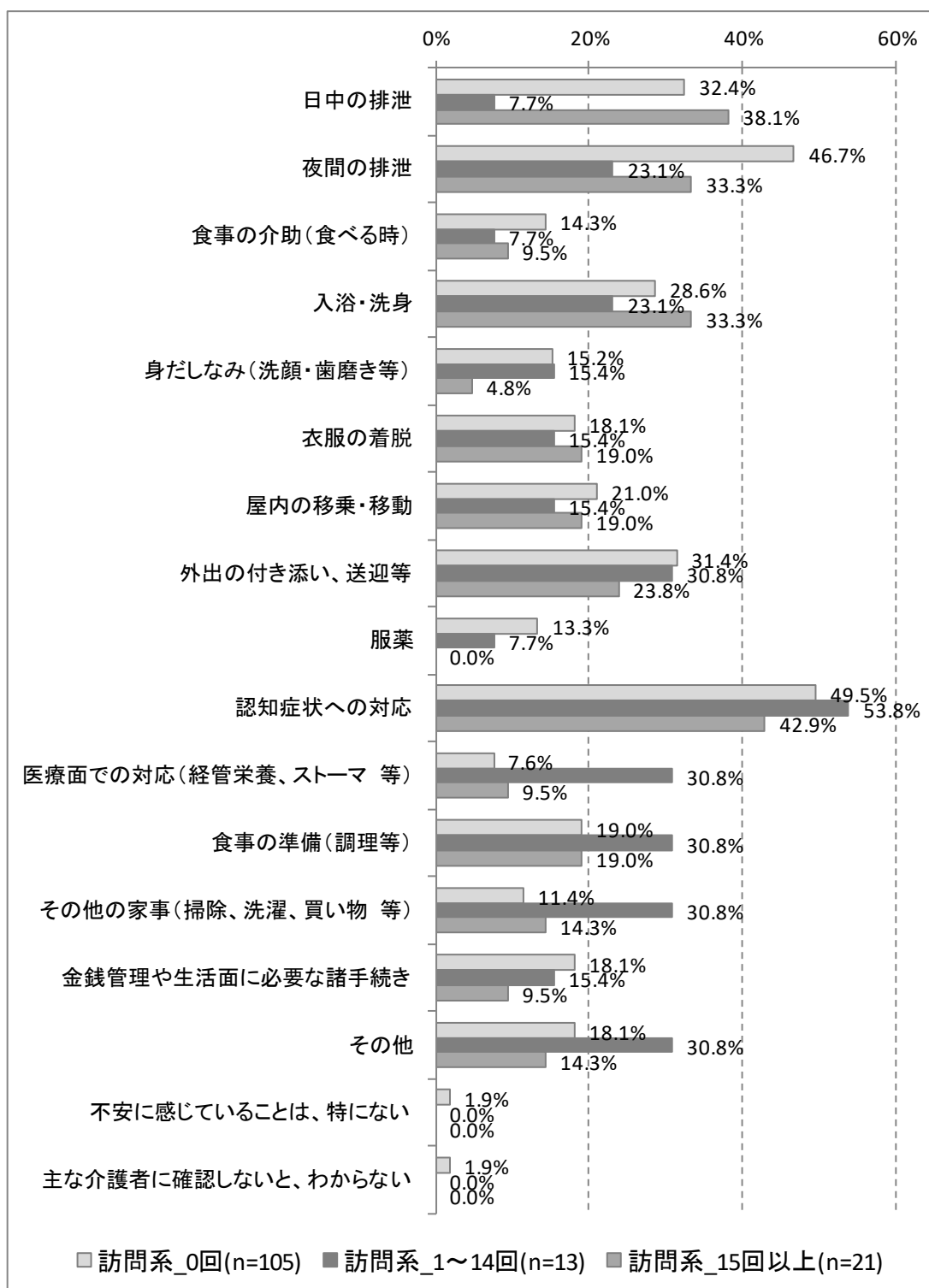
【着目すべきポイント】

- (5)では、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、集計分析を行っています。
- 「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることを想定しています。
- 図表 1-24 と図表 1-25 が訪問系、図表 1-26 と図表 1-27 が通所系、図表 1-28 と図表 1-29 が短期系について集計分析した結果です。それぞれ、要介護 3 以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「サービス利用の回数」の増加に伴い、「主な介護者が不安に感じる」割合が低くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

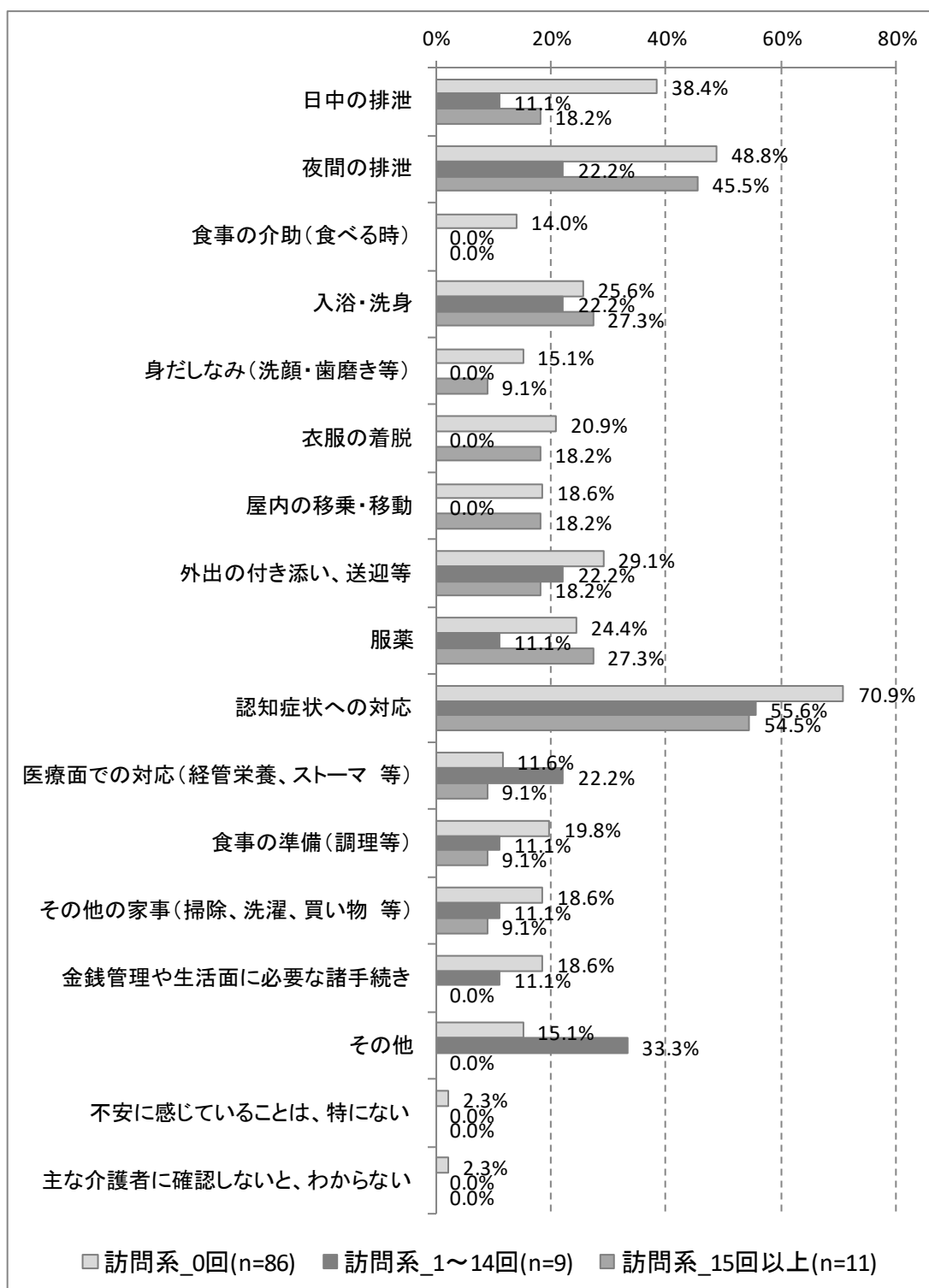
【留意事項】

- (5)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の2つの分析結果を参考に、介護者不安の軽減に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。
- (5)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

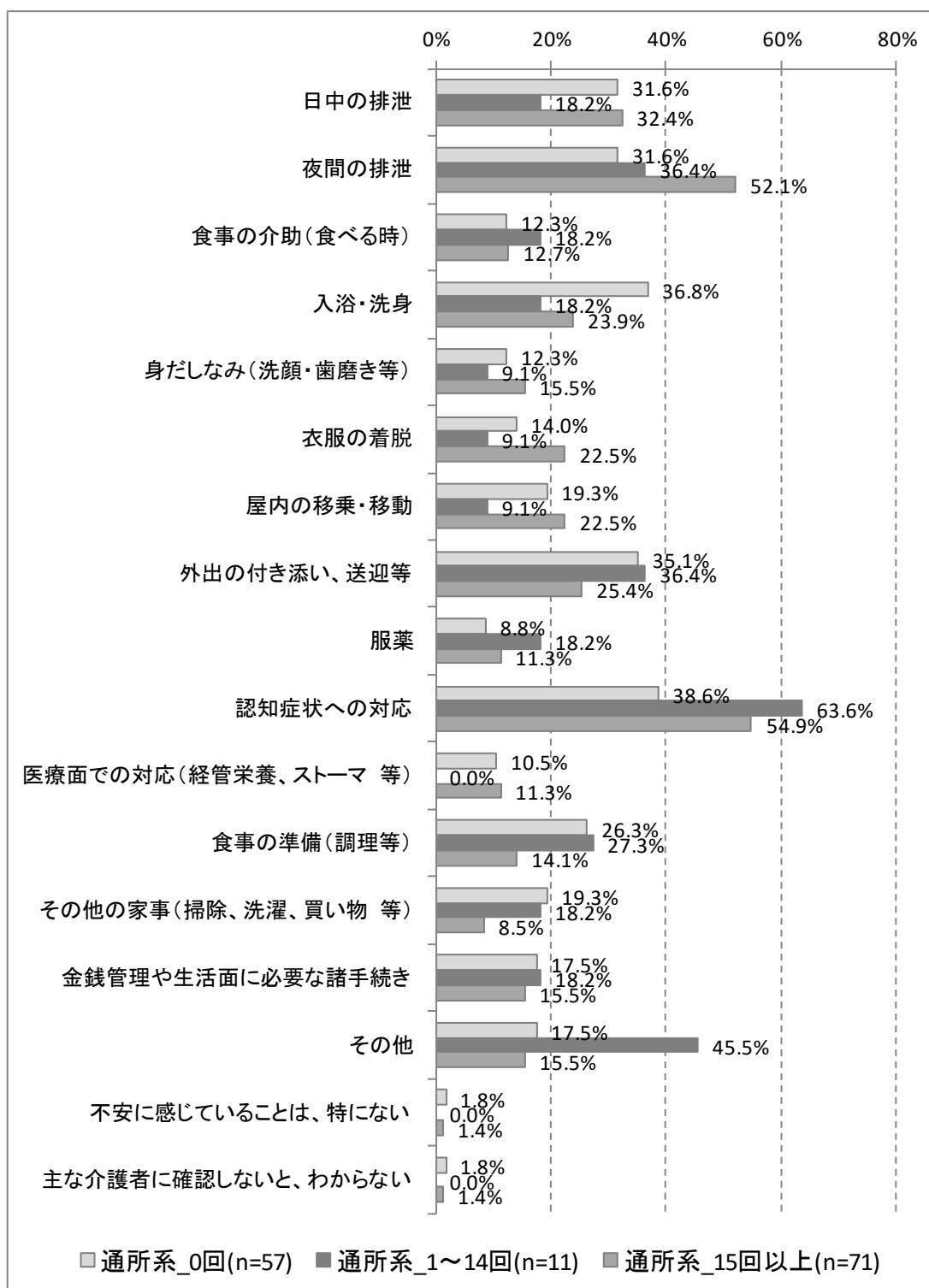
図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



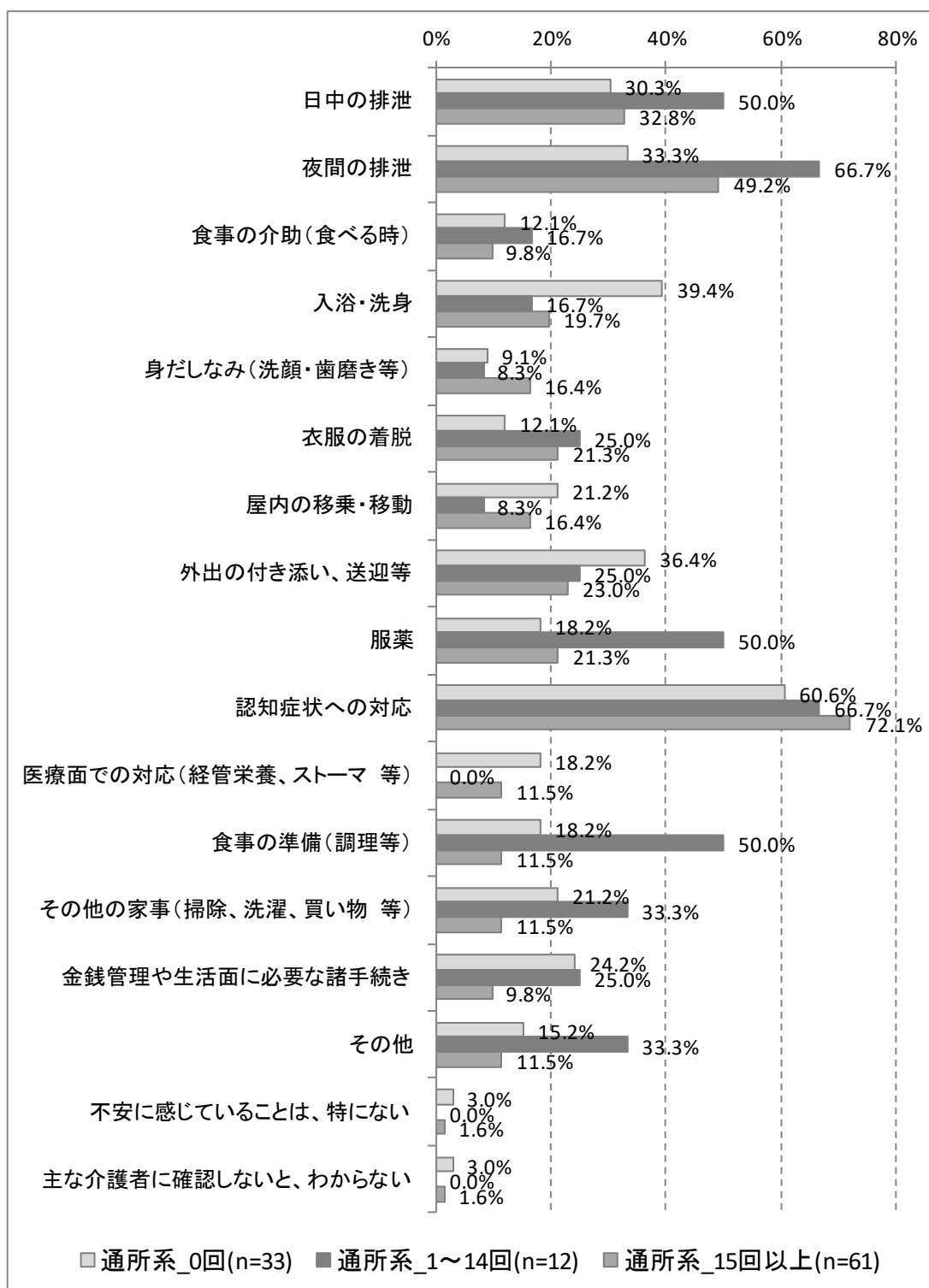
図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



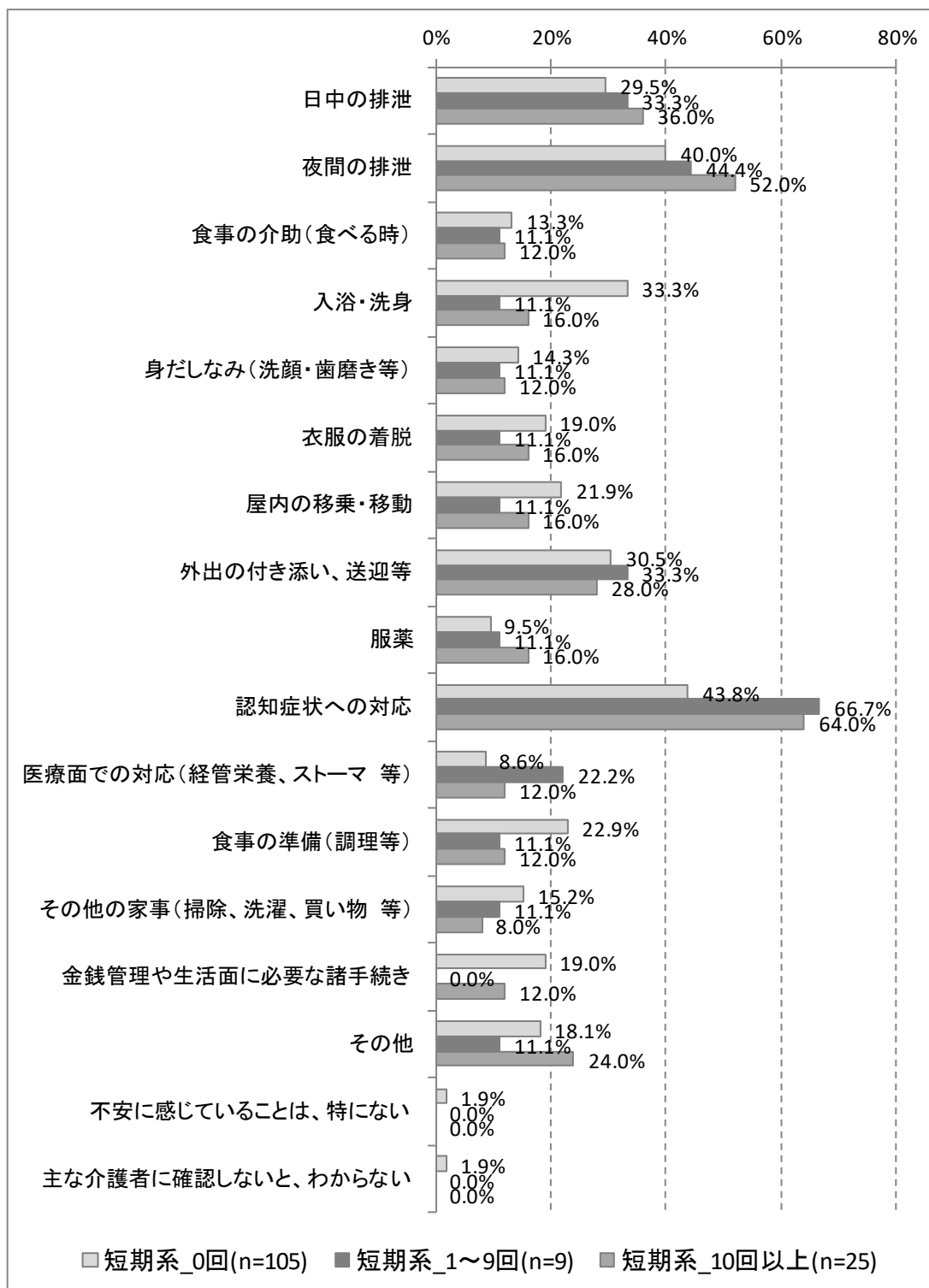
図表 1-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



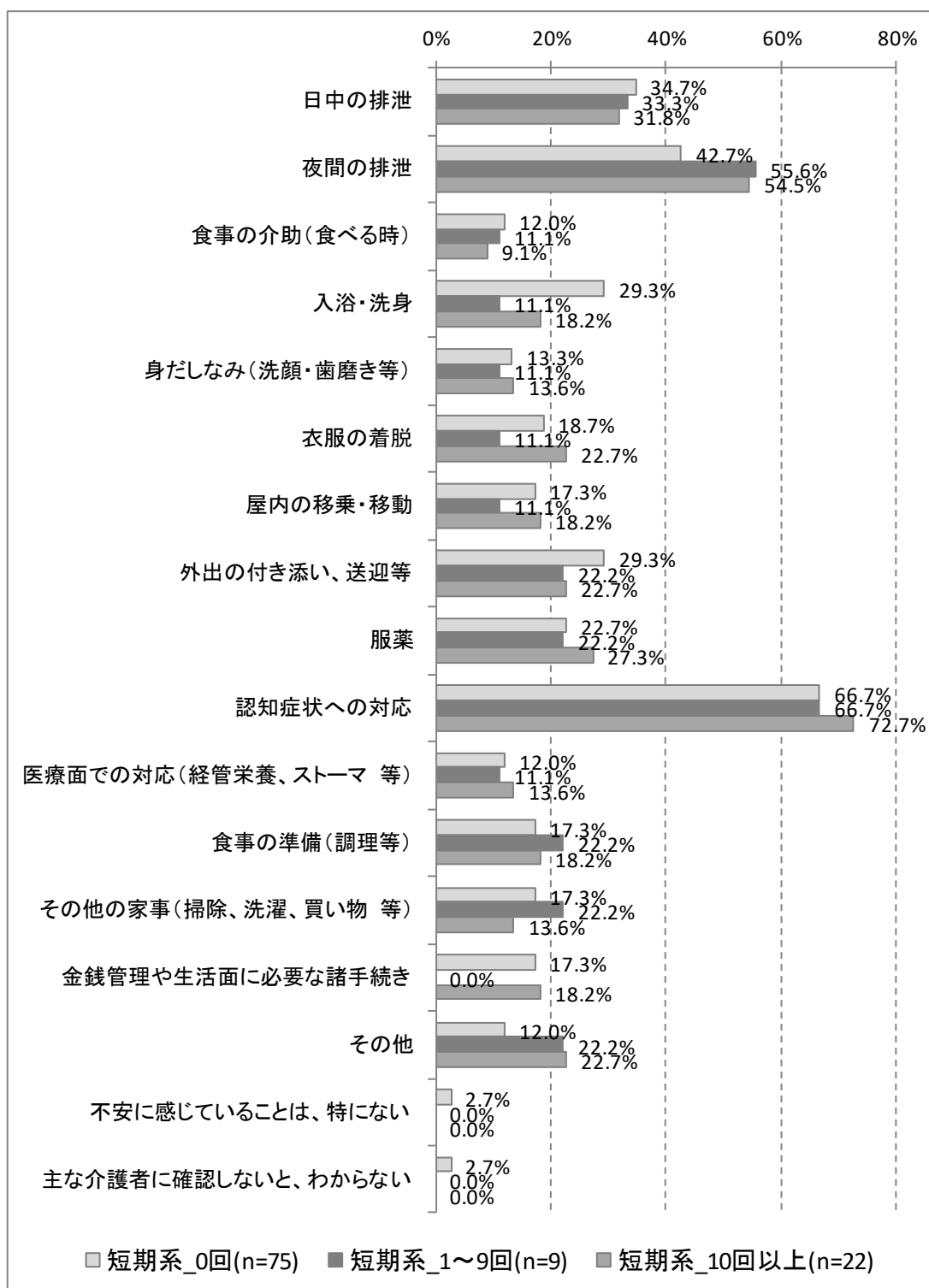
図表 1-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



図表 1-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



図表 1-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

2.1 集計・分析の狙い

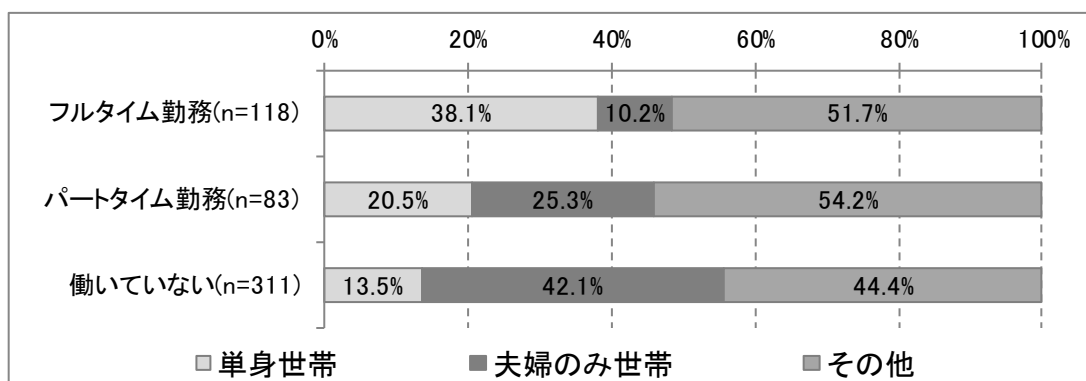
- ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。
- 具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。
- さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などのクロス集計を行っています。
- 上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

2.2 集計結果と着目すべきポイント

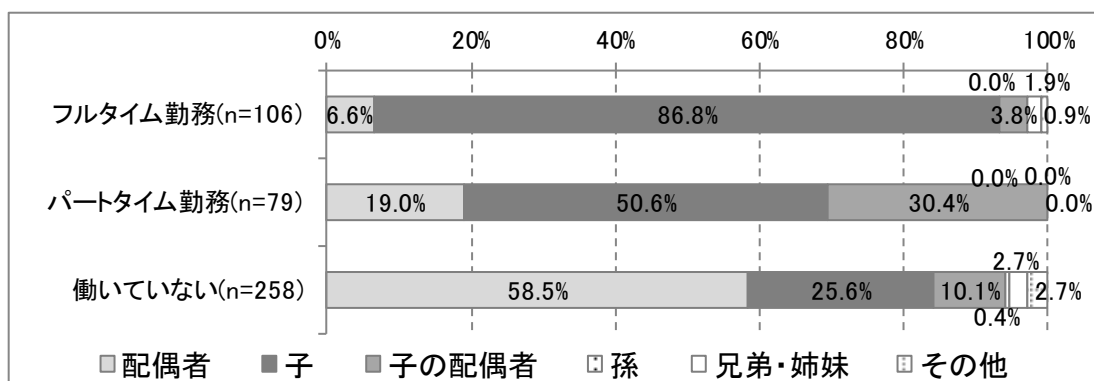
(1) 基本集計

- 主な介護者の就労状況（フルタイム勤務・パートタイム勤務・働いていない）別に、世帯や介護者の特徴などの基礎的な集計を行っています。
- 主な介護者の属性や、要介護者の要介護度・認知症自立度について、就労状況別にその状況を確認してください。

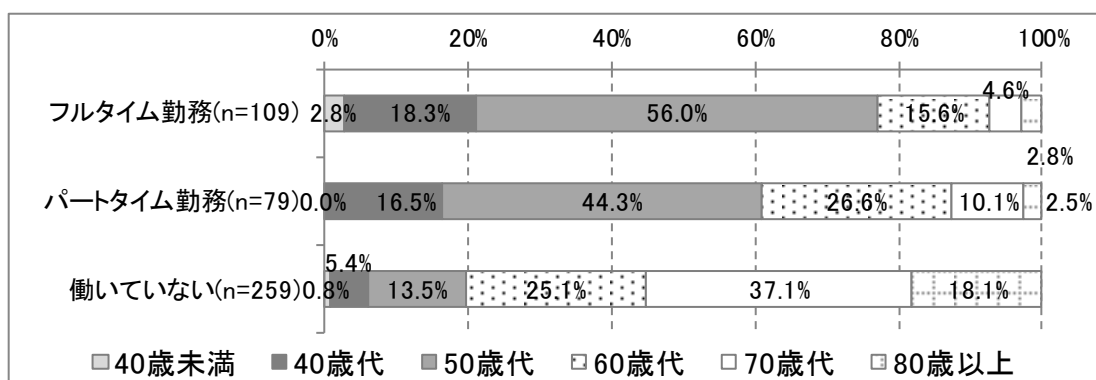
図表 2-1 就労状況別・世帯類型



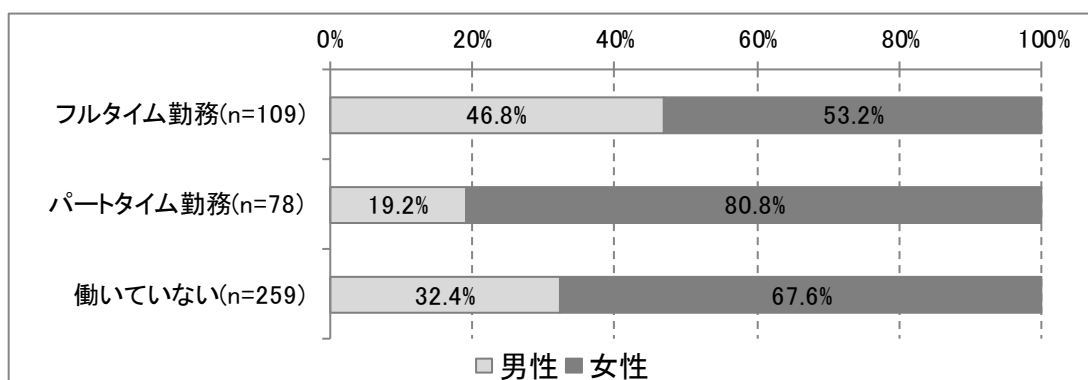
図表 2-2 就労状況別・★主な介護者の本人との関係



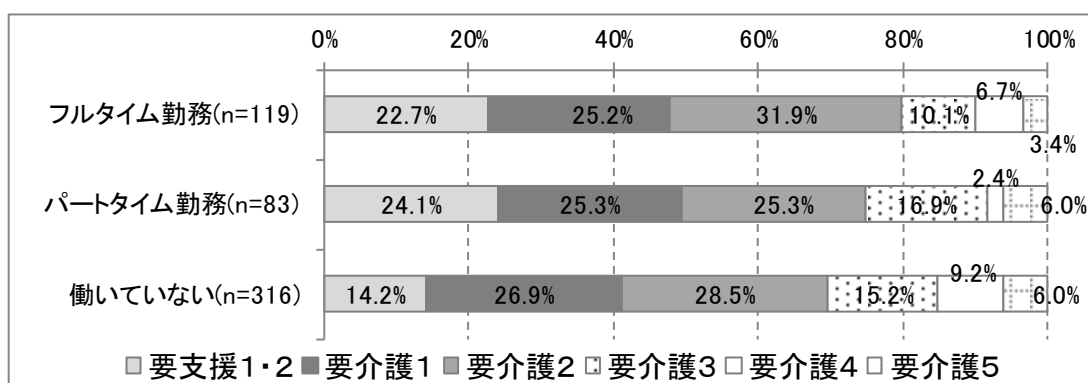
図表 2-3 就労状況別・主な介護者の年齢



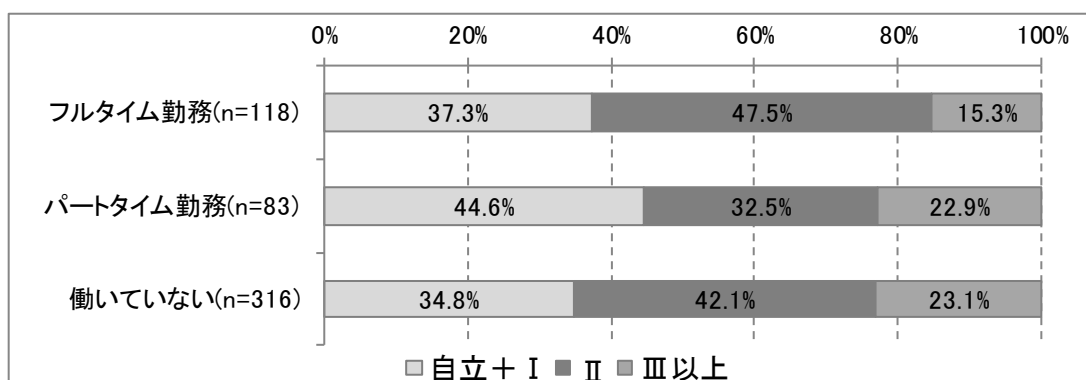
図表 2-4 就労状況別・主な介護者の性別



図表 2-5 就労状況別・要介護度



図表 2-6 就労状況別・認知症自立度

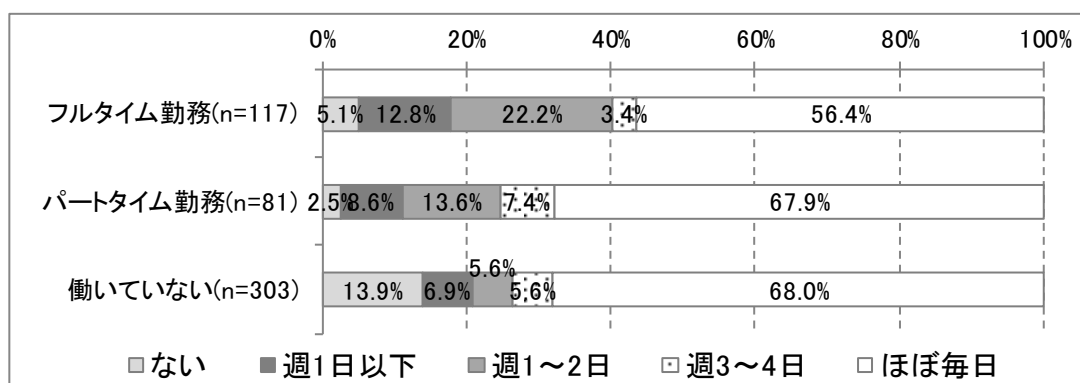


(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

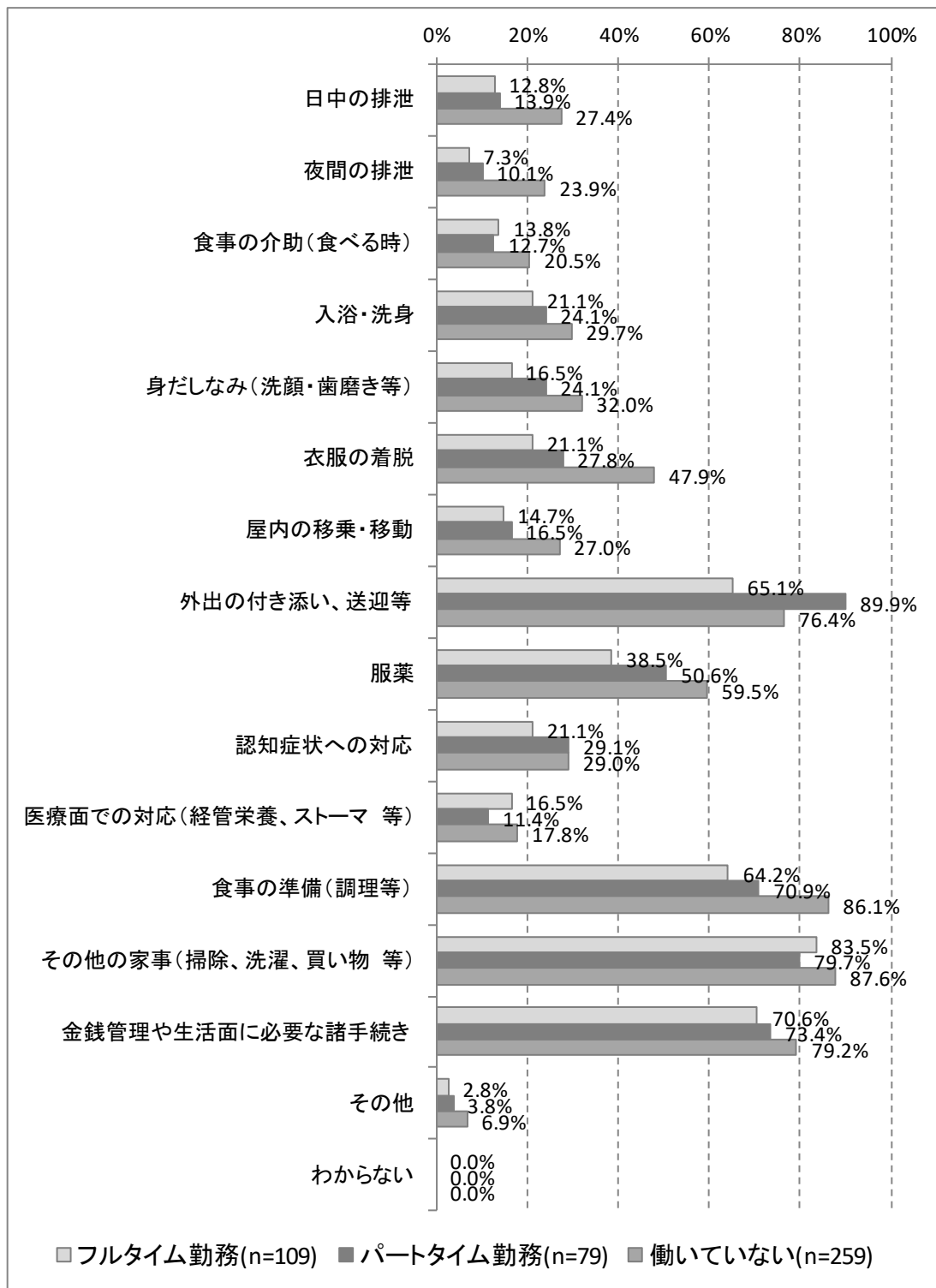
【着目すべきポイント】

- ここでは、「主な介護者が行っている介護」と「今後の就労継続見込み」について、主な介護者の就労状況別に集計分析をしています（図表 2-8、図表 2-9）。
- 「主な介護者が行っている介護」について、例えば、「働いていない」人と比較して、「フルタイム勤務」や「パートタイム勤務」で少ない介護は、働いている介護者が、他の介護者や介護サービスの支援を必要としているものと考えられます。
- 「今後の就労継続見込み」については、「就労状況」との関係に加え、「要介護度」や「認知症自立度」別についても、集計分析を行っています。これにより、要介護者の重度化に伴って就労継続見込みを困難と考える人が増加するかどうかを把握することができます。
- なお、就労継続見込みの分析においては、「問題なく、続けていける」の割合と、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」をあわせた「続けていける」と考えている人の割合の2つの指標に着目しています（図表 2-10、図表 2-11）。

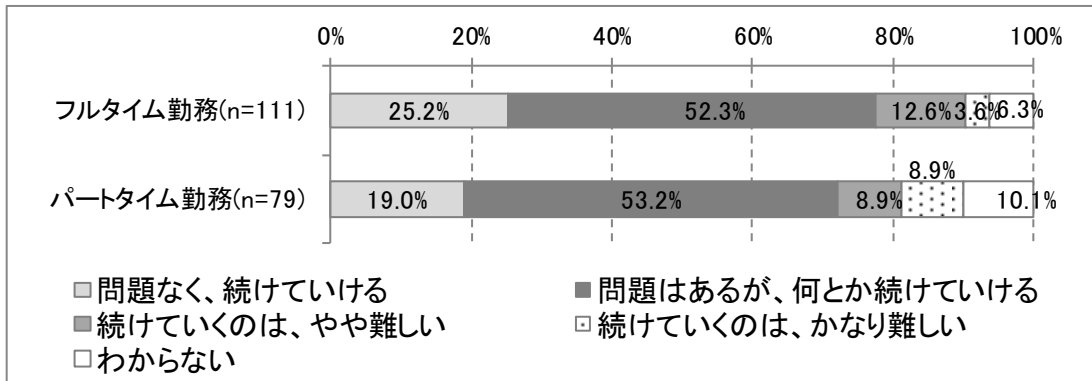
図表 2-7 就労状況別・家族等による介護の頻度



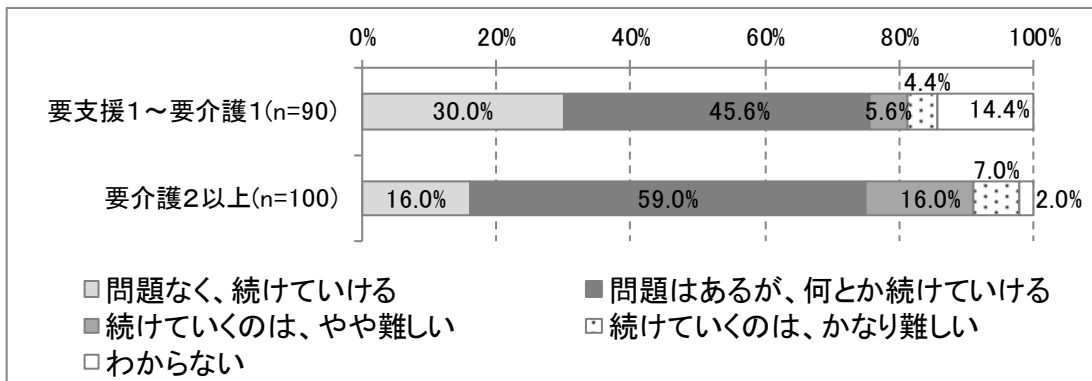
図表 2-8 就労状況別・★主な介護者が行っている介護



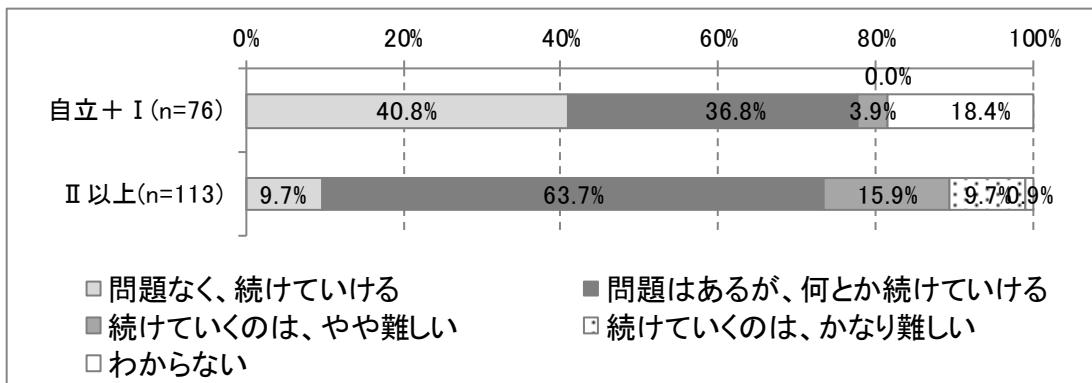
図表 2-9 就労状況別・就労継続見込み



図表 2-10 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



図表 2-11 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

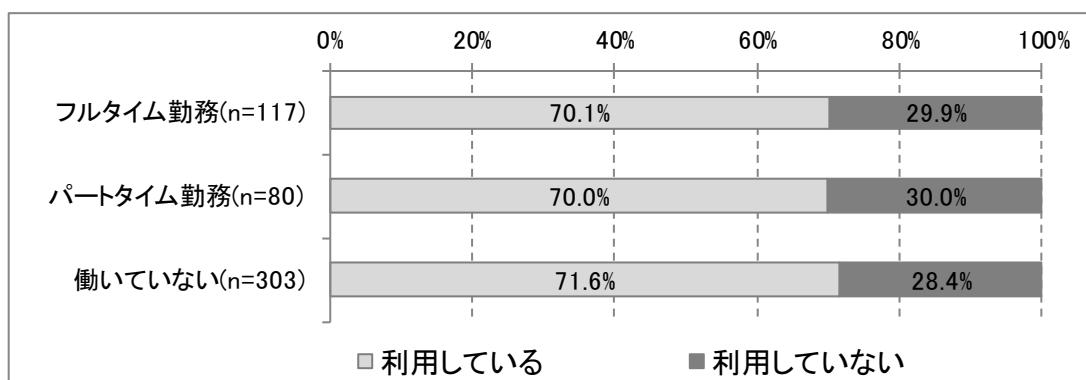


(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

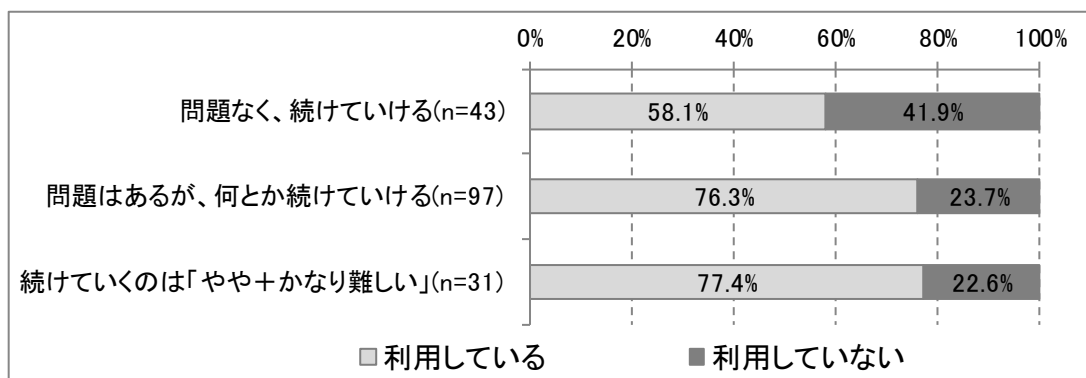
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護保険サービスの利用状況」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-12～図表 2-15）。
- 「介護保険サービスの利用状況」と「就労継続見込み」の関係についての集計分析から、サービス利用による就労継続見込みへの影響を把握することができます。さらに、サービスを利用していない人の「サービス未利用の理由」について、就労継続が困難と考える人が、そうでない人と比較して特徴がみられる理由に着目することで、必要なサービス利用がなされているかどうかを推測することができます。
- 例えば、就労継続が困難と考える人において、サービスを「利用していない」割合が高く、かつサービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が低い割合にとどまっている場合には、サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないこととなります（図表 2-13、図表 2-14）。
- 「主な介護者が不安に感じる介護」については、就労継続見込みの困難化に伴い、どのような介護等で不安が増加しているかに着目することで、在宅生活を継続しながらの就労継続について、介護者がその可否を判断するポイントとなる可能性がある介護等を把握することができます。

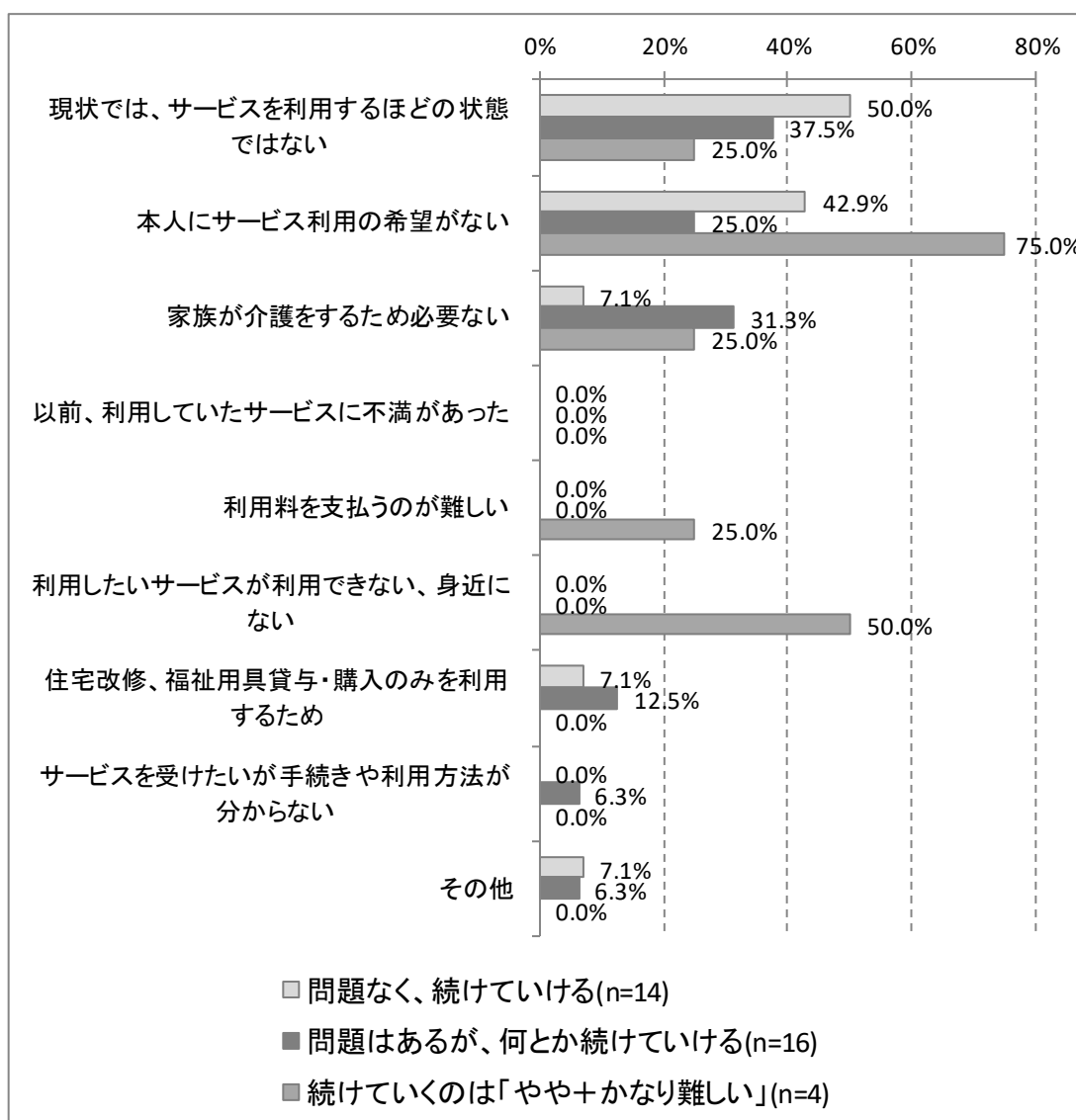
図表 2-12 就労状況別・★介護保険サービス利用の有無



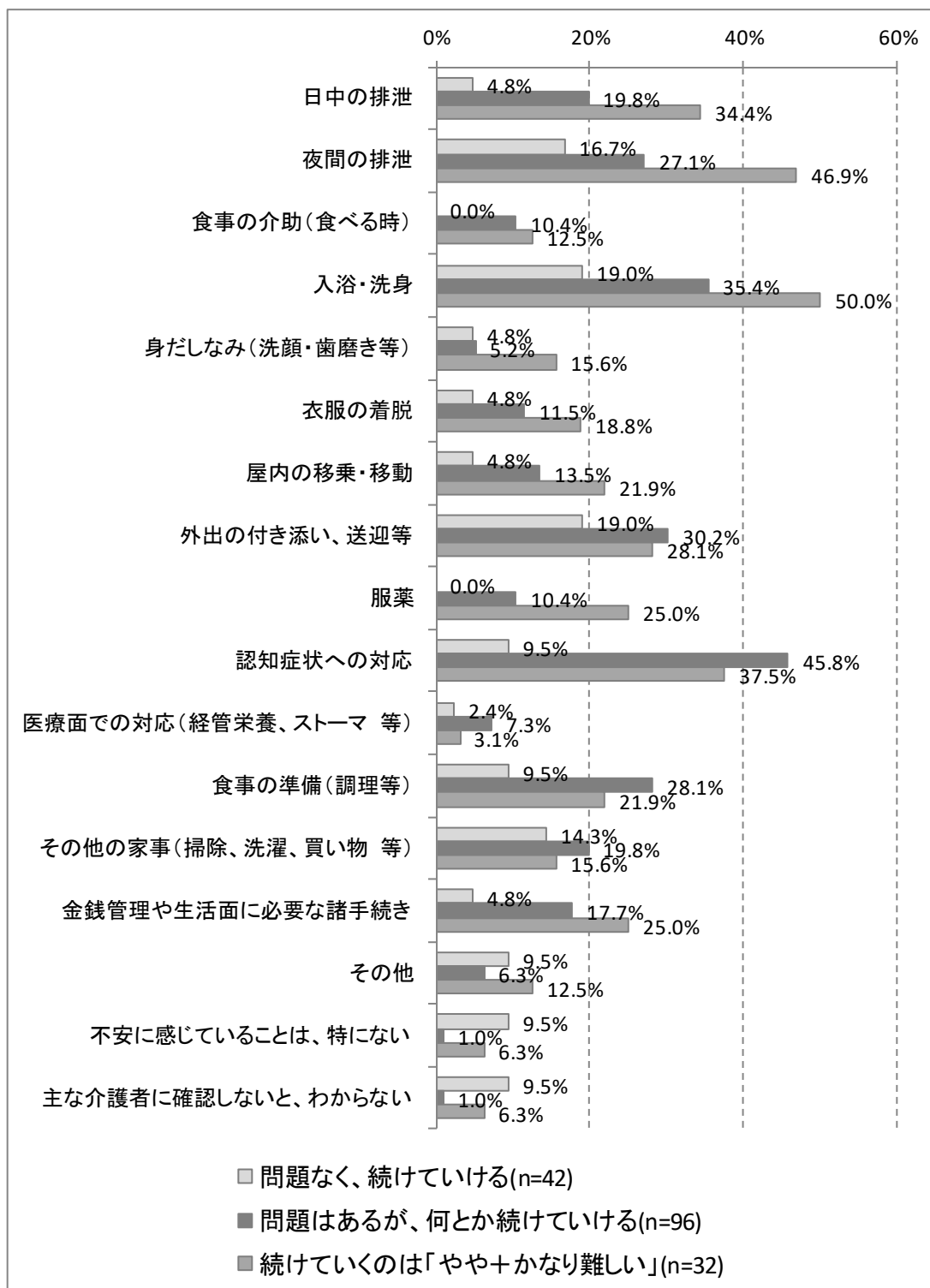
図表 2-13 就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



図表 2-14 就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務+パート勤務）



図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

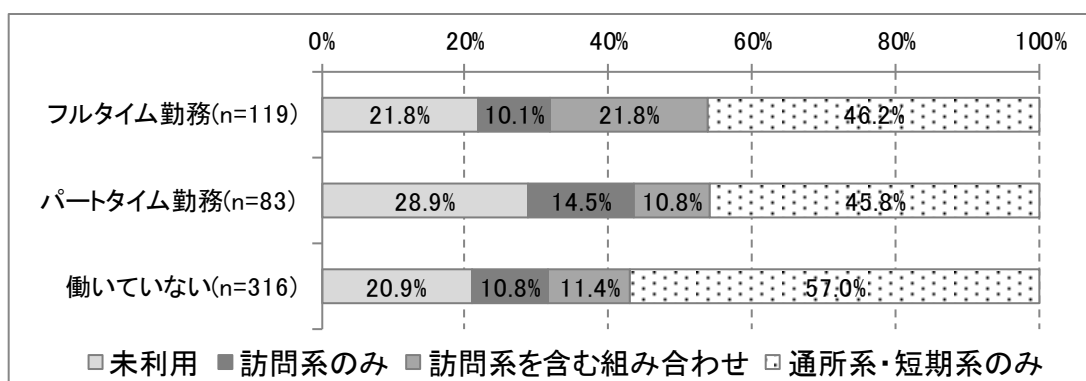


(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

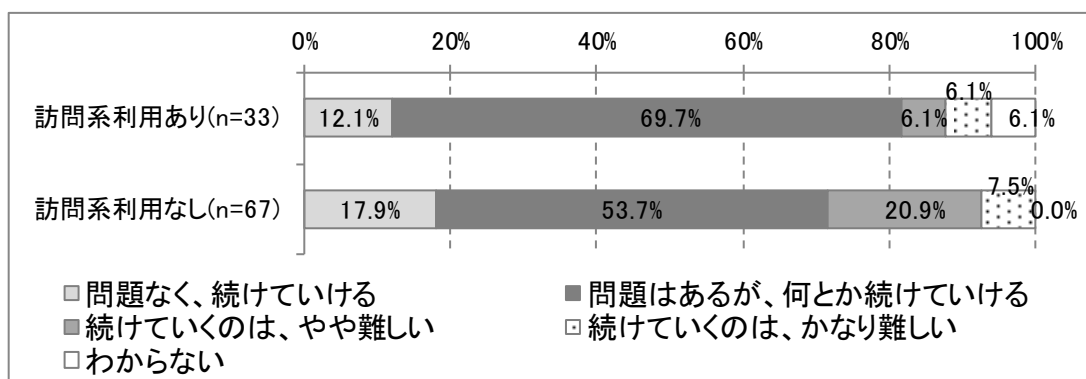
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化し、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています。さらに、訪問系サービスについては、要介護2以上、認知症自立度Ⅱ以上に分けて集計分析を行っています（図表2-16～図表2-18）。
- ここから、主な介護者の就労状況によって、「サービス利用の組み合わせ」に差がみられるかどうかを把握することができます。
- また、「訪問系サービスの利用の有無」と「就労継続見込み」の関係を集計分析することで、訪問系サービスの利用が、就労継続見込みの「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合に影響を与えているかどうかを推測することが可能です。

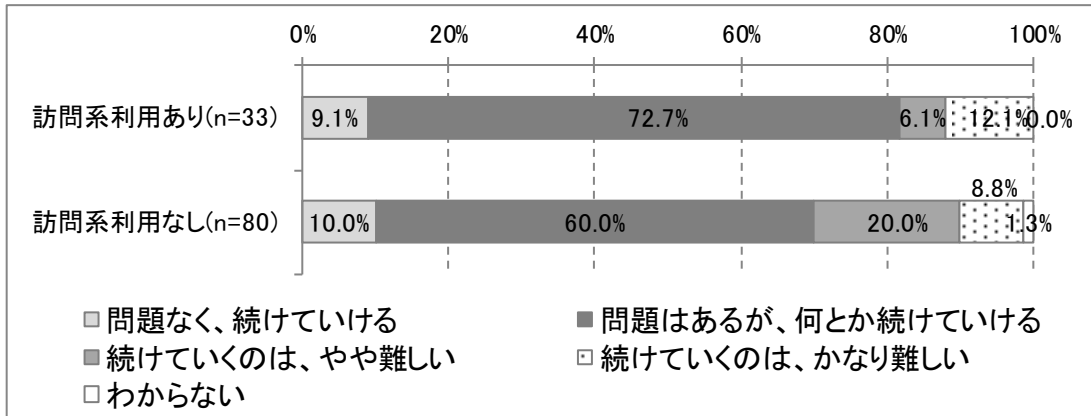
図表 2-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

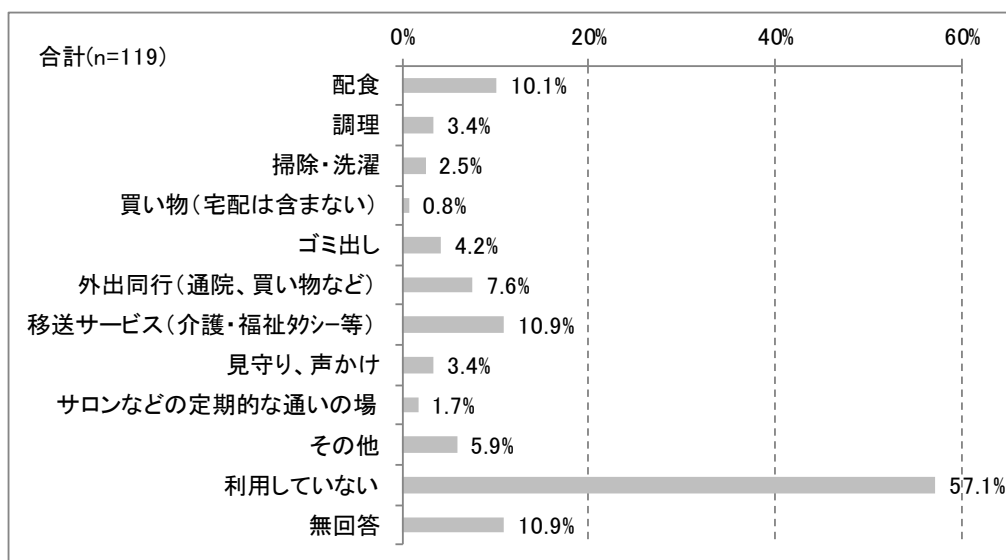
【着目すべきポイント】

- ここでは、「保険外の支援・サービスの利用状況」、「訪問診療の利用の有無」、「施設等検討の状況」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-19～図表 2-22）。
- 「利用している保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみることにより、働いている介護者が必要と感じているが、実際には利用されていない生活支援サービスを把握することができます。
- また、「訪問診療の利用の有無」と就労状況との関係を集計分析することで、訪問診療の利用が就労状況により異なるかどうかを把握することができます。
- 「施設等検討の状況」については、働いていない介護者に比べて、働いている介護者では、施設入所を必要と感じているかどうか分析することを目的としています。
- さらに、要介護2以上の中重度者については、就労継続見込みについて「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と考える人のうち、どの程度の人が施設を検討しているかに着目しています。これにより、在宅での仕事と介護の両立が困難となった場合の対応として、施設対応の必要性と、在宅サービスや働き方の調整による対応の必要性のそれぞれについて、把握することができます。

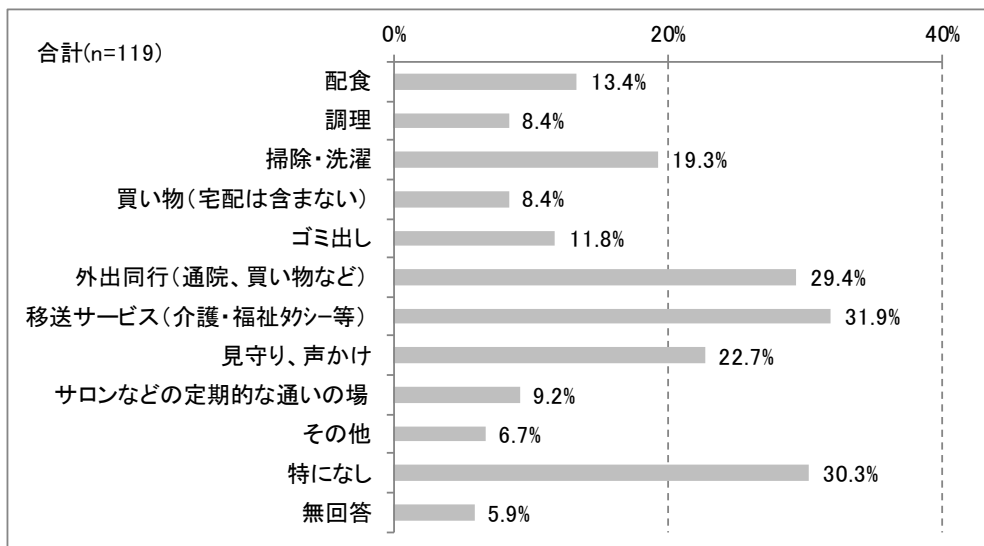
【留意事項】

- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。
- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

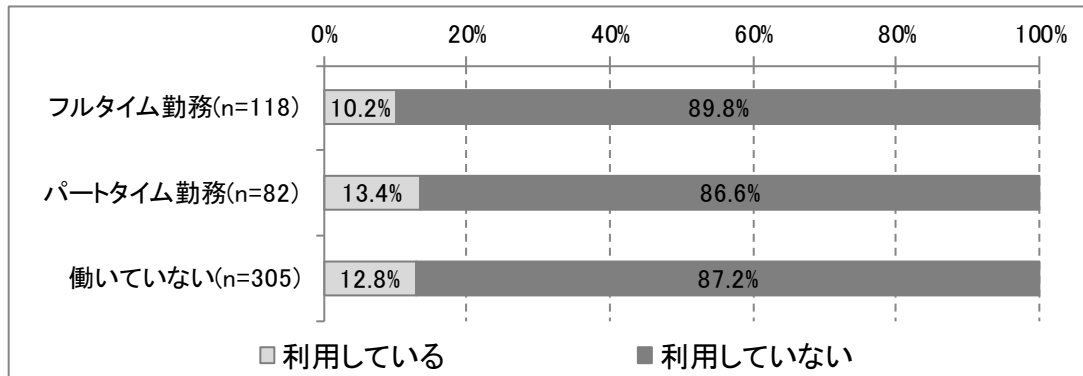
図表 2-19_1 ★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



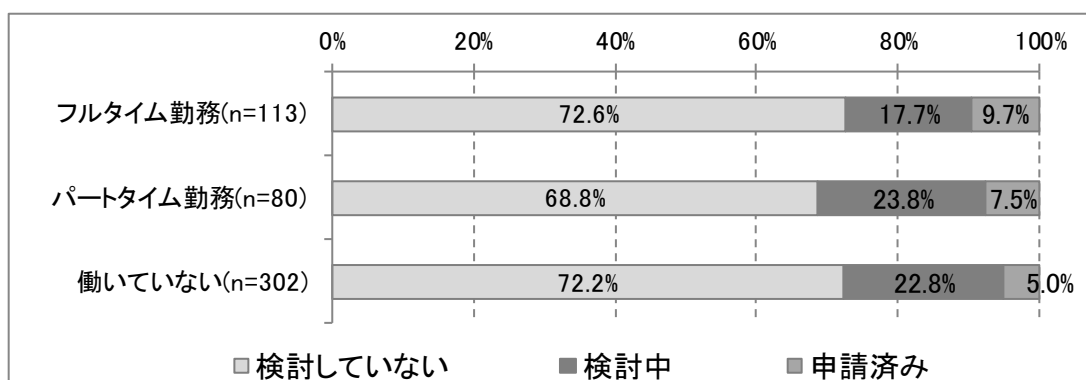
図表 2-19_2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



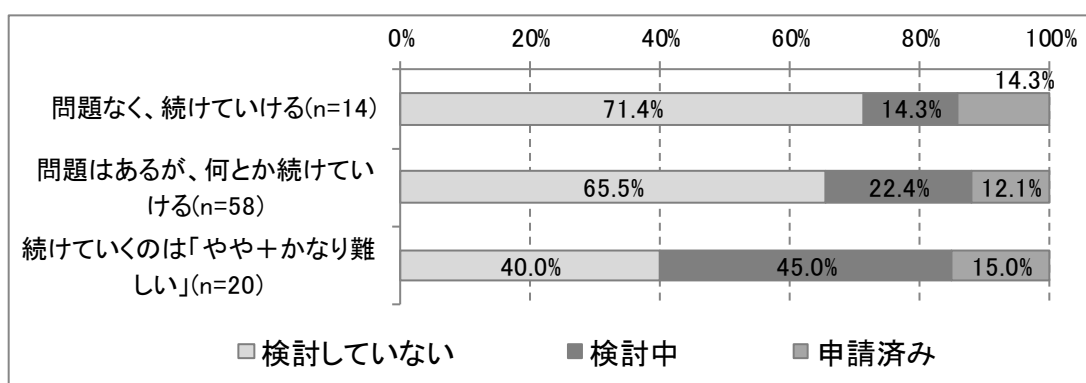
図表 2-20 就労状況別・★訪問診療の利用の有無



図表 2-21 就労状況別・施設等検討の状況



図表 2-22 就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

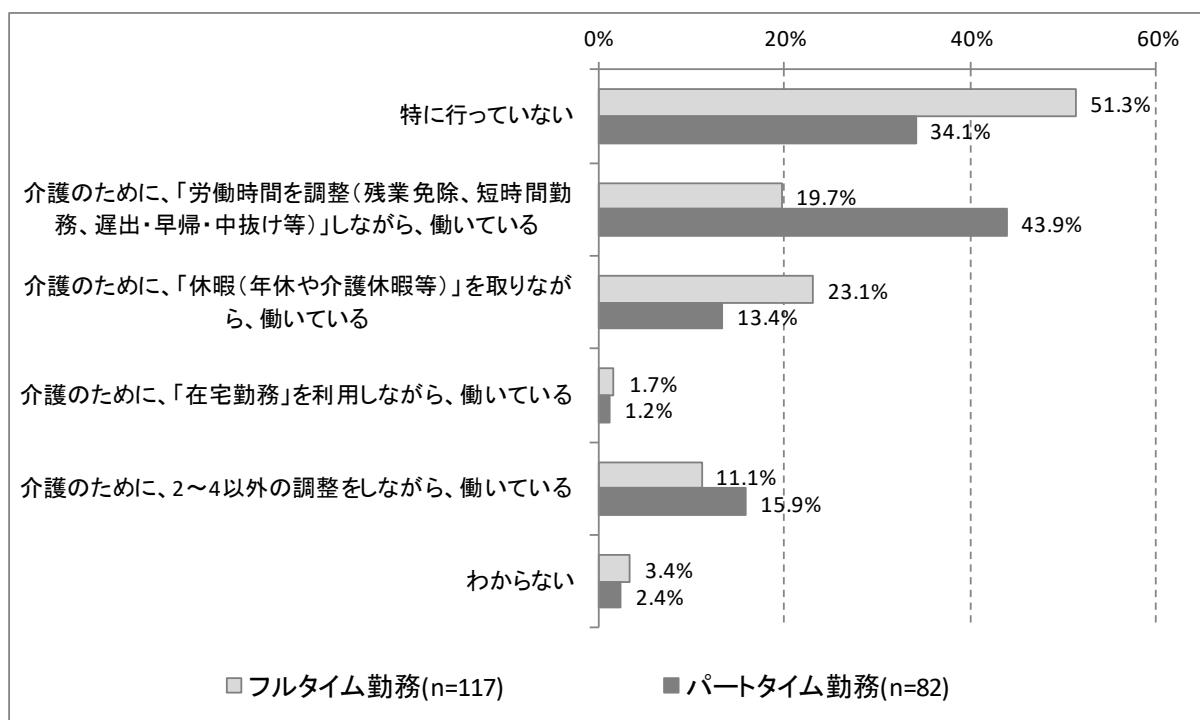
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護のための働き方の調整」と、「効果的な勤め先からの支援」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-23～図表 2-26）。
- 就労継続見込みによって、介護のために働き方を調整している割合や、効果的と考える勤め先の支援内容がどのように変化するかに着目して集計分析をしています。
- ただし、「問題なく、続けていける」とする人において、働き方の調整を「特に行っていない」割合、もしくは効果的な勤め先の支援として「特にない」が高いケースは、職場が恒常的な長時間労働や、休暇取得が困難といった状況ではなく、介護

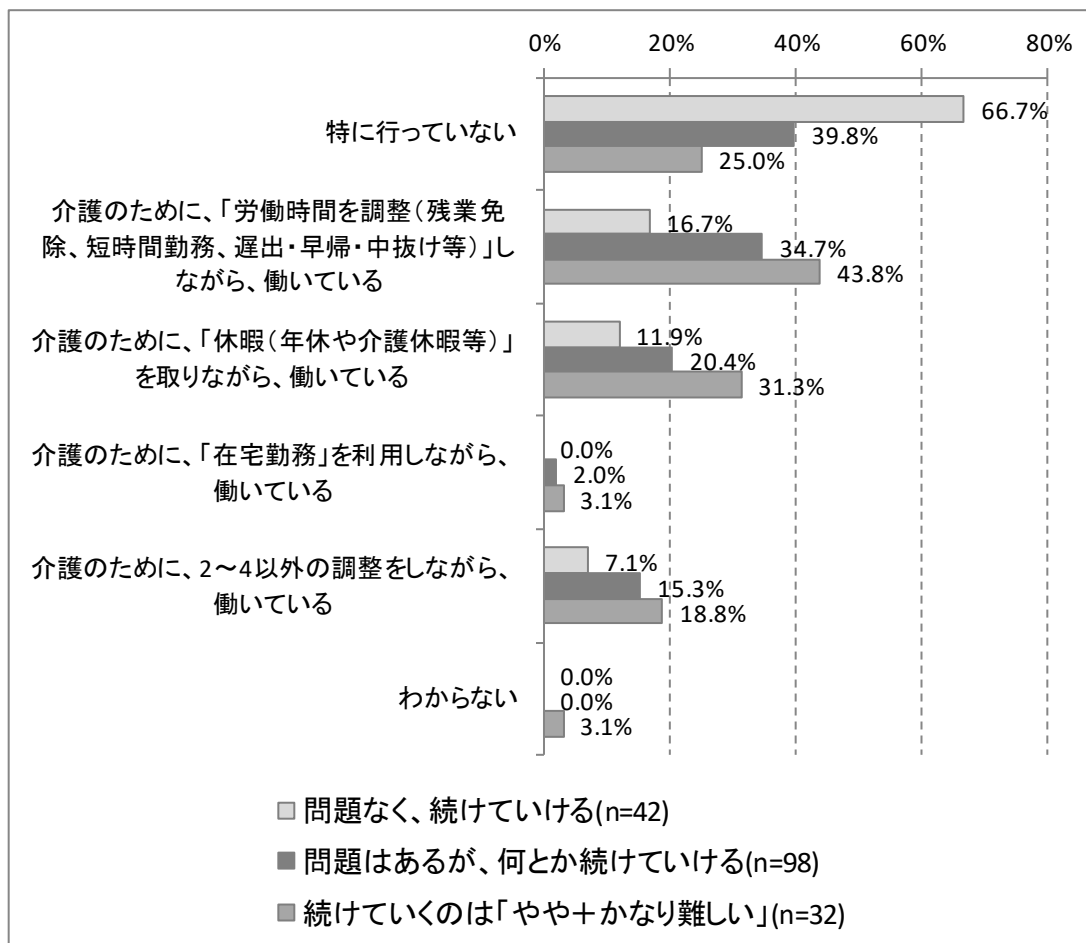
のために特段働き方の調整や勤め先からの支援を行わなくても、両立可能な職場であることが考えられます。

- このように、職場の状況や業務の内容によっても、必要な調整や支援の内容が異なることに留意する必要があります。

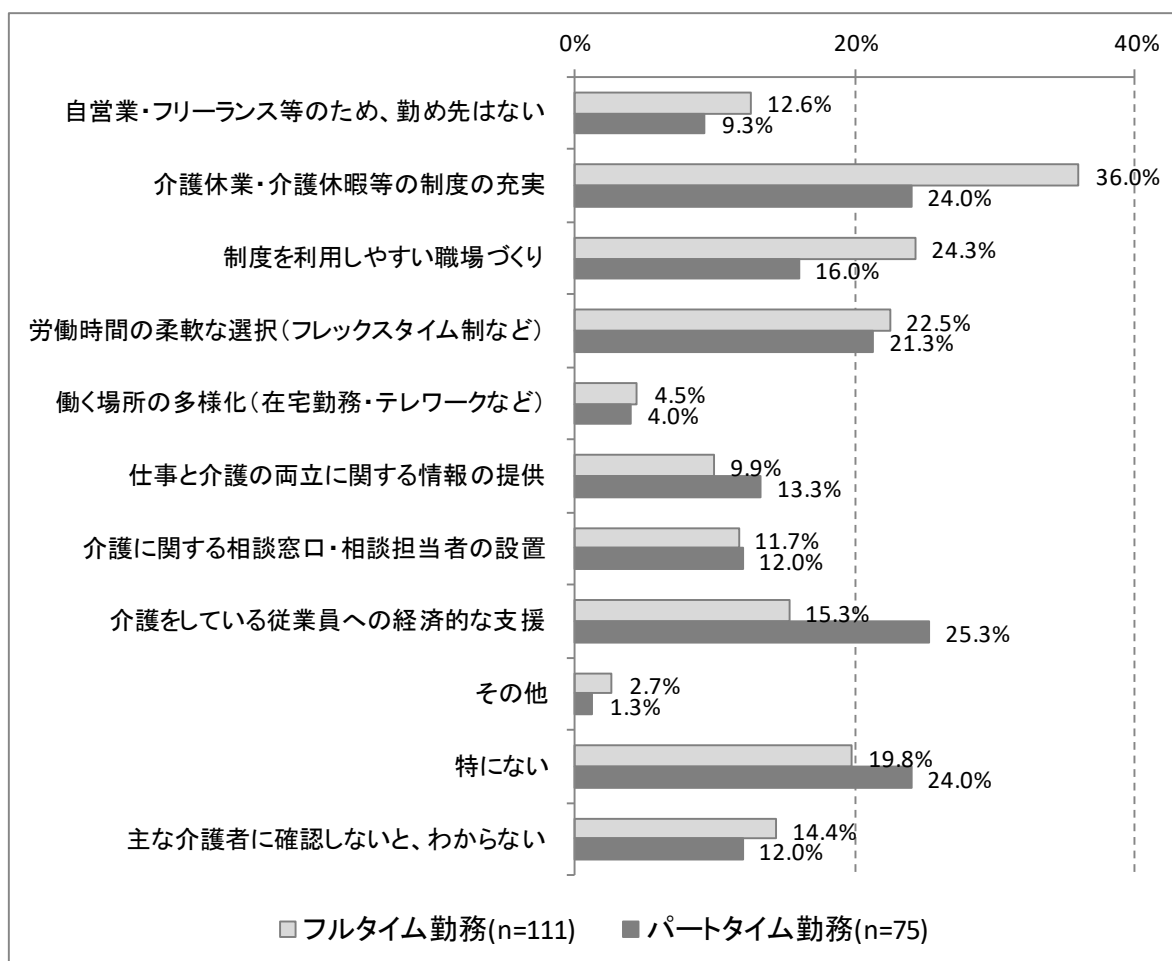
図表 2-23 就労状況別・介護のための働き方の調整



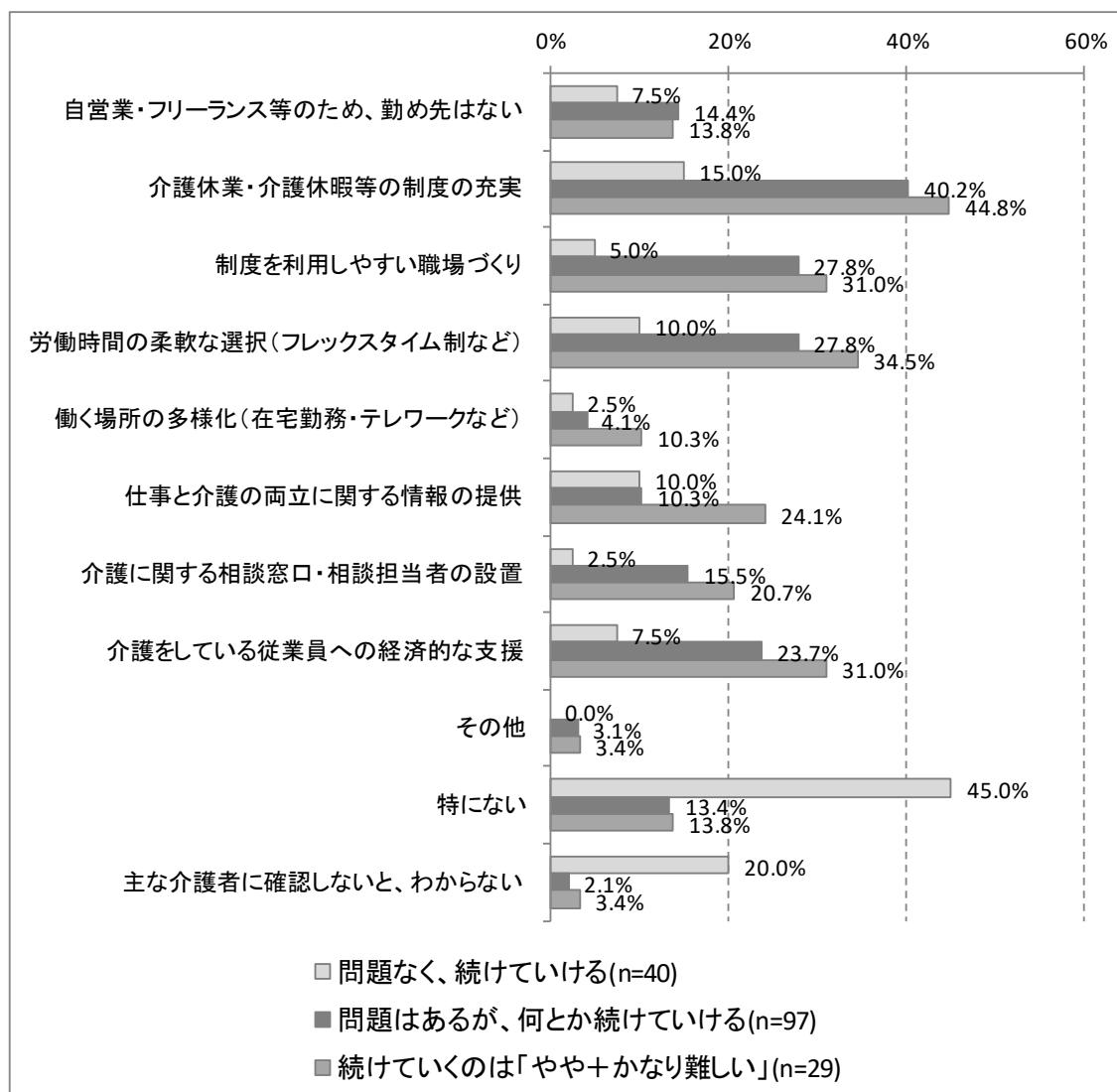
図表 2-24 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



図表 2-25 就労状況別・★効果的な勤め先からの支援



図表 2-26 就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

3.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。
- 具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。
- なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

3.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

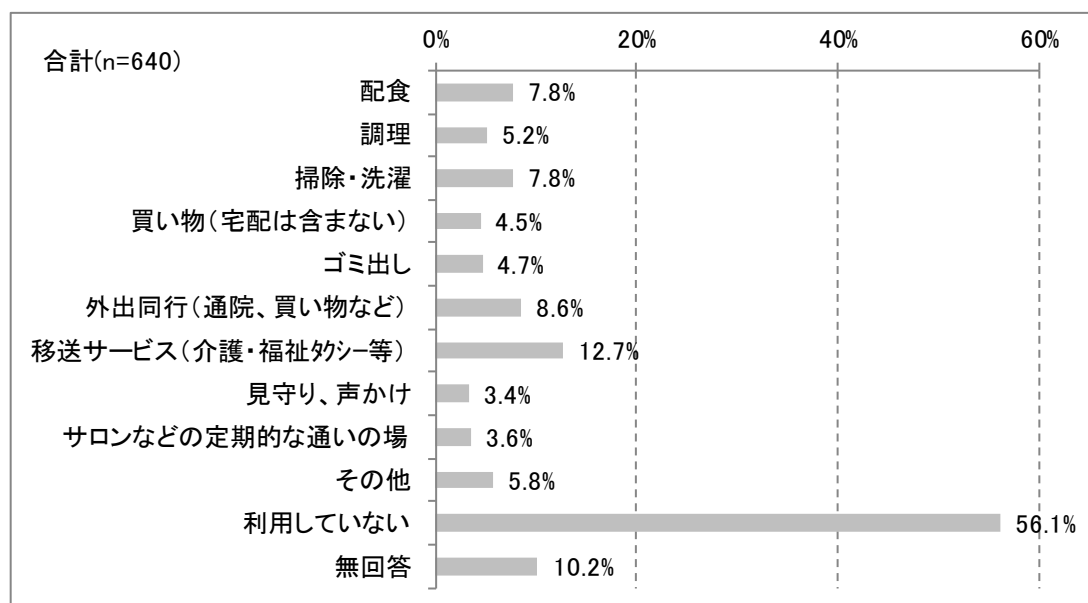
【着目すべきポイント】

- 「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-1、図表 3-2）。
- 例えば、「保険外の支援・サービスの利用状況」については、現状の把握のみでなく、保険外の支援・サービスの利用促進の取組に係るアウトプットとして、その「利用割合」を設定することで、経年的にその成果をモニタリングしていくことも可能になると考えられます。
- さらに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」からは、在宅限界点の向上という地域目標の達成に向けて、その地域において特に重要となる支援・サービスの種類を把握することができます。

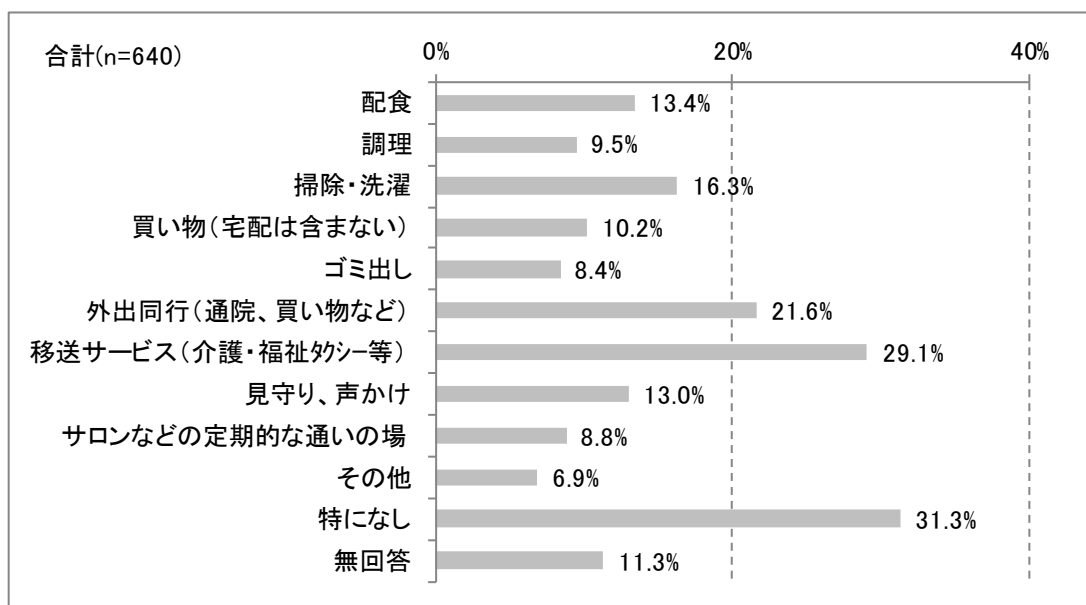
【留意事項】

- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

図表 3-1 ★保険外の支援・サービスの利用状況



図表 3-2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

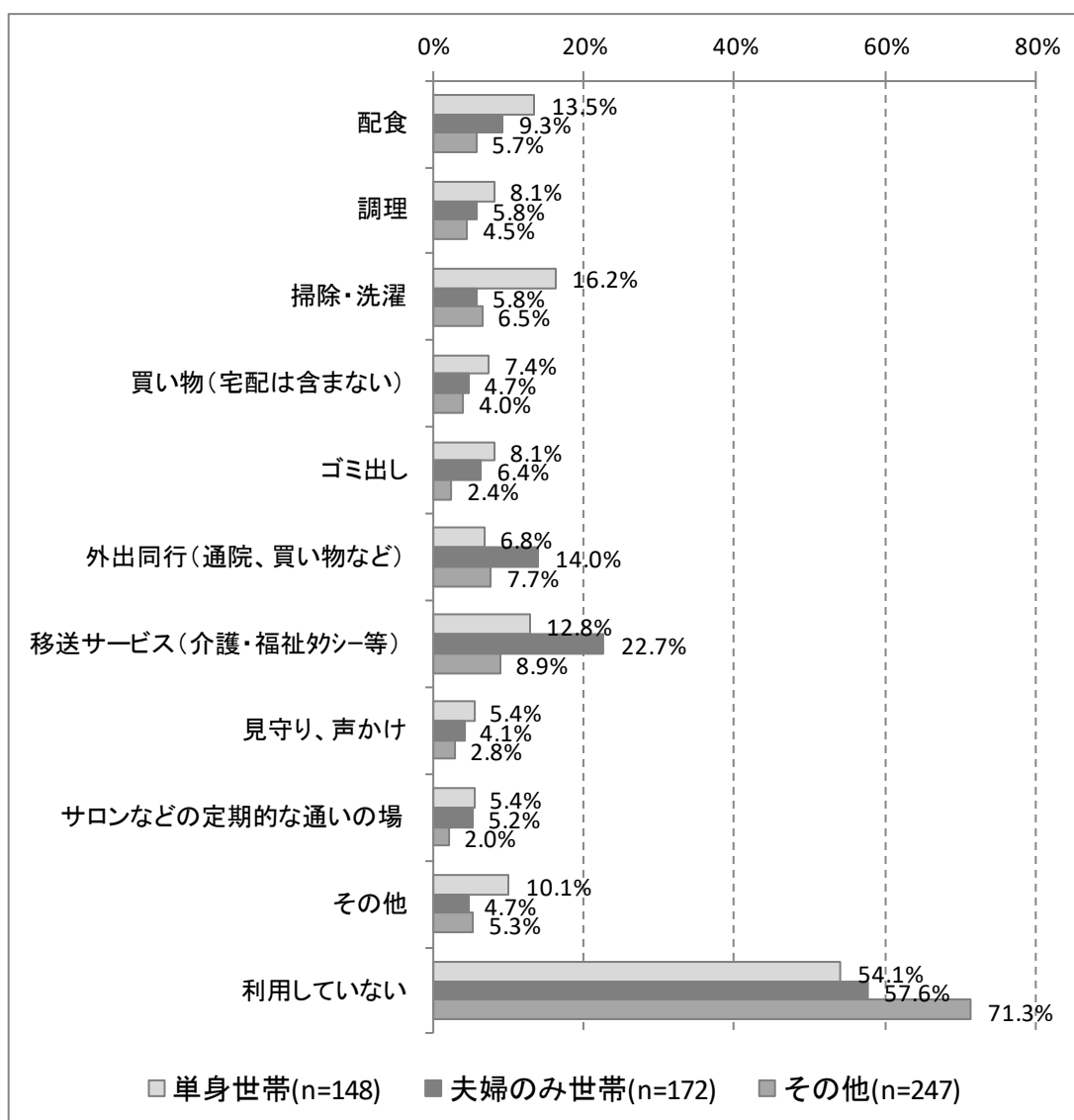
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別に「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています(図表 3-3、図表 3-4)。
- 「保険外の支援・サービスの利用割合」については、世帯類型別の割合をアウトプット指標としてモニタリングしていくも考えられます。
- また、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、世帯類型別に異なる傾向がみられた場合は、世帯類型に応じたアプローチを検討していくことが重要になると考えられます。

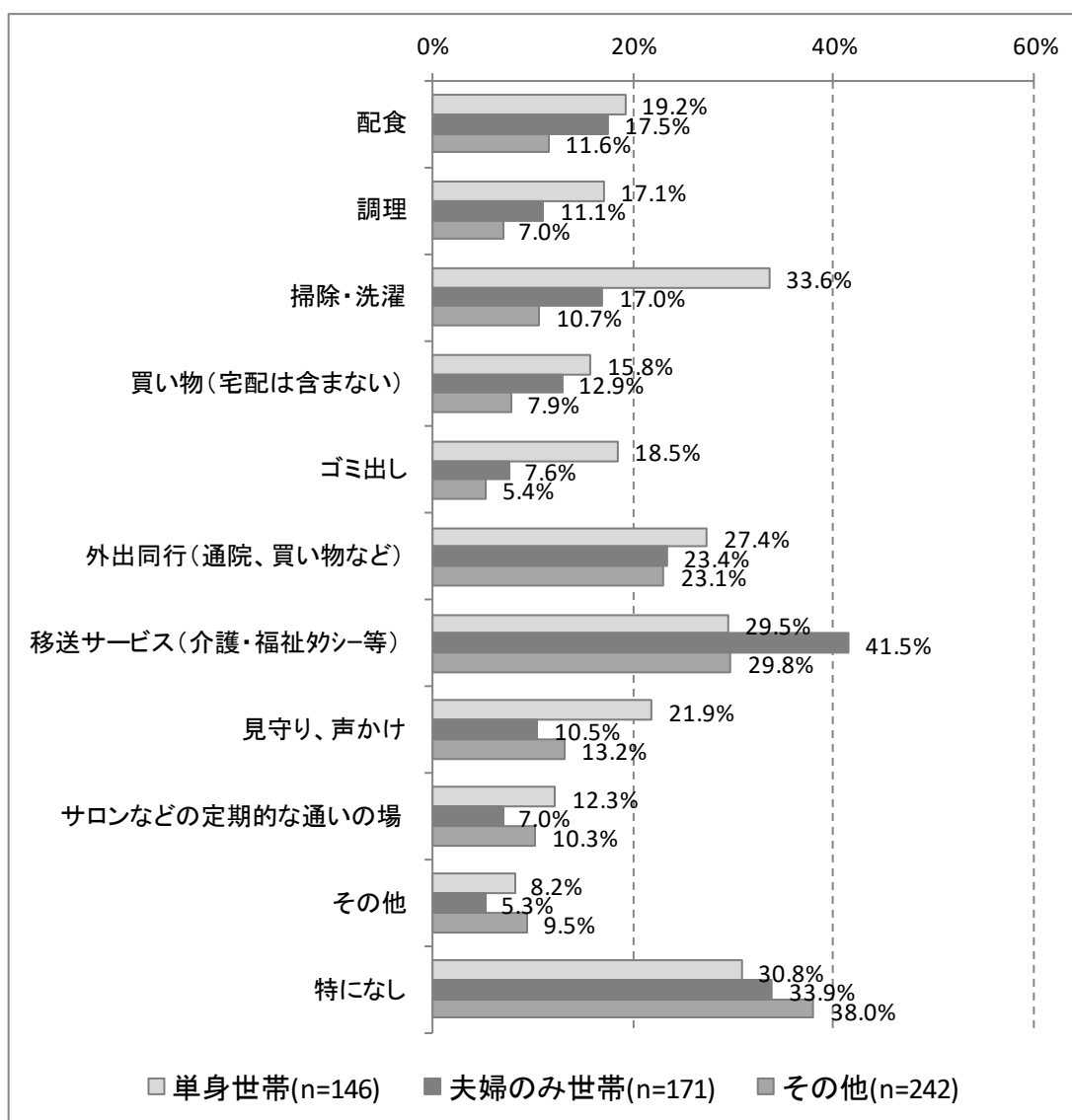
【留意事項】

- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。
- 「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、特に「複数の支援・サービスを比較して、より優先順位の高い支援・サービスを明らかにする」といった視点でみることが重要です。

図表 3-3 世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



図表 3-4 世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

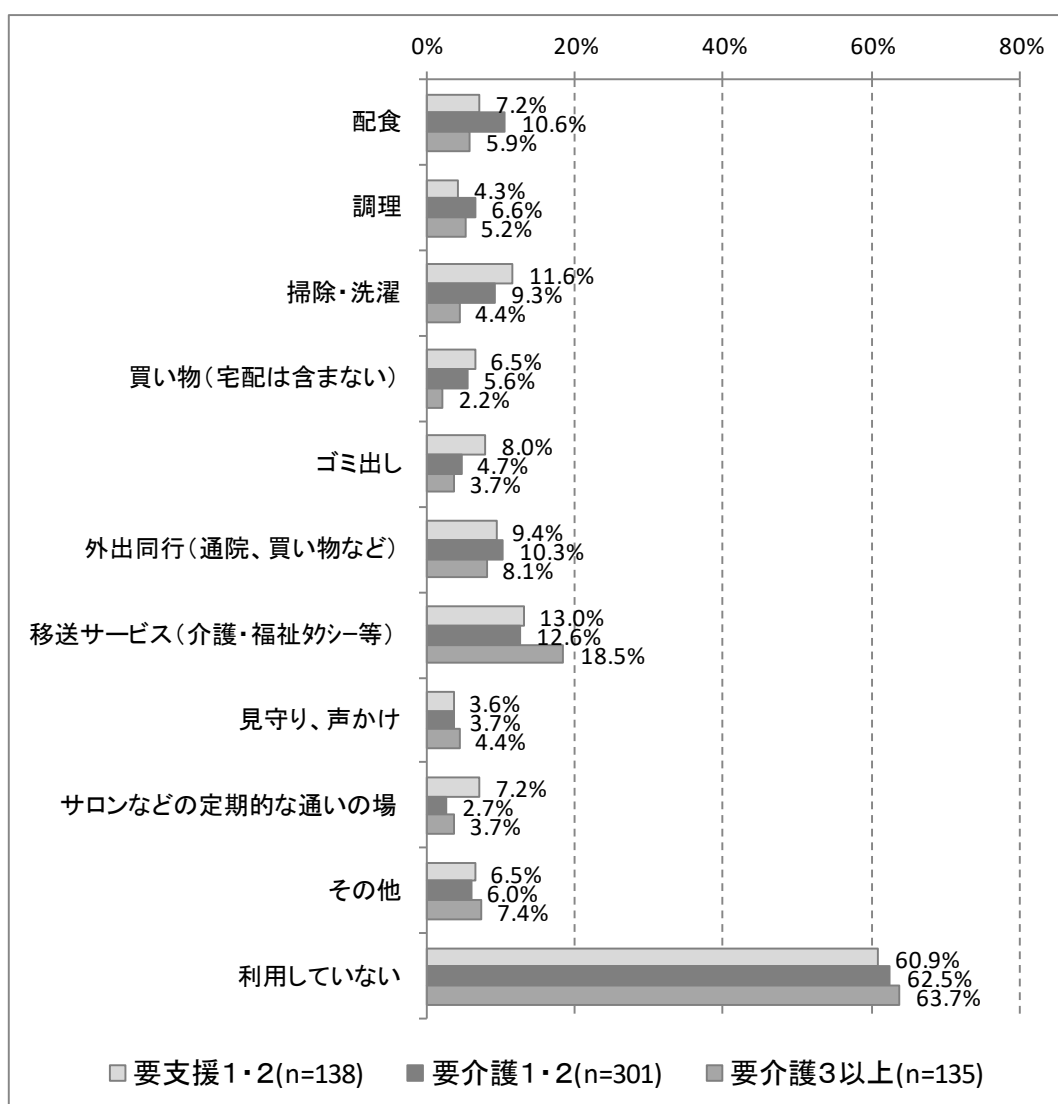


(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

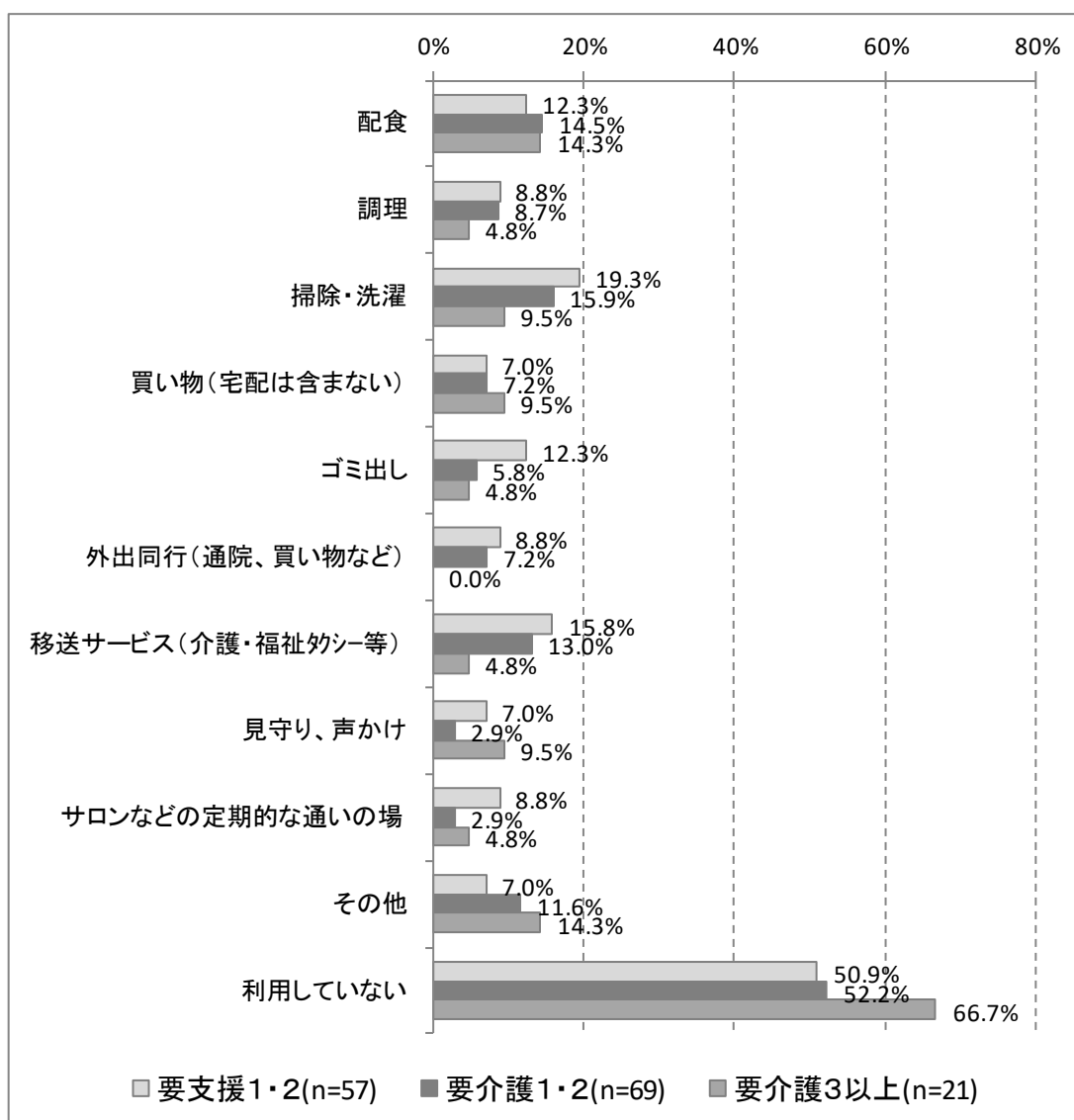
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「保険外の支援・サービスの利用状況」について、集計分析をしています（図表 3-5～図表 3-8）。
- 利用割合の低い世帯類型であっても、要介護度の重度化に伴い利用割合が増加している支援・サービスがあることも考えられます。
- 介護保険サービスと同様、重度化に伴い、どのような支援・サービスの利用割合が増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような支援・サービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

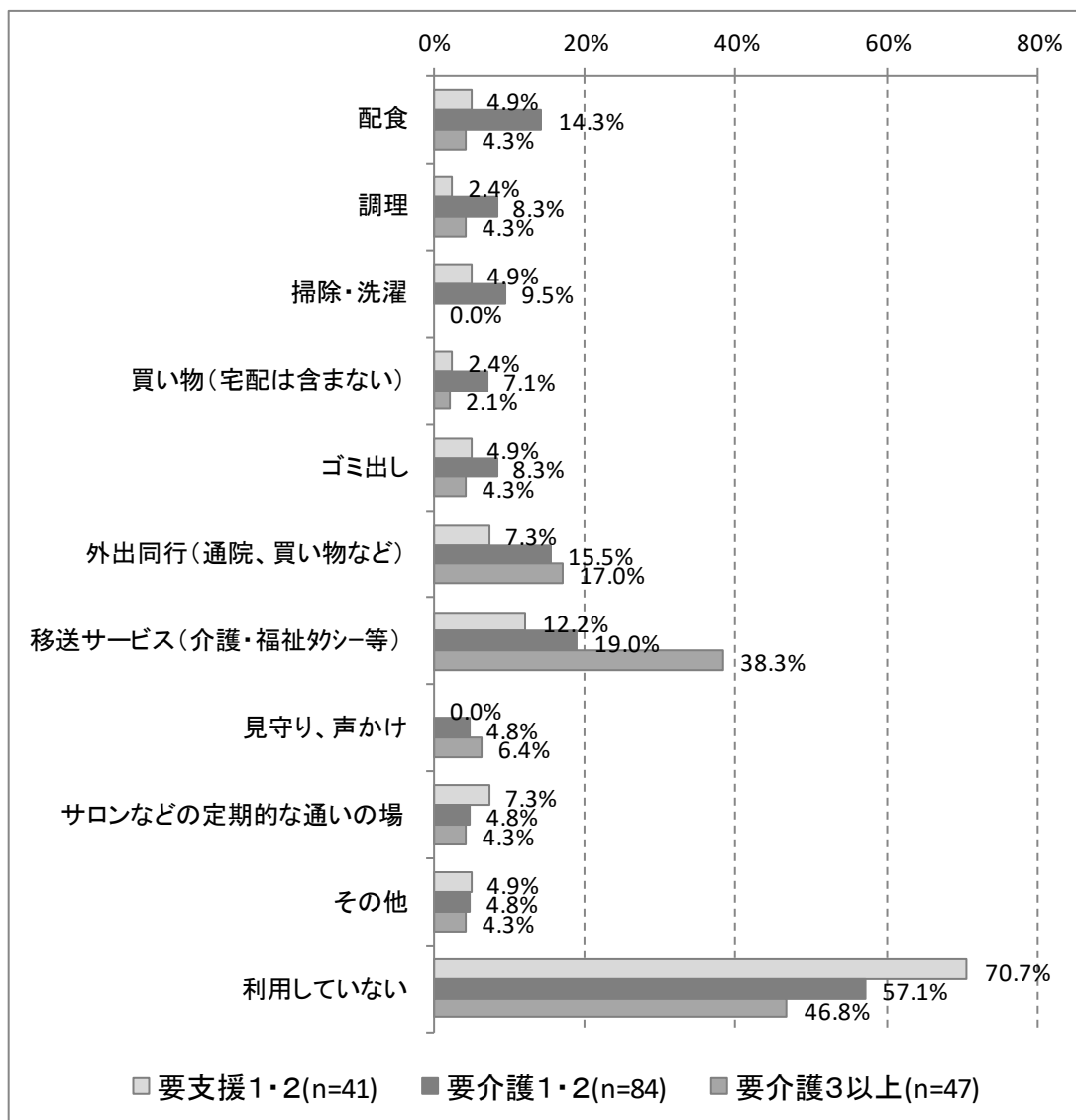
図表 3-5 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



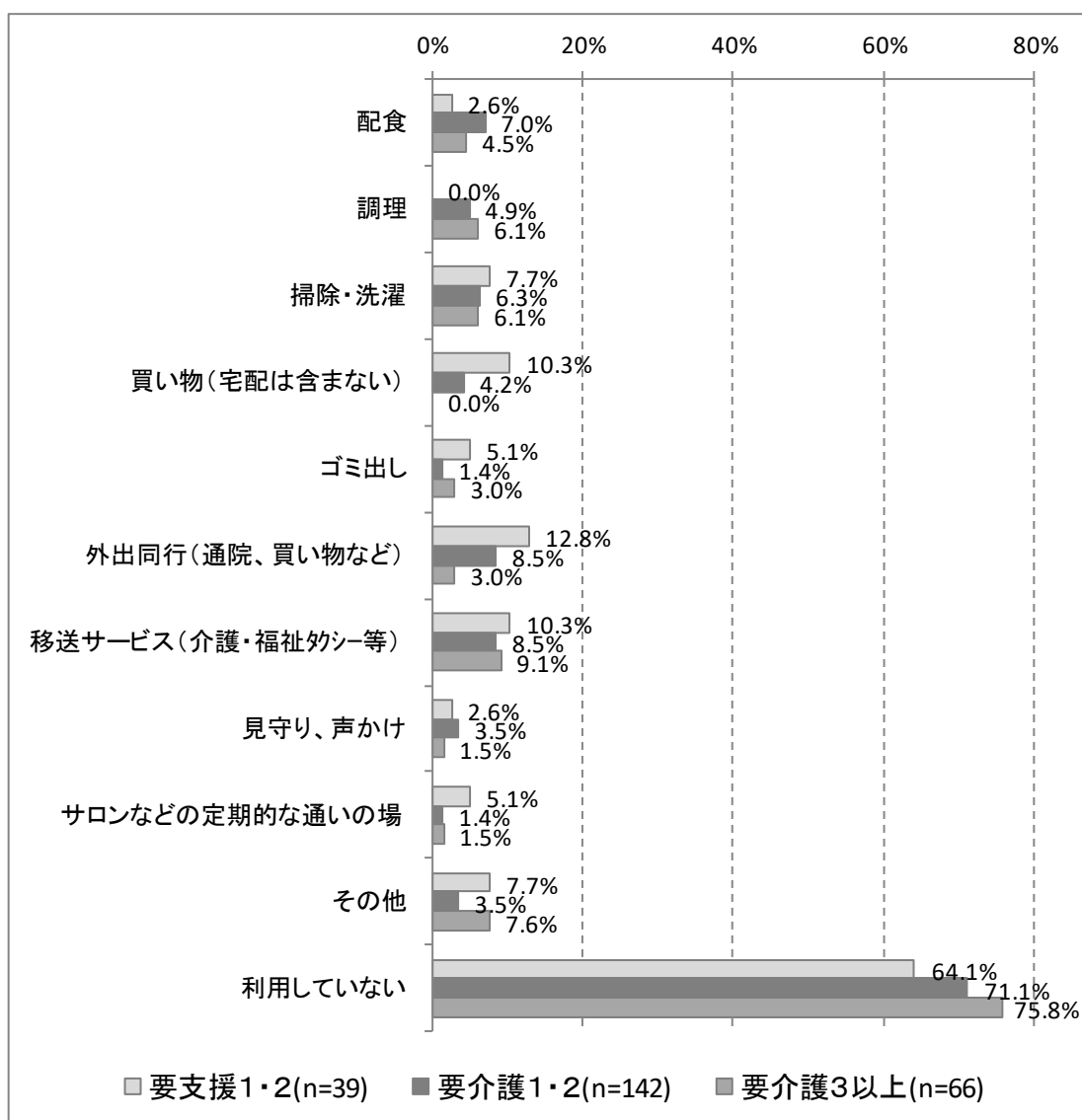
図表 3-6 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



図表 3-7 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



図表 3-8 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）

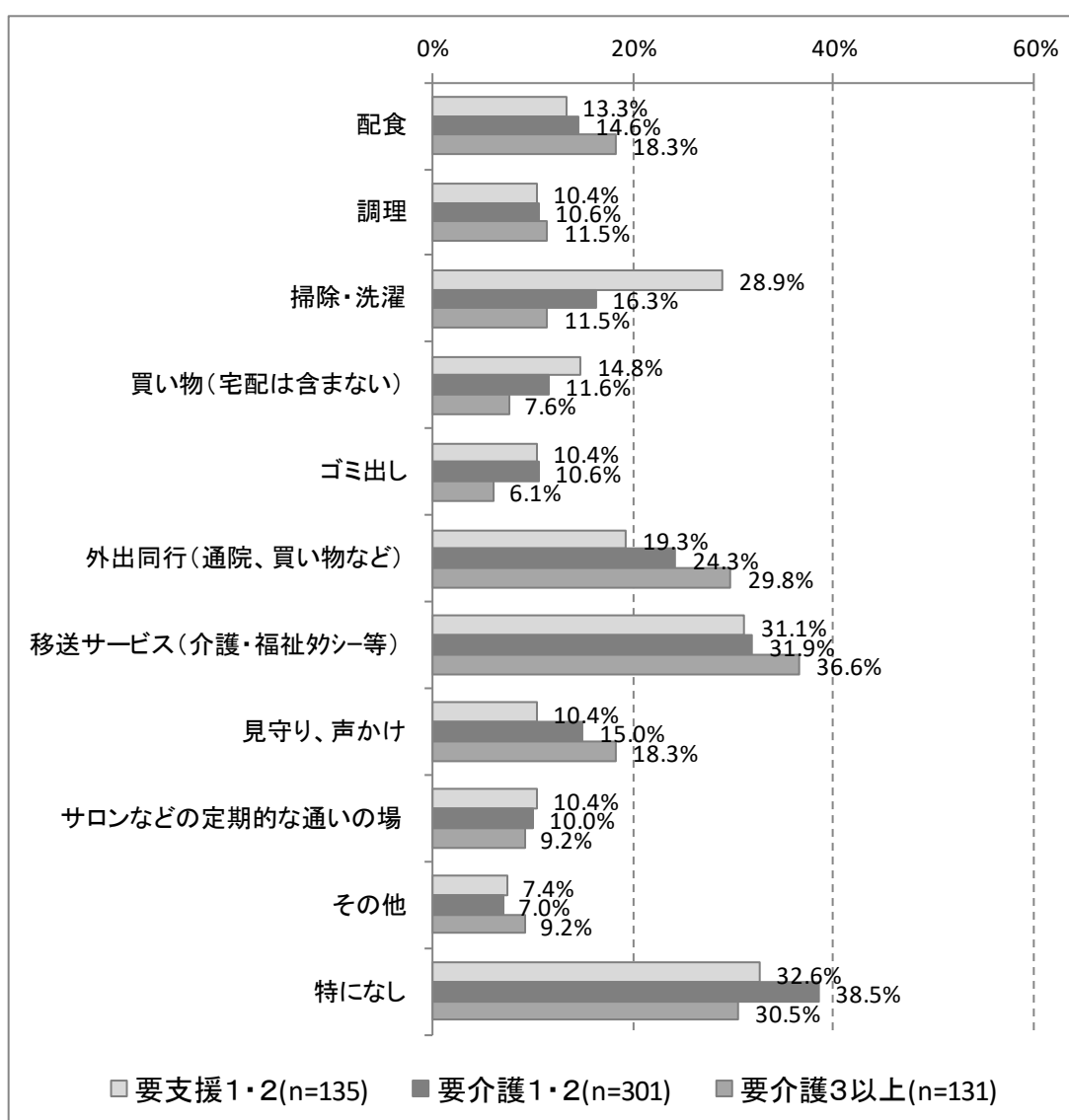


(4) 「世帯類型」 × 「要介護度」 × 「必要と感じる支援・サービス」

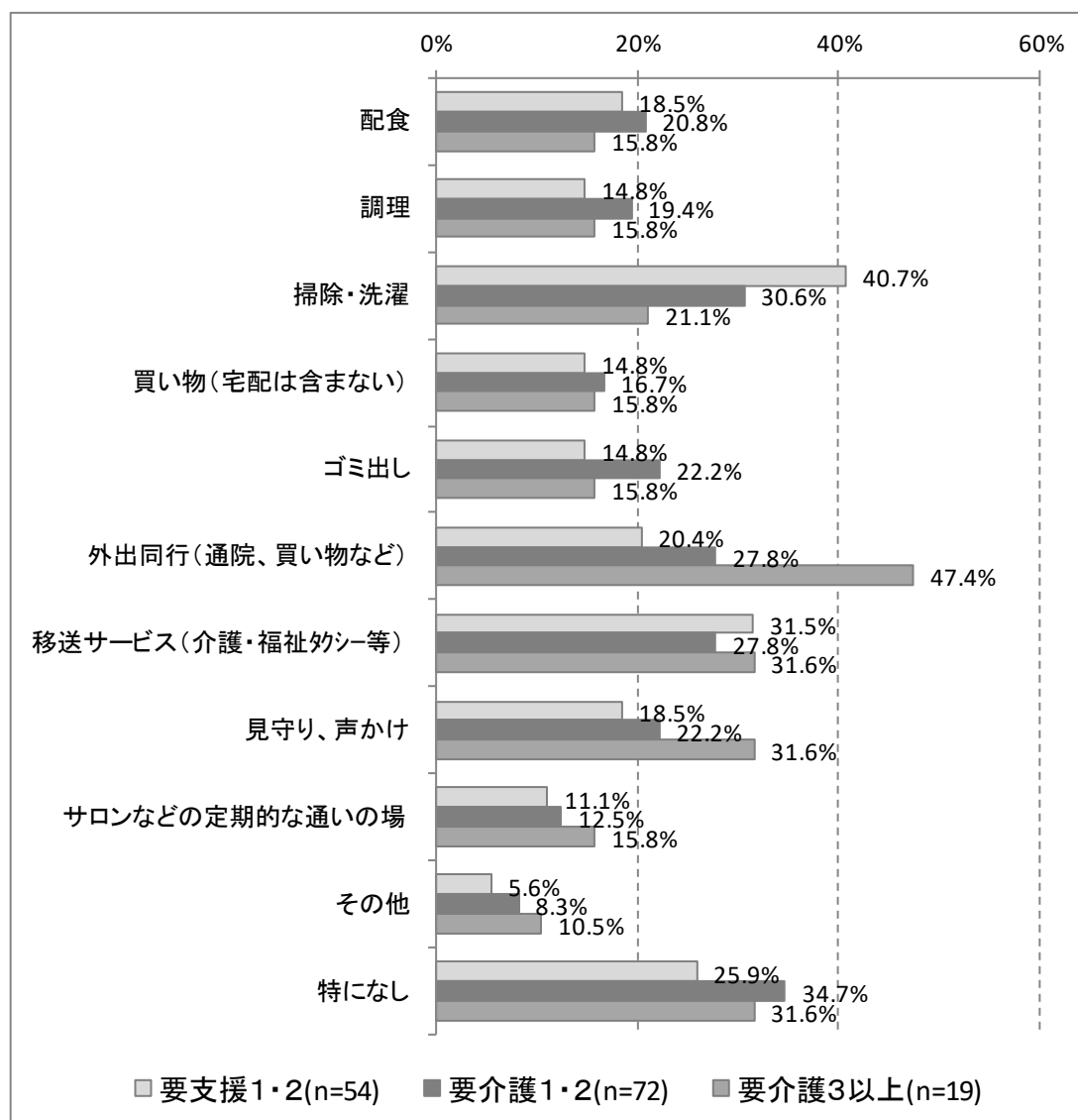
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-9～図表 3-12）。
- 特に、各世帯類型の要介護度別のニーズに着目しながら、各地域の実情に応じた取組を推進していくことが必要です。

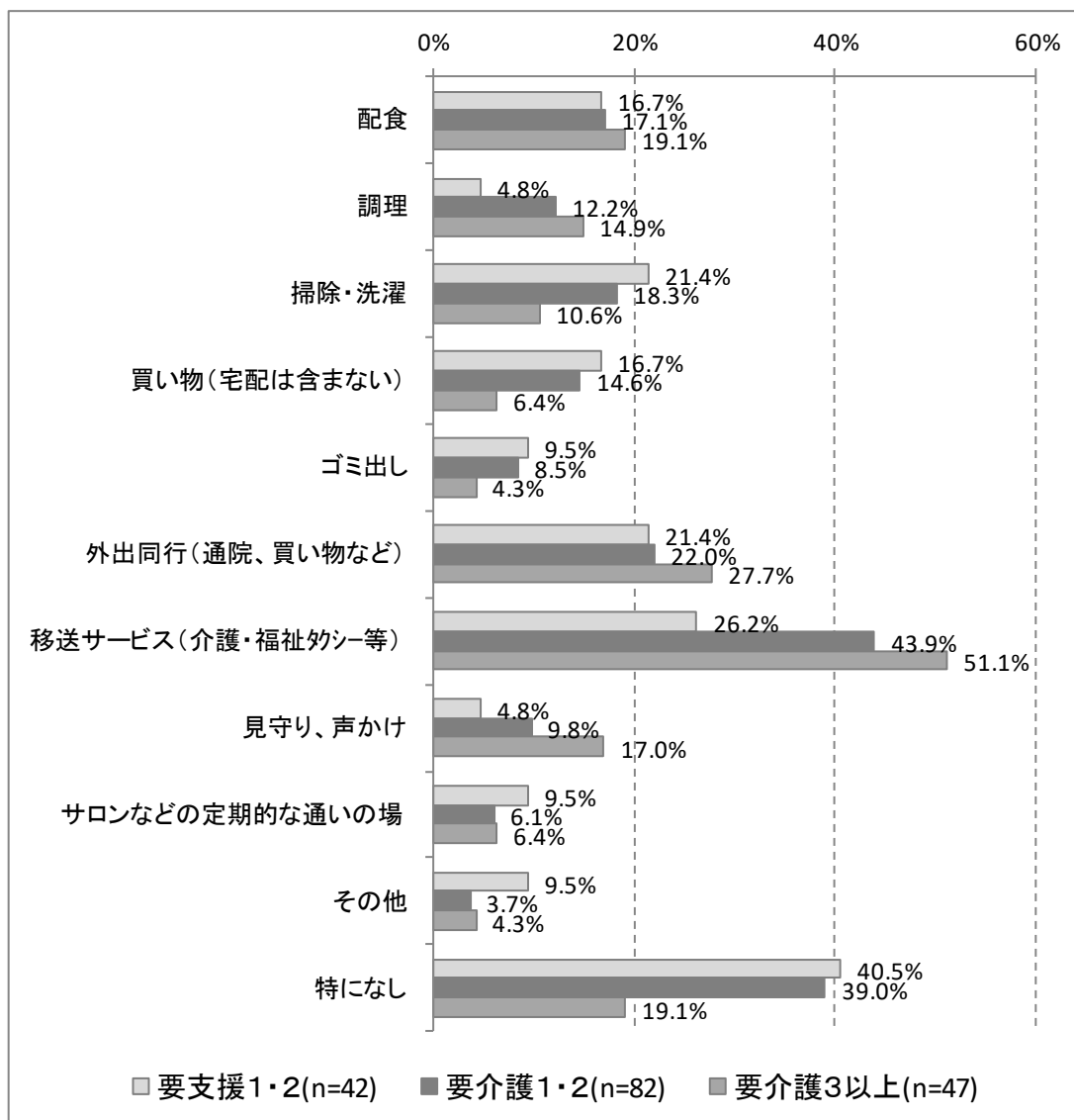
図表 3-9 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



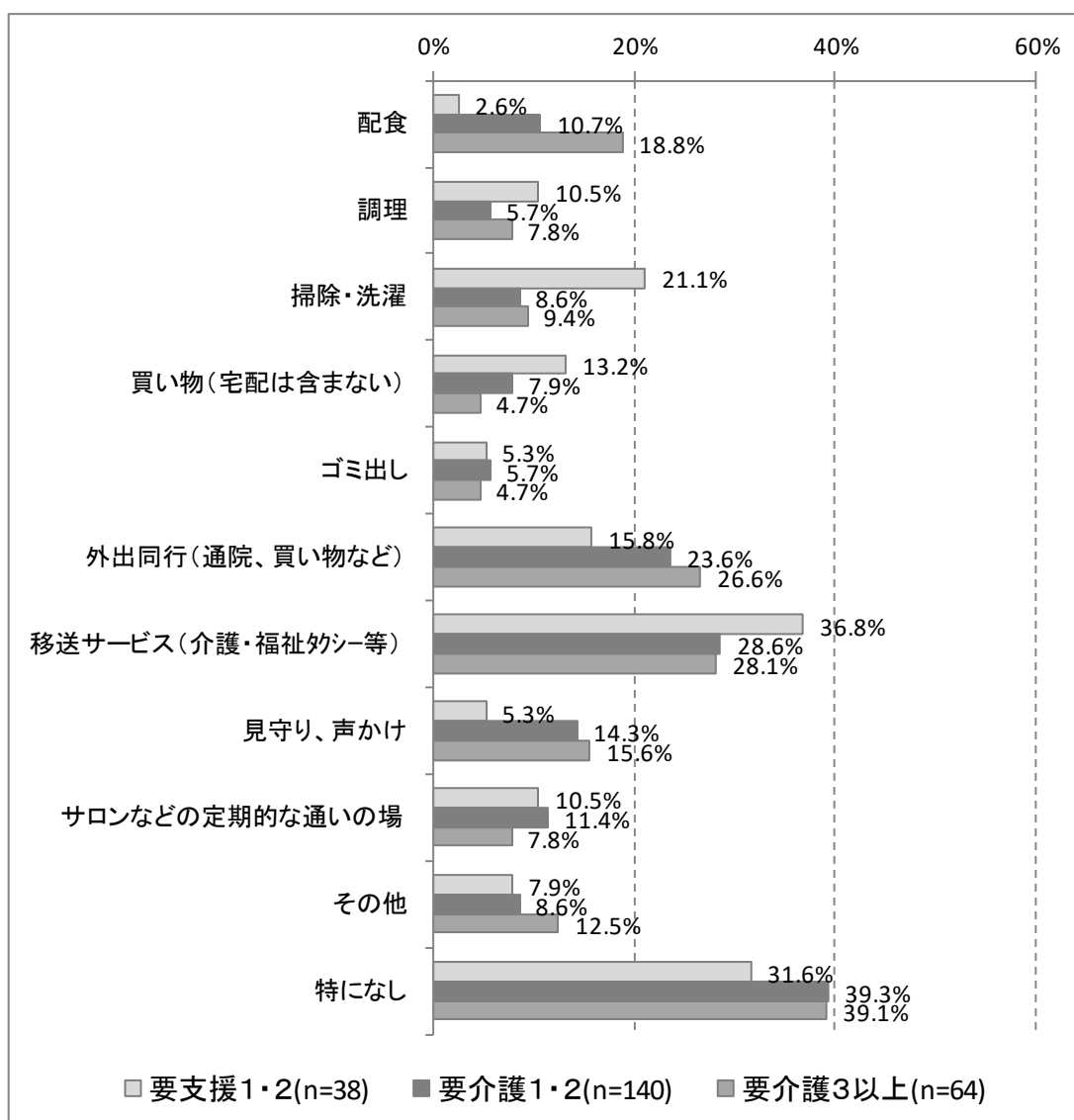
図表 3-10 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



図表 3-11 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



図表 3-12 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

4.1 集計・分析の狙い

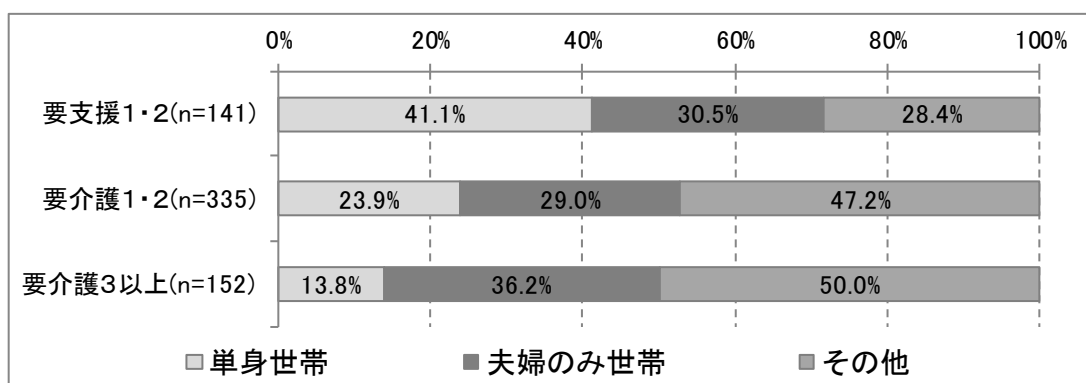
- ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。
- 具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。
- 将来の高齢世帯の世帯類型の構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

4.2 集計結果と着目すべきポイント

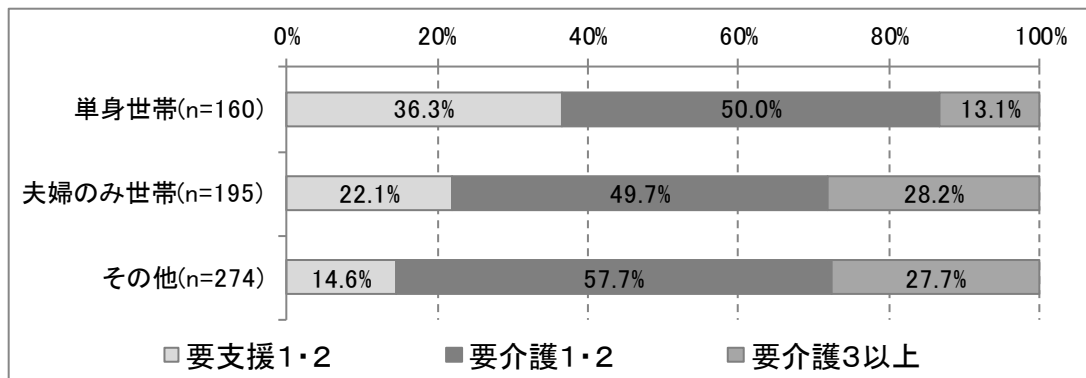
(1) 基礎集計

- 「要介護度別の世帯類型の割合」および「世帯類型別の要介護度の割合」を集計しています（図表 4-1、図表 4-2）。
- 要介護度の重度化に伴う、世帯類型の変化などを確認してください。

図表 4-1 要介護度別・世帯類型



図表 4-2 世帯類型別・要介護度

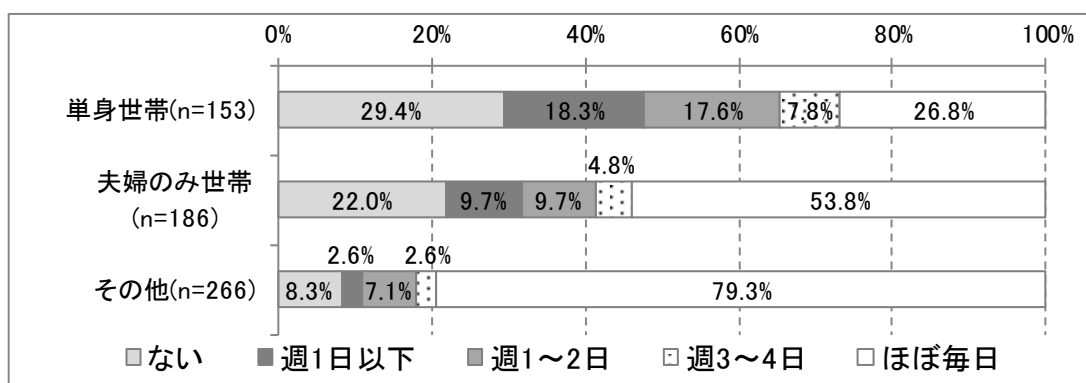


(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

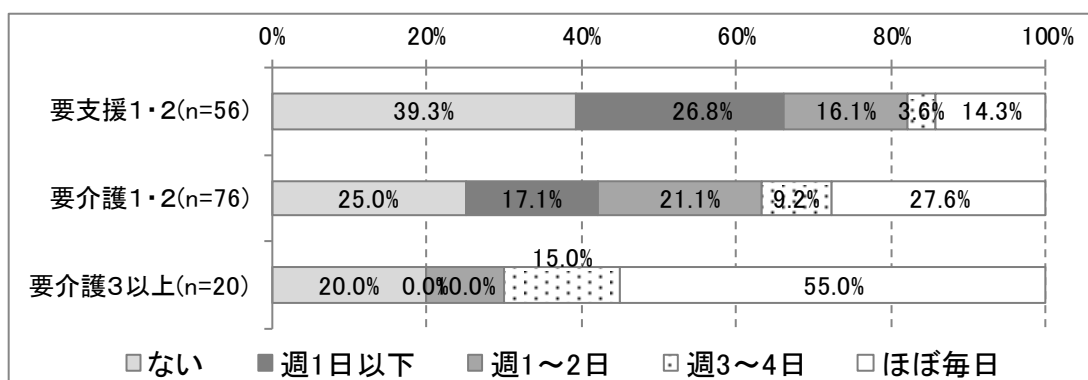
【着目すべきポイント】

- 図表 4-3 では、「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」の割合を集計しています。また、図表 4-4～図表 4-6 では、世帯類型別に「要介護度別」の「家族等による介護の頻度」を集計しています。
- 「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられます。中重度の単身世帯のうち、家族等の介護がない中で在宅生活を送っているケースがどの程度あるかなど、現状についてご確認ください。

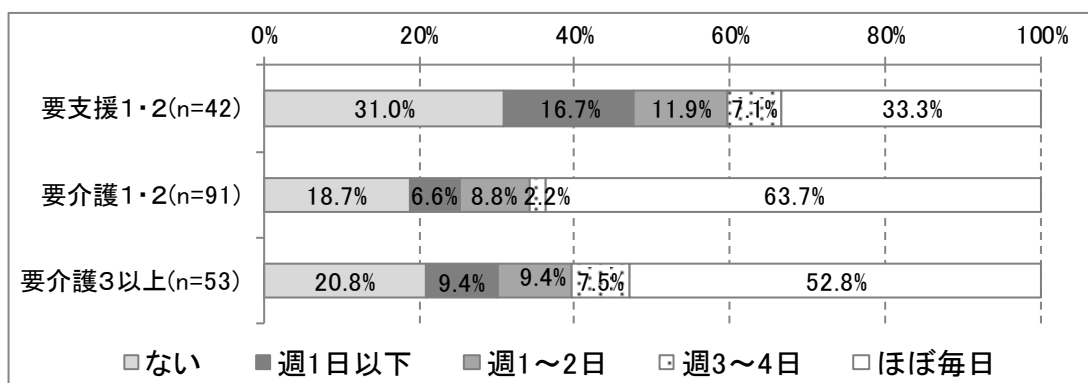
図表 4-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度



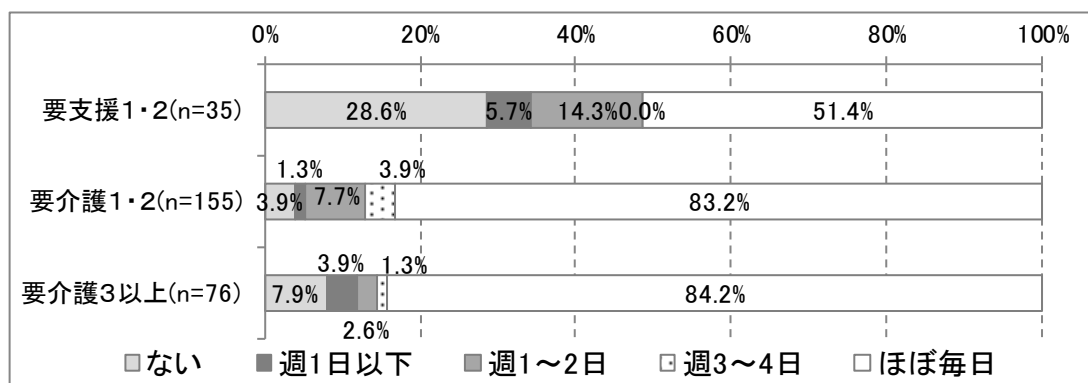
図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



図表 4-5 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



図表 4-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）



(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

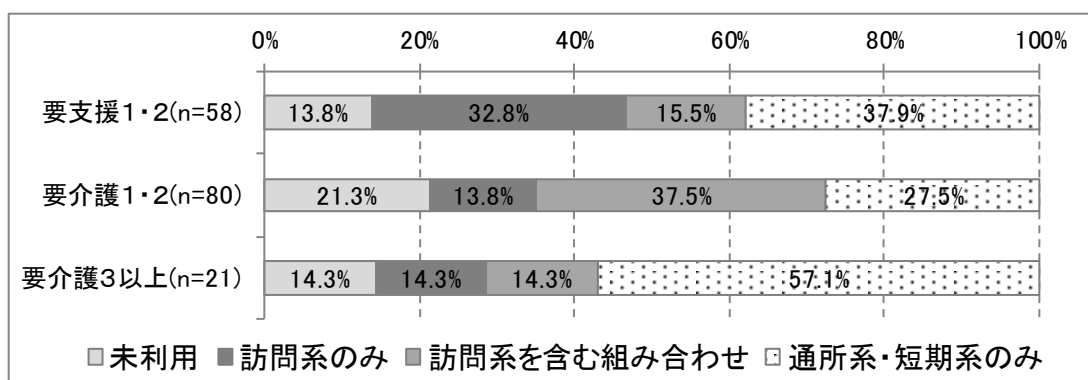
【着目すべきポイント】

- 要介護度別・認知症自立度別の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 4-7～図表 4-12）。
- サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に簡略化したものを使用しています。
- 重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを、世帯類型別に把握することができます。
- また、世帯類型別の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。
- 例えば、特に今後「要介護度が中重度の単身世帯」が増加すると見込まれる場合は、単身世帯の要介護者が要介護度の重度化に伴いどのようなサービス利用の組み合わせを増加させているかに着目し、推測することなどが考えられます。

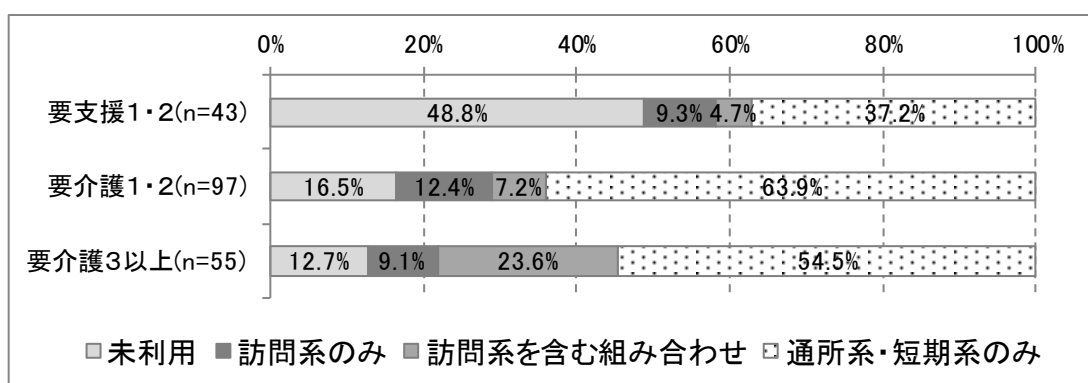
【留意事項】

- ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

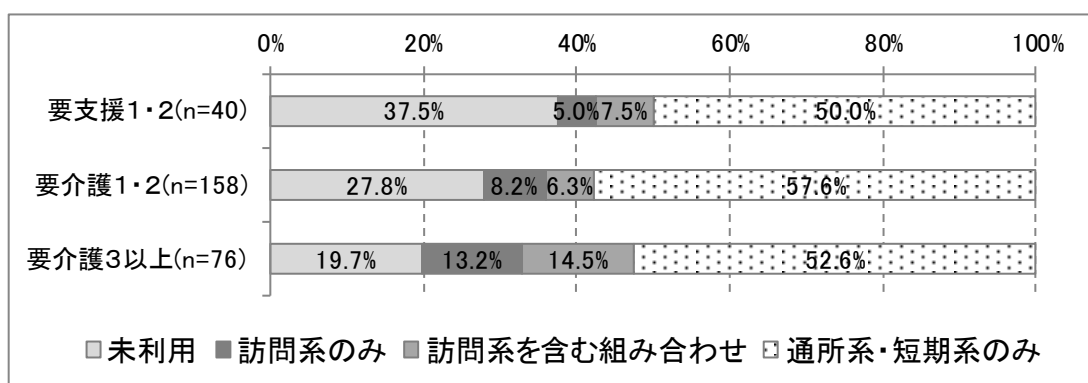
図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



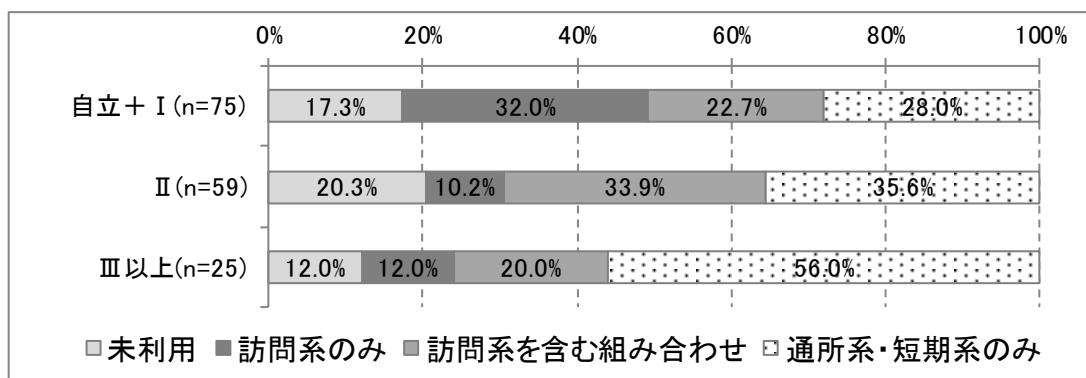
図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



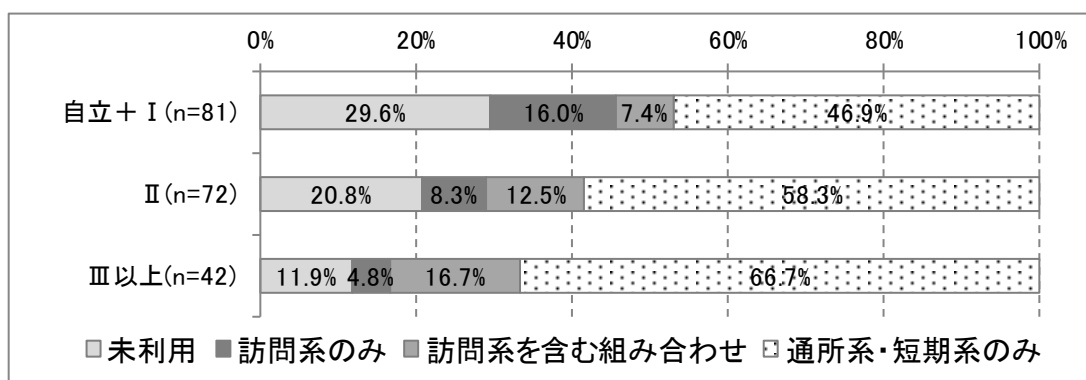
図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



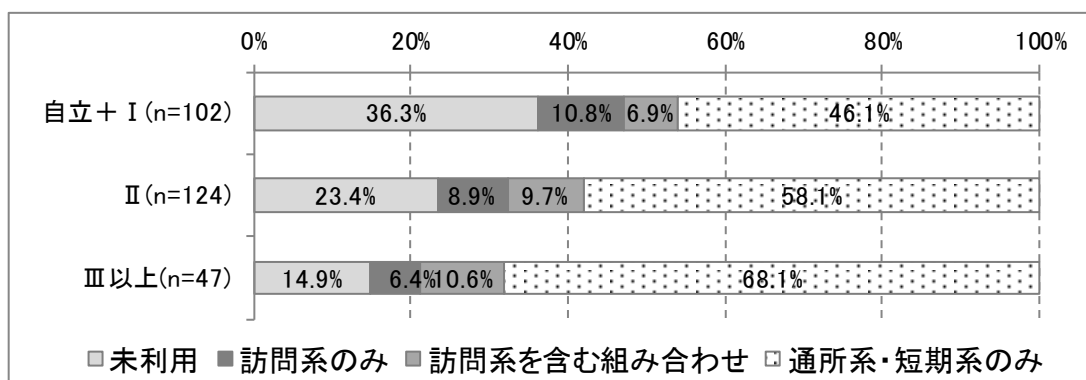
図表 4-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



図表 4-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



図表 4-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

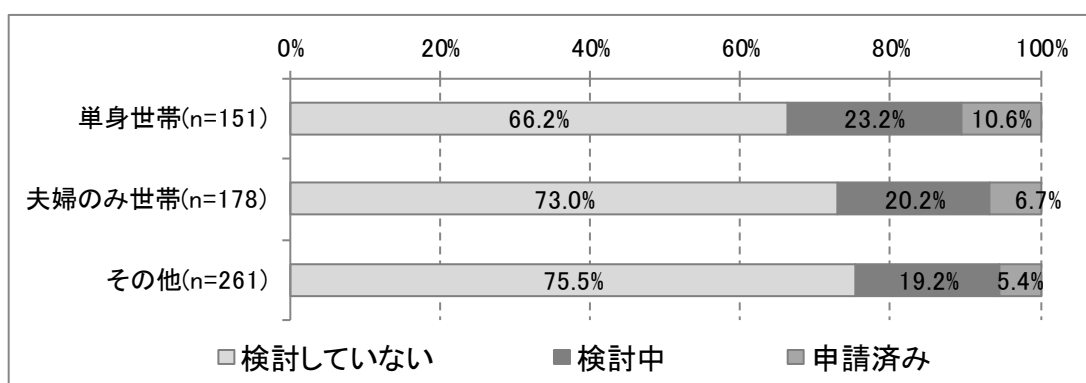


(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

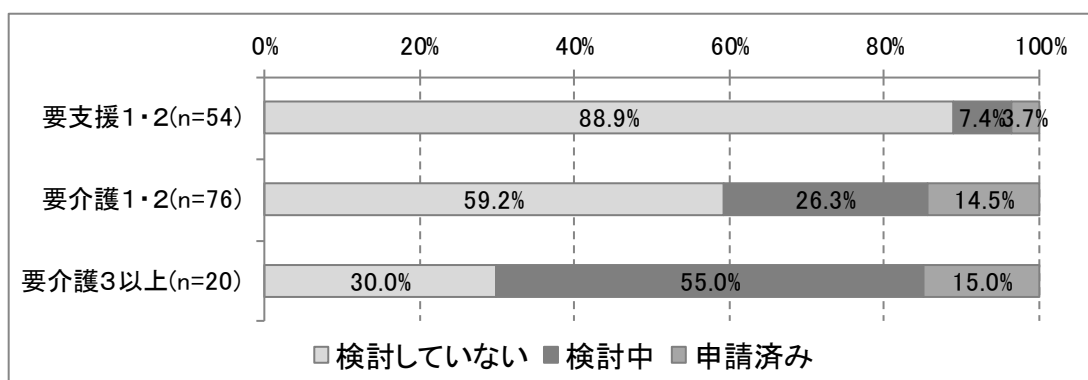
【着目すべきポイント】

- ここでは、「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」について、集計分析をしています（図表 4-13～図表 4-19）。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「世帯類型」ごとの特徴を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

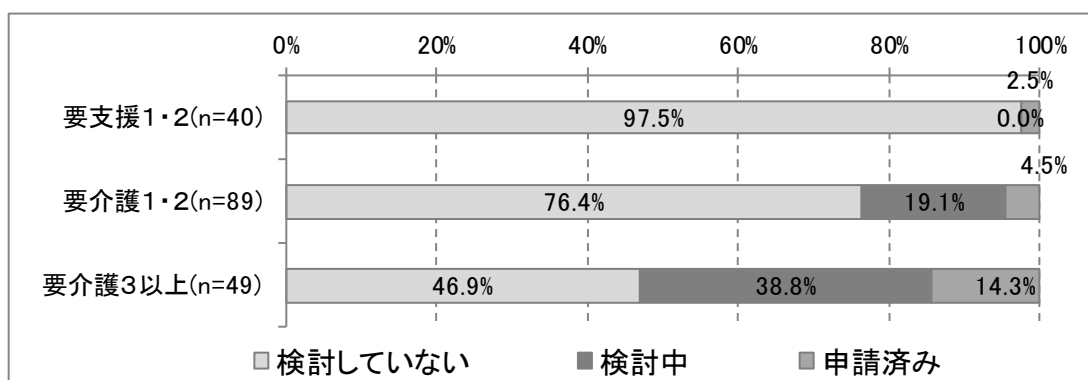
図表 4-13 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



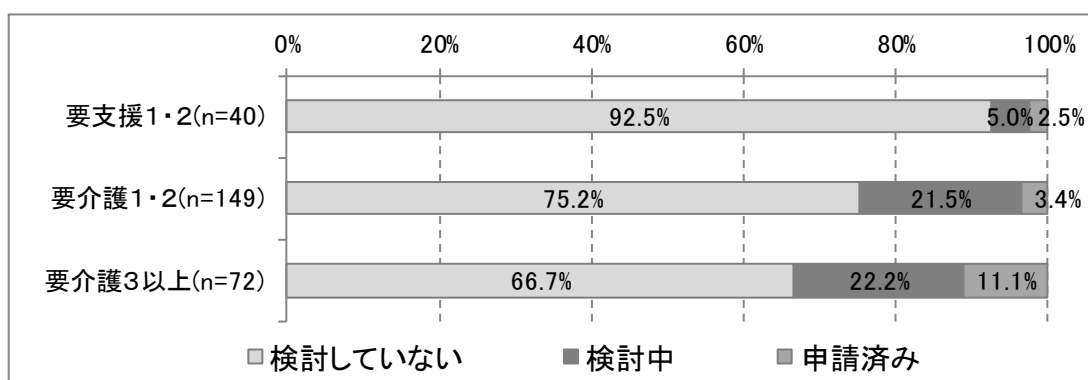
図表 4-14 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



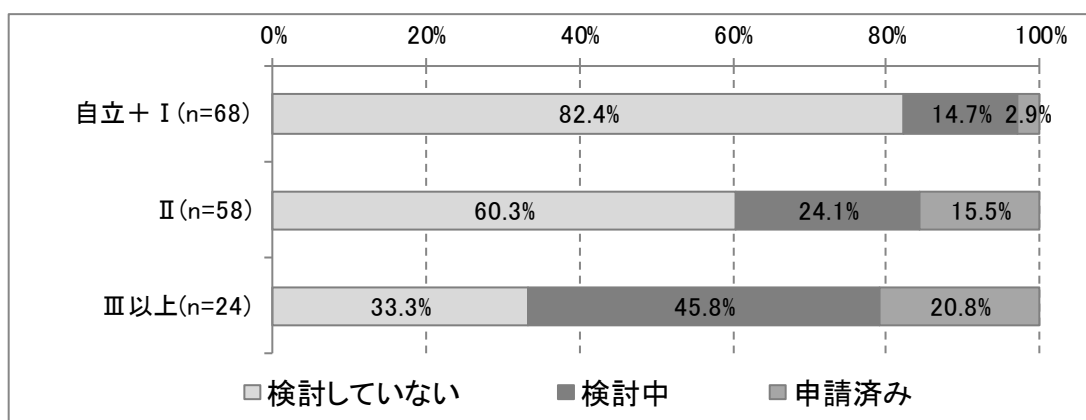
図表 4-15 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



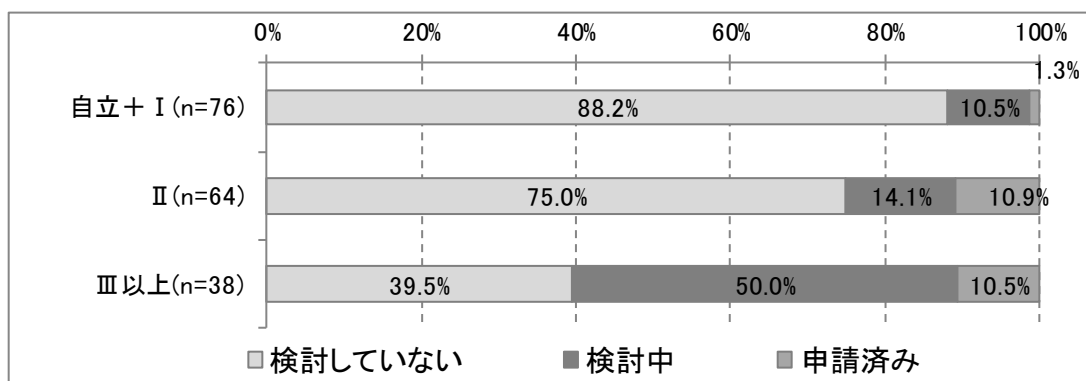
図表 4-16 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



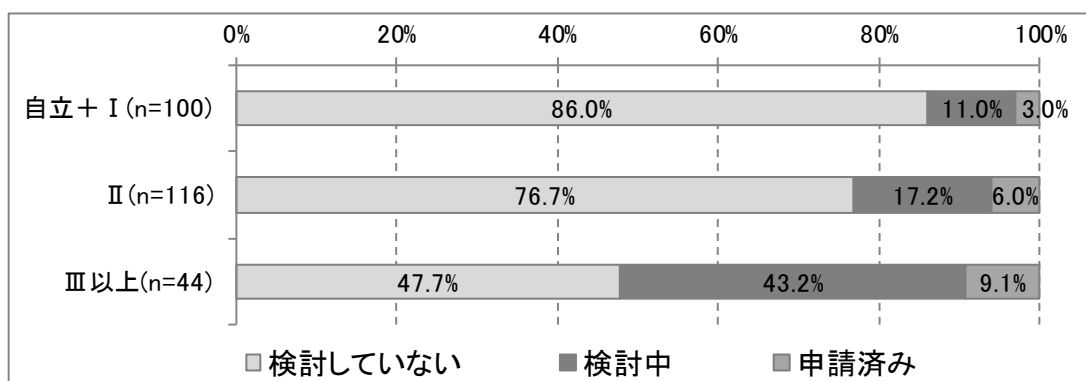
図表 4-17 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



図表 4-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



図表 4-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

5.1 集計・分析の狙い

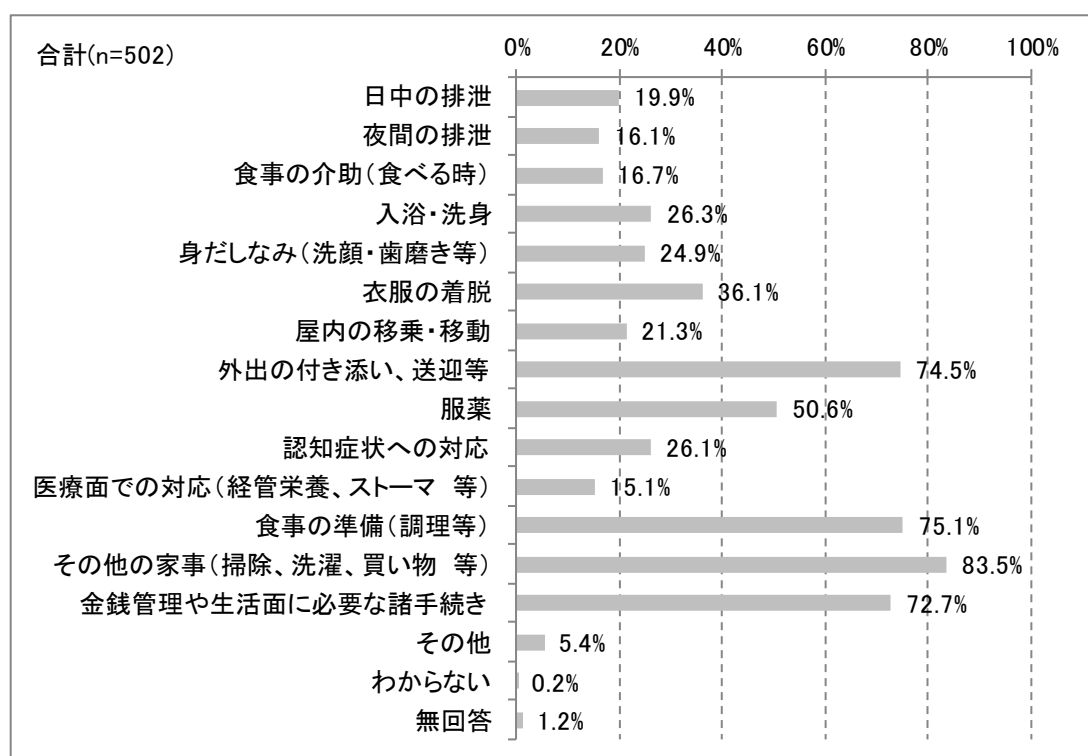
- ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。
- 具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

5.2 集計結果と着目すべきポイント

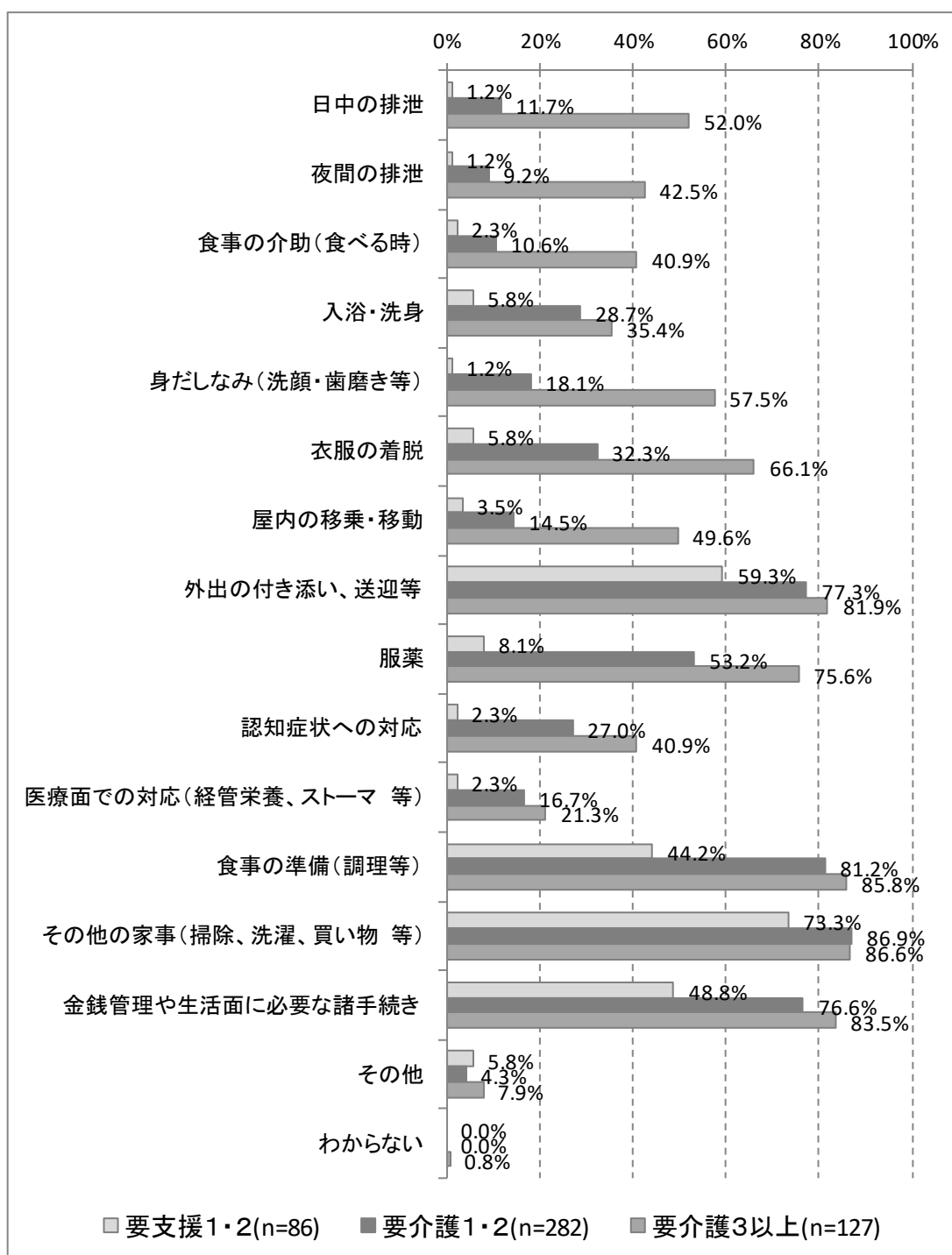
(1) 基礎集計

- 「主な介護者が行っている介護」について、要介護度別・世帯類型別の集計を行っています（図表 5-1～図表 5-3）。
- ここでは、特に「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に着目し、家族等の主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合を把握することができます。

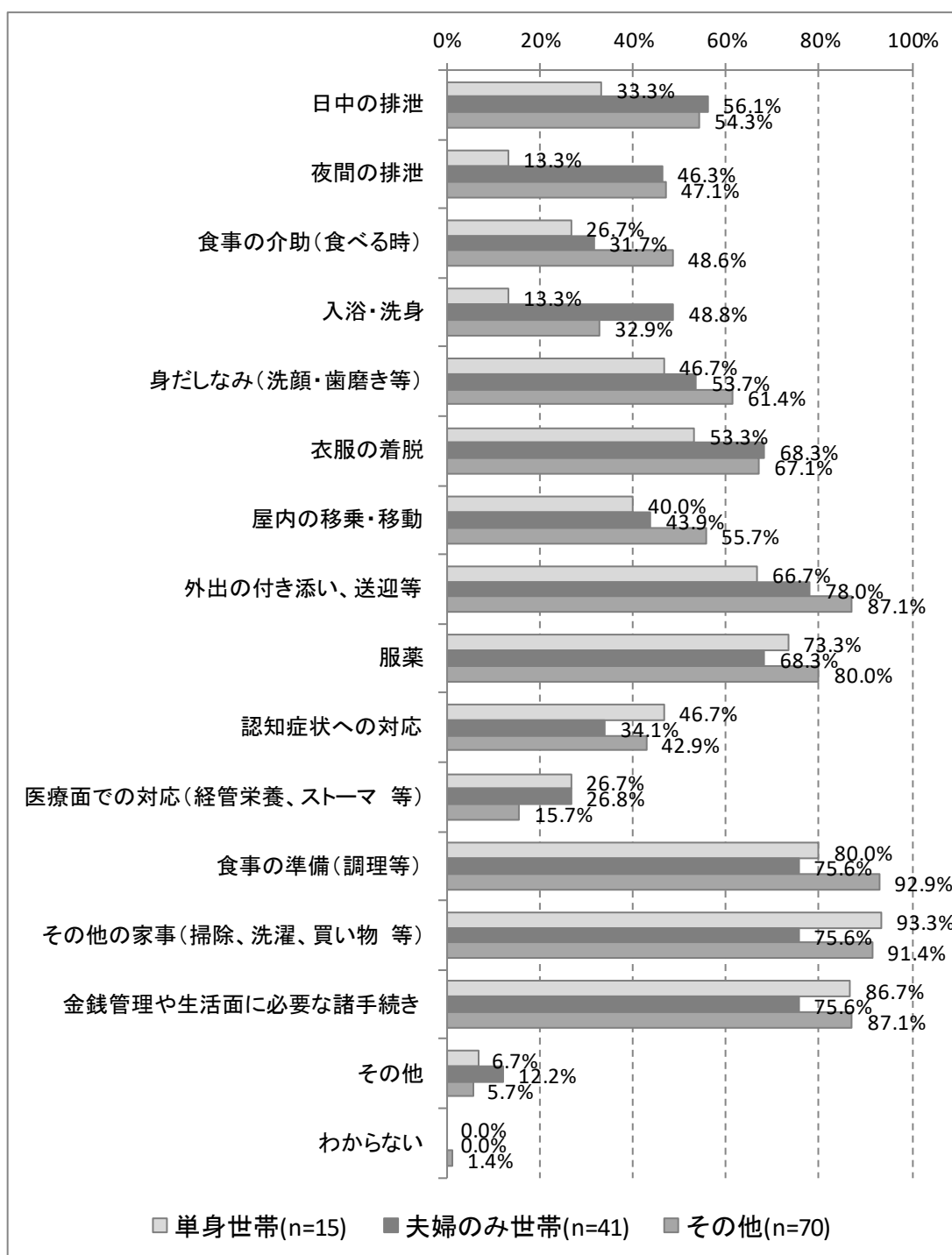
図表 5-1 ★主な介護者が行っている介護



図表 5-2 要介護度別・★主な介護者が行っている介護



図表 5-3 世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）



(2) 訪問診療の利用割合

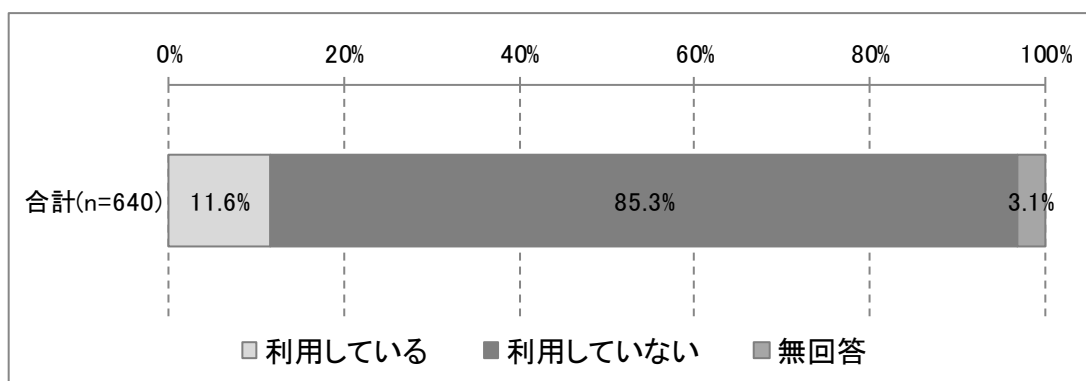
【着目すべきポイント】

- 「訪問診療の利用の有無」について、世帯類型別・要介護度別の集計を行っています（図表 5-4～図表 5-6）。
- 特に、「要介護度別の訪問診療の利用割合」を「将来の要介護度別の在宅療養者数」に乗じることで、「将来の在宅における訪問診療の利用者数」の粗推計を行うことも可能です。

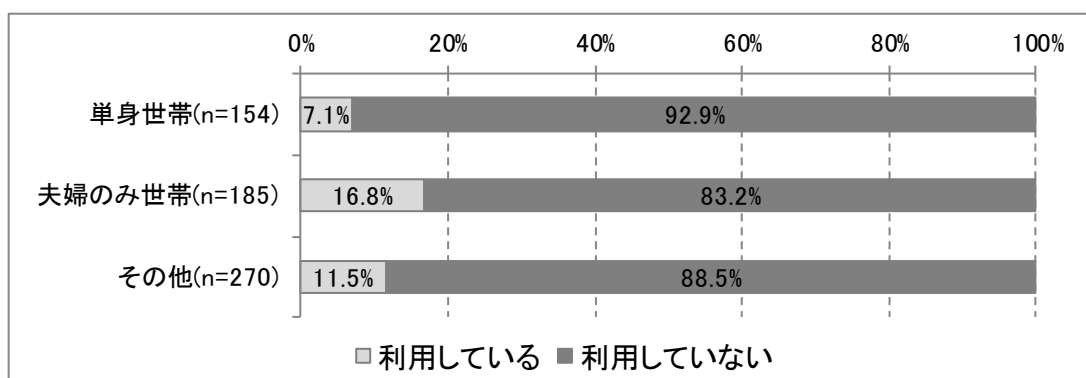
【留意事項】

- ここでの「訪問診療」には、訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれていません。
- また、上述の「将来の在宅における訪問診療の利用者数」を推計方法は、現在の訪問診療の利用割合を前提としたものであり、地域の状況の変化によっては誤差が大きくなることが想定されます。粗推計のための手法である点については、注意が必要です。
- 必要に応じて、地域医療構想の検討における「2025年の在宅医療等で対応が必要な医療需要」の需要量予測の結果等もご覧ください。

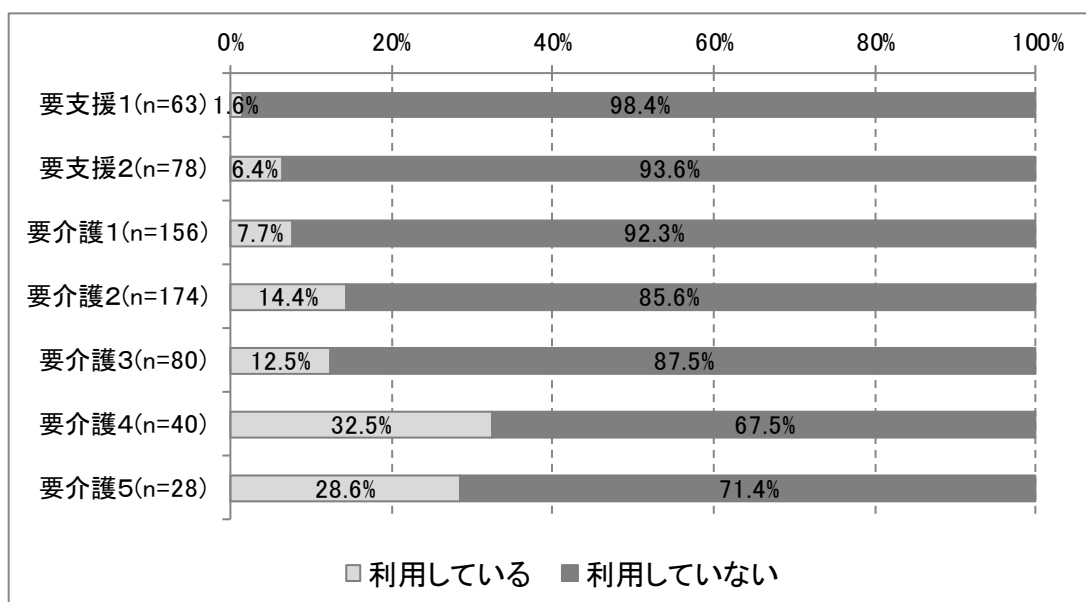
図表 5-4 ★訪問診療の利用の有無



図表 5-5 世帯類型別・★訪問診療の利用割合



図表 5-6 要介護度別・★訪問診療の利用割合

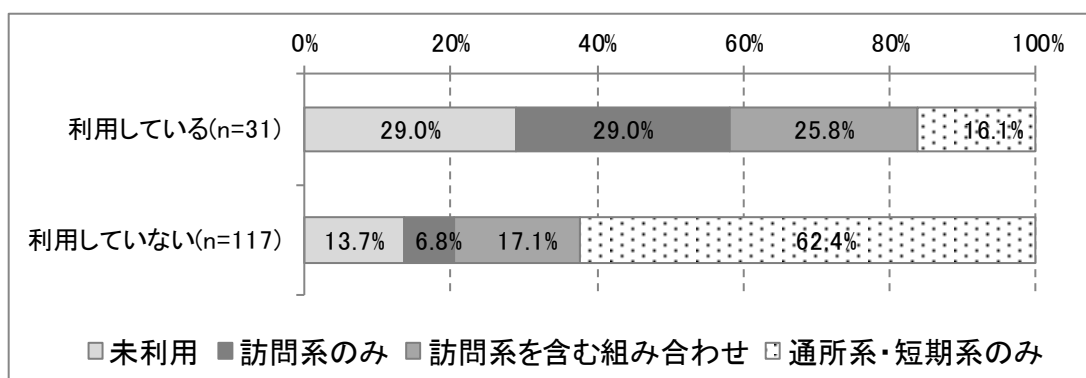


(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上の「サービス利用の組み合わせ」を集計しています（図表 5-7）。
- 特に、今後在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い中重度の要介護者の増加が見込まれる地域では、今後どのようなサービスに対する利用ニーズが高まるかを予測することにもつながります。

図表 5-7 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）



(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

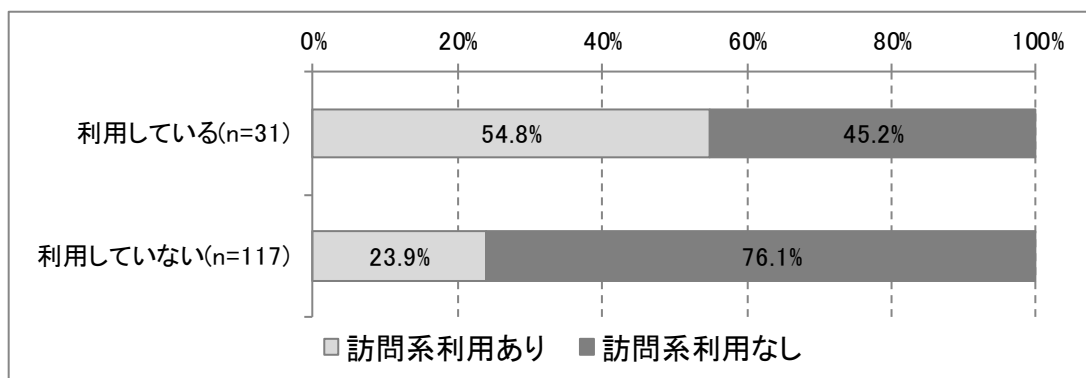
【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上について、訪問系・通所系・短期系のそれぞれのサービス利用の有無を集計しています（図表 5-8～図表 5-10）。
- 地域によっては、例えば「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない場合に、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なることも想定されます。

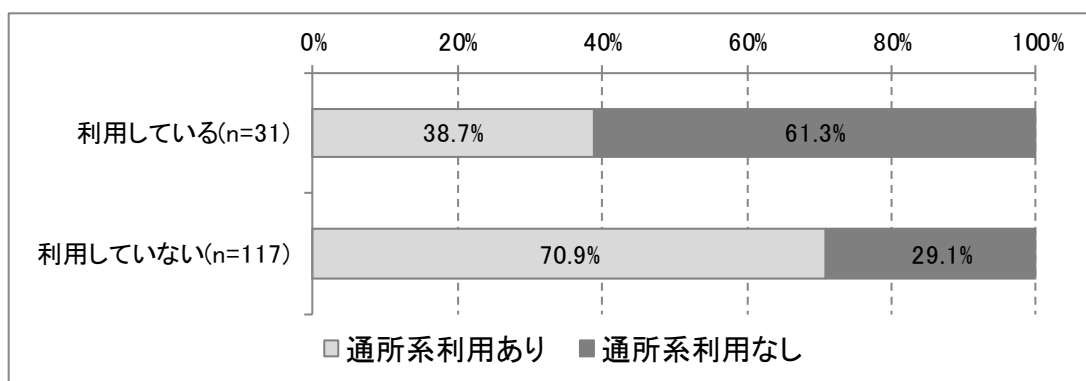
【留意事項】

- 上記の例のように、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なる場合についても、必ずしも「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない」ことに原因があるとは限りません。
- 集計分析結果の解釈は、地域の実情等に照らし合わせながら、専門職を含む関係者間での議論・考察を経て行う必要があります。

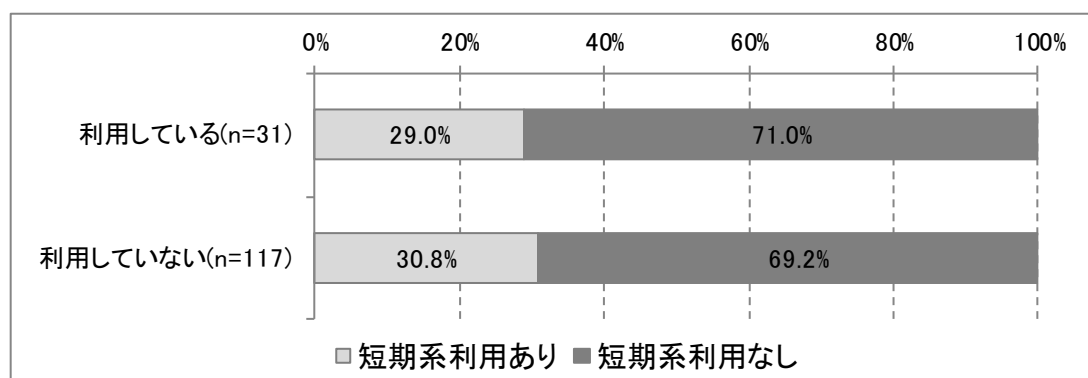
図表 5-8 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）



図表 5-9 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）



図表 5-10 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）



6 サービス未利用の理由など

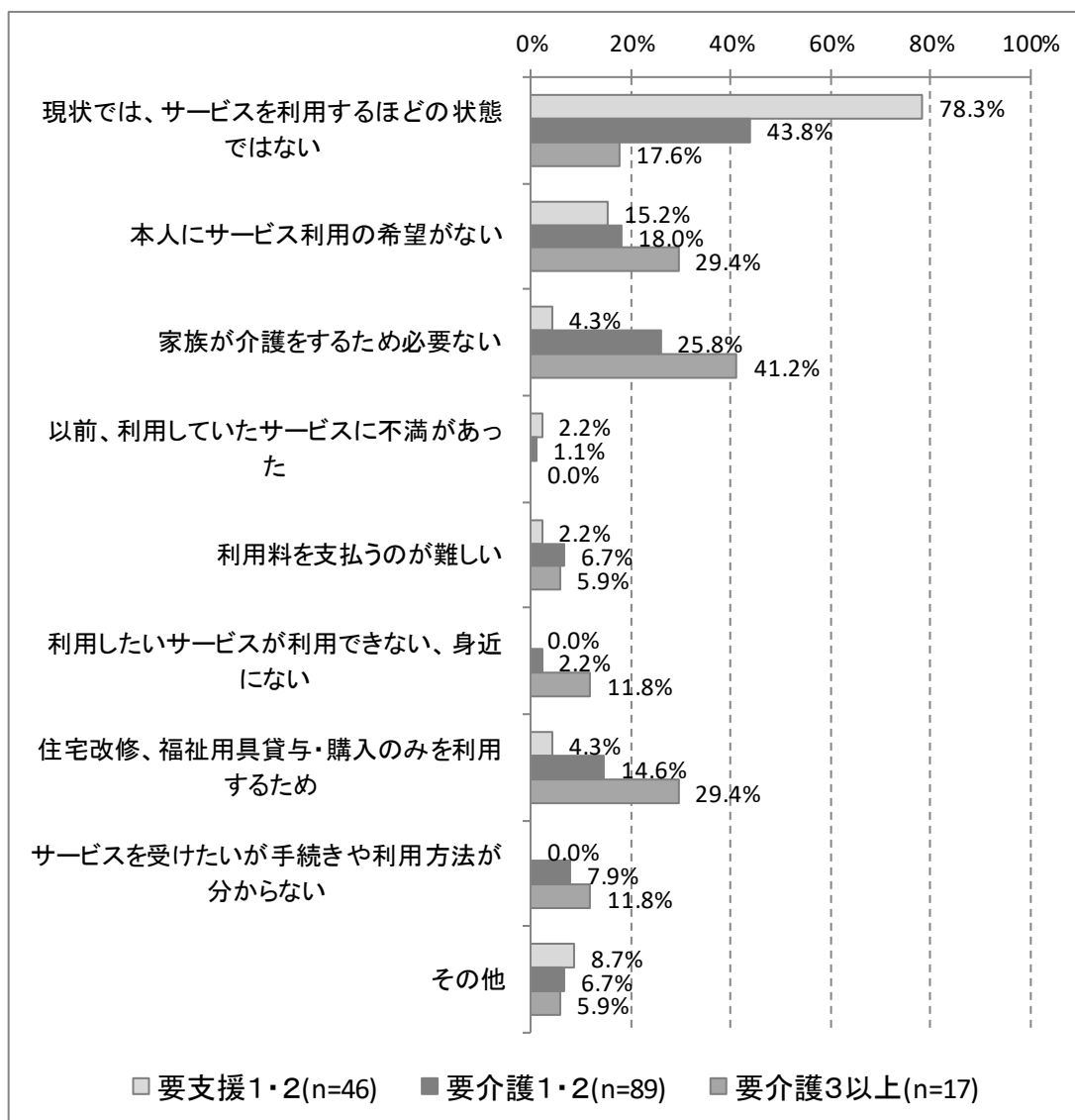
6.1 集計・分析の狙い

- ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。
- 主要なデータは、テーマ1～テーマ5において整理をしていますが、ここで整理する集計結果も必要に応じてご活用ください。

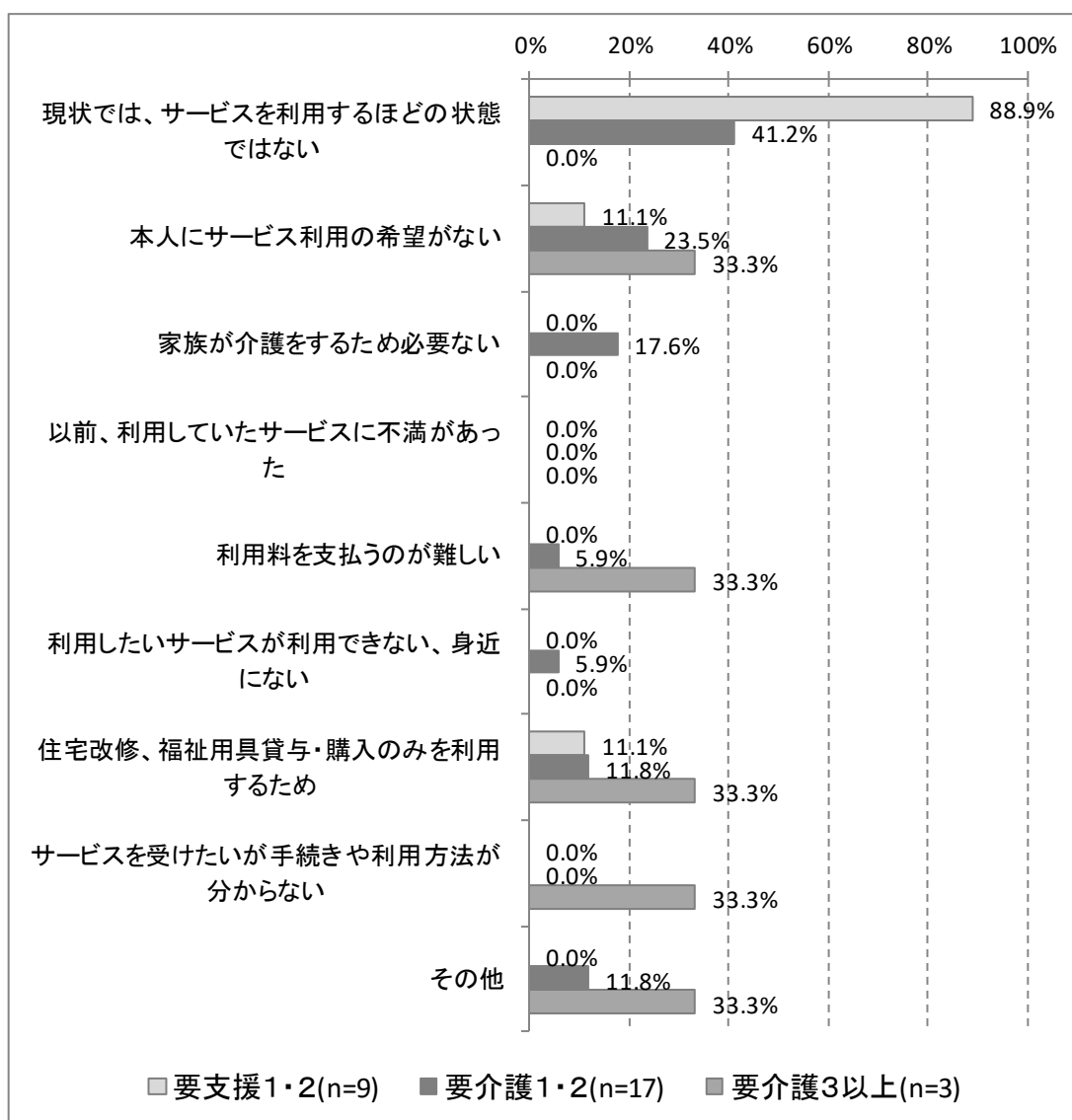
6.2 集計結果(参考)

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

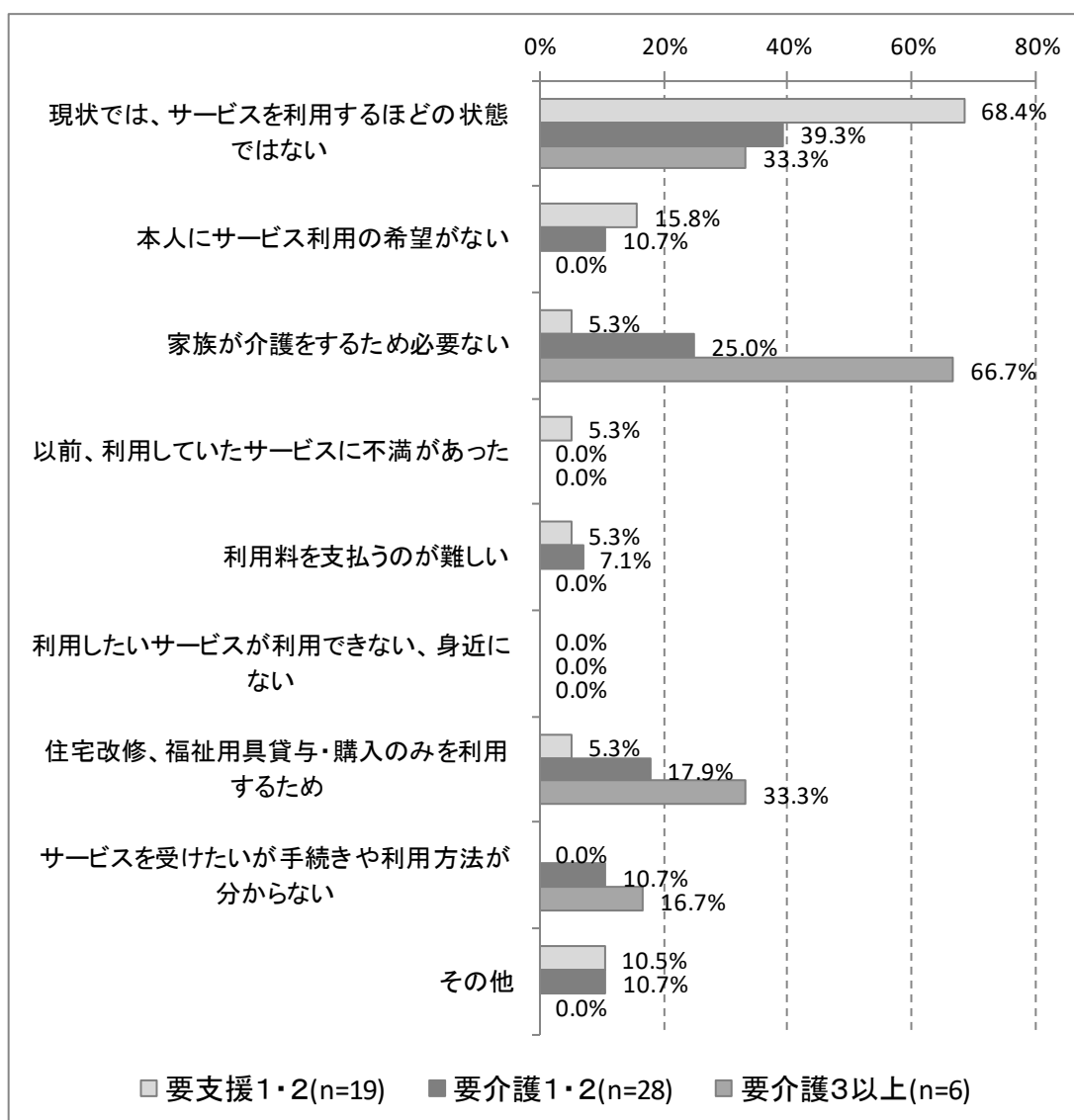
図表 6-1 要介護度別の★サービス未利用の理由



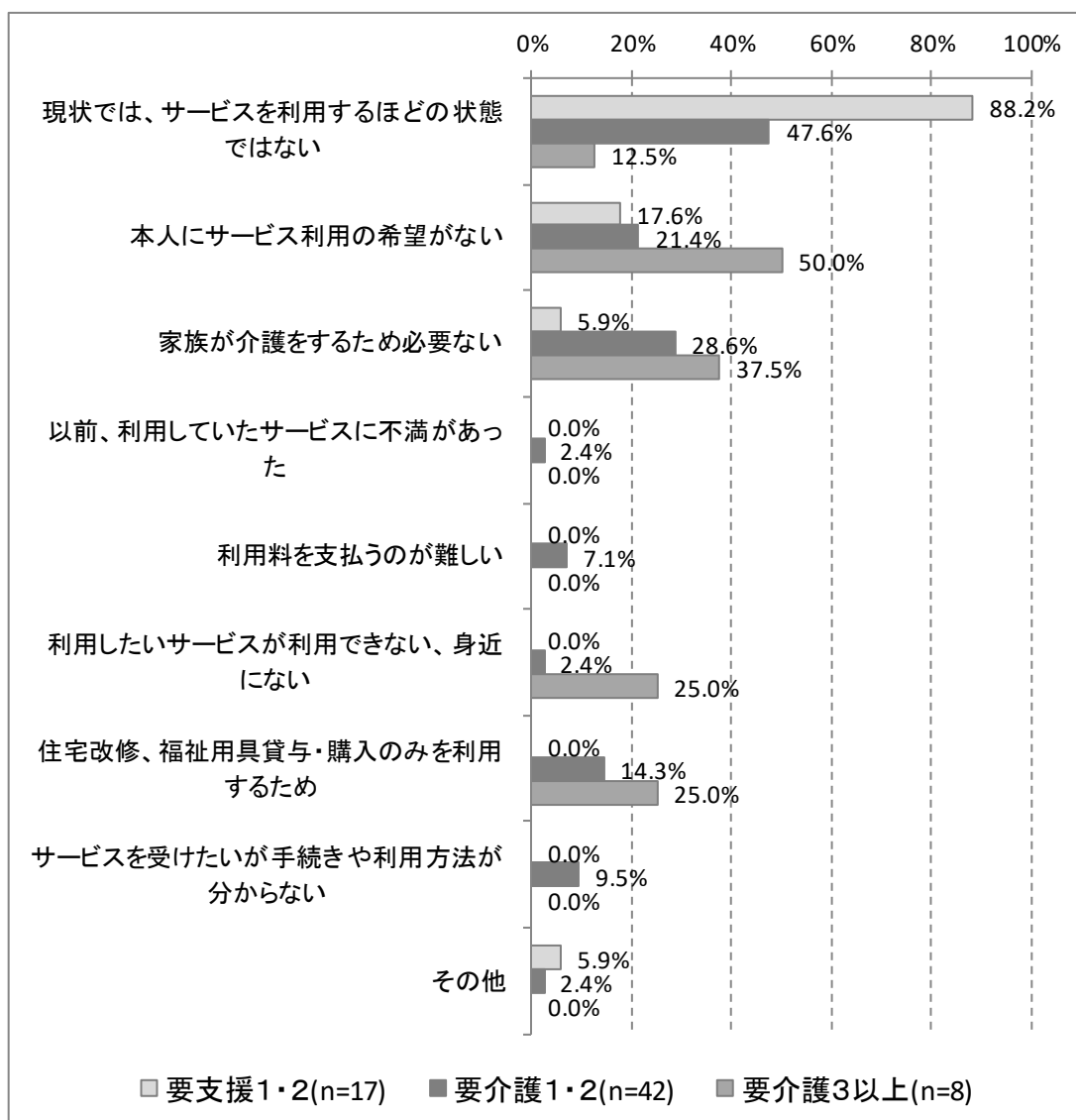
図表 6-2 要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



図表 6-3 要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）

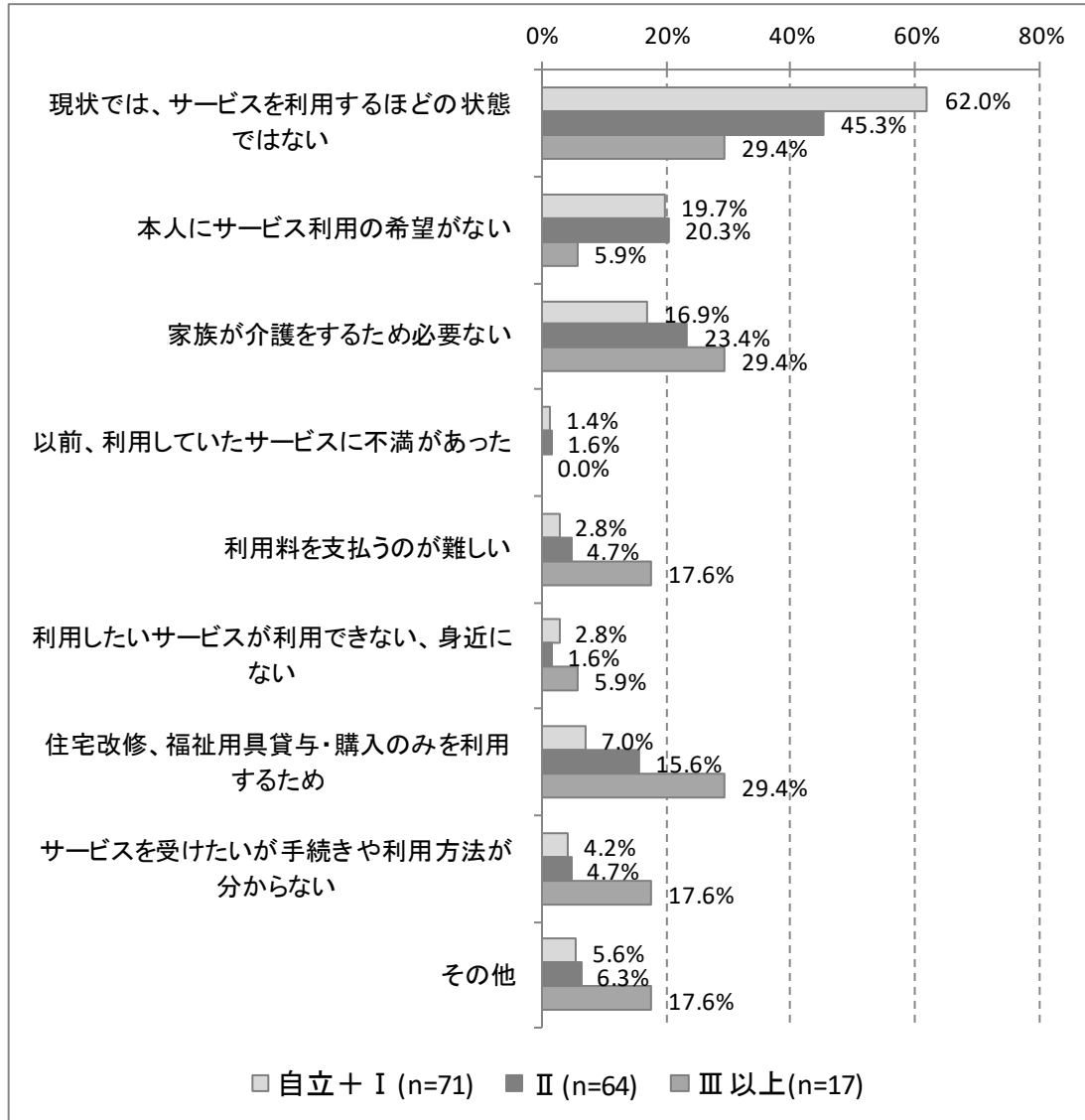


図表 6-4 要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

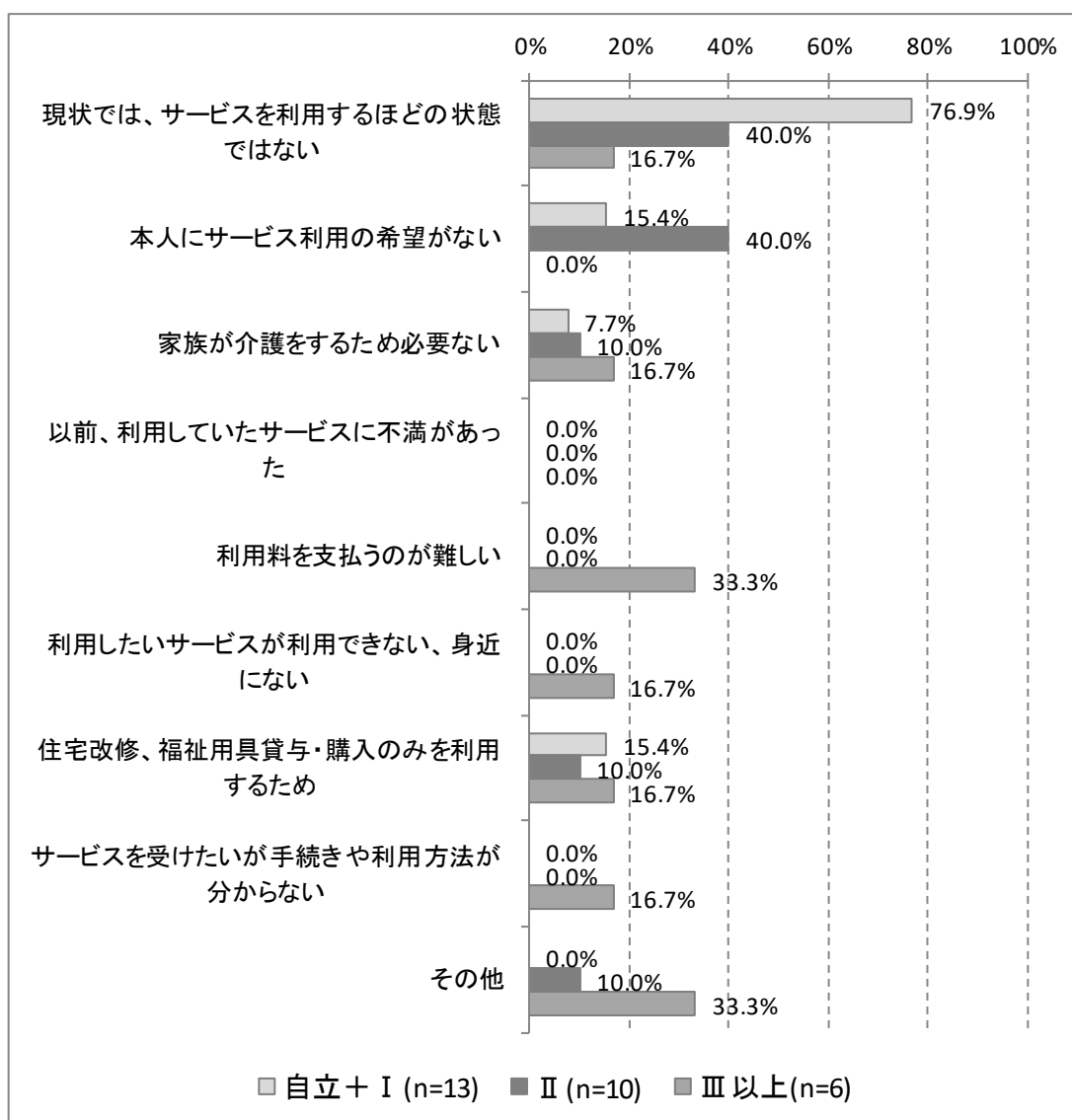


(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

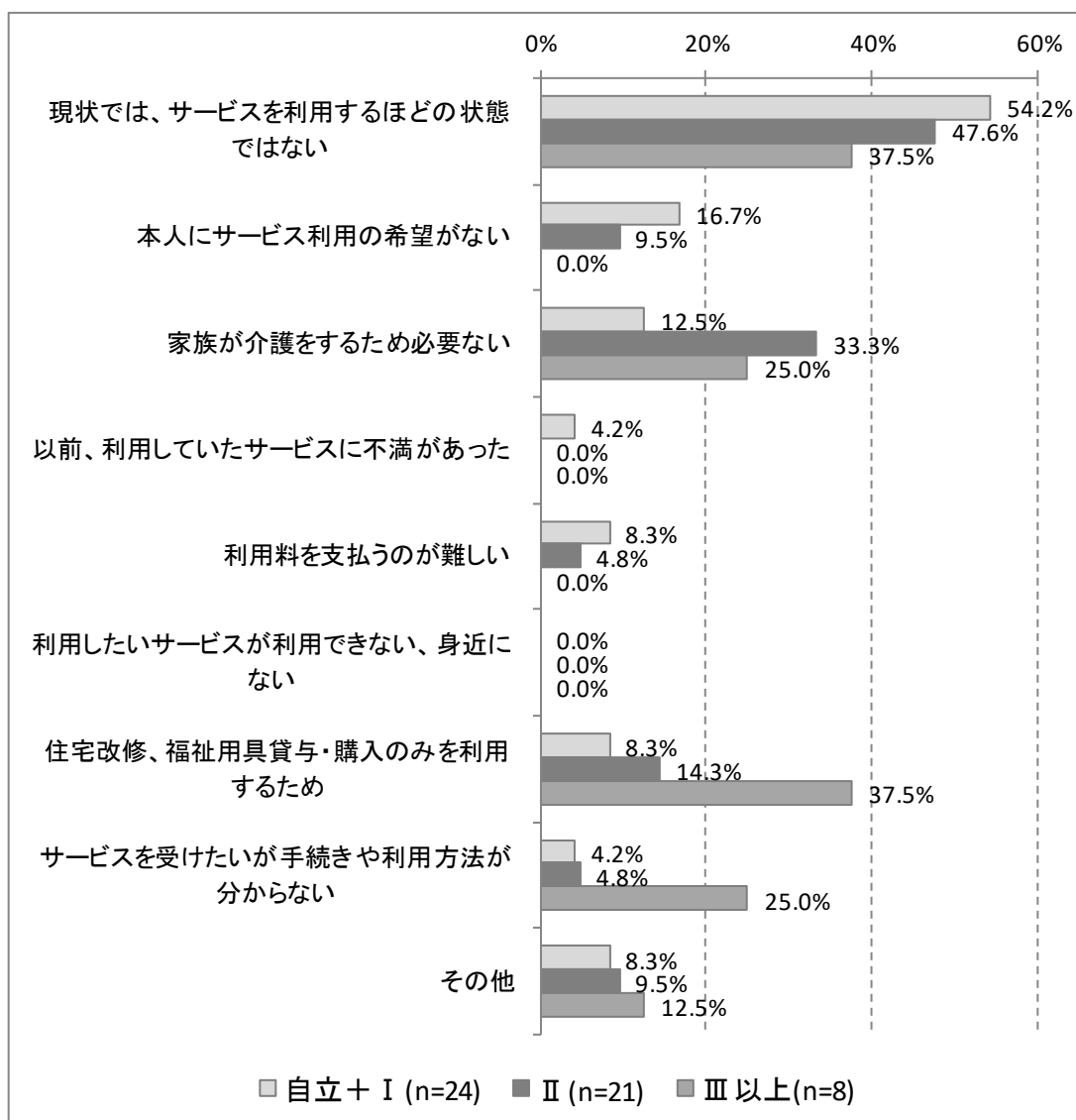
図表 6-5 認知症自立度別の★サービス未利用の理由



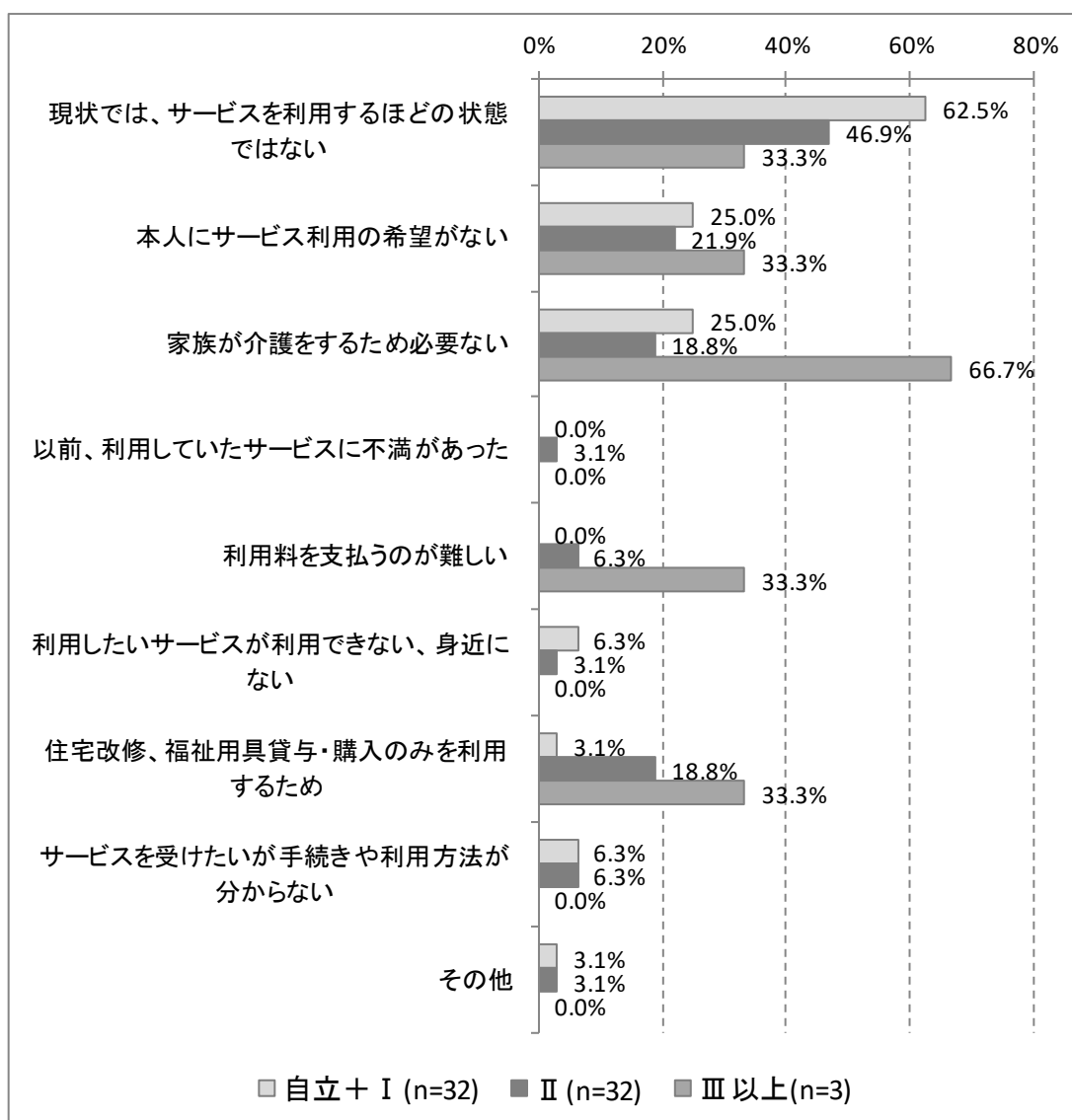
図表 6-6 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



図表 6-7 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）

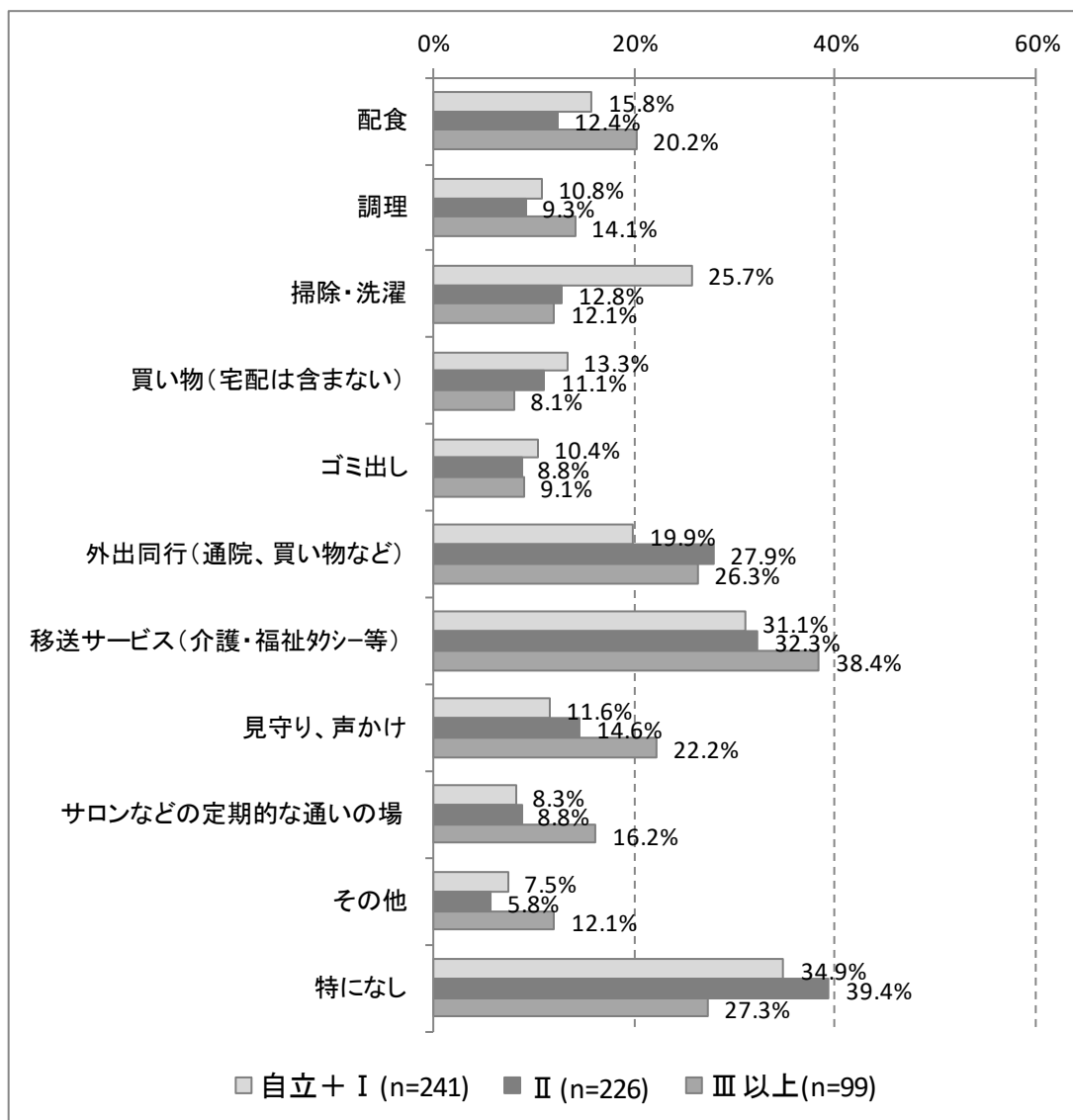


図表 6-8 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

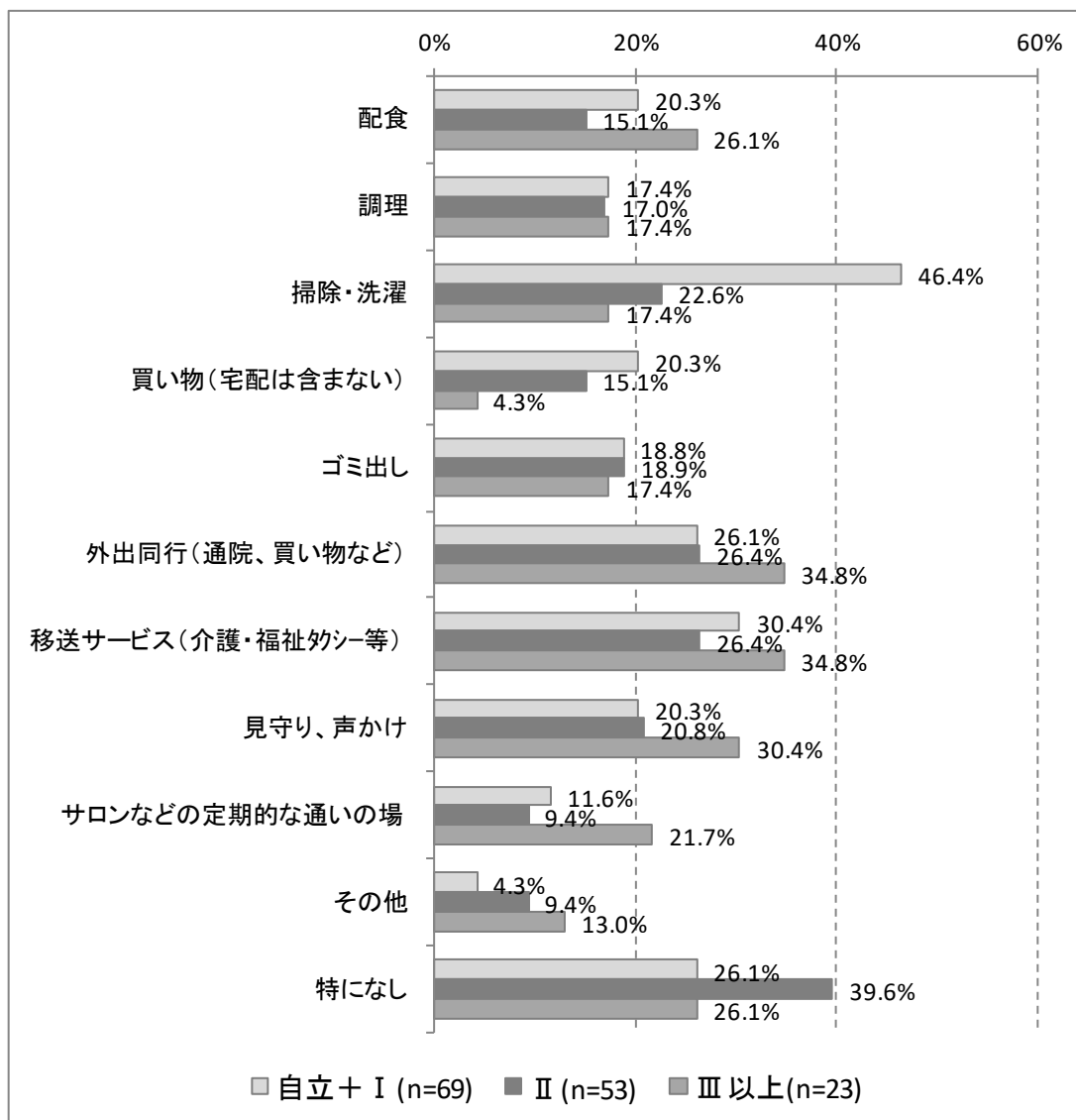


(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要なと感じる支援・サービス

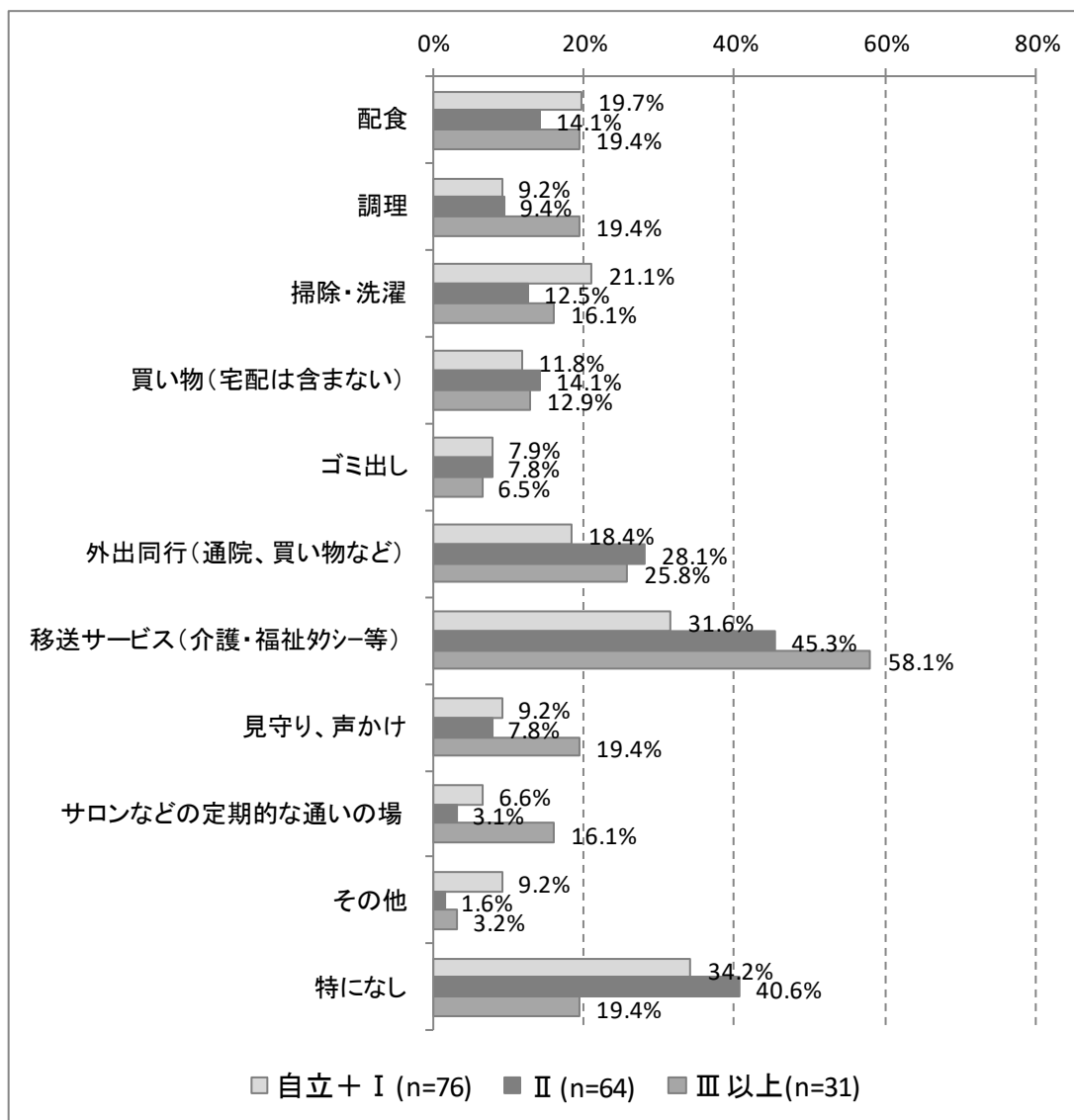
図表 6-9 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス



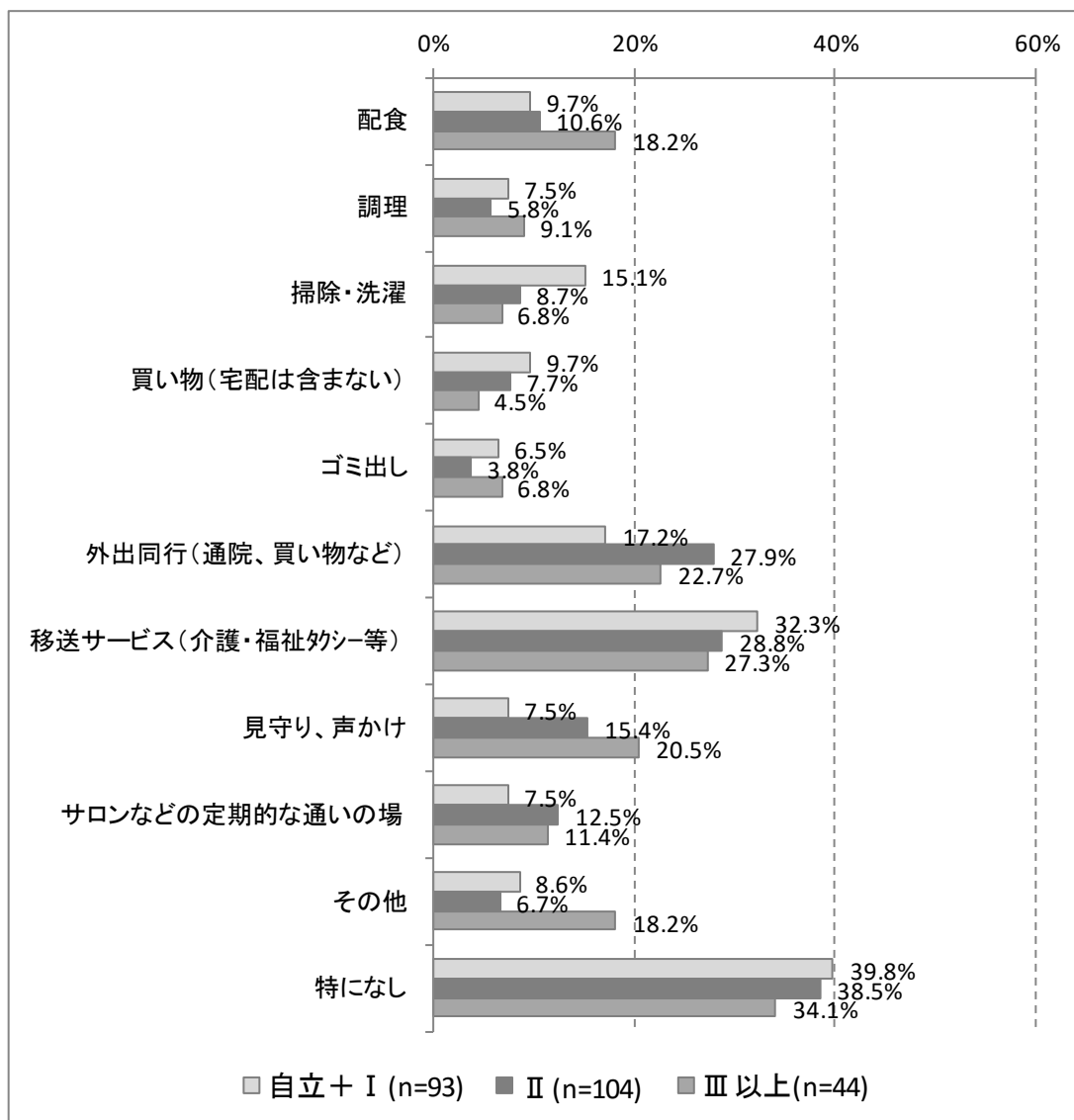
図表 6-10 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



図表 6-11 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

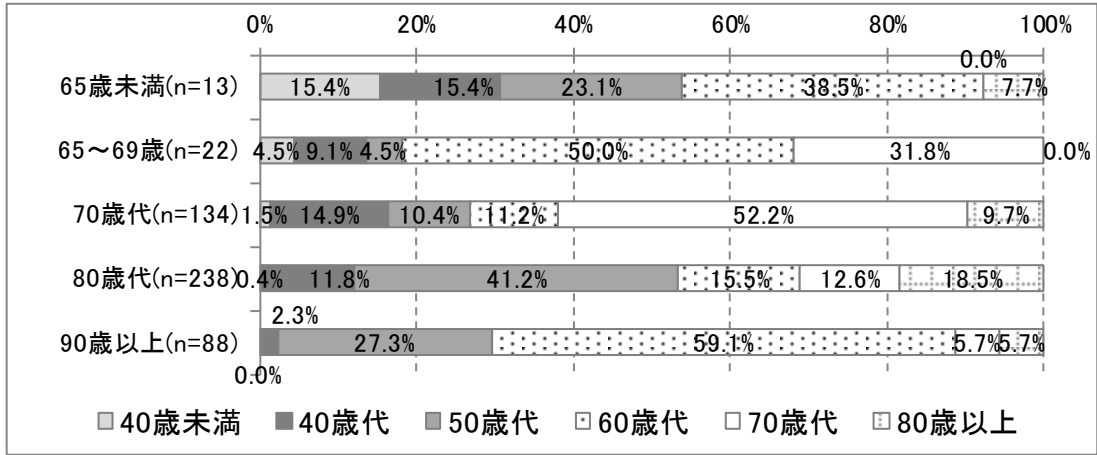


図表 6-12 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（その他世帯）



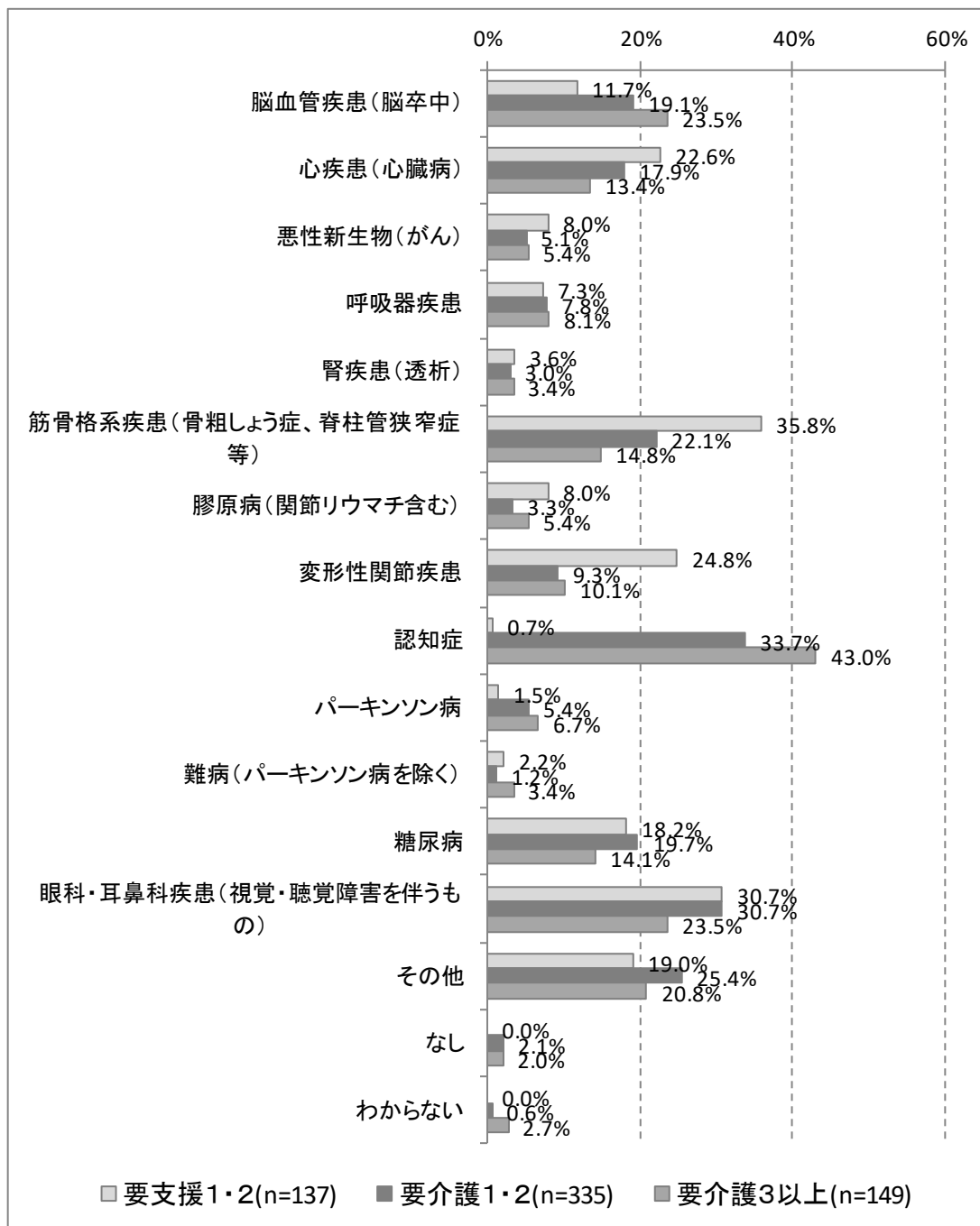
(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

図表 6-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢



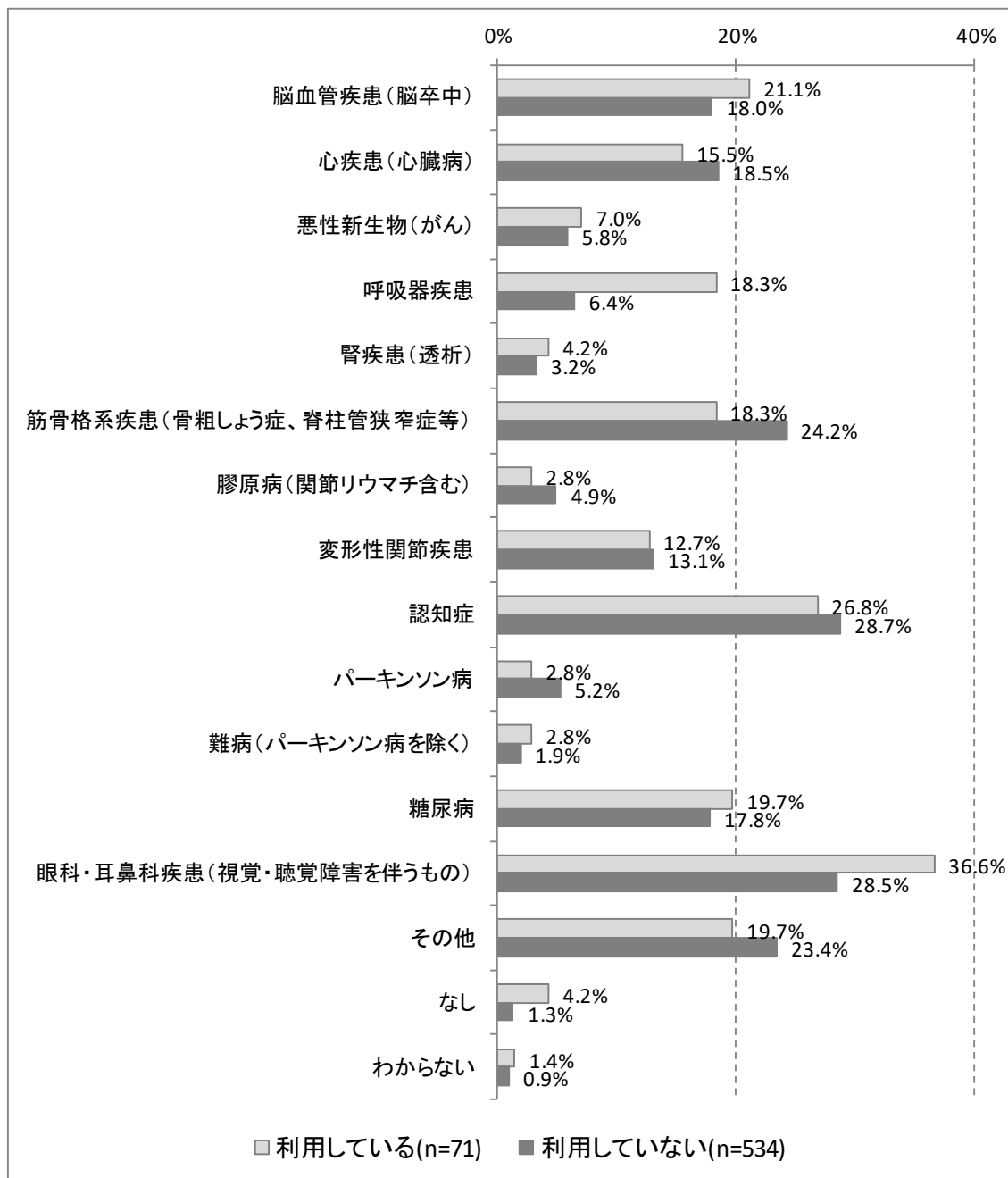
(5) 要介護度別の抱えている傷病

図表 6-14 要介護度別・★抱えている傷病



(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

図表 6-15 ★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病



北本市
高齢者福祉計画・介護保険事業計画の
策定に向けたアンケート調査
集計結果報告書

平成29年3月

北本市 健康推進部 高齢介護課
〒364-8633 北本市本町1-111
電話番号：048-594-5540 FAX：048-593-2862